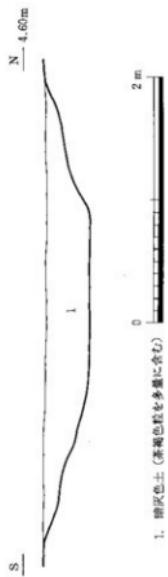
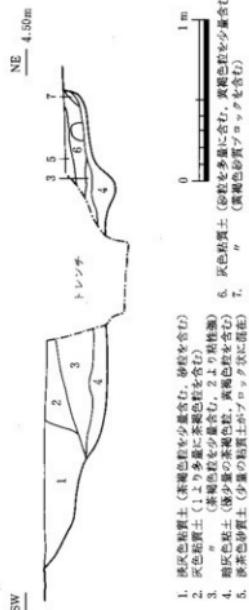


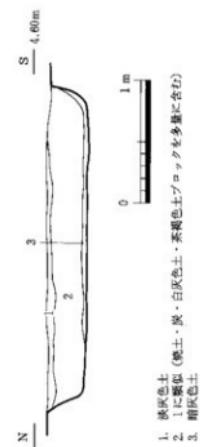
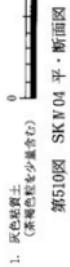
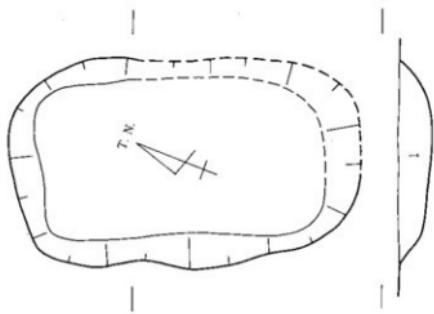
第512図 SK N 07 断面図



第513図 SK N 08 断面図



第514図 SK N 09 断面図



第515図 SK N 06 断面図

(第528図31)は須恵質の壺ないし甕の底部で上層(1・2層)から出土した。

(第529図1・2)は備前焼きの壺である。(1)は上層(1・2層)から出土した。(2)は中層(4層)から出土した。小壺である。底部は平底で体部は丸味を持ち頸部に続く。頸部は外上方に外反する。体部肩以下はヘラケズリで内外面共に薄く釉が掛かる。

(第529図3~5)は青磁碗の底部である。(3)は中層(4層)から出土した。明緑色の釉が高台外面まで施されている。見込み部には花文が描かれている。(4)は上層(3層)から出土した。濃緑色の釉薬が高台内面まで施された後、中央部を除き内面の釉は欠き取られている。見込み部にはヘラ描き文が描かれている。(5)は上層(2層)から出土した。灰緑色釉薬が高台部外面まで施されている。

出土遺物よりこの井戸の時期は、概ね16世紀代であろう。

(西村)

4. 土 坑

S K IV 01 (第529・531図)

H23区で検出された土坑である。東半分S D N 01に切られている。長軸2.6m、短軸1.0m以上、深さ0.1mを測る土坑である。平面形は不整椭円形、断面形は幅広U字状を呈する。

S K IV 14の出土遺物中で詳細な時期が解るものではなく、混入品であるが図化出来るもの1点を抽出した。(第529図6)は土師質の鉢壺の上半部である。埋土等よりこの土坑は、概ね室町時代末前後であろう。

(西村)

S K IV 04 (第510・529図 図版83)

H21区で検出した。平面形長方形、断面形は浅いレンズ状を呈する長軸2.1m、短軸1.2m、深さ0.10mの土坑で、主軸方向はほぼ条里地割方向と一致する。埋土は単層で淡黄灰色を呈する。

(第529図7)は土師質羽釜。口縁部は強く内傾して直下に低い痕跡的な鉢を付す。(8)は土師質皿である。

(大久保)

S K IV 05 (第529図)

H21区で検出した。平面形はほぼ方形、断面形は浅いレンズ状を呈する長軸1.8m・短軸1.7m・深さ0.20mの土坑で、主軸方向はほぼ条里地割方向と一致する。埋土は単層で淡黄灰色を呈する。

(第529図9・10)は土師質小皿、(12)は土鍋である。口縁部はやや分厚く作る。(13)は土師質羽釜で口縁部は内傾し鉢は完全に退化して微隆起と化している。

(大久保)

S K IV 06 (第511・529図)

H21区で検出した。S K IV 05の南端には接するが重複はしない。平面形はややいびつな長方形で西南部が僅かに張り出す。断面形は浅いレンズ状を呈し、長軸2.9m、短軸1.9m、深さ0.35mを測る。埋土中に多量の焼土を交える。

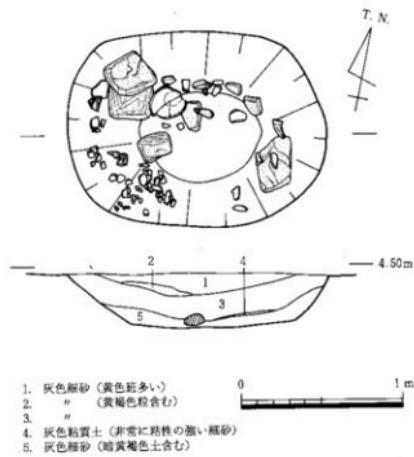
(第529図14)は土師質摺鉢で口縁部は断面三角形に内面に肥厚する。外面は指押さえを顯著に残し、内面には縦に並行条線を粗く配す。(15)は軒平瓦である。

(大久保)

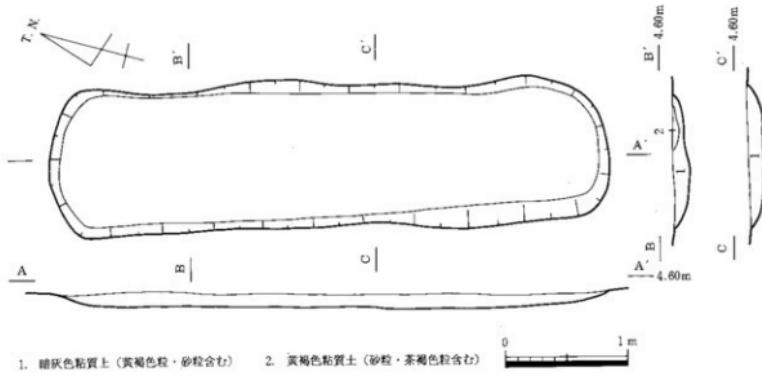
S K IV 07 (第512・530図)

H21区で検出した。S K IV 06に切られる。平面形はややいびつな長方形、断面形は浅いレンズ状を呈し、長軸2.5m、短軸2.4m、深さ0.22mを測る。埋土は2層に別れるが大差はない。

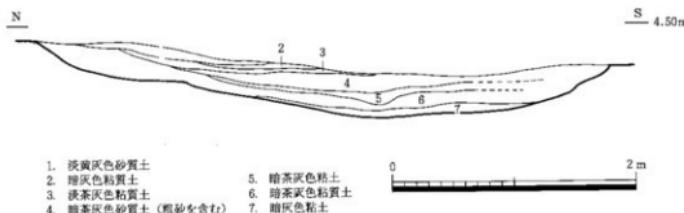
(第530図1~3)は土師質羽釜。(1)は口縁部下のやや低い位置に断面台形の低い鉢を付す。(2)は口縁部直下に断面三角形の低い鉢を持つ。(3)は摺鉢底部で内面横ハケ後縦の並行条線を粗く配す。



第515図 SKN 10 平・断面図



第516図 SKN 12 平・断面図



第517図 SKN 16 断面図

(4) は平瓦で十分いぶされ黒灰色を呈する。表裏面に布目压痕をとどめる。 (大久保)

S K IV 08 (第513図)

H21区で検出した。平面形はほぼ長方形で二段掘りとなる。長軸1.6m, 短軸1.2m, 深さ0.20mを測る土坑で、北辺東よりの部分から細い溝が直線的に約4.5m延びる。主軸方向はほぼ条里地割方向と一致する。埋土は単層である。 (大久保)

S K IV 09 (第514図)

H21区で検出した。平面形不整円形を呈し、断面形逆台形状を呈する長軸2.9m, 短軸2.8m, 深さ0.37mの土坑で、溝 S D N 01を切る。埋土は大局的には3層に別れるが、大差はない。 (大久保)

S K IV 10 (第515・530図 図版84)

I 20区で検出した。S K III 09を切って穿たれる。平面形長椭円形、断面形逆台形状を呈する長軸1.6m, 短軸1.2m, 深さ0.34mの土坑である。主軸方向はほぼ条里地割方向と一致する。埋土は大局的には3層に別れるが、大差はない。人頭大の板石5個、土師質土鍋、羽釜などを出土した。

(第530図5)は土師質台付皿で該期に類例が乏しい。(6)は皿、(7)は小皿である。(8)の土師質摺鉢は口縁部を断面三角形に外方に低く肥厚する。内面には縱の並行条線を粗く配す。(9)は土師質片口鉢。口縁部直下で屈曲して短く内傾する。 (大久保)

S K IV 11 (第530・531図)

H19・20区で検出した。平面形長方形で長軸2.6m, 短軸2.0mを測り、断面皿状、深さ0.50mの浅い土坑である。埋土は単層である。

(第530図10~12)は土師質摺鉢。口縁部は直下で折れて短く内傾する。(10)は片口状を成す。(第531図1)は土師質把手鉢。口縁部に耳たぶ状の横長の把手を貼る。(2)は土師質で短頸壺状を呈する。 (大久保)

S K IV 12 (第516・531図)

H19・20区で検出した土坑である。平面形は長方形で長軸4.6m, 短軸1.1m, 深さ0.12mを測る。断面は幅広なU字状を呈し、埋土は暗灰色粘質土メインになる。

(第531図3)は土師質杯で該期には珍しい形態である。(4)は小皿である。(5)は白磁碗で口縁部を短く外反させる。内外面に貫入が著しい。(6)は龍泉窯系青磁碗である。 (大久保)

S K IV 14 (第531図)

I 19区で検出された土坑である。東半分S D N 01に切られている。長軸2.2m, 短軸1.2m以上、深さ0.30mを測る土坑である。平面形は不整椭円形、断面形は幅広U字状を呈する。埋土は灰褐色系の砂質土である。

S K IV 14の出土遺物中図化出来るもの1点を抽出した。(第531図7)は16世紀前後の土師質の支脚付きの羽釜である。口縁よりわずか下方で鐸が付き、内外面ともに指ナデが認められる。 (西村)

S K IV 16 (第517・531図)

H19区で検出された、長軸4.6m, 短軸3.5m, 深さ0.33mを測る土坑である。平面形は不整長方形、断面形は不整逆台形状を呈する。底部は比較的平坦である。埋土は茶灰色の砂質土ないし粘質土からなる。

S K IV 16の出土遺物中図化出来るもの4点を抽出した。(第531図8)は底部を欠く土師質の杯である。(9)は土師質の小皿である。(10)は青磁の碗で龍泉窯系のものである。外面には蓮弁の施紋が認めら

れる。(11)は土師質の羽釜の上半部である。

出土遺物よりこの土坑の時期は、概ね16世紀前後に当るものと考えられる。

(西村)

5. 不明遺構

S XIV 01 (第531~535図 S X 8604)

G19区の西端部、SD N 05内で検出された、溜り状の凹みである。SD N 05との切り合いは検出されなかった。短軸3.8m、深さ1.3mを測る。断面V字状を呈する。壁面の傾斜は比較的緩やかであり底部の平坦面は狭い。

S X N 01からは16世紀頃と考えられる、土師質・瓦質・須恵質・備前焼き・青磁等の多量の土器類と漆塗りの椀が出土した。

(第531図12~14)は土師質の杯である。底部はヘラ切りで平坦に仕上げる。(12・14)の体部は外反気味に口縁端部に至り、端部は尖り気味に仕上げる。(13)の体部は丸味を持って口縁端部に至り、端部は丸く仕上げる。(第531図15・16)は土師質の皿である。底部はヘラ切りを施し平坦に仕上げる。体部は外方に延び端部は丸く仕上げる。(第531図17~19)は土師質の小皿である。底部はヘラ切りを施し平坦に仕上げる。口頸部は短く上方に延びる。(第531図20、第532図1)は土師質の甕である。(20)は甕の口縁部である。口頸部は外反し、端部は玉縁状に肥厚する。(1)の底部は丸味を持った平底で、体部は寸詰まりで、丸味を持って口頸部に至る。口頸部は上方に短く延び、端部は丸く仕上げる。内外面共に指頭痕を残す。(第532図2~5、第533図1)は土師質の土鍋の上半部である。(2~5)の体部は丸味を持ち口縁部は「く」の字状に外反する。外面に指頭痕、内面に横ハケ及び指頭痕等を施す。(第533図1)は他と異なり口縁端部を平坦に仕上げ、外面は指頭痕を施す。(第533図2~6)は土師質の羽釜である。(2~4)は羽釜の上半部である。体部は丸味を持ち、口縁端部に至る。鍔は退化し短く口縁直下に付される。(2・3)の外面には指頭痕が顕著である。(4)は内・外面共に指頭痕が顕著である。(5・6)は羽釜の脚部である。(第533図7)は土師質のこね鉢である。底部は平底で、体部は内湾気味に外方に延び、端部は平坦に仕上げる。外面指頭痕、内面板ナデが顕著である。(第533図8・9、第534図1~5)は土師質摺鉢である。(8・9)は片口の摺鉢である。(8)は残りが悪いため櫛目が残っていないが、摺鉢である可能性が高い。(9)の底部は平底で体部は丸味を持って外方に延びる。口縁端部は平坦に仕上げる。外面指頭痕とわずかにハケ、内面ハケ及び櫛目を施している。(第534図1~5)は、形態調整等片口鉢と類似するが、内面のハケ調整はみられない。(第534図6~8)は土師質釜の上半部である。体部は球体状を呈し口縁部は短く上方に延びる。(6・7)には把手と把手の内側に穿孔を伴う。(第534図9)は土師質の脚部である。火鉢の脚部の可能性がある。

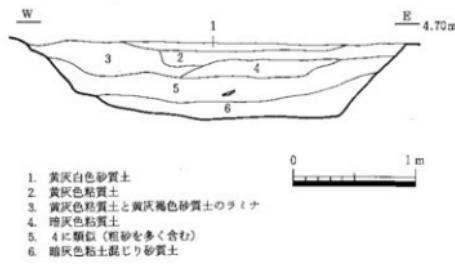
(第534図10)は瓦質の土鍋である。体部は丸味を持ち口縁部は短く外反する。口縁の内側に耳を持つ。

(第535図1)は須恵質の壺の上半部である。肩部は丸味を持ち口頸部は短く外反し、端部は丸く肥厚する。なお、この資料は混入品であろう。

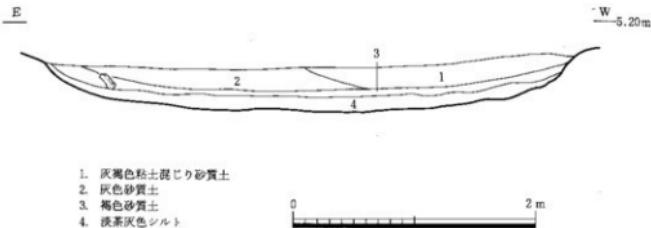
(第535図2)は備前焼きの皿である。底部糸きりで、内面にはヘラ記号を施す。(第535図3)は口頸部と底部を欠く備前焼きの壺である。体部は丸味を持ち、内・外面共に板ナデと指頭痕を施す。

(第535図4)は青磁の鉢の口縁部である。(第535図6~9)は青磁碗の底部である。

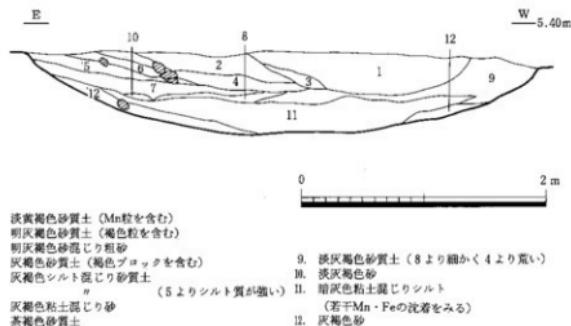
(西村)



第518図 SX N 02 断面図



第519図 SX N 03 断面図



第520図 SX N 04 断面図

S X IV 02 (第518図)

H 11区で検出した遺構である。長軸約3.4m, 短軸約3.0m, 深さ約0.6mを測る。平面形は隅丸方形を呈し、埋土は井戸の埋土に類似し、グライ化した粘質土と砂質土からなる。長軸は、概ね条里基準線と一致し、時期を反映した遺物は出土していないが、掘り込み面の状況からすれば S D III 75より確実に後出する時期のものである。機能的には地山の砂質土に掘り込んでおり、やや浅いが井戸もしくは水溜め状ものと考えられる。

(藤好)

S X IV 03 (第519図)

H 10区で検出した遺構である。長軸5.1m, 短軸4.0m, 深さ0.4m前後を測る径の割りには浅い落ち込みで、西部は S D III 75の系譜上にある溝に連なる。平面形は不整円形を呈する。時期的には S X IV 02と同様の時期であろう。

(藤好)

S X IV 04 (第520図)

H 9区で検出した遺構である。胃袋状の拡張部とそれから北に派生する溝からなる。拡張部の直径は約4.3m, 深さ0.7mほどを測る。埋土は粘土と砂質土および砂層からなり、水との関連が窺われ、S X IV 02と同様の機能を有したものと考えられ、時期的にも後出するものである。

(藤好)

6. 構

S D IV 01 (第521・522・535～545図 図版81・85～90 S D 8605)

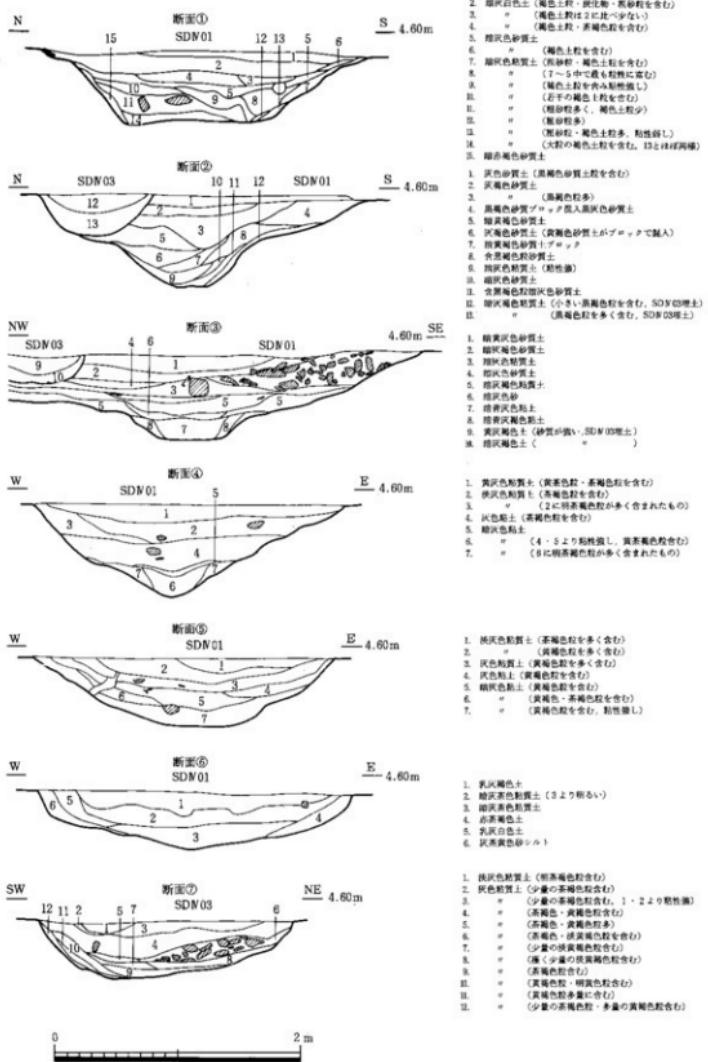
第1微高地の南半部 I 20・21区周辺に所在する、層敷地の周辺を区画する掘割りの溝である。溝は各々東西軸・南北軸の溝からなり、東西溝の西端と南北溝の北端が I 21区で交わり、L字状を呈している。なお、二つの溝の切り合いは認められず、一連の溝である。

東西溝の検出長約37.0m, 幅約2.5～3.0m, 深さ約0.7～1.0mを測る。南北溝の検出長約50.0m, 幅約2.5～3.0m, 深さ約0.7～1.0mを測る。方位は南北溝で N 21° Wを測る。断面形は地点によって変化するが、概ね逆台形あるいは幅広なU字状を呈する。埋土は暗灰色を基調にして櫻ね上位が砂質が強く、下位にかけて粘性が強くなる。また、遺物の接合関係より、上層と下層には時期差はあまり認められず、短期間のうちに埋まったものと考えられる。なお、東西溝・南北溝の接合地点及び南北溝の南端部の中位層から下位層にかけては小礫が大量に廃棄されていた。

南北溝の南半部では、西へ分岐して延びる S D IV 02と、礫の配石個所が検出された。S D IV 02は、南北溝の南端部より北に9.0mの地点で検出された。東西溝との切り合いは認められず、S D IV 01とは一連の溝である。幅0.5m, 深さ0.3mを測る。礫の配石は20～40cm位の礫約20個程からなり、S D IV 02との合流地点と、同地点より北へ8.0mの地点、合わせて2地点で検出された。また、これらの中には石臼片・砥石等の資料も含まれていた。

東西溝の上面には、東西溝と同一方向に延びる、S D IV 03が切り込んでいる。この溝は東西溝の北岸部を東西溝の西端部まで延び、同地点で屈曲し北に短く延びる。S D IV 03はS D IV 01より後出する区画溝の可能性が高い。検出長43.0m, 幅約1.5～2.5m, 深さ約0.4mを測る。

東西溝の東端より S D IV 04が、東端より東へ11.0m離れて S D IV 05の二つの溝が南北方向に延び微高地の南端部につづく、その後 S D IV 05は微高地の縁辺部沿いを南に向って延びる。S D IV 01を含めこれら三條の溝の配置は、溝に囲まれた約2,299m²の空間を囲う結果となっている。この区画内には、これらの溝の時期に対応するであろうと考えられる、掘立柱建物・井戸・柱穴等の居住域に関連する遺構が多い。



第521図 SDN 01・03 断面図

数検出されている。そのため、SDN01を含めた3条の溝は居住域を区画する掘割りの溝といえる。

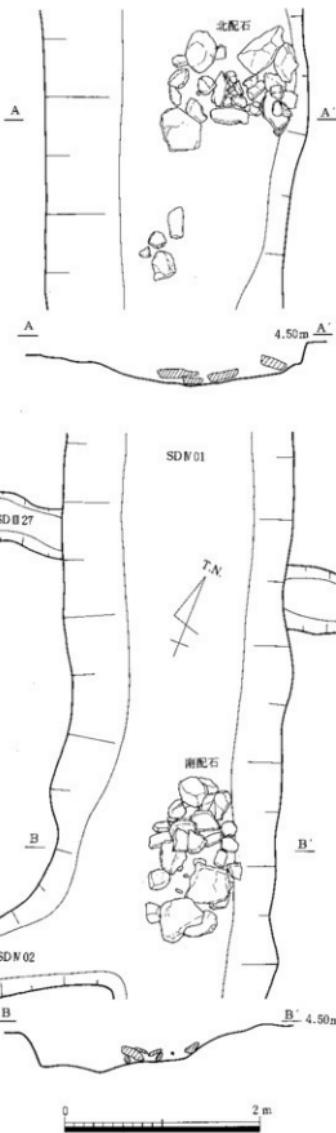
なお、区域内の掘立柱建物に関しては、対象とする柱穴が約2000を数えこれらの中より整合性をもつ建物を復元することは困難であり、完全には復元が出来なかつたが、ピット集中の密度で、二・三の個所を推定できる。H21区の南部、H20区の南部、グリッド杭I19周辺等の個所である。

SDN01からの出土遺物は土師質・磁器・陶器・須恵器・土製品・石製品・瓦・銅錢・自然木片等多様である。これらの資料中119点の土器を抽出した。

(第535図10~27)は土師質の小皿である。全点底部はヘラ切りを施し、平坦に仕上げている。体部は底部より屈曲し、短く外方に延びる。口縁端部は丸く仕上げている。(第536図8)は土師質壺の上半部である。肩は丸味を持ち頸部は内傾し、直線状に短く延びる。口縁端部は丸く肥厚している。体部内面にはヘラケズリが認められる。(第536図9~11、第537図1~3、第542図9)は土師質の火舎である。

(第536図9~11、第537図1~3)は底部に付された脚部である。完全なものが無いので、三足になるのか、四足になるのか解らない。脚部は短く断面長方形で平坦なもの、断面円形で円柱状のものに分けられる。調整は、指頭痕・板ナデ・ハケ・ナデ等の手法が見られるが、特に外面の指頭痕が顕著である。

(第538・539図)は土鍋の上半部である。体部は椀状を呈し口縁部は「く」の字状に外反する。口縁端部は丸く仕上げるものと、平坦に仕上げるものとがある。体部外面に指頭痕・ハケ・ナデ、内面にハケ・ナデ等の手法の種類がある。(第539図8)は瓦質の土鍋の上半部である。口縁部は内湾気味に外反し、端部は平坦に仕上げる。外面指頭痕後ナデ、内面には横ハケを施す。(第540図、第541図1~5)は土師質の羽釜である。(第540図1~10、第541図1~3)は羽釜の上半部である。口縁部に付く鈎の位置及び形状で、二つに分けられる。①口縁端部より1cm位下方に鈎が短く付タイプ②鈎が退化し、鈎



第522図 SDN01 I19区 平・断面図

の痕跡が鈍い稜線として残るタイプ等である。①のタイプは（第540図1～10）である。体部は内湾気味に口縁端部に至り、端部は丸い。鉢は口縁部よりわずか下方で、短く付されている。体部外面に指頭痕・ナデ、内面はナデ・指頭痕・ハケ・板ナデなどの手法を用いている。②のタイプは（第541図1～3）である。形状、調整手法等は①のタイプと大差ない。（1・2）は退化し、わずかに鉢を留める。（3）は鉢が形骸化し、鈍い稜線としてその痕を留める。（第541図4・5）は羽釜の脚部である。外面は指頭痕が顕著で、棒状に長い。（第542図4～8）は土師質の釜である。横長の楕円形状の体部を持ち、短い口頭部が垂直気味に付く壺である。（4・7）の肩部には耳が付く。（第541図6）は土師質のこね鉢である。底部は平底で体部は直線状に外上方に延びる。口縁部は湾曲し上方に延び丸く仕上げる。器壁は厚い。（第541図7～10、第542図1～3）は土師質の摺鉢である。口縁端部の平坦面が、広いものと狭いものとで二種類に分けられる。平坦面の広いタイプは（第541図7、第542図2）、狭いタイプは（第541図8・10、第542図1）等である。（第535図30・31、第536図1～7）は土師質甌の口頭部である。いずれも短く外反し、口縁端部の成形の違いで数種類に分けられる。

（第542図11・12）は土師質の土鍤である。

（第543図1・2）は須恵質鍋の上半部である。口縁部は内湾気味に外反し、端部は平坦に仕上げる。内・外面には、指頭痕が認められる。（第543図3）は須恵質のこね鉢の口縁部である。器壁は比較的の厚く、外上方に延びる。端部は平坦だが、端部内側を短くつまみあげている。（第543図4～8）は須恵質の摺鉢の口縁部及び体部片である。（第544図6）は須恵質土器の底部で、糸切りで成形している。

（第537図4・5）は亀山焼の甌である。（4）は上半部である。肩部は丸味を持ち頸部に至る。口頭部は短く外反し、口縁端部は丸く肥厚する。体部外面には格子のタタキ、内面はナデを施す。（5）胴部を欠く。口頭部は緩く外反し、口縁端部は上・下に肥厚している。底部は平底である。外面には格子タタキ及び指ナデ、内面には荒いハケを施している。

（第543図9、第544図1）は備前焼きの甌である。（9）は胴部を欠く備前焼きの大甌である。肩部は丸味を持ち、口縁部は「く」の字状に外反する。底部は平坦で内側に凹む。外面の調整は指頭痕及び板ナデを底部外面に施す。内面の調整は板ナデが顕著に認められる。外面肩部には「二石」の刻印ある。（第544図1）は口縁部である。端部は玉縁で丸味を持つ。（第544図2）は備前焼きの壺の下半部である。底部は平底で、内外面共に板ナデ及び指頭痕が認められる。（第544図3～5）は備前焼きの摺鉢の上半部である。

（第544図7）は綠釉椀の口縁部片である。端部は外側に短く折れる。

（第544図8）は白磁の皿片である。（第544図9～11・13・14）は青磁の椀である。（9）は口縁部片である。端部は尖り気味に丸く納まり、外面には沈線による蓮弁が見出せる。この青磁椀は龍泉窯産である。（10）青磁椀の底部である。高台部は垂直に下方に短く延び、体部は丸味を持ち、外面にはレリーフ状の蓮弁を施している。（13・14）は高台部である。内面見込み部に文様を施す。（第544図12・15）は白磁の椀である。（15）は高台部である。内面見込み部に文様を施す。（第544図16）は青磁の鉢である。

（第544図17・18）は染め付けの資料である。（17）は椀の底部である。高台は「ハ」の字状に開き端部は丸い。

（第545図1）は瓦質の軒丸瓦である。瓦頭面に巴の文様を施している。（第545図2）は瓦質の軒平瓦である。瓦頭面には唐草の文様が認められる。（第545図3）は瓦質の丸瓦である。（第545図4）は土師質の平瓦である。外面には布目、内面には荒いタタキを施している。（第545図5）は棟瓦である。

S D N 01時期の指標になる資料は（第543図9）の備前焼きの甕がある。この甕は備前焼き編年のV期に当り、16世紀代で理解される。この甕の破片は、溝の上層や下層より出土しており、溝の埋没がこの時期より始まり、短期間で終焉を迎えたことが、伺われる。

（西村）

S D IV 03（第545～547図）

H・I 21区で検出した。室町時代末期の屋敷地区画溝廃絶後、その北辺大溝と重複して東西に延び、西端ではこれとは逆に鍵の手に北に延びる。東西部分約35m、南北部分約10mを測る。東西部分で幅約1.2m、南北部分はやや広く2.5m、深さは共に約0.4m程度である。配置形態からS D N 01等と同様に屋敷地区画溝と見ることは可能である。実際、北側に同時期の土坑・柱穴群が比較的密に分布する点もこれと矛盾しない。ただし東・北辺の区画施設が確認できることで疑問が残る。

当初、S D N 01重複部分ではこれと分離できずに調査を進めたため、本溝出土遺物として確認できたのは主に西端部南北溝部分のそれである。

（第545図6～9）は土師質皿。法量から二分できる。（10）は土師質で火鉢に比定される器種である。大形の平底で底部縁の恐らく三箇所に低い台形状の脚が付く。（11）は土師質土鍋で口縁部をやや分ぐ作る。（第545図12・13、第546図1～7）は土師質有脚羽釜である。（第546図5・6）は鍔が非常に退化しほぼ口縁部に接するが、その他では比較的安定し、低い位置にある。（第546図8・9、第547図1・2）は土質擂鉢。口縁端部を三角形状に肥厚させるに留まる（第546図8・9、第547図1）と短く内側に折り曲げる（第547図2）とがある。何れも外面指押さえを顯著に残し、内面にはハケ調整を加え、外面並行条線の配置は疎である。また（第546図8・9）は片口状を成す。（第547図3）は鰐羽口である。（4）は須恵器甕であるが明らかに混入品である。（5）・（6）は須恵質の擂鉢、（7）は備前焼の擂鉢である。

（大久保）

S D IV 04（第521・523・547・548図 S D 8609）

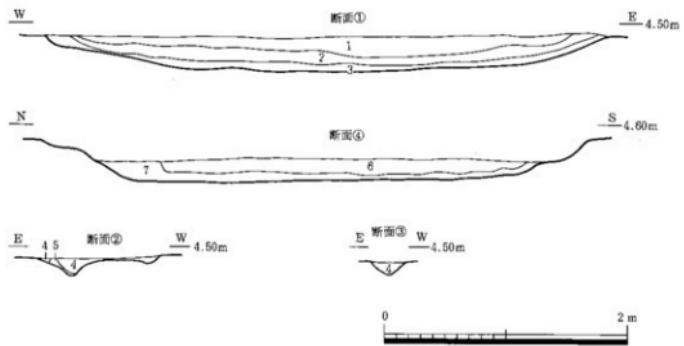
H20区周辺に所在し概ね南北方向に延び、S D N 01等に開まれた屋敷地の東側縁部を区画する溝の一つである。S D N 01の東端部は南に向け約2.0m突出する。その突出点より南へ約0.3m隔てS D N 04の北端部に到る。S D N 04は同地点より概ね南北方向に延びる。なおS D N 01の北端部及び南端部周辺には、西に突出する張出部を持つ。検出長約34.0m、幅約0.4m、深さ約0.1m、方位はN25°Wを測る。北張出部の検出長約5.4m、幅約5.0m、深さ約0.2mを測る。南張出部の検出長約5.5m、幅約4.5m、深さ約0.35mを測る。埋土は灰色系の砂質土である。

S D N 04からの出土遺物中14点の土器を抽出した。なお、溝と張出部の遺物と分けて説明する。

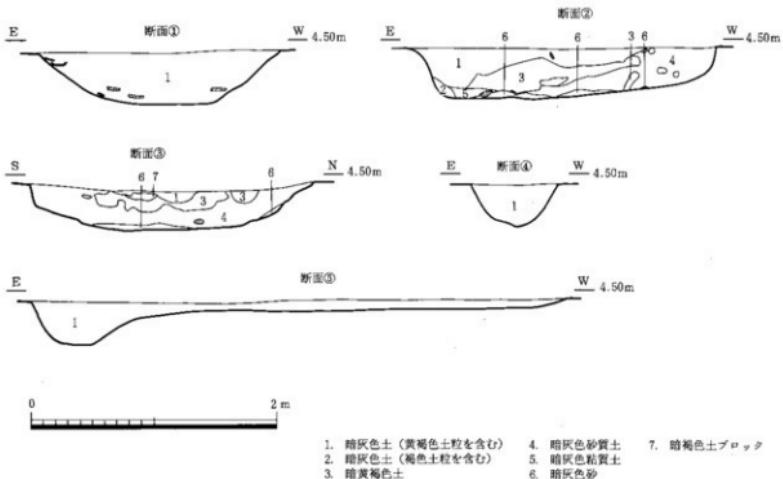
（第547図8～10）は溝より出土した遺物である。（8）は土師質の杯で、混入品であろう。（9）は土師質の土鍋の上半部である。口縁部は「く」の字状に外反し端部は平坦に仕上げる。外面には指頭痕が認められる。（10）は土師質の擂鉢である。

（第547図11～13、第548図1・2）は北側の張出部より出土した土器である。（11）は土師質の火舎である。小片のため脚の数は不明である。底部は平底で、体部は垂直気味に口縁に延びる。端部は平坦である。（12）は土師質の皿である。底部は平底でヘラ切りを施し、口縁は外上方に短く延びる。（13）は土師質の土鍋の上半部である。口縁部は「く」の字状に外反し端部は丸く仕上げる。外面には指頭痕が顯著である。（第548図1）は羽釜の口縁部である。内湾して口縁端部に至る。鍔は可成退化している。（2）は羽釜の脚部である。外面は指頭痕が顯著に認められる。

（第548図3～8）は南側の張出部より出土した土器である。（3）は土師質の杯で混入品であろう。



第523図 SD N 04 断面図



第524図 SD N 05 断面図

(4) は土師質の皿である。底部はヘラ切りを施し平坦である。口縁は短く外上方に延び、端部に至る。端部は丸く仕上げている。(5) は土師質の壺ないし甕の口頸部である。頸部は垂直に短く延び、端部は丸い。(6) は底部を欠く土師質の土鍋である。体部は丸味を持ち、口縁部に至る。口縁部は「く」の字状に外反し端部は丸い。外面上半部に指頭痕、下半部に板ナデ・ハケ等が認められる。(7) は土師質の羽釜の上半部である。体部は内湾気味に口縁端部に至る。端部はわずかに丸く肥厚する。鉢は短く口縁端部より約1cm下方に付される。(8) は須恵質の壺下半部である。底部は平坦で体部は外上方に垂直気味に延びる。内外面共に指頭痕が認められる。出土遺物よりこの溝の時期は、SDN01同様の16世紀頃であろう。

(西村)

SDN05 (第524・548・549図 SD8607)

G20区周辺に所在し概ね南北方向に延び、SDN01等に囲まれた屋敷地の東・南側縁部を区画するもう一つの溝である。SDN04より東に約11.0m隔てた地点を、SDN04と同一方向に延び、微高地の縁辺部で西南方向に向きを変え微高地の縁辺部沿いに約50.0m延びる。なお、この溝にはSDN04同様西に向いて突出する張出部及び、この溝より分岐する小規模な溝(SDN06・08)、溜り状に深く凹んだ不定形遺構(SXN01)等の遺構が附加されている。検出長約94.0m、幅約0.7m、深さ約0.3m、方位はN24°Wを測る。埋土は暗灰色系の砂質の強い土である。

SDN05からの出土遺物中19点の土器を抽出した。(第548図9~15)は土師質の小皿である。底部はヘラ切りを施し平坦である。体部は短く外上方に直線状に延び、口縁端部に至る。端部は丸く仕上げている。(第548図16)は亀山焼きの土師質甕の上半部である。口頸部は緩く外反し、口縁端部はわずかに上下に肥厚させ平坦に仕上げる。肩部外面には格子のタタキ、内面には荒いハケを施す。(第548図17)は土師質の火鉢の下半部である。底部に脚部が付くが、残りが悪いため三足か四足かは不明である。脚部外面に指頭痕、体部外面・内面にハケ、特に内面のハケは顕著である。(第549図1)は土師質の土鍋である。体部は丸味を持ち、口縁部は「く」の字状に外反し、端部は丸く仕上げる。外面に指頭痕、面に横ハケ及び指頭痕が認められる。(第549図2)は土師質の羽釜である。体部は丸味を持ち、口縁端部に至る。端部は丸く仕上げる。鉢は口縁端部よりわずか下方に付く。内・外面共に指頭痕が顕著に見られる。(第549図3)は土師質の摺鉢の上半部である。わずかに内湾し、外上方の口縁端部に至る。口部は平坦に肥厚する。

(第549図4)は備前焼きの小皿である。(第549図5)は備前焼きの瓶の底部である。底部外面は糸切りを施す。(第549図6・7)は備前焼きの大甕である。(6)は口縁部である。(7)は底部である。平底で、内・外面指頭痕及び板ナデが認められる。

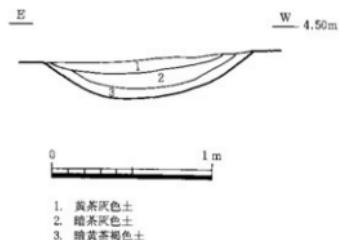
(第549図8)は陶器の小皿である。内外面に白色の釉を掛けている。(第549図9・10)は陶器の碗の底部である。内面は蛇の目釉かきを見出せる。出土遺物よりこの溝の時期は、SDN01同様の16世紀頃であろう。

(西村)

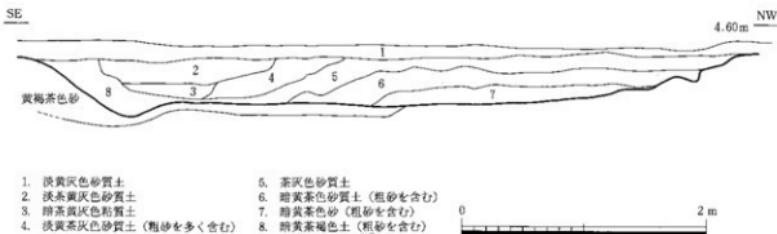
SDN06 (第525・550図)

H19区に所在しSDN05より北に分岐する小規模な溝である。SDN05との切り合は見出せなかつた。なお、この溝の方向はSDN04・05とはほぼ同一方向である。検出長約14.0m、幅約1.2m、深さ約0.3m、方位はN25°Wを測る。断面形は浅いレンズ状を呈する。

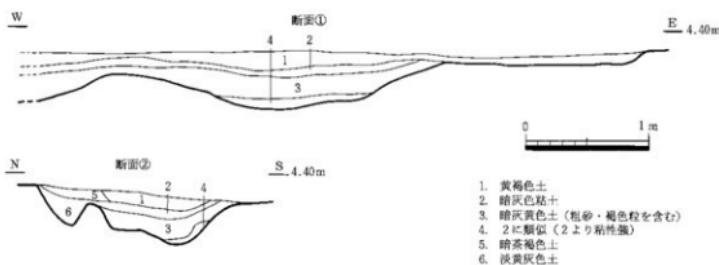
SDN06からの出土遺物中14点の土器を抽出した。(第550図3~7)は土師質の皿である。底部はヘラ切りで平坦に仕上げる。体部は外上方に短く延びる。口縁端部は丸く仕上げている。(第550図8)は



第525図 SD N 06 断面図



第526図 SD N 08 断面図



第527図 SD N 09 断面図

土師質の土鍋の上半部で、体部は丸味を持ち口縁部に至る。口縁部は「く」の字状に外反し端部は丸い。(第550図9)は土師質の羽釜の上半部である。体部は内湾し口縁端部に至る。鍔は短く端部よりわずか下方に付く。内・外面に指頭痕が見出せる。(第550図10・11)は羽釜の脚部である。(第550図12)は底部を欠く土師質の摺鉢である。体部は内湾気味に外上方に延びる。口縁部は平坦に肥厚する。外面には指頭痕が顕著である。

(第550図13)は瓦質の甕の口縁部である。

(第550図14)は備前焼きの大甕の口類部である。類部は内傾し口縁部は端部を折り返し肥厚する。

出土遺物よりこの溝の時期は、SDN01同様の16世紀頃であろう。(西村)

SDN08(第526・550図)

H18区に所在しSDN05より北に分岐する不整形な張り出し状の溝である。SDN05との切り合いは不明瞭で見出せなかった。幅約0.5~4.0m、深さ約0.5m、方位はN25°Wを測る。断面形は幅広な逆台形状を呈する。

SDN08からの出土遺物中6点の土器を抽出した。(第550図15・16)は土師質の杯である。(第550図17・18)は土師質の皿である。底部はヘラ切りで、平坦に仕上げる。体部は外上方に直線状に延びる。

(第550図19)は土師質の土鍋の上半部である。体部は内湾し口縁部は「く」の字状に外反する。端部は平坦に仕上げる。外面には指頭痕が見出せる。(第550図20)は土師質の羽釜の上半部である。体部は内湾気味に延び口縁端部に至る。端部は丸く仕上げる。鍔は短く口縁端部よりわずか下方に付く。外面二指頭痕、内面には横ハケ及び指頭痕が顕著である。

この溝はSDN05と切り合いを持たず分岐する点より、SDN05と同一時期と考えられる。(西村)

SDN09(第527・551図)

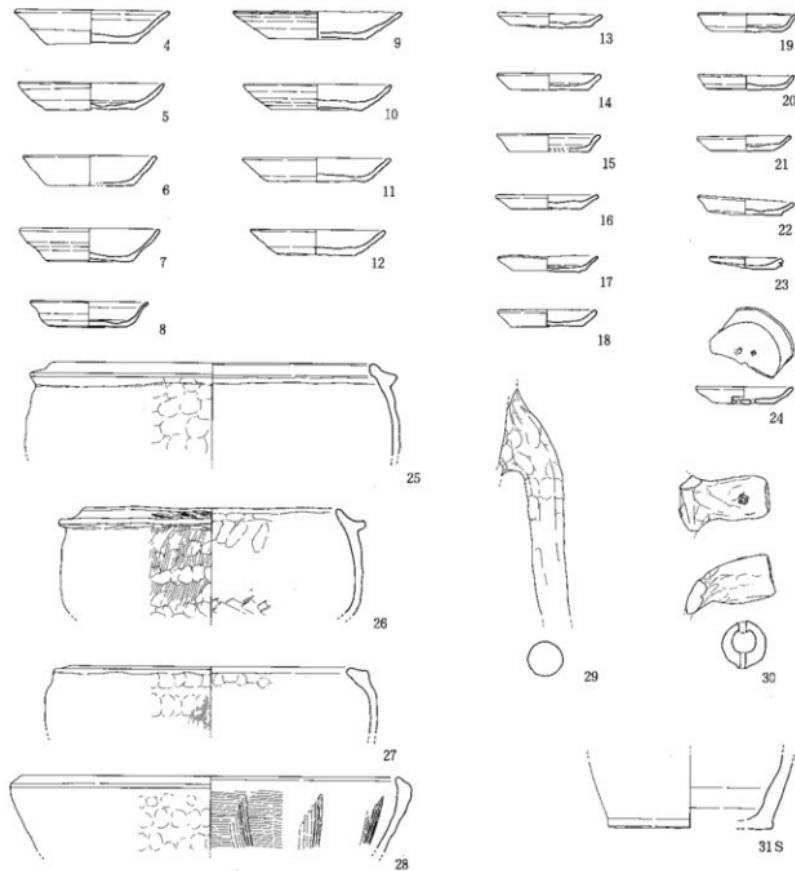
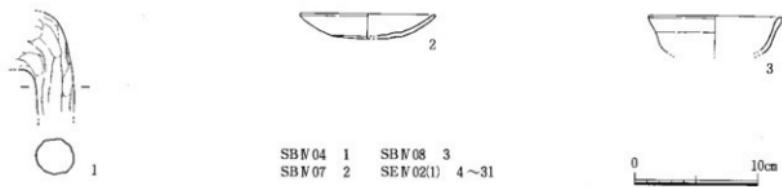
H19区に所在し概ね東西方向に延びる。SEN01と接するが、切り合いは認められず、一連の遺構である。隣接して南にSDN06が見出せる。検出長約4.5m、幅約1.8m、深さ約0.5mを測る。断面形は幅広な逆台形状を呈する。底部は部分的に凹む所がある。

SDN09からの出土遺物中7点の土器を抽出した。(第551図1~3)は土師質の皿である。(第551図4)は土師質の羽釜の脚部である。外面には指頭痕が顕著である。(第551図6)は土師質の釜である。体部は横長の楕円形状を呈し、頸部は短く垂直に付く。口縁端部は平坦に仕上げる。(第551図5)は土師質のこね鉢の下半部である。底部は平底で、体部は外上方に延びる。外面には指頭痕を残す。

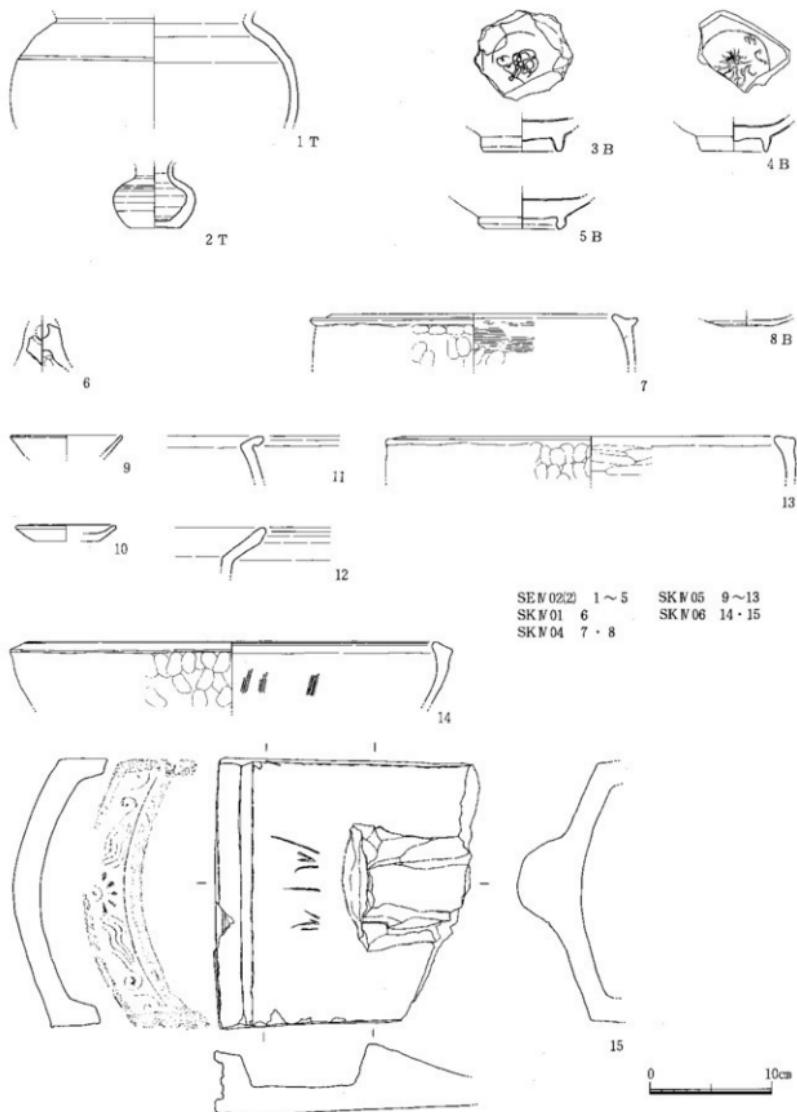
(第551図7)は青磁の椀底部である。高台部は短く垂直に延び、端部は丸く仕上げている。釉は外外面に付され、内面に花のヘラ描き文様を施す。出土遺物よりこの溝の時期は、SDN01同様で16世紀頃であろう。(西村)

SDN12

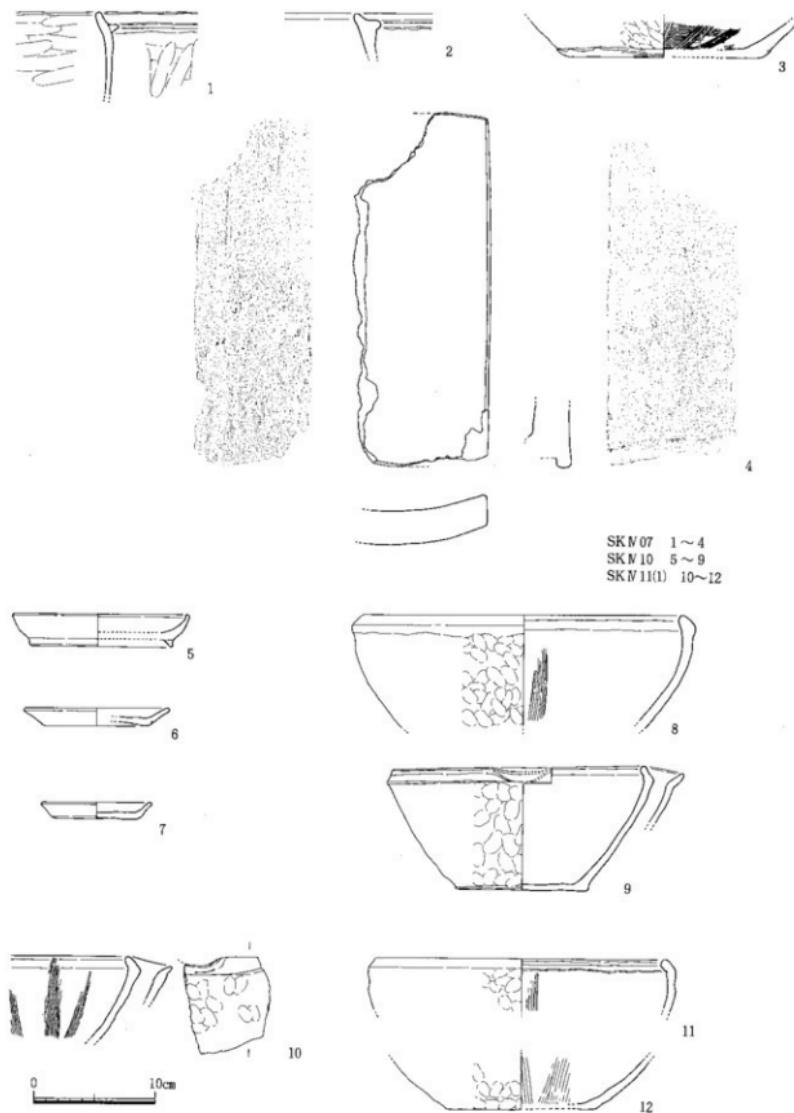
I7区からJ7区にかけて検出された、概ね東西方向に延びる溝である。溝の上面にはコンクリート畦が溝と同一方向に延びており、この畔により上半部は攪乱を受けている。検出長約35.0m、幅約2.5m、深さ約0.7mを測る。断面形は不定形なU字状を呈する。埋土は黄灰色系の砂質土ないしシルトである。(西村)



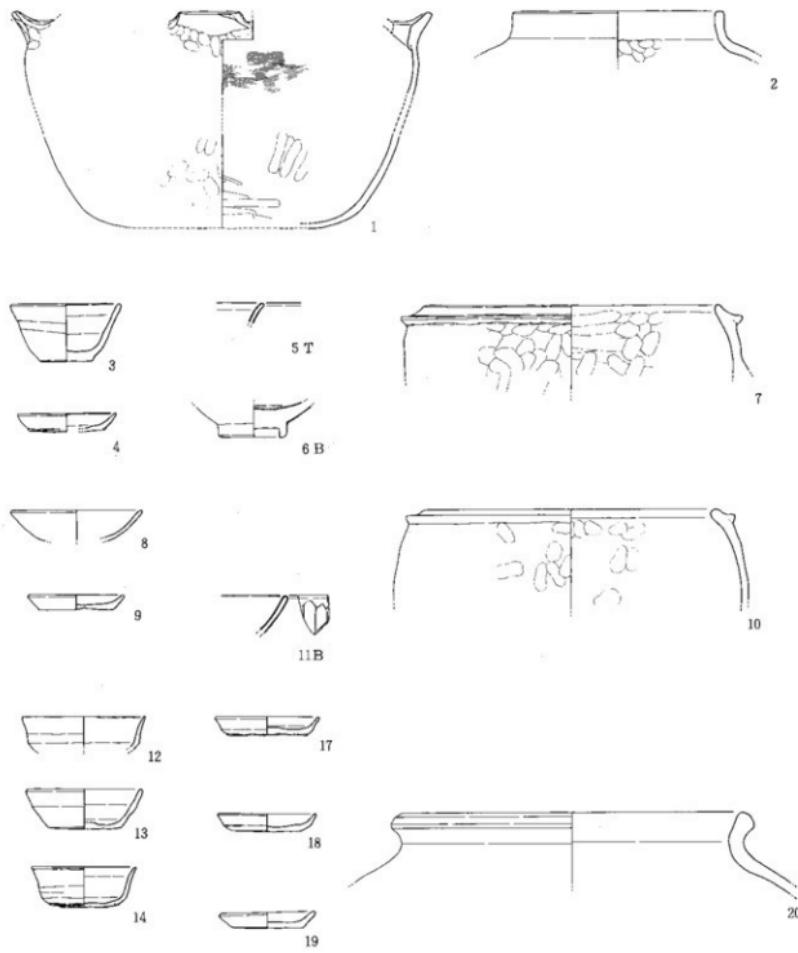
第528図 N期掘立柱建物 出土土器 1, 井戸 出土土器 1



第529図 N期井戸 出土土器2、土坑 出土土器1



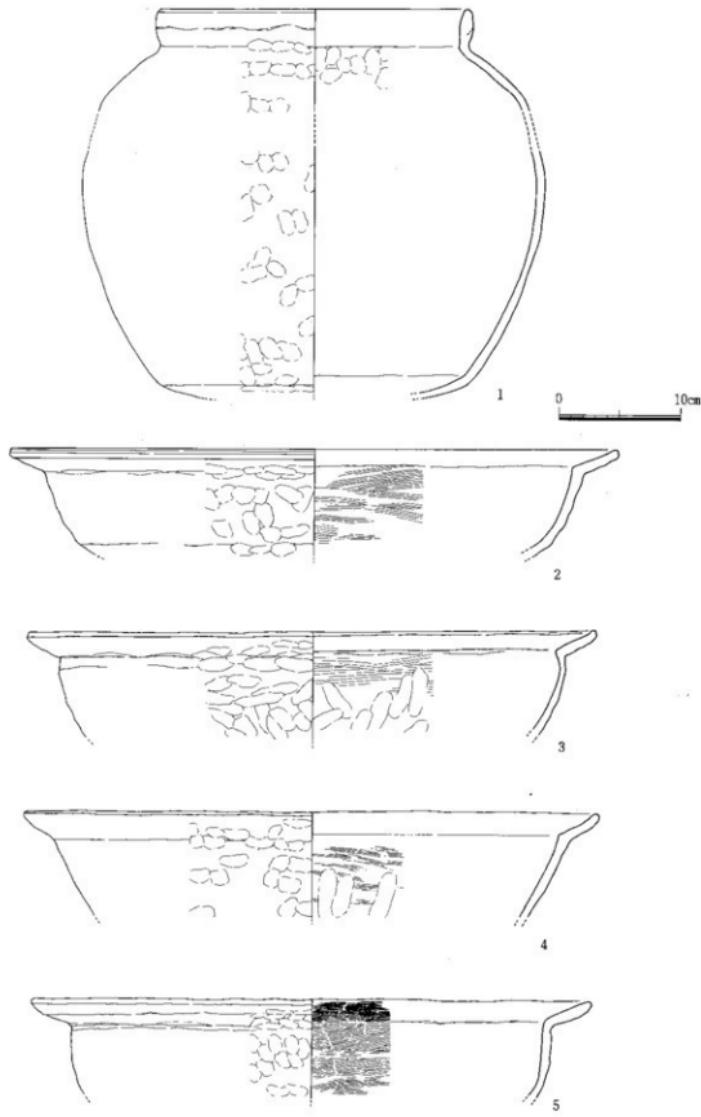
第530図 N期土坑 出土土器 2



SKN11(2) 1・2 SXN01(1) 12~20
 SKN12 3~6
 SKN14 7
 SKN16 8~11

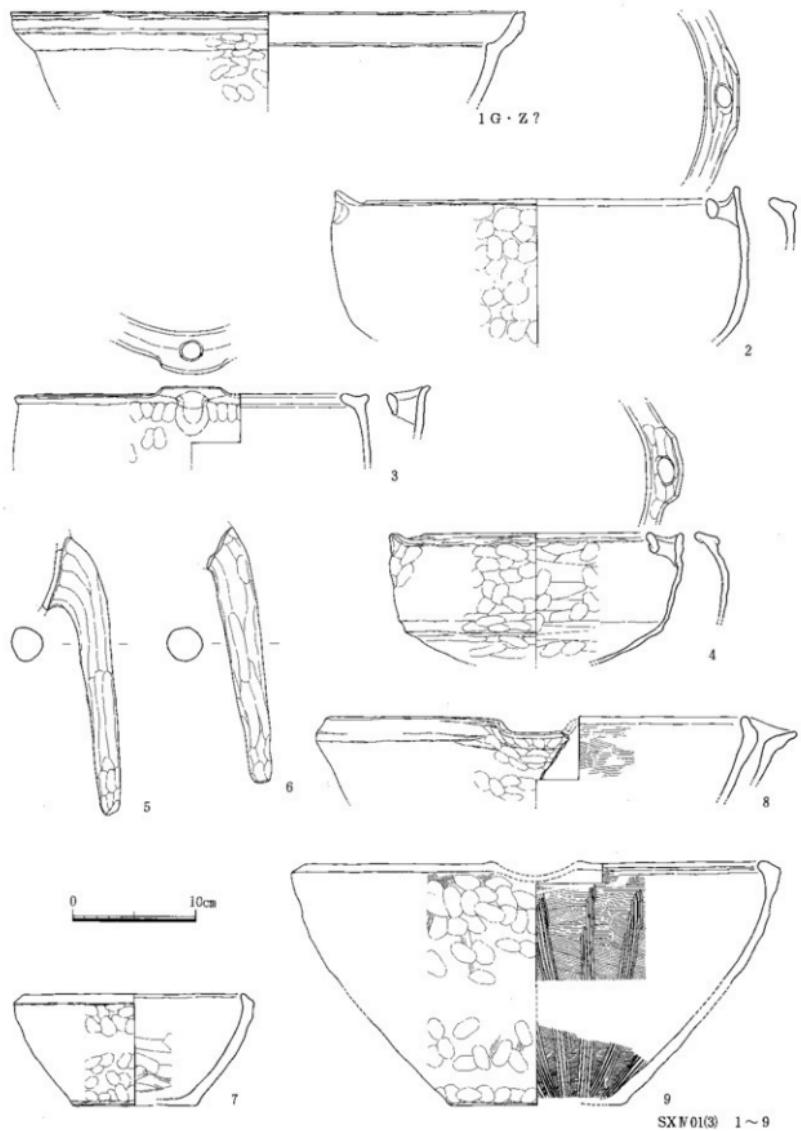


第531図 N期土坑 出土土器 3, 不明遺構 出土土器 1

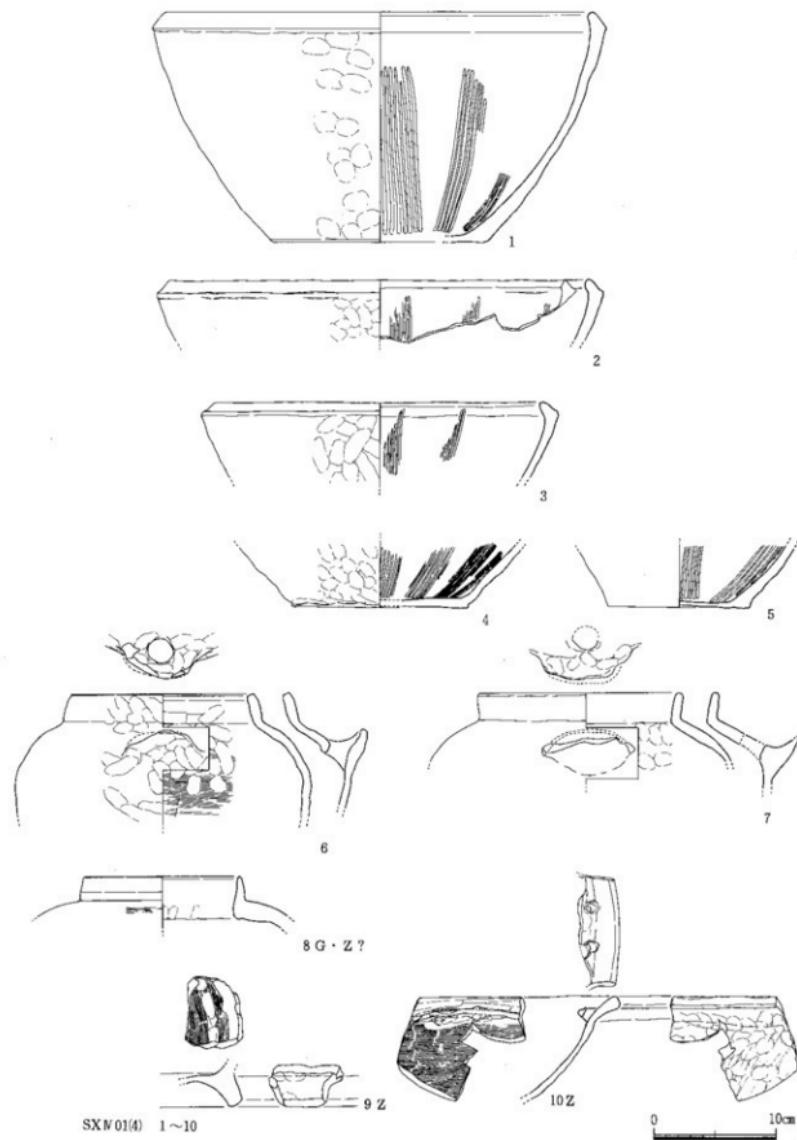


第532図 N期不明遺構 出土土器 2

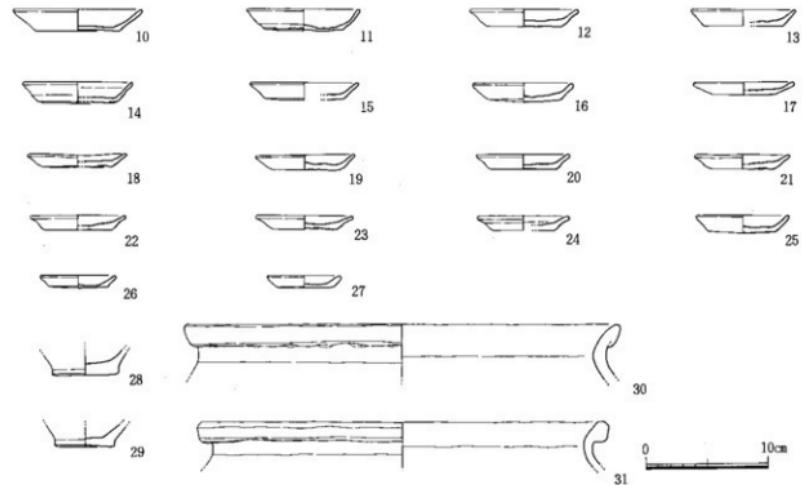
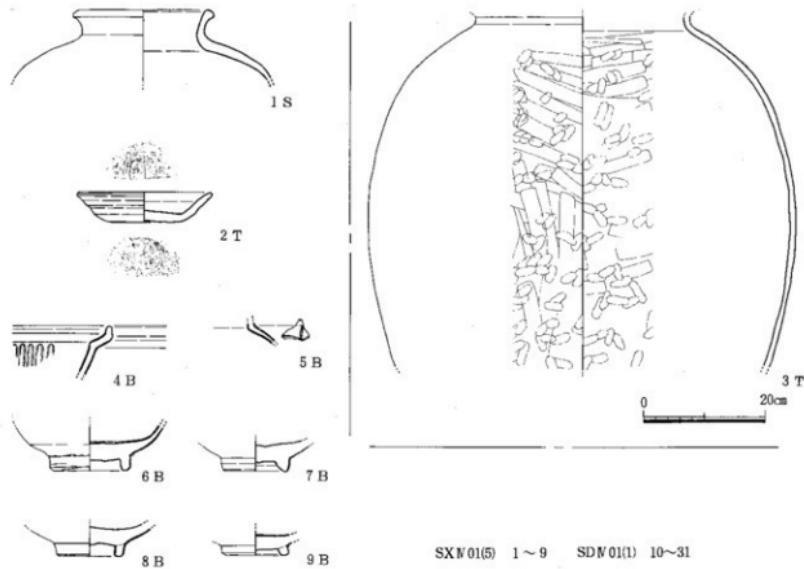
SXW01(2) 1~5



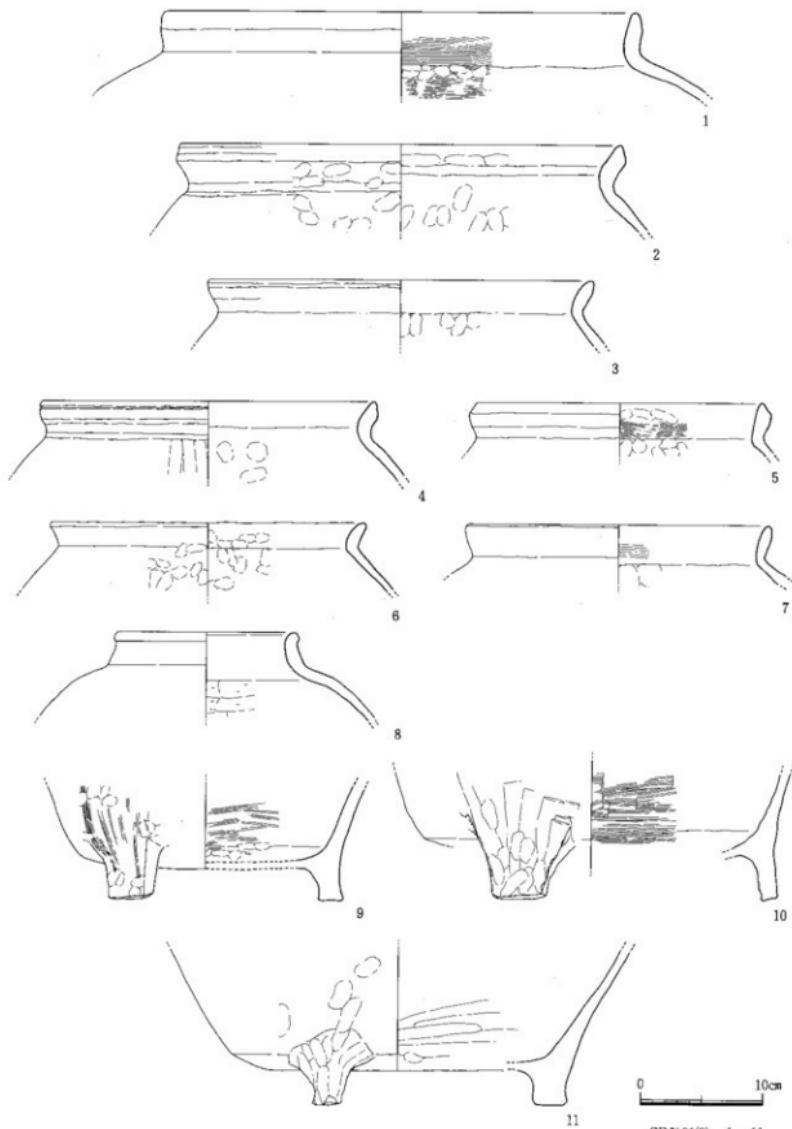
第533図 N期不明遺構 出土土器 3



第534図 N期不明遺構 出土土器 4

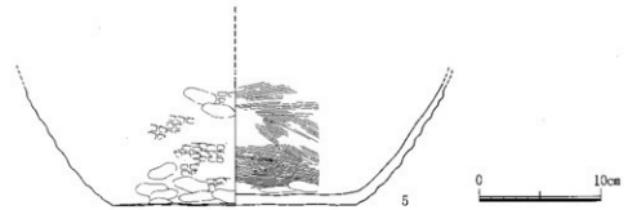
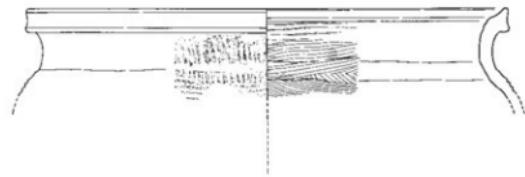
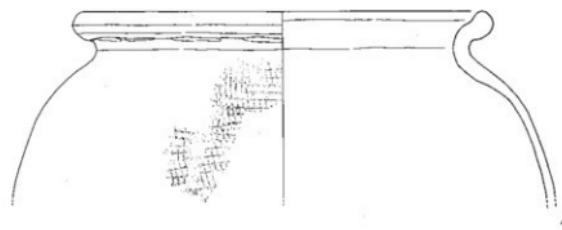
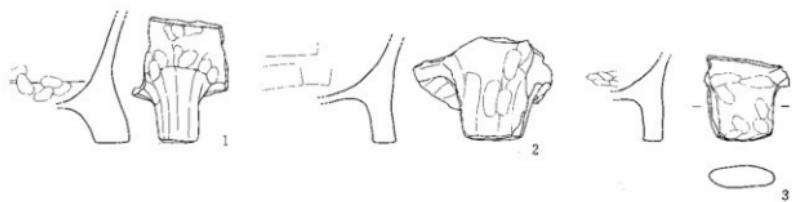


第535図 N期不明遺構 出土土器5, 满 出土土器1



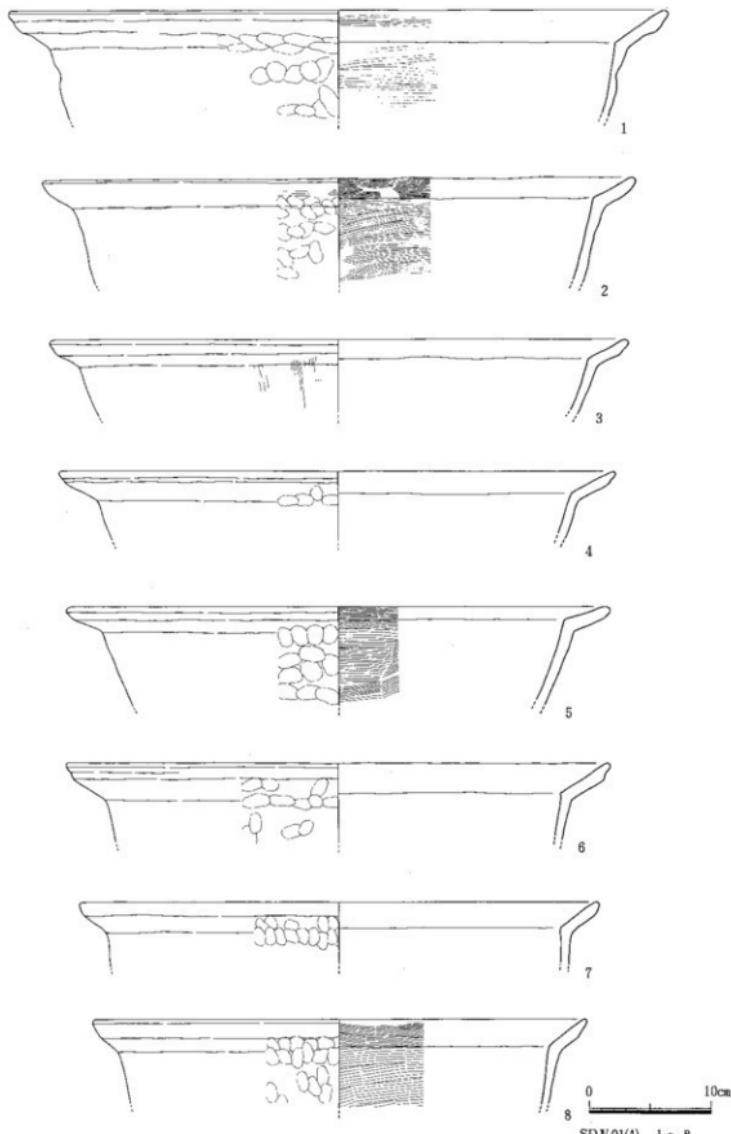
第536図 N期溝 出土土器 2

SDN 01(2) 1~11

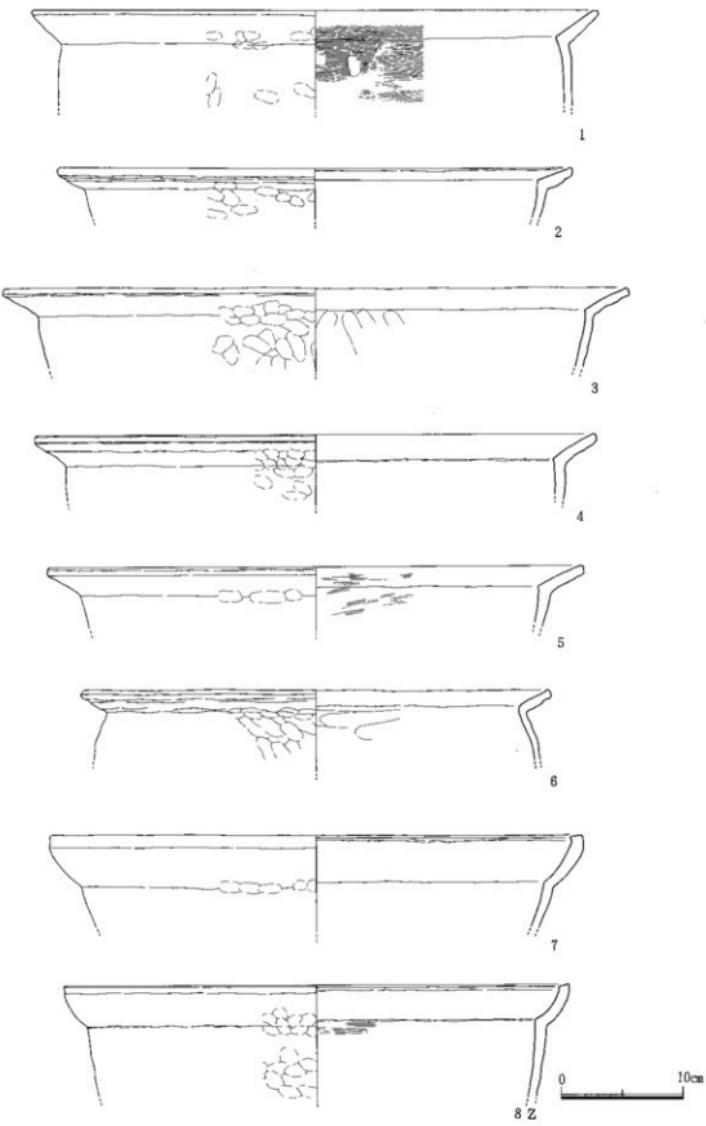


SDN 01(3) 1~5

第537図 N期溝 出土土器 3

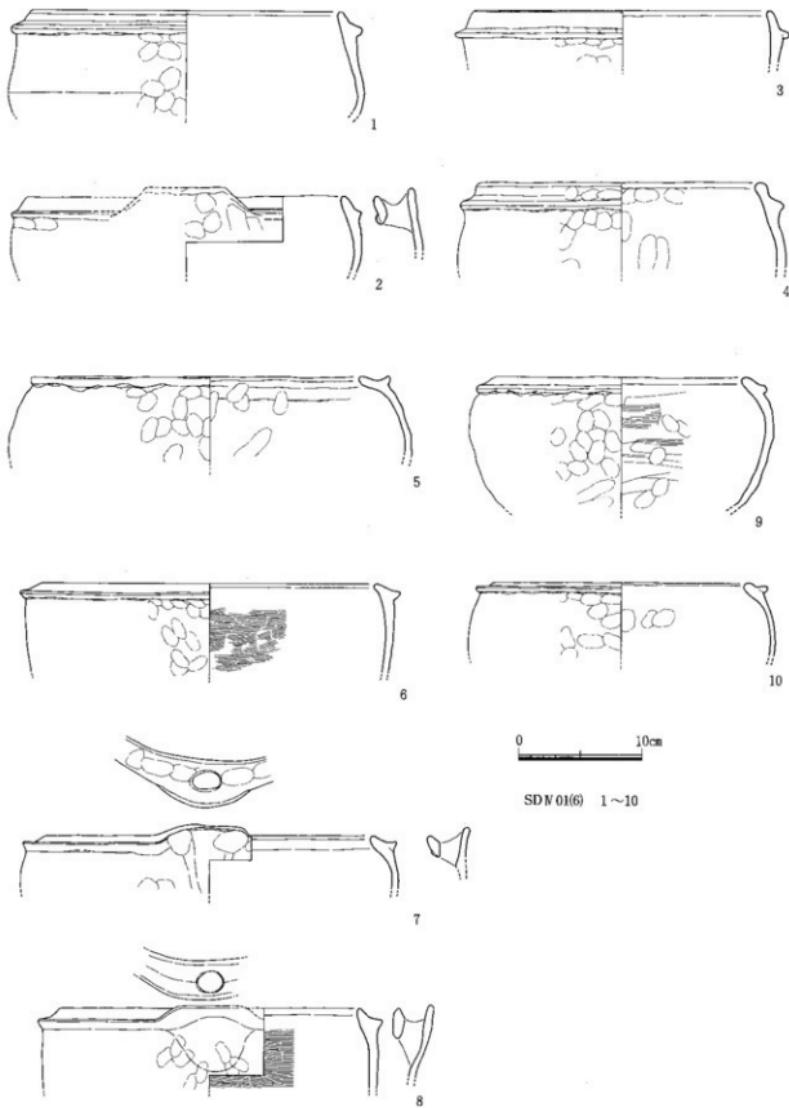


第538図 N期溝 出土器4

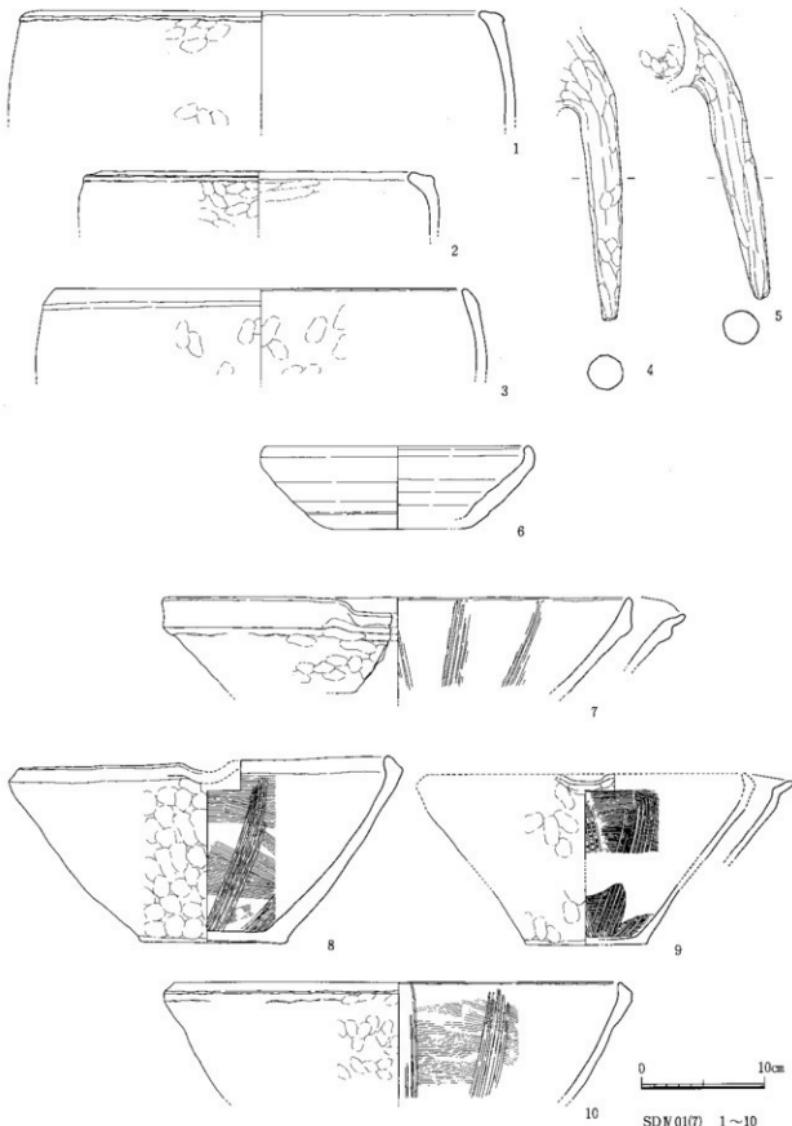


第539図 N期満 出土土器 5

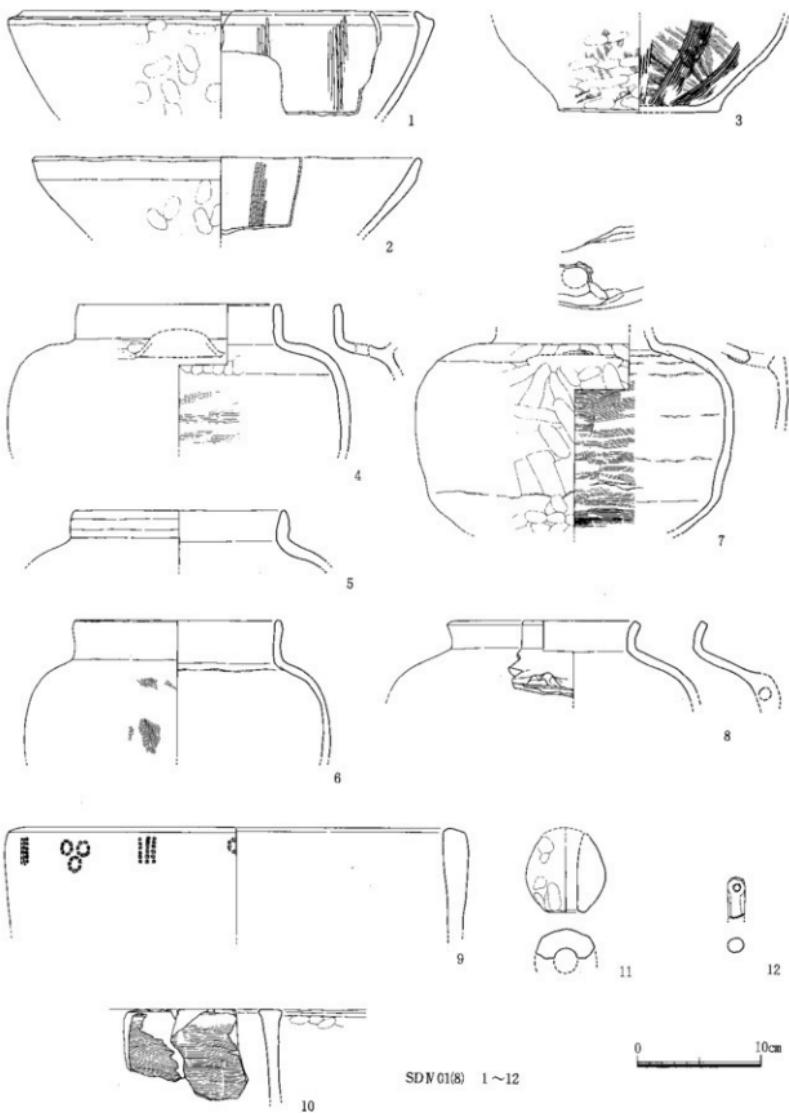
SDM 01(5) 1 ~ 8



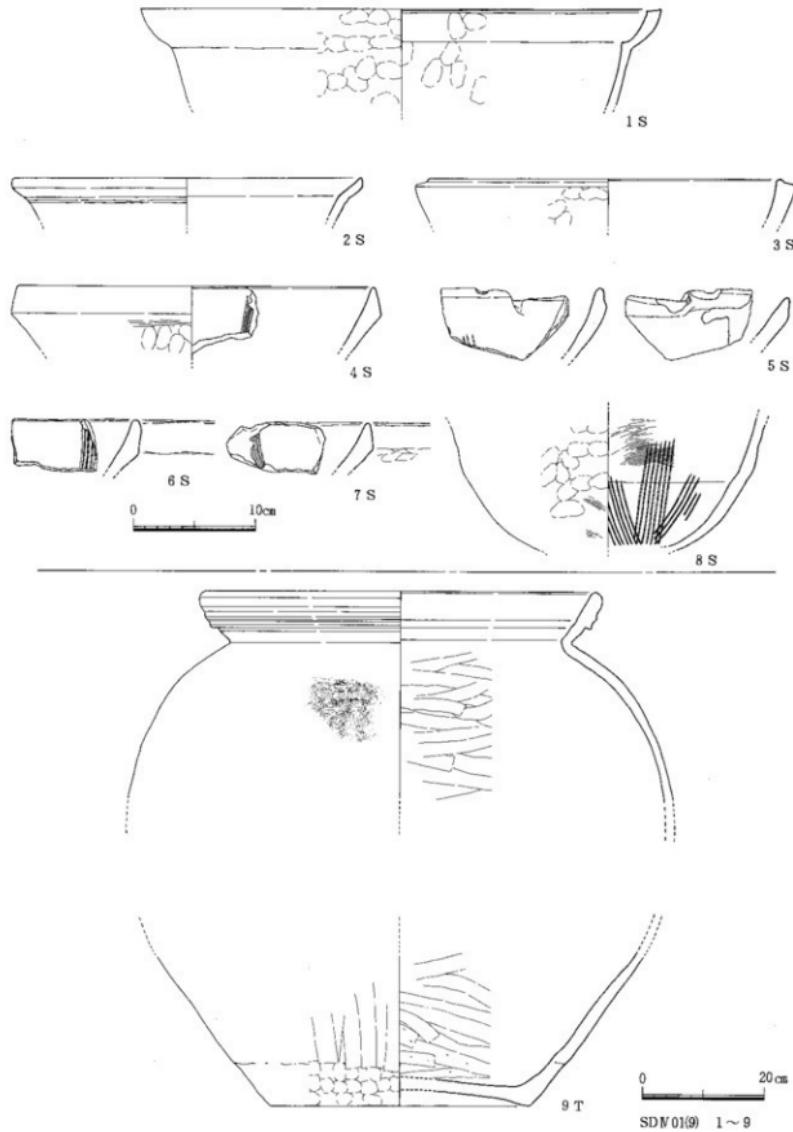
第540図 N期溝 出土土器 6



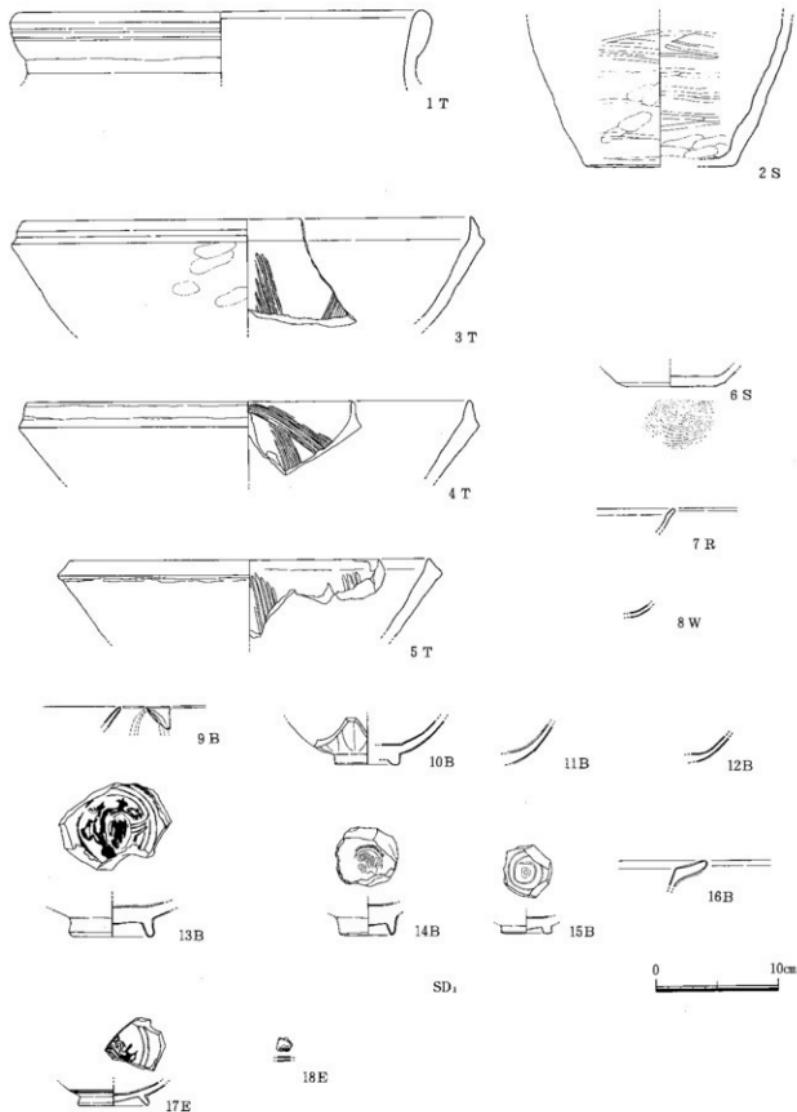
第541図 N期溝 出土土器 7



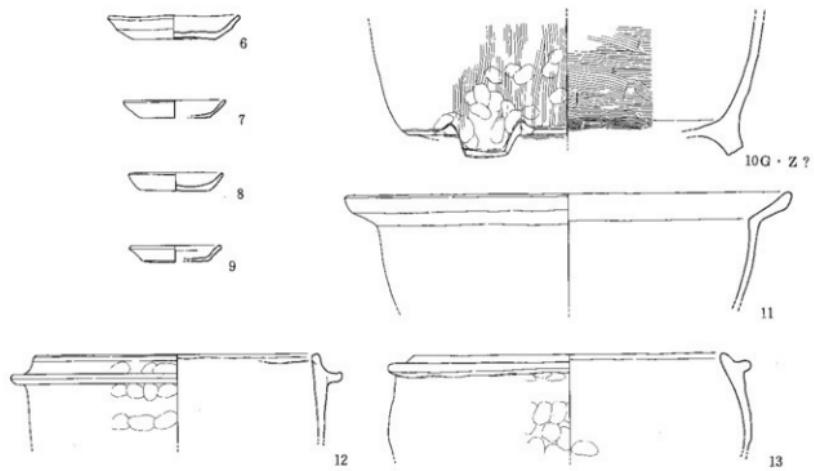
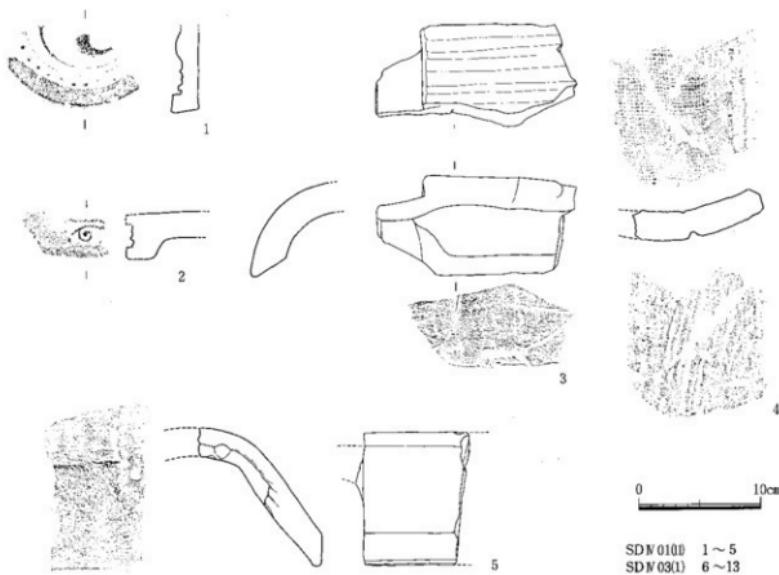
第542図 IV期満出土土器 8



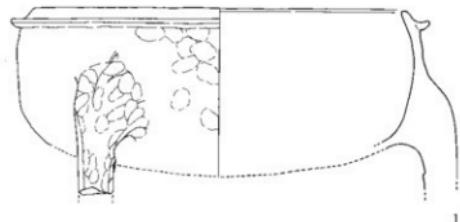
第543図 N期溝 出土器 9



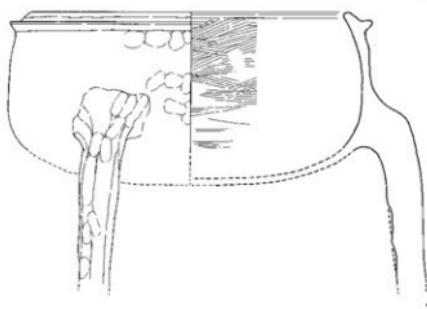
第544図 N期溝 出土土器10



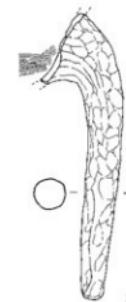
第545図 N期青出土土器11



1



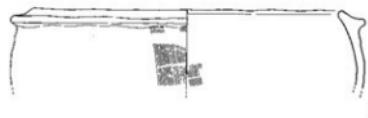
2



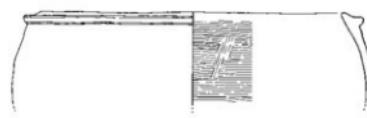
3

0 10cm

SDN 03(2) 1 ~ 9



4



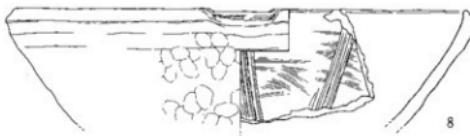
5



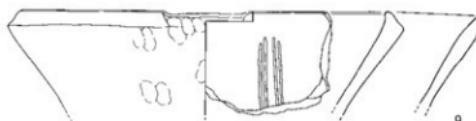
6



7

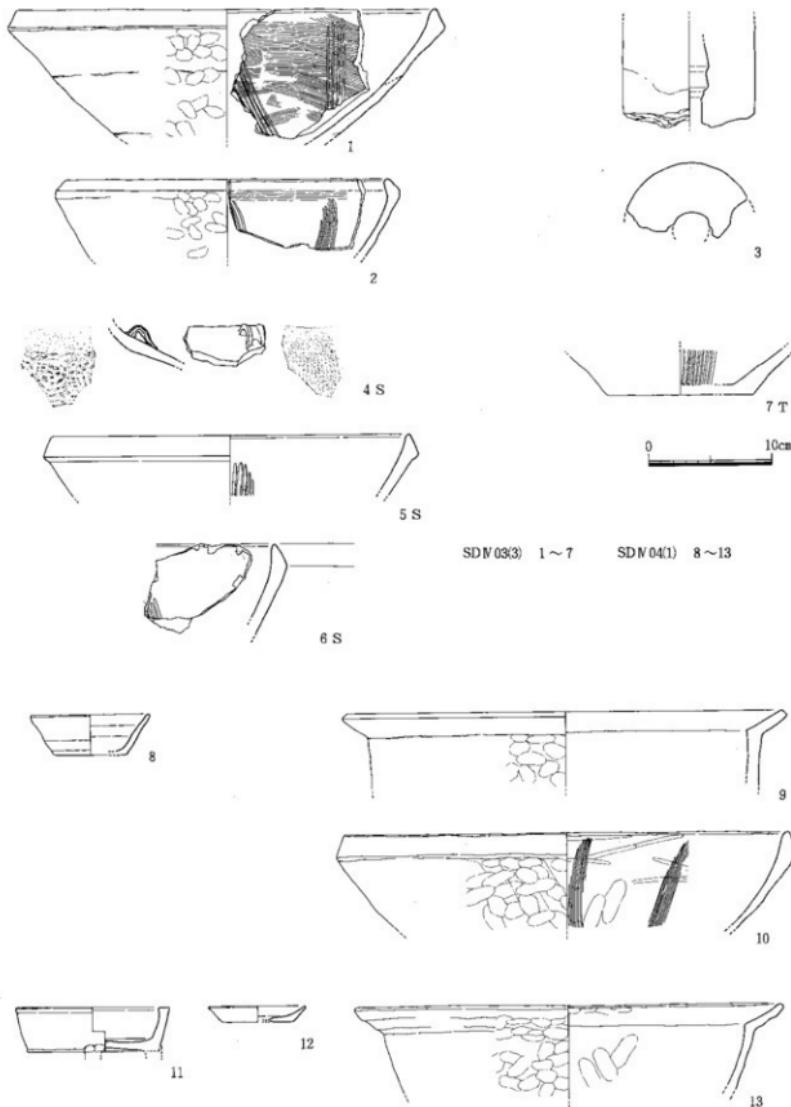


8

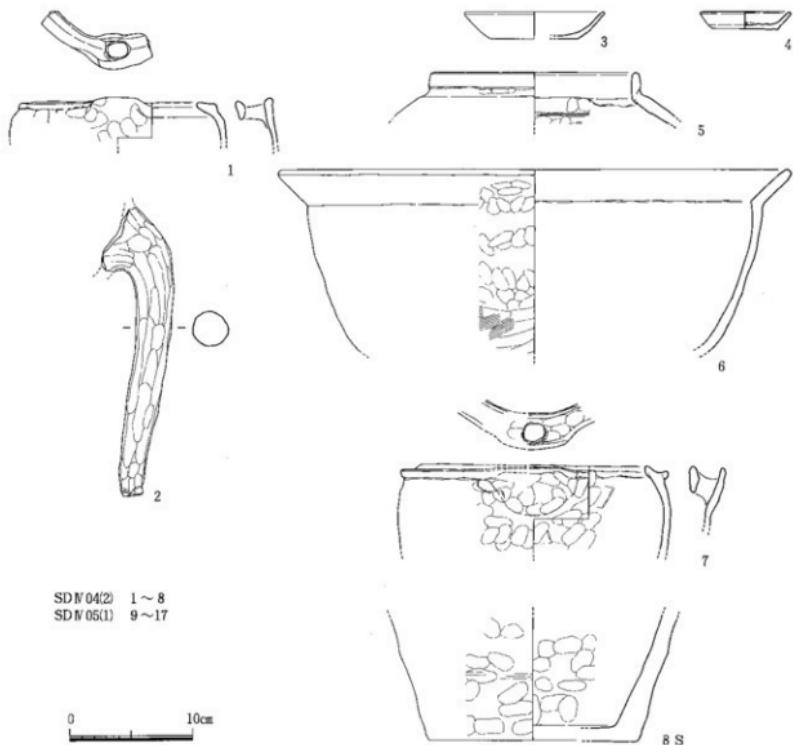


9

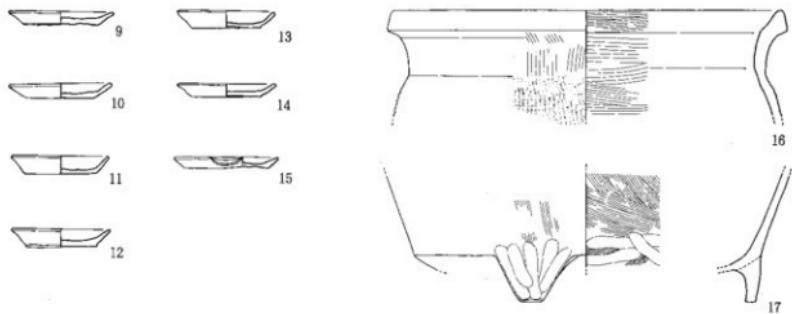
第546図 N期満 出土土器12



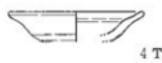
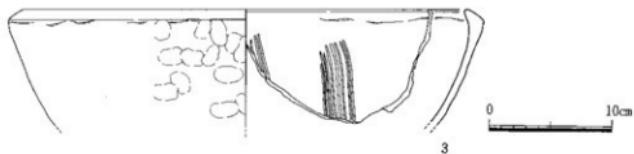
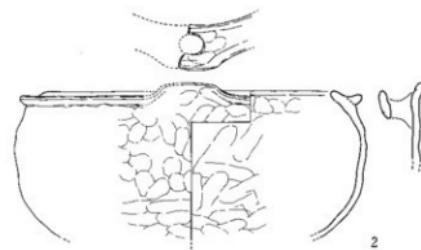
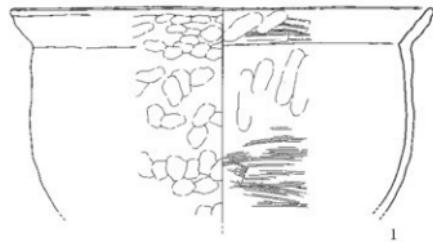
第547図 N期溝 出土土器13



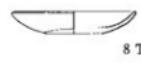
SD N 04(2) 1~8
SD N 05(1) 9~17



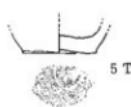
第548図 N期溝出土土器14



4 T



8 T



5 T



6 T



9 T



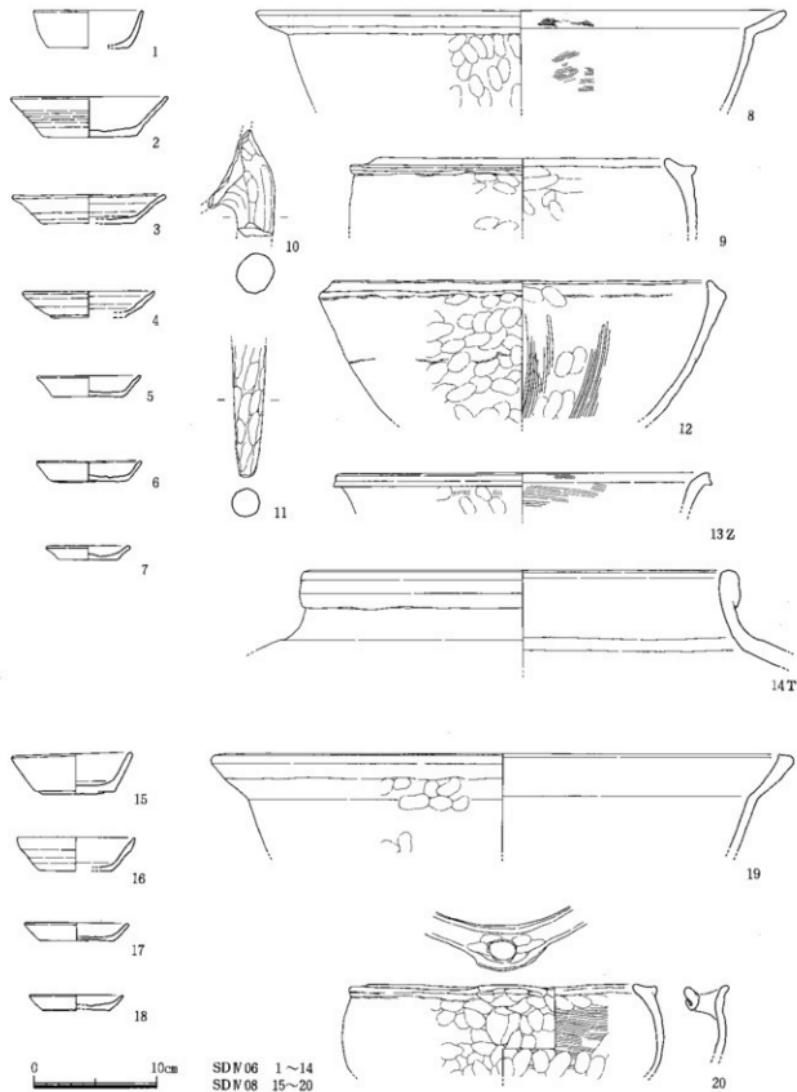
7 T



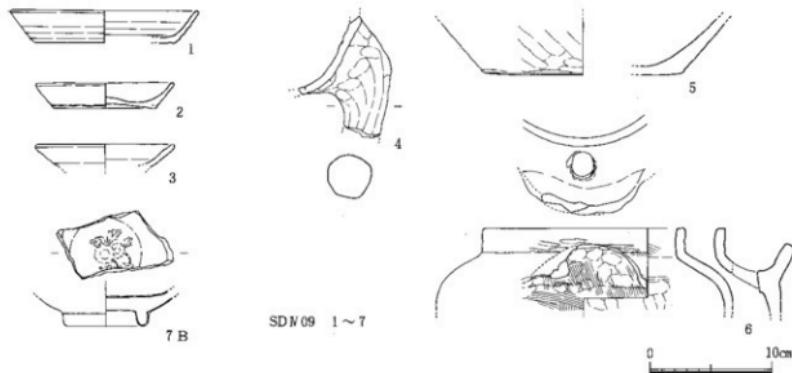
10 T

第549図 N期溝 出土土器15

SDN 05(2) 1~10



第550圖 N期溝 出土土器16



第551図 N期溝 出土土器17

第6節 石器

1. 第Ⅰ期の遺構出土石器

微高地上のⅠ期に該当する遺構の中で石器の出土した遺構は、堅穴住居址1・土坑6・不明遺構5・溝3等で合計15遺構を数える。これらの遺構からはサスカイト製の打製石器を主体にコンテナにして33箱、点数で約1800点を数える石器類が出土した。次にこれらの石器より代表的なものを抽出し、遺構順に紹介する。

S H I 01出土石器（第552・554・555図 図版340・341）

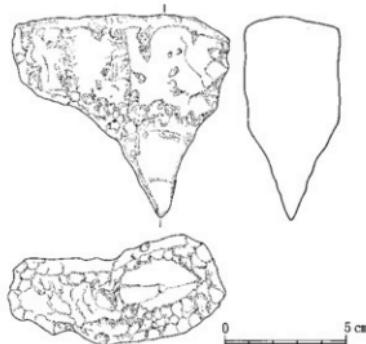
S H I 01より出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計95点を数える。内訳は石鎌3・石錐1・楔形石器類4・削器3・打製石斧3・敲き石1・決入石器1・二次加工ある剝片9・剝片67・石核2・その他1である。代表的なもの15点を抽出した。

（第554図1～3）は石鎌である。（1）は結晶片岩製の磨製石鎌である。（2・3）はサスカイトである。（3）は先端部が細く尖りかなり鋭利である。（第554図4～6）サスカイト製の楔形石器に関連するものである。（4）は楔形石器（5）は楔形石器の削片（6）は楔形石器の素材である。（第554図7・8）はサスカイト製の削器である。何れも素材面を多く残している。（第554図9・10、第555図1）はサスカイの打製石斧である。（10）は肉厚な素材剝片の、分割面側に側縁より大まかな整形を加えている。またその形状より石核転用の可能性がある。（第555図2）はサスカイト製の肉厚な剝片を素材とした石核である。片側縁部に、交互剥離状の剝片剥離痕が認められる。（第555図3・4）はサスカイト製の二次加工ある剝片である。何れも比較的大形である。（第552図）は砂岩製の性格不明石器である。円錐状の機能部より穿孔具の一例であろう。この様な石器は弥生前期の資料の中で他に二例ほどある。

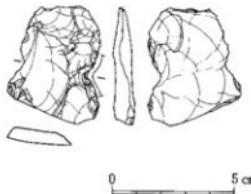
S K I 03出土石器（第556図）

S K I 03より出土した石器の出土点数は合計10点を数える。内訳は楔形石器1・削器1・打製石斧1・剝片7である。代表的なもの1点を抽出した。

（第556図1）はサスカイト製の削器である。素材面及び分割面を多く残している。刃部の調整はか



第552図 SH I 01 出土石器(1)



第553図 SX I 04 出土石器

なり大まかである。

S K I 04出土石器（第556図）

S K I 04より出土した石器の出土点数は合計46点を数える。内訳は石鎌1・楔形石器類2・削器2・二次加工ある剝片3・剝片37である。代表的なもの2点を抽出した。

（第556図2）はサヌカイト製の石鎌である。（第556図3）はサヌカイト製の楔形石器の削片である。

S K I 05出土石器（第556図）

S K I 05より出土した石器は、剝片を主体として合計238点を数える。内訳は石鎌2・削器2・二次加工ある剝片1・剝片233である。代表的なもの2点を抽出した。

（第556図4）はサヌカイト製の石鎌である。（第556図5）はサヌカイト製の剝片である。背面は礫面のみで構成され、側縁には剝片剝離を意図した潰れ痕が顕著に認められる。礫面上の任意な点を加擊して、剝片剝離を行なったことがが伺われる。

S K I 08出土石器（第556図）

S K I 08より出土した石器の出土点数は合計18点を数える。内訳は石錐1・二次加工ある剝片3・剝片14である。代表的なもの1点を抽出した。

（第556図6）はサヌカイト製の石錐である。素材剝片の側縁部に、極軽度の調整を施して錐部を形成している。

S X I 01出土石器（第557図 図版342）

S X I 01より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計166点を数える。内訳は石鎌1・石錐1・楔形石器類13・削器8・磨製石包丁1・石鎌1・抉入石器2・二次加工ある剝片10・剝片126・石核3である。代表的なもの13点を抽出した。

（第557図1）はサヌカイト製の石鎌である。（第557図2）はサヌカイト製の石錐である。素材剝片の一端に、極軽度調整を加え短い錐部を作り出したものである。（第557図3～8）はサヌカイト製の楔形石器に関連するものである。（3）は楔形石器の削片（4～8）は楔形石器である。（5・7）には明瞭な截断面が認められる。（第557図9）は比較的残りの悪い、結晶片岩製の磨製石包丁である。（第557図10）は先端部を欠いた、サヌカイト製の石鎌である。比較的大きな剝片を素材に用い、その側縁部に軽度の調整を加えたものである。そのため素材の分割面及び礫面を多量に残す。（11・12）サヌカイト製の石核である。（12）は肉厚な剝片を素材とした石核である。裏面に礫面を残し、多方向より剝片剝離痕が認められる（第557図13）はサヌカイト製の縦長状の剝片である。背面には、縦長状の剝片剝離痕が認められる。

S X I 03出土石器（第558・559図 図版343・344）

S X I 03より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計525点を数える。内訳は石鎌2・石錐5・楔形石器類26・削器16・打製石包丁1・石鎌2・打製石斧13・砥石1・蔽き石2・二次加工ある剝片63・剝片390・石核2・その他2である。代表的なもの13点を抽出した。

（第558図1・2）はサヌカイト製の石鎌である。（第558図3・4）はサヌカイト製の石錐である。（3）はサヌカイト製の打製石包丁転用の石錐である。石包丁の抉りを明瞭に残している。（第558図5）は楔形石器である。側縁部には明瞭な截断面が認められる。（第558図6）はサヌカイト製の削器である。刃部には潰れ痕が顕著に認められる。（第558図7）は結晶片岩製の打製石包丁である。片面に浅い抉れ部が認められる。（第558図8・9）はサヌカイト製の石鎌である。両者ともに、器面調整をさほど

ど施さず、素材剥片の側縁部に軽度の調整を加え形成している。(8)の石鎌は比較的短かくて幅広なタイプである。(第559図1)はサスカイト製の打製石斧である。(第559図2)はサスカイト製の敲き石である。小円礫をそのまま用い、ほぼ全面にわたり敲打痕が認められる。(第559図3)は結晶片岩製の砥石である。(第559図4)は安山岩製の不明石器である。両側縁に軸線に対して直交する使用痕が認められることより、穿孔具に分類出来るものかもしれない。

S X I 04出土石器 (第553図)

S X I 04より出土した石器の出土点数は合計5点を数える。内訳は抉入石器1・二次加工ある剥片1・剥片3である。サスカイト製の抉入石器を1点同化した。(第553図)

S D I 02出土石器 (第560・561・562図 図版345・346・347)

S D I 02より出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計454点を数える。内訳は槍先形尖頭器1・石鎌10・石錐3・楔形石器類17・削器20・石鎌1・打製石斧8・磨製石斧1・敲き石2・二次加工ある剥片36・剥片344・石核6・その他5である。代表的なもの31点を抽出した。

(第560図1~8)はサスカイト製の石鎌である。(8)は五角形状の形態を示すもので、比較的稀な類型である。(第560図9~11)はサスカイト製の石錐である。(10・11)は錐部を欠いているが、形態より石錐と考えた。(第560図12~14)はサスカイト製の楔形石器類である。(12・13)は楔形石器で、明瞭な截断面を残す。(12)は比較的大形の楔形石器で、側縁に残る截断面も比較的長い。(14)は楔形石器の削片である。器面の調整を顕著に残し、打点部は欠損している。(第560図16~20)はサスカイト製の削器である。いずれも素材剥片の側縁部に、軽度の調整を加え刃部を作り出したものである。(第560図15)はサスカイト製の石小刀である。石小刀と考えられる資料は、かなり少ない。(第561図1)はサスカイト製の石鎌である。大形の剥片の側縁部に極軽度の調整を加えて形成したものである。側縁部には部分的に潰れ痕が顕著に見出される。基部は欠損している。(第561図2~6)はサスカイト製の打製石斧である。いずれも完全なものではなく、側縁部あるいは刃部に潰れ痕を残すものがある。(6)の刃先には使用痕が認められる。(第562図1・2)は紡錘車である。(1)は結晶片岩(2)は流紋岩製のものである。(第562図3・4)は砂岩製の敲き石である。(3)は先端部に敲打痕を顕著に残す、棒状の敲き石である。(4)は扁平な楕円形状の敲き石である。先端部と側縁部に敲打痕を残す。(第562図5)サスカイト製の石核である。片側縁部に調整痕が認められ削器に転用した可能性がある。剥片剥離痕は上面・下面共に認められる。器面はかなり風化を受けており、旧石器時代の横長剥片石核の可能性がある。

S D I 03出土石器 (第562・563図 図版348)

S D I 03より出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計198点を数える。内訳は楔形石器5・削器7・抉入石器2・打製石斧5・二次加工ある剥片50・剥片125・石核2・その他2である。代表的なもの8点を抽出した。

(第562図6・7)はサスカイト製の抉入石器である。二点供に抉りを一個所持つ。(第562図8)はサスカイト製の楔形石器である。肉厚な剥片を素材に用い、截断面は認められないが、縁辺部には明瞭な潰れの痕を残す。(第562図9・10)はサスカイト製の削器である。(第563図1・2)はサスカイト製の打製石斧である。(1)は先端部であり(2)は先端部を欠いた石斧である。両側縁部には明瞭な潰れ痕が残る。(第563図3)はサスカイト製の石核である。肉厚な板状の剥片の片側縁部より、上・下両面にわたり、剥片剥離作業を実施している。

2. 第Ⅱ期の遺構出土石器

微高地のⅡ期に該当する遺構の中で、石器類が出土した遺構は、堅穴住居址32・土坑3・不明遺構1・溝12等で合計48遺構を数える。これらの遺構からはサヌカイト製の打製石器類を主体にコントナにて66箱、点数で約2090点を数える石器類が出土した。次にこれらの石器より代表的なものを抽出し、遺構順に紹介する。

S H Ⅱ 01出土石器（第565図）

S H Ⅱ 01より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計87点を数える。内訳は、石鎌2・楔形石器類5・削器4・敲石2・二次加工ある剝片4・剝片70である。代表的なもの6点を抽出した。（第565図1・2）はサヌカイト製の石鎌である。（第565図3・4）はサヌカイト製の楔形石器である。（3）は形状より打製石斧より転用しているものと考えられる。（4）の楔形石器は、器面全体がかなりローリングを受けている。（第565図5）はサヌカイト製の楔形石器の削片である。打面部は点状打面を呈する。（第565図6）はサヌカイト製の剝片である。打面部は僅かに調整打面を残している。

S H Ⅱ 02出土石器（第566図）

S H Ⅱ 02より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計42点を数える。内訳は石鎌1・打製石包丁1・打製石斧1・砥石1・敲き石3・二次加工ある剝片4・剝片31である。代表的なもの4点を抽出した。

（第566図1）はサヌカイト製の打製石包丁である。側縁部に抉れを僅かに見出せる。（第566図2・3）は砂岩製の敲き石である。（2）は上・下二辺に敲打痕が見出せる、棒状の敲き石である。（第566図4）は砂岩製の砥石である。形態は直方体に近く、小口面を除く四面を、砥石面としている。端部には敲打痕が認められ、敲き石に転用していることが解る。

S H Ⅱ 03出土石器（第566図）

S H Ⅱ 03より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計120点を数える。内訳は、石鎌4・楔形石器類3・削器3・砥石1・敲き石4・二次加工ある剝片12・剝片91・その他2である。代表的なもの5点を抽出した。

（第566図5・6）はサヌカイト製の石鎌である。（第566図7）はサヌカイト製の削器である。（第566図8）は砂岩製の敲き石である。扁平な梢円形の自然石の側縁部に、部分的に敲打痕が認められる。

（第566図9）は安山岩製の砥石である。角柱状を呈し、上・下両端は折れている。他の四面は砥石面として使っている。

S H Ⅱ 04出土石器（第567図）

S H Ⅱ 04より出土した石器は、僅か2点を数える。内訳は、敲き石1・剝片1である。敲き石1点を図化した。

（第567図1）は砂岩製の敲き石である。梢円形の円礫をそのまま用い、上・下両端部に敲打痕が見出せる。

S H Ⅱ 05出土石器（第567図）

S H Ⅱ 05より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計31点を数える。内訳は、石鎌1・石錐2・削器2・砥石1・敲き石1・二次加工ある剝片5・剝片17・その他2である。代表的なもの5点を抽出した。

（第567図2）はサヌカイト製の石鎌である。（第567図3・4）はサヌカイト製の石錐である。（第

567図5) サヌカイト製の削器である。(第567図6)は結晶片岩製の砥石である。裏面が剝がれ板状を呈しているが、本来は角柱状を呈していたものと思われる。

S H II 06出土石器 (567・568図)

S H II 06より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計137点を数える。内訳は、石鎌2・楔形石器4・削器6・砥石1・敲き石11・磨き石2・二次加工ある剝片4・剝片106・石核1である。代表的なもの8点を抽出した。

(第567図7)はサヌカイト製の楔形石器である。正・背面共に截断面をもつ。(第567図8~10)はサヌカイト製の削器である。(9・10)の刃部の調整は外湾気味に施されている。(第567図11)は砂岩製の棒状の敲き石である。(第567図12)は砂岩製の角柱状の砥石である。(第568図1・2)は磨り石である。

(1)はヒン岩製の磨り石である。

S H II 07出土石器 (第568図)

S H II 07より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計81点を数える。内訳は、石鎌1・削器4・砥石2・敲き石3・二次加工ある剝片10・剝片61である。代表的なもの7点を抽出した。

(第568図3)はサヌカイト製の石鎌である。(第568図4)はサヌカイト製の削器である。(第568図5)はサヌカイト製の二次加工ある剝片である。素材剝片の一辺に縦長状の剝離痕を二段施している。(第568図6)は風化の進行した安山岩製の砥石である。砥石面は四面であり、内一面には浅い溝状の凹みがある。(第568図7~9)はサヌカイト製の剝片である。

S H II 08出土石器 (第568・569図)

S H II 08より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計57点を数える。内訳は、槍先形石器1・石鎌1・石錐1・楔形石器の素材2・抉入石器1・削器1・砥石2・敲き石4・磨り石1・剝片43である代表的なもの5点を抽出した。

(第568図10)はサヌカイト製の槍先形尖頭器である。他の石器に比べ比較的風化が顕著である。(第568図11)はサヌカイト製の石鎌である。(第568図12)はサヌカイト製の削器である。新旧二種類の風化面がある。新しい風化面は下の側縫部に施された刃部の調整痕に見出せる。(第569図1)は凝灰岩製の砥石である。上・下両端部には敲打痕が見出され、敲き石に転用されている。砥石面は四面、内一面には明瞭な溝状の凹みがある。(第569図2)は砂岩製の敲き石である。

S H II 09出土石器 (第569図)

S H II 09より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計51点を数える。内訳は石鎌1・石錐1・打製石包丁1・削器1・敲き石2・二次加工ある剝片8・剝片35・その他2である。代表的なもの2点を抽出した。

(第569図3)はサヌカイト製の石鎌、(第569図4)はサヌカイト製の石錐である。

S H II 10出土石器 (第569図)

S H II 10より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計13点を数える。内訳は、削器1・敲き石3・二次加工ある剝片1・剝片8である。敲き石1点を図化した。

(第569図5)は砂岩製の敲き石である。棒状の砂岩の上・下両端部に敲打痕が認められる。

S H II 12出土石器 (第569図)

S H II 12より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計15点を数える。内訳は、石鎌2・敲き石2・二次加工ある剝片3・剝片8である。代表的なもの3点を図化した。

(第569図6・7)はサヌカイト製の石鎌である。(第569図8)は砂岩製の蔽き石である。棒状の砂岩の上・下両端部に敲打痕が認められる。

S H II 13出土石器 (第569図)

S H II 13より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計28点を数える。内訳は、石鎌1・楔形石器2・蔽き石2・磨石1・二次加工ある剝片1・剝片21である。代表的なもの3点を図化した。

(第569図9)はサヌカイト製の石鎌である。(第569図10)はサヌカイト製の楔形石器である。(第569図11)はヒン岩製の磨き石である。上・下二辺に平坦な機能面を見出せる。

S H II 14出土石器 (第569・570図)

S H II 14より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計16点を数える。内訳は、石錐1・砥石2・蔽き石2・剝片11である。石錐2点を図化した。

(第569図12・第570図1)は石錐である。(第569図12)は花崗岩製の石錐である。扁平な楕円形の自然石の外周に、幅の狭い溝を彫り刻んでいる、有溝石錐である。(第570図1)は砂岩製の砥石である。ほぼ全面が、砥石面として使用されているが、その内一面には主軸に沿って溝状の凹みが認められる。

S H II 15出土石器 (第570図)

S H II 15より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計40点を数える。内訳は、石鎌1・石錐1・楔形石器1・削器3・打製石包丁1・二次加工ある剝片10・剝片22・石核1である。代表的なもの5点を図化した。

(第570図2)はサヌカイト製の石鎌である。(第570図3)はサヌカイト製の石錐である。(第570図4)はサヌカイト製の楔形石器である。截断面は正・背両面に認められる。(第570図5)はサヌカイト製の削器である。(第570図6)はサヌカイト製の石核である。肉厚な剝片を素材に用い、多方向より剝片剥離を行なっている。

S H II 17出土石器 (第570・571図)

S H II 17より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計208点を数える。内訳は、石鎌2・楔形石器類8・削器14・打製石包丁2・砥石1・二次加工ある剝片11・剝片168・石核1その他1である。代表的なもの6点を図化した。

(第570図9)はサヌカイト製の石鎌である。(第570図10・11)はサヌカイト製の楔形石器である。(10)には截断面が認められないが、(11)は正・背両面に截断面が認められる。(第570図12)は楔形石器の削片である。(第571図1)はサヌカイト製の石核である。剝片を素材に用い、多方向より剝片を剥ぎ取っている。(第571図2)は黒曜石製の縦長状の剝片である。下川津遺跡では、黒曜石製のものは、この資料だけである。僅かに打面部を残している。打面の状態は調整打面を呈している。

S H II 19出土石器 (第571図)

S H II 19より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計60点を数える。内訳は、石鎌2・抉入石器1・削器1・二次加工ある剝片8・剝片48である。代表的なもの3点を図化した。

(第571図3・4)はサヌカイト製の石鎌である。(4)はロケット状の形態を呈する比較的稀な資料である。(第571図5)はサヌカイト製の抉入石器である。新・旧二種類の風化度を示す剥離面が、器面上で共存している。形態において、古い風化面をもつ外湾刃様の削器に、新しい風化面を持つ抉れ部を付したもので、削器を転用した抉入石器であることが解る。

S H II 20出土石器（第571図）

S H II 20より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計96点を数える。内訳は、石錐1・楔形石器2・削器3・二次加工ある剝片14・剝片76である。代表的なもの2点を抽出した。

(第571図6)はサヌカイト製の石錐である。(第571図7)はサヌカイト製の楔形石器である。上・下両面共に顕著に潰れ痕が認められる。

S H II 22出土石器（第571図）

S H II 22より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計117点を数える。内訳は、石錐5・石錐2・楔形石器類3・削器2・敲き石1・二次加工ある剝片5・剝片99である。代表的なもの6点を抽出した。

(第571図8・9)はサヌカイト製の石錐である。(10)はサヌカイト製の楔形石器、(11)は楔形石器の剝片である。(10)の楔形石器は両端部に剪断面を持つ。また剪断面一部細部調整が認められる。(12・13)はサヌカイト製の削器である。

S H II 23出土石器（第571図）

S H II 23より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計41点を数える。内訳は石錐1・石錐1・削器1・石錐1・砥石1・二次加工ある剝片5・剝片31である。代表的なもの3点を抽出した。

(第571図14)はサヌカイト製の石錐である。(15)はサヌカイト製の石錐である。(16)は雲母片岩磨製の石錐である。厚みのある楕円形状の自然石を、研磨により整形し、外周に、幅の狭い溝を彫り刻んでいる有溝石錐である。また火を受けたものか部分的に黒色化している。

S H II 25出土石器（第572図）

S H II 25より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計63点を数える。内訳は、槍先形尖器1・石錐3・削器5・二次加工ある剝片15・剝片38・石核1である。代表的なもの4点を抽出した。

(第572図1)は先端部しか残っていないためはっきりしないが、サヌカイト製の槍先形尖頭器のであろう。なおこの石器は、器面調整の貧弱さとその厚みのなさで、他の機種に分類できるものかもしれない。(第572図2)先端部と基部が無いため明言できないが、綠泥片岩製の磨製石錐であろう。なおこの磨製石錐は、弥生時代前期前葉に当る第2低地帯Ⅶ層出土の石錐(第123図1)に類似する。そのため混入の可能性が高い。(第572図3)はサヌカイト製の石錐である。(第572図4)はサヌカイト製の石核である。肉厚な分割礫を素材に用い、任意に打面を設定し、多方向より素材剝片を剥ぎ取っている。

S H II 28出土石器（第572図）

S H II 28からは僅か砥石1点のみ出土した。

(第572図10)は全面砥石面として使用され、直方体状の形態を呈する砥石である。石材は明確に出来ないが、淡い紫色をした砂岩質である。

S H II 30出土石器（第572図）

S H II 30より出土した石器は、合計8点を数える。内訳は、石錐1・二次加工ある剝片2・剝片5である。サヌカイト製の石錐1点を図化した。(第572図5)

S H II 32出土石器（第572図）

S H II 32より出土した石器は、サヌカイト製のものを主体にして合計66点を数える。内訳は、槍先形尖器1・石錐1・楔形石器類2・削器4・二次加工ある剝片11・剝片47である。代表的なもの4点を抽出した。

(第572図6)は先端部しか残っていないため明言できないが、サスカイト製の槍先形尖頭器のである。(第572図7)はサスカイト製の石鎌である。(第572図8・9)はサスカイト製の削器である。(9)は形態が細長く、また先端部が幾分内湾気味である点より削器とするより、石鎌として見たほうがいいものかも知れない。

S H II 34出土石器 (第572図)

S H II 34より出土した石器は、合計9点を数える。内訳は、石鎌1・石錐1・楔形石器1・二次加工ある剥片1・剝片5である。サスカイト製の石鎌・石錐各1点を図化した。(第572図11・12)

S K II 02出土石器 (第573図)

S K II 02より出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計109点を数える。内訳は、槍先形尖頭器1・石鎌6・石錐2・楔形石器1・削器3・二次加工ある剝片6・剝片90である。代表的なもの11点を抽出した。

(第573図1～6)はサスカイト製の石鎌である。(第573図7)はサスカイト製の石錐である。(第573図8)はサスカイト製の楔形石器である。比較的小形であるが截断面を明瞭に残すため、楔形石器に分類した。(第573図9・10)はサスカイト製の削器である。(10)は比較的大形の点と刃部に潰れを持つことより、打製石斧に加えるものかもしれない。(第573図11)はサスカイト製の石核である。剝片を素材に用い、打点を表裏に移しながら一側縁部より連続して素材剝片を剥ぎ取っている。この手法は、旧石器時代の横長剝片石核の手法に似ている。

S X II 01出土石器 (第574図)

S X II 01より出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計39点を数える。内訳は、石鎌1・石錐1・削器2・打製石斧3・二次加工ある剝片4・剝片27・石核1である。代表的なもの4点を抽出した。

(第564図1)はサスカイト製の石鎌である。片側面には素材面を多く残している。(2)はサスカイト製の石錐である。(3)はサスカイト製の削器である。なお、この削器は形状より石斧と考える余地もある。(4)はサスカイト製の石核である。肉厚な剝片を素材に用い、打面を任意に表・裏面に移しながら素材剝片を剥ぎ取っている。

S D II 01出土石器 (第574図 図版349)

S D II 01のより出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計35点を数える。内訳は楔形石器1・削器6・打製石斧2・石錐1・二次加工ある7・剝片18である。代表的なもの4点を抽出した。

(第574図1)はサスカイト製の楔形石器である。(2・3)はサスカイト製の打製石斧である。(3)の石斧の基部には潰れ痕が顕著に認められる。(4)は安山岩製の石錐である。

S D II 13出土石器 (第575図 図版349・350)

S D II 13より出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計91点を数える。内訳は、石鎌2・石錐2・楔形石器類5・削器3・石錐1・打製石斧2・砥石1・二次加工ある剝片7・剝片66・石核1・その他1である。代表的なもの9点を抽出した。

(第574図5・6)はサスカイト製の石鎌である。(7)はサスカイト製の石錐である。(8・9)はサスカイト製の楔形石器である。(10)はサスカイト製の石鎌である。(11)はサスカイト製の打製石斧である。(第575図1)は砂岩製の砥石である。砥石面には浅い溝が見出せる。(2)はサスカイト製の石核である。縦長状の剝片剝離痕が一条見出せる。

SD II 14出土石器 (第575図 図版350)

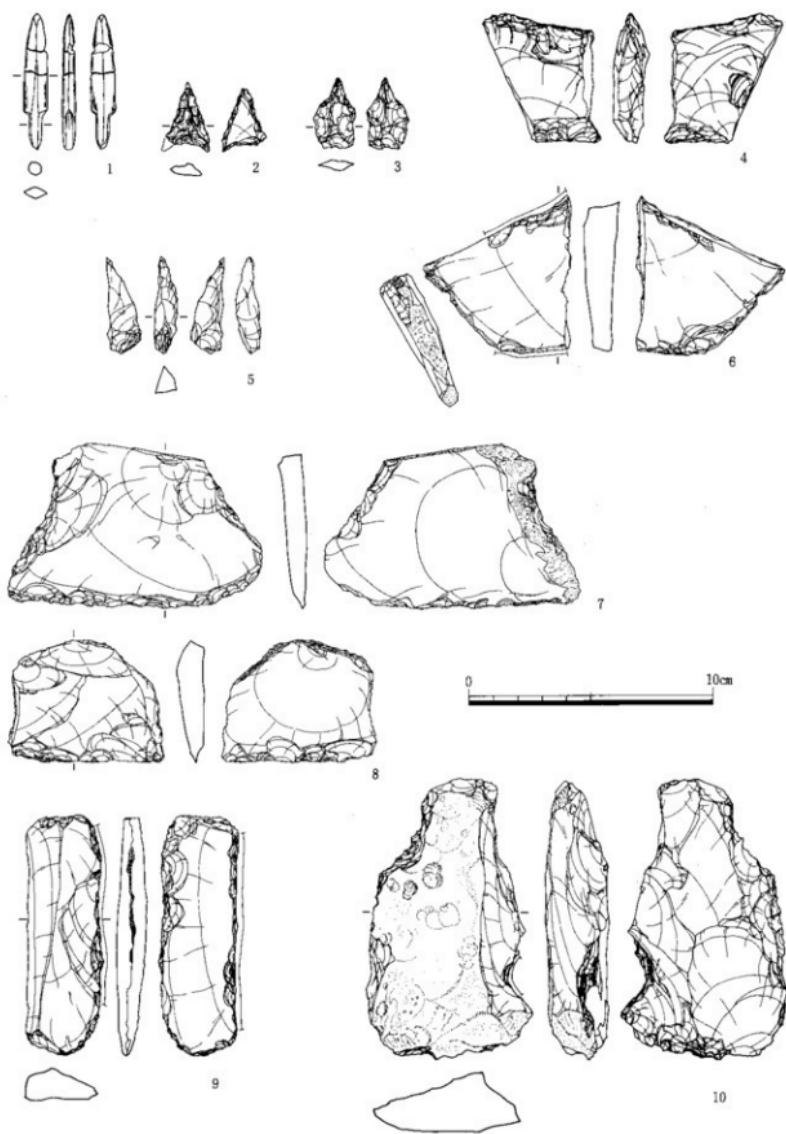
SD II 14より出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計62点を数える。内訳は、石鎌1・石錐1・削器2・二次加工ある剥片5・剥片52・石核1である。代表的なもの2点を抽出した。

(第575図3)はサスカイト製の石鎌である。(第575図4)は横長状のサスカイト製の削器である。刃部には潰れ痕が認められる。

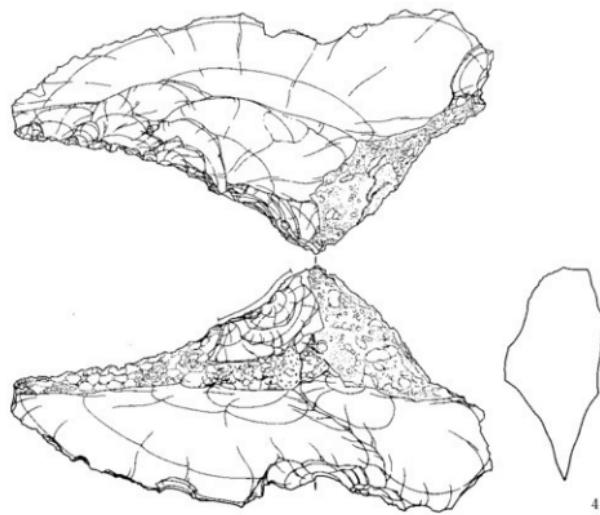
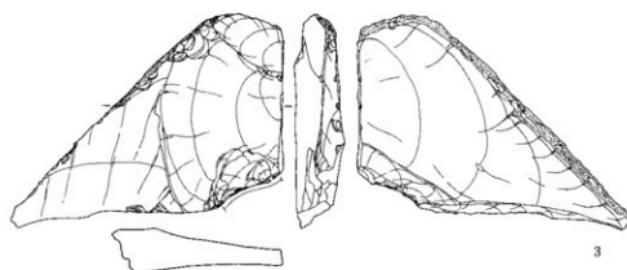
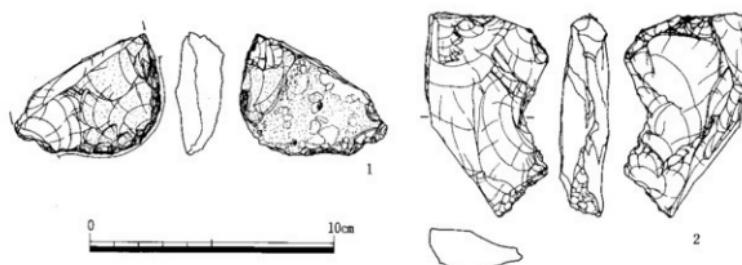
SD II 20出土石器 (第575図 図版350)

SD II 20より出土した石器は、サスカイト製のものを主体にして合計60点を数える。内訳は、削器5・打製石斧1・敲き石1・二次加工ある剥片6・剥片46・石核1である。代表的なもの2点を抽出した。

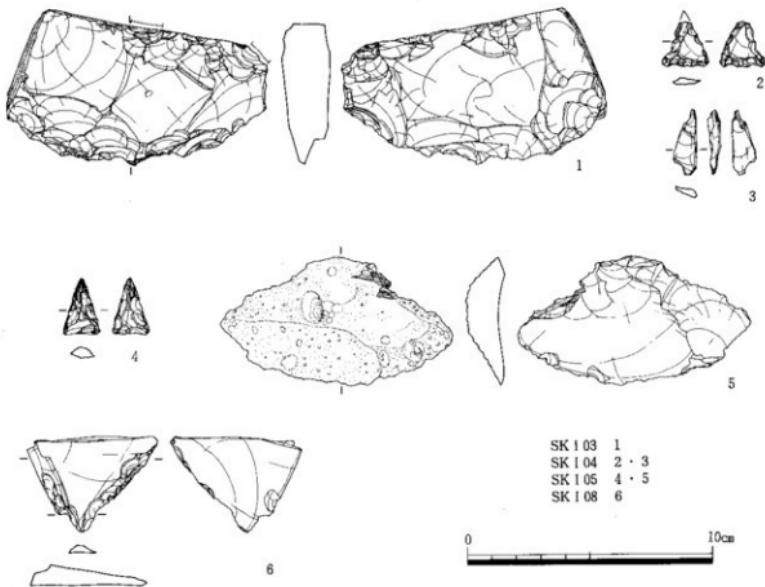
(第575図5)はサスカイト製の削器である。(第575図6)は砂岩製の磨石である。形態は棒状を呈し、部分的に側面に敲打痕が認められるため、敲き石としても機能したものと思われる。 (西村)



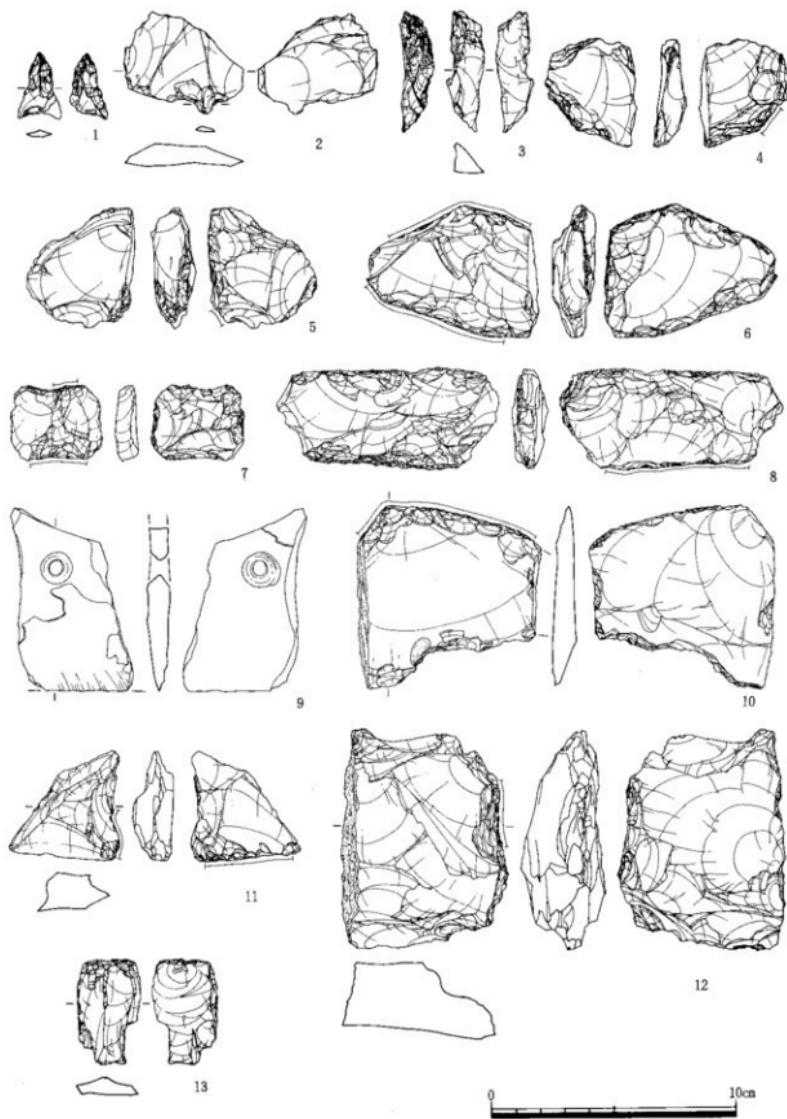
第554図 SHI 01 出土石器(2)



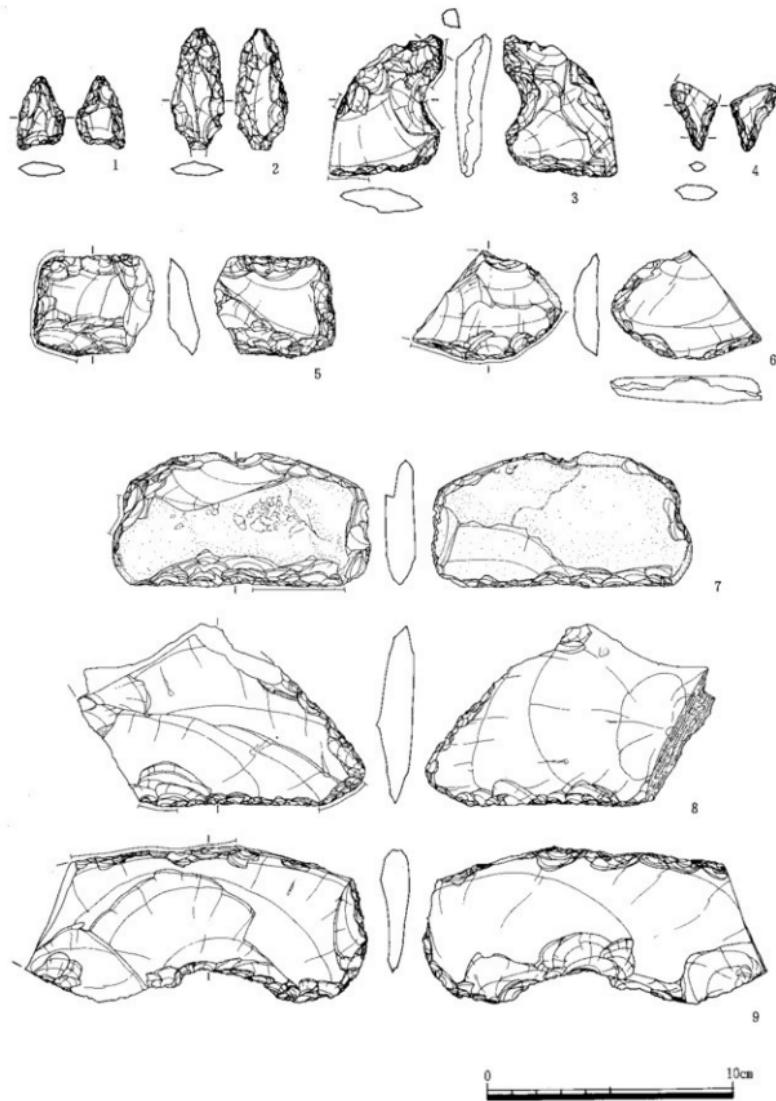
第555圖 SHI 01 出土石器(3)



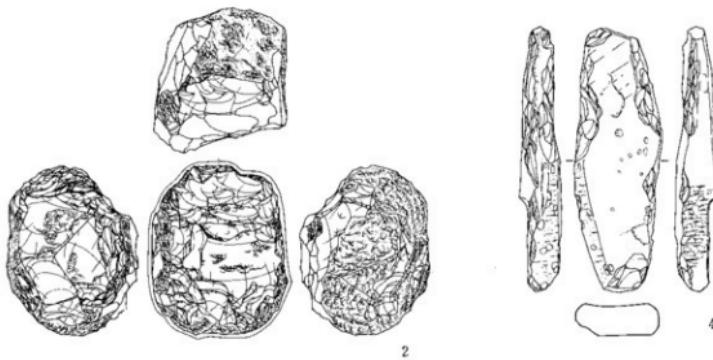
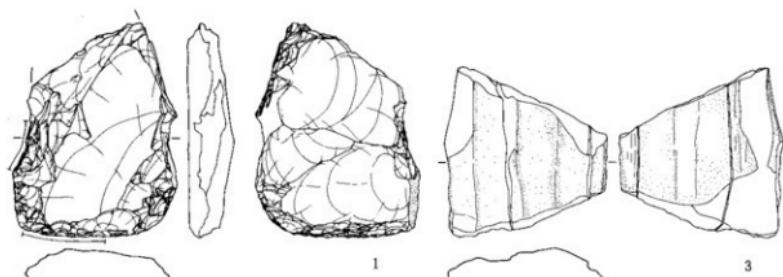
第556図 SK I 03・04・05・08 出土石器



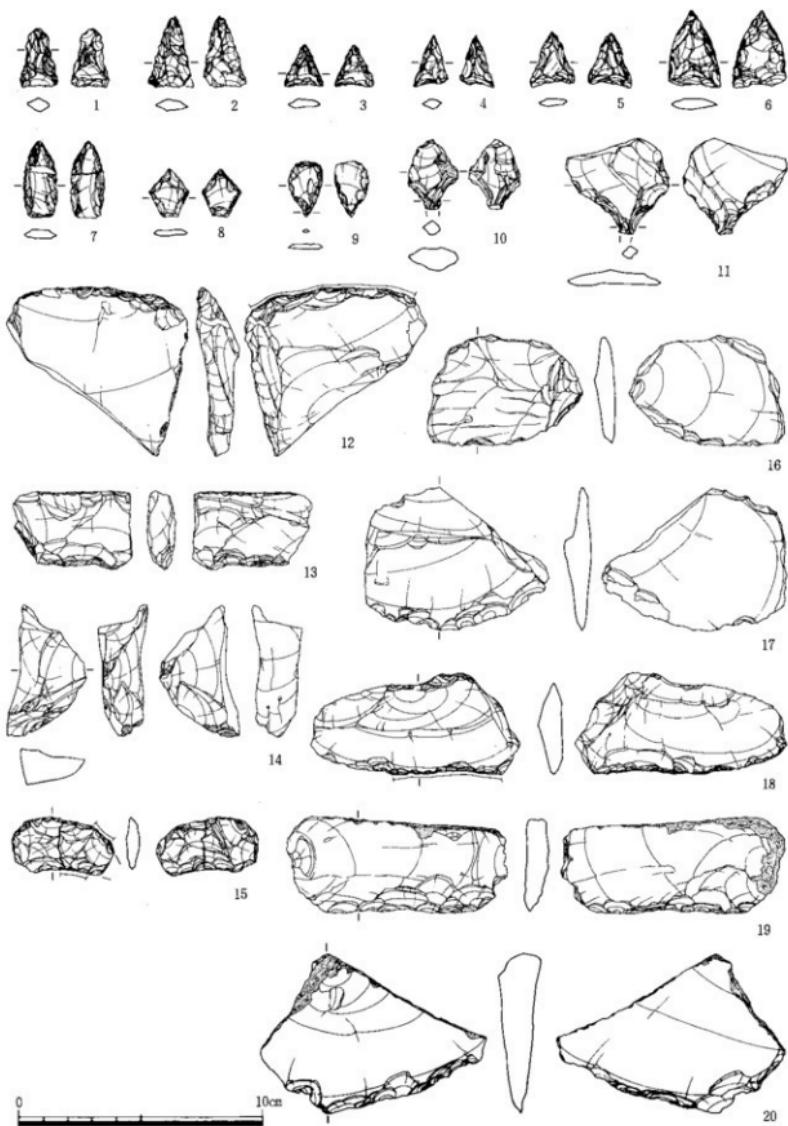
第557図 SX I 01 出土石器



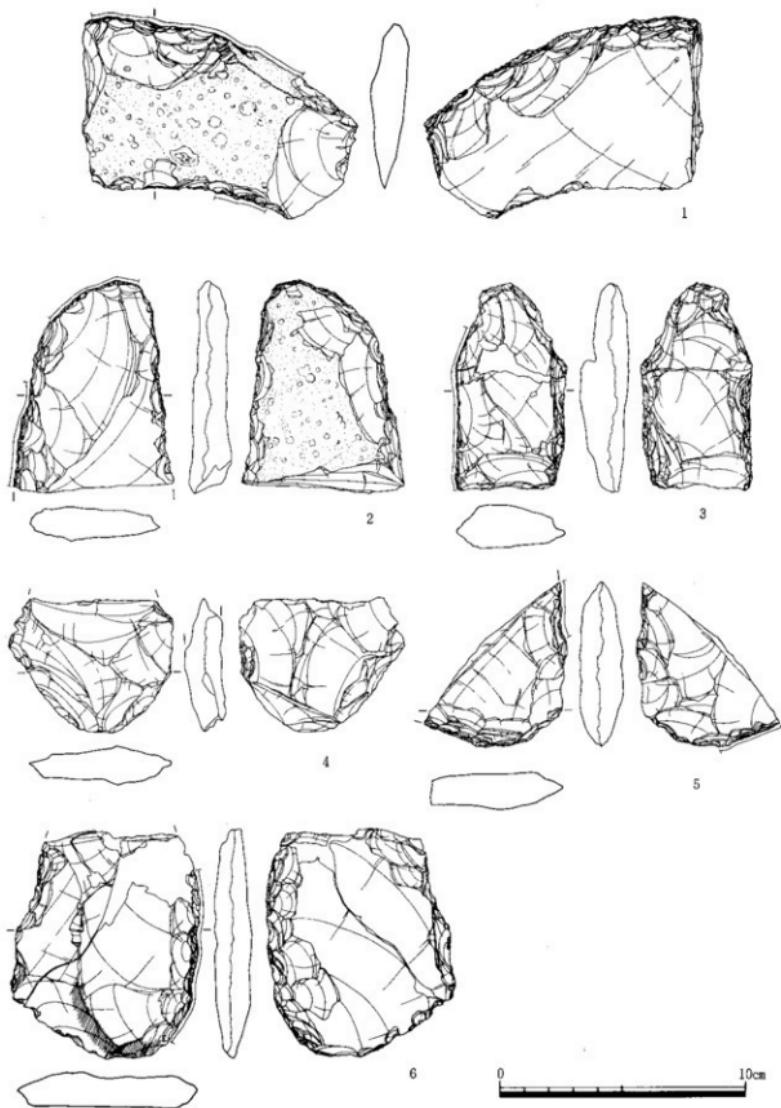
第558図 SX I 03 出土石器(1)



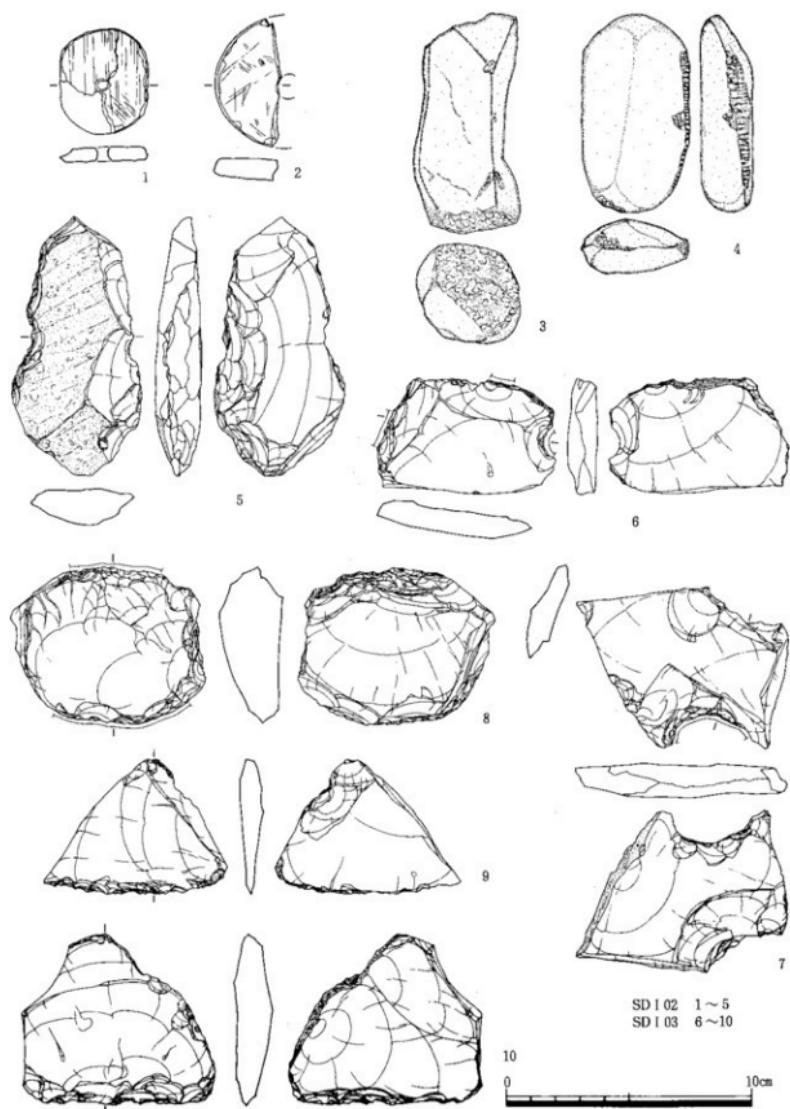
第559圖 SX I 03 出土石器(2)



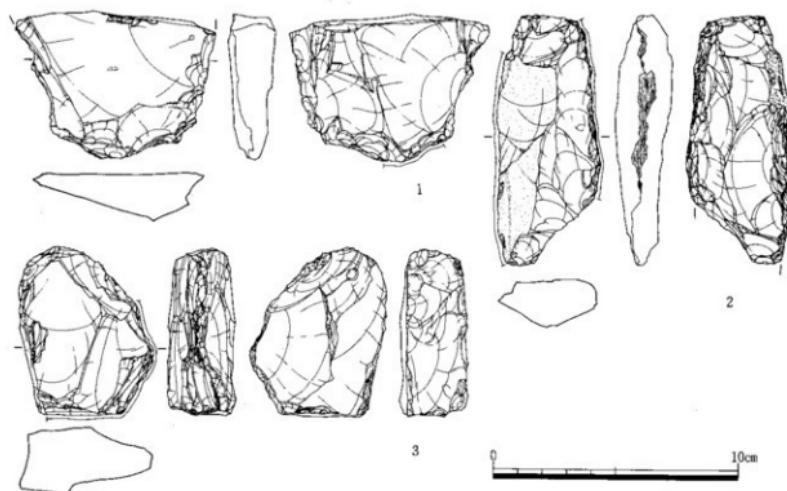
第560圖 SD I 02 出土石器(1)



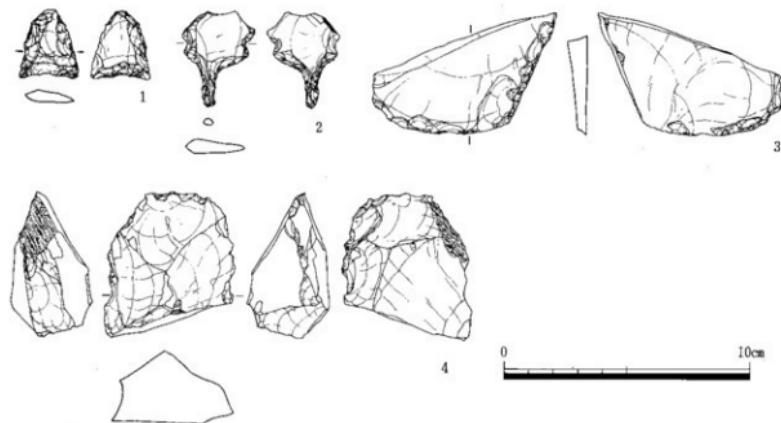
第561図 SD I 02 出土石器(2)



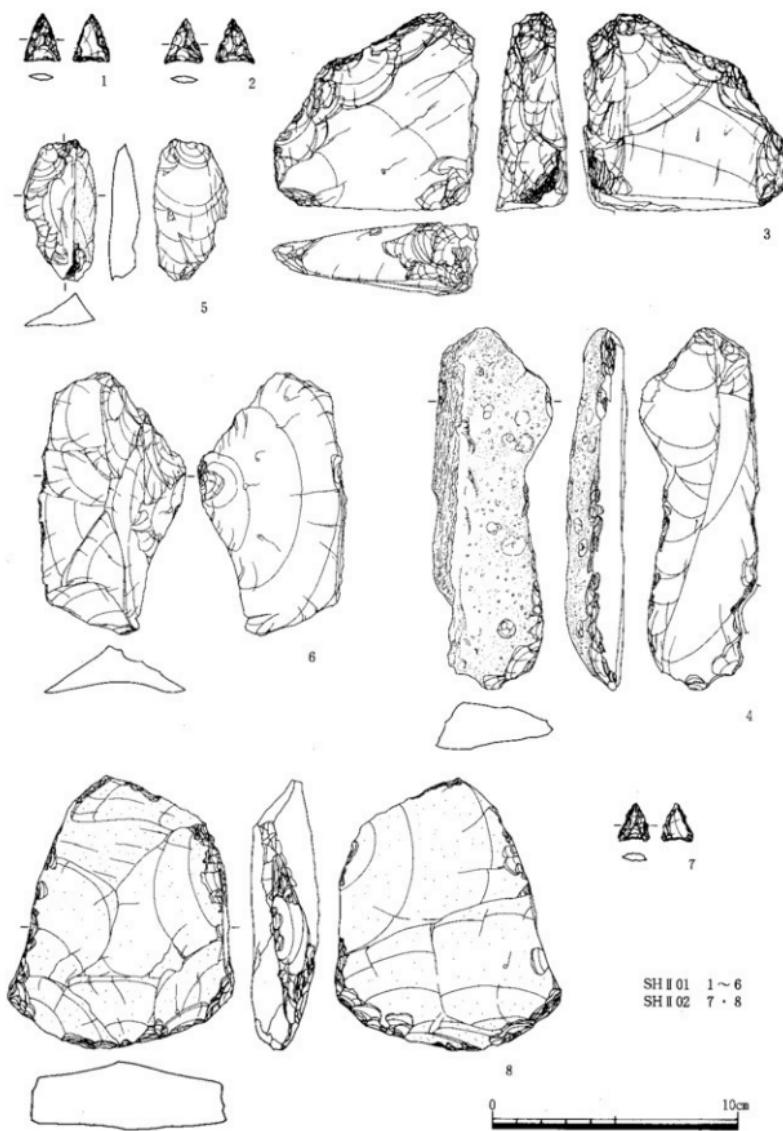
第562図 SD I 02(3)・03 出土石器



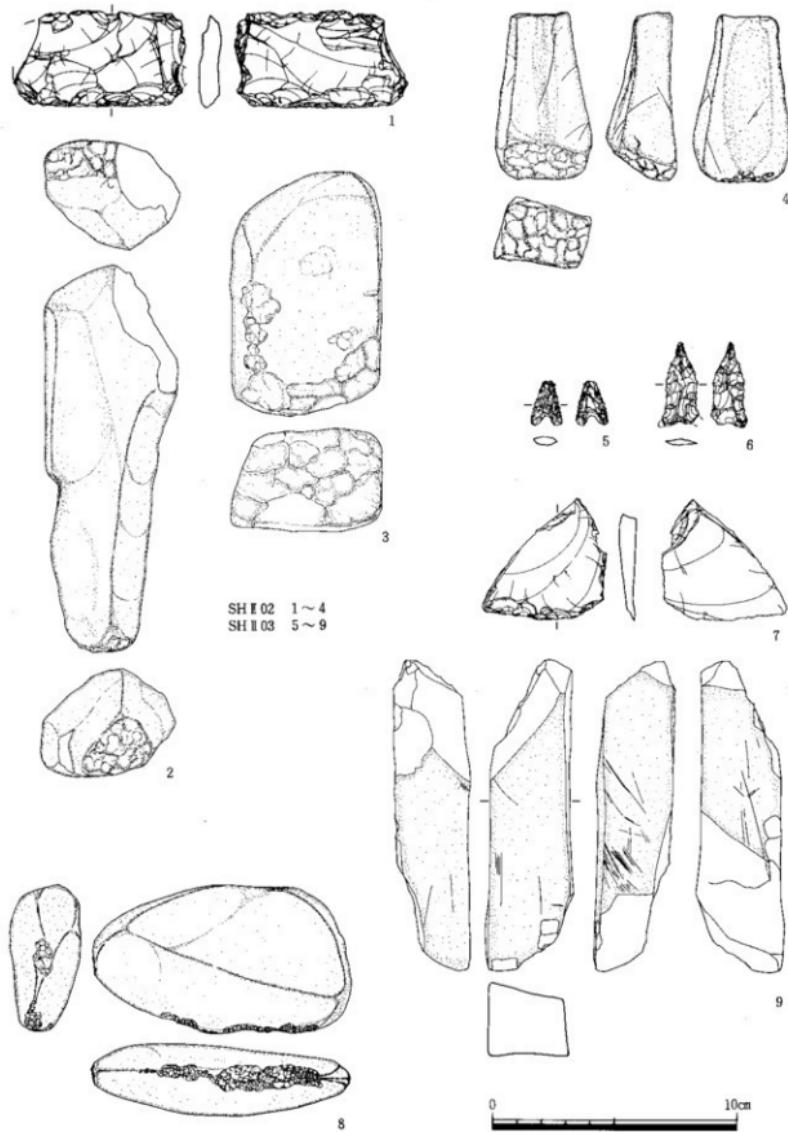
第563図 SD I 03 出土石器



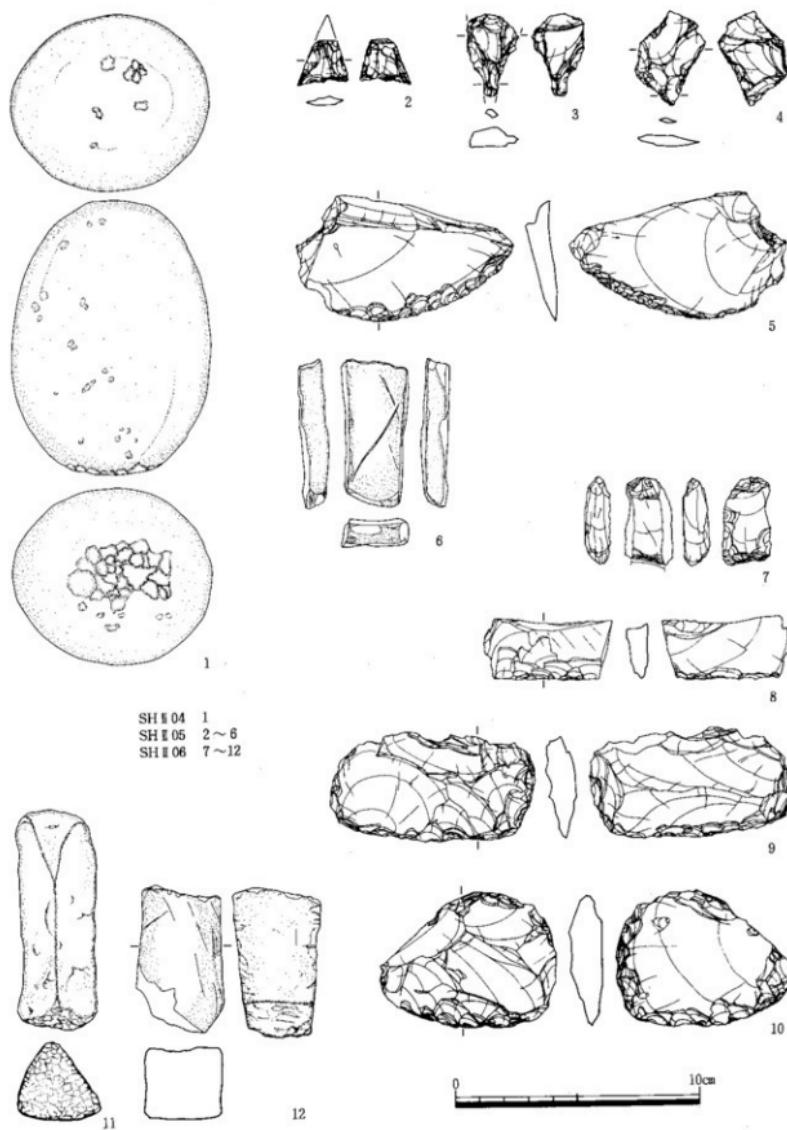
第564図 SX II 01 出土石器



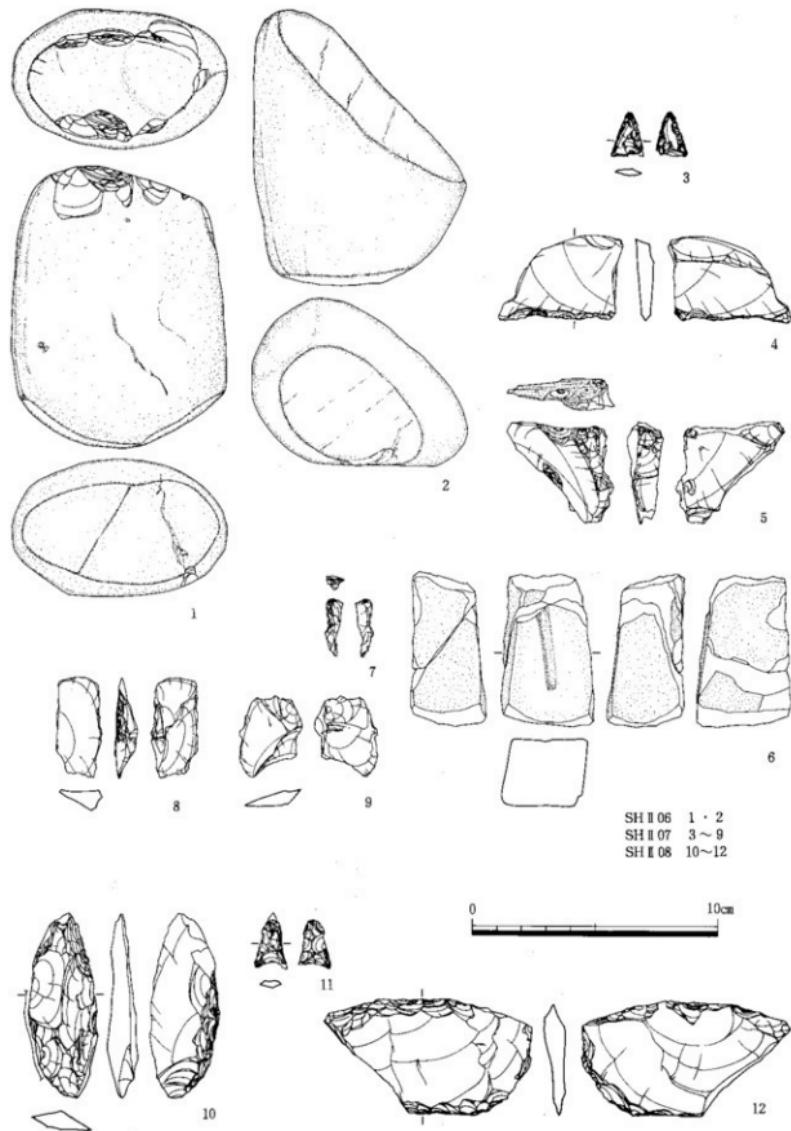
第565図 SH II 01・02(1) 出土石器



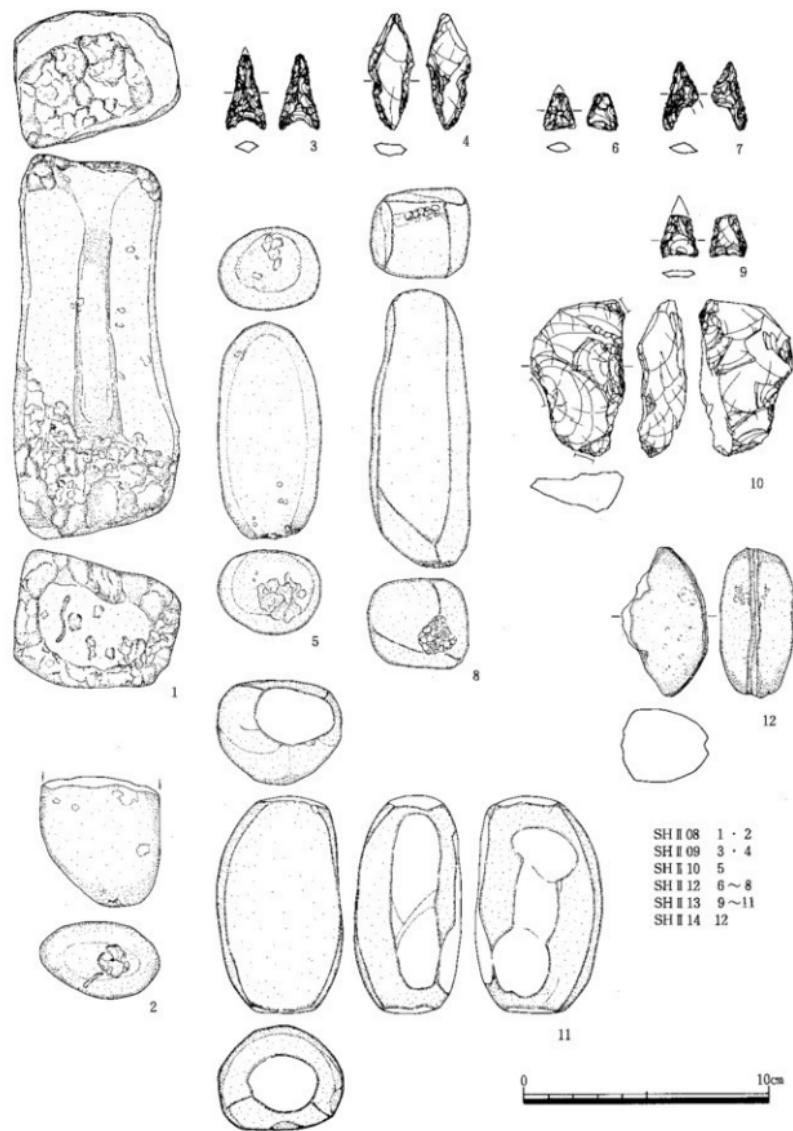
第566図 SH II 02(2)・03 出土石器



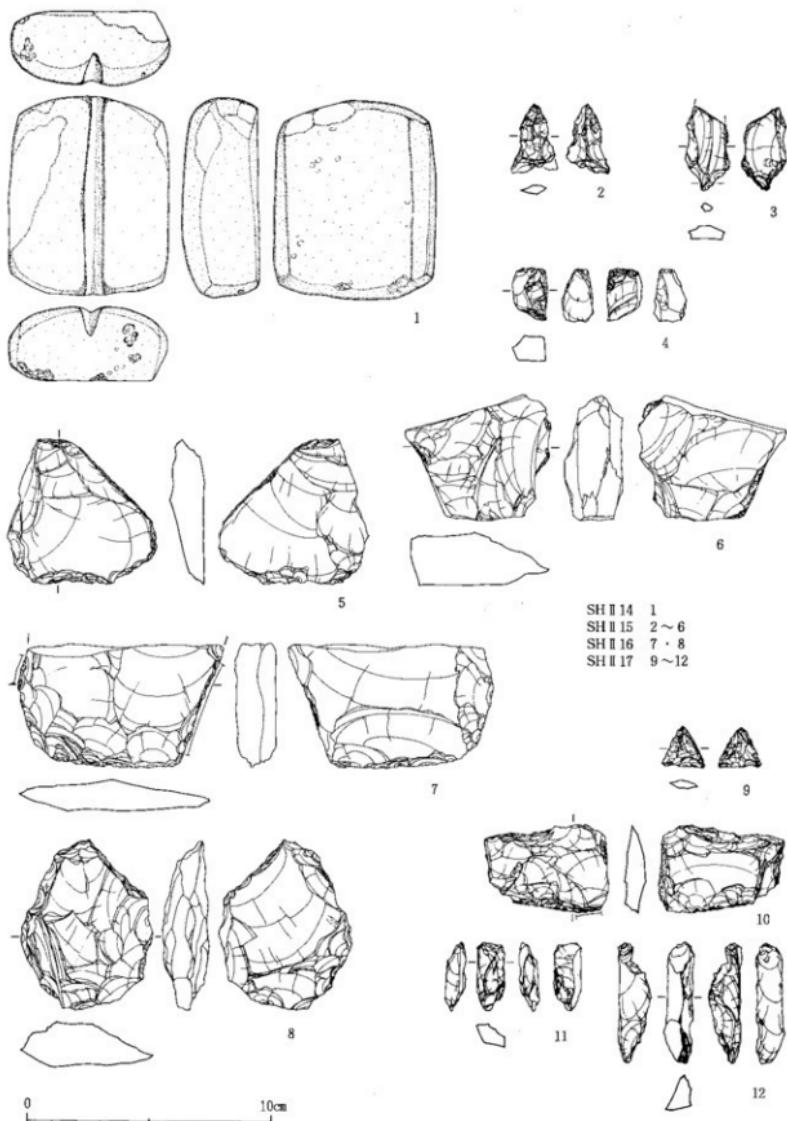
第567図 SH II 04・05・06(1) 出土石器



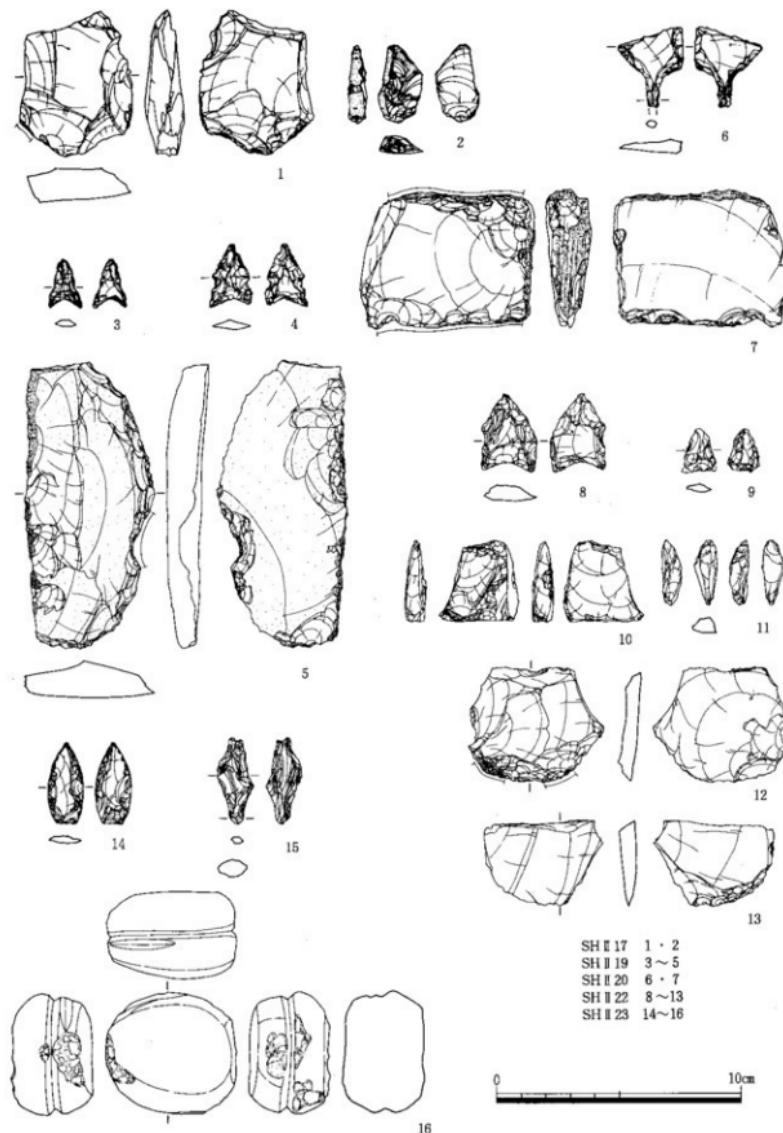
第568図 SH II 06(2)・07・08(1) 出土石器



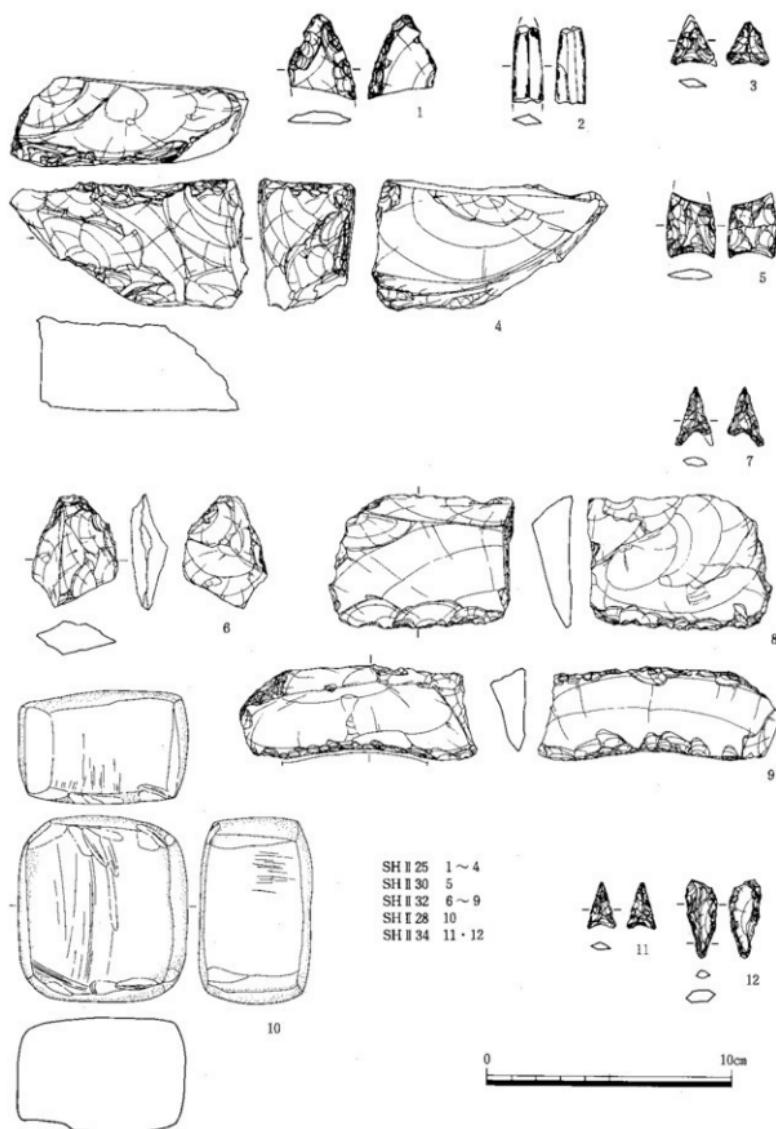
第569図 SH II 08(2)・09・10・12・13・14(1) 出土石器



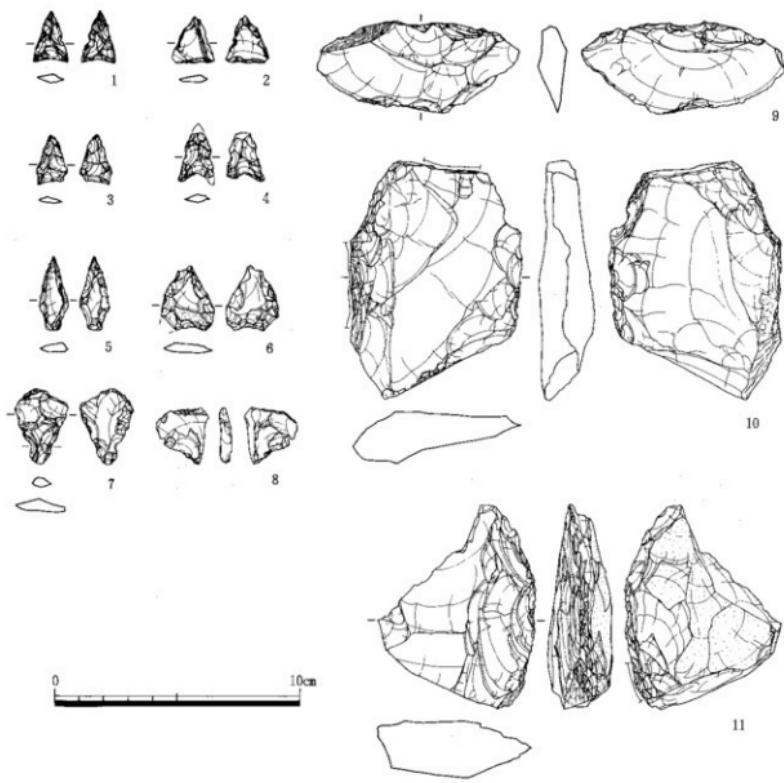
第570図 SH II 14(2) · 15 · 16 · 17(1) 出土石器



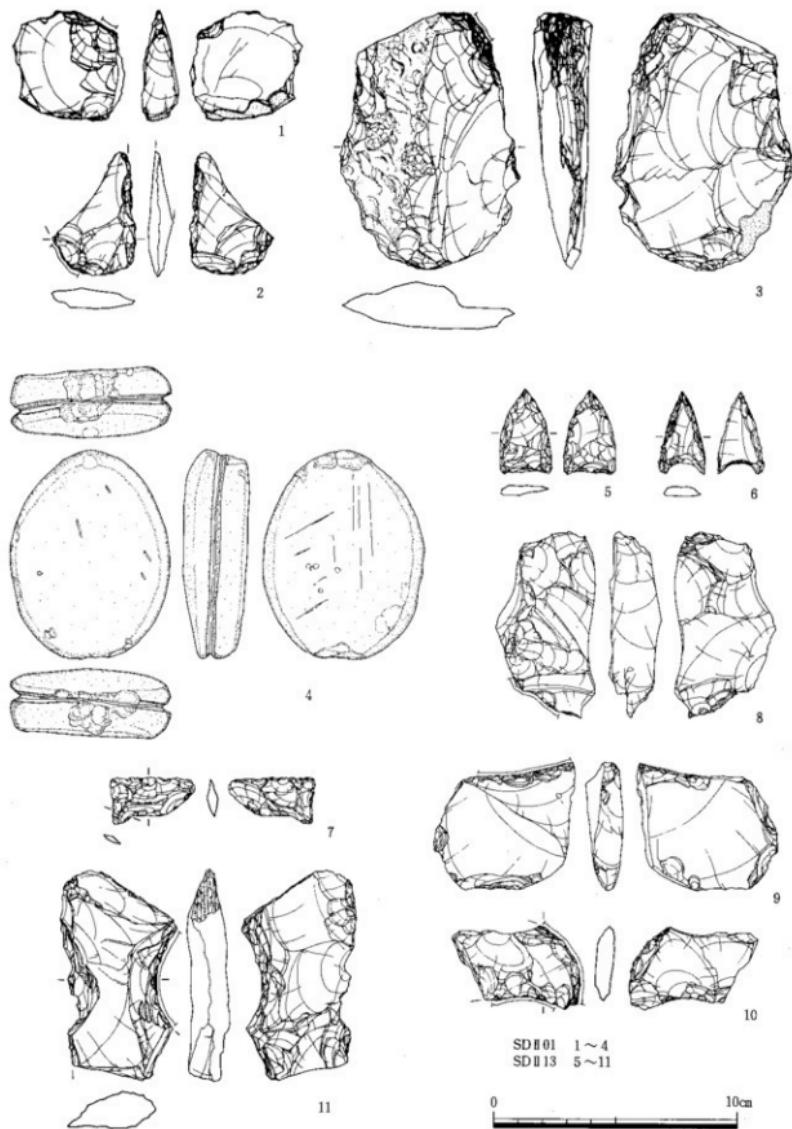
第571図 SH II 17(2) · 19 · 20 · 22 · 23 出土石器



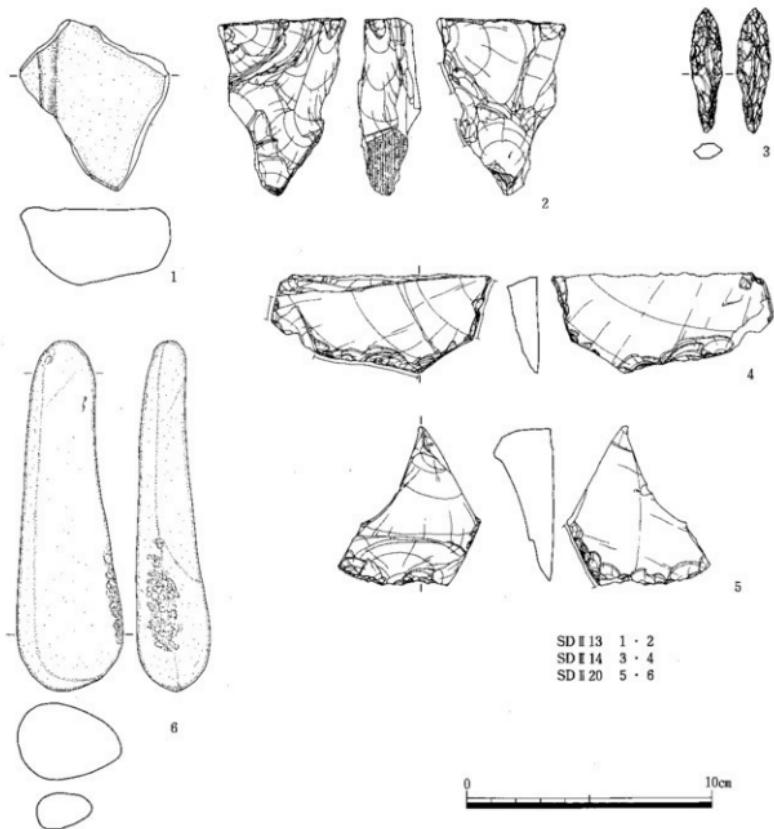
第572図 SH II 25・28・30・32・34 出土石器



第573図 SK II 02 出土石器



第574図 SD II 01・13 出土石器



第575圖 SD II 13·14·20 出土石器

第1表 第1期堅穴住居出土石器組成表

遺物名 番 号	先 石	磨 石	砂 輪	楔形石器	石 斧	石 凿	石 刮刀	石 刀	石 鋸	石 鏽	入 石	楔 石	石 錐	石 鑿	石 削	二 次 鉄 頭	片 石	鋼 片	その他の 合 計	%
SK1.01					3	1	1	1	3		3		1		1	9	67	2	1	96
合計	0	3	1	2	1	1	0	3	0	0	3	0	1	0	1	9	67	2	1	96
%	0	3.1	1.1	4.2	0	3.1	0	0	3.1	1.1	0	0	1.1	0	1.1	9.5	70.5	2.1	1.1	100

※標——標印有り 附——標印有りの標付 楔——楔形打頭の灰材 打——打頭 破——破損

第2表 第1期土坑出土石器組成表

遺物名 番 号	先 石	磨 石	砂 輪	楔形石器	石 斧	石 凿	石 刮刀	石 刀	石 鋸	石 鏽	入 石	楔 石	石 錐	石 鑿	石 削	二 次 鉄 頭	片 石	鋼 片	その他の 合 計	%
SK1.02					1		1									7			10	2.9
SK1.04	1		1	1		2									3	37	1	46	13.1	
SK1.06	2					2									1	233		238	68.0	
SK1.07	2														4	27		23	9.5	
SK1.08		1													3	14		18	5.1	
SK1.09		1													4			5	1.4	
合計	0	5	1	3	1	0	0	5	0	0	1	0	0	0	11	322	1	0	360	
%	1.4	0.3	1.1	0	1.4	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0	3.2	92.0	0.3	0	100	

第3表 第1期不明遺構出土石器組成表

遺構名 番 号	先 石 器	石 鏽 石 器	石 鏽 石 器	石 鏽 石 器														
				打 磨	研 磨													
SK101	1	1	10	2	1	8	1	1	2			1	2		63	380	2	2
SK103	2	5	21	3	2	16	1	2	13			1		1	3		5	0.7
SK104															1			1
SK107															1			1
SK110															1	2		3
合計	0	3	6	31	5	3	0	24	1	1	3	13	0	3	0	1	2	3
%	0	0.4	0.8	-	5.6	0	-	3.4	6.3	0.4	1.9	0.4	0	0.1	0.3	0.7	1.2	100

第4表 第1期溝出土石器組成表

遺構名 番 号	先 石 器	石 鏽 石 器	石 鏽 石 器	石 鏽 石 器														
				打 磨	研 磨													
SD102	1	10	3	14	3	20	1	8	1			2			36	344	6	6
SD103			5			7		5	2						50	125	2	2
SD104															2	5		7
合計	1	10	3	19	3	0	0	27	0	0	1	13	1	2	0	2	88	474
%	0.2	1.5	0.5	3.3	0	4.1	0	0.2	2.1	0.3	0	0	0.3	0	13.4	71.9	1.2	1.0
																		100

第五表 第Ⅲ期竖穴居出土石器组(表1)

通称名 编 号	先 石	石 刀	石 斧	石 凿	楔形石器		快 石	入 口 器	石 矛	石 刀 刮 削 器	石 砍 砸 器	石 斧 石 凿	石 锤	石 锯	石 磨	石 片	石 核	毛 坯	二 次 加 工 片	合 计	%	
					石 网	石 网																
SH101		2	3	1	2	4											2	4	70	70	67	5.3
SH102	1					1		1		1	3										42	2.6
SH103	4	2	1			3				1	4	12	91					2	123	7.3		
SH104												1					1				2	0.1
SH105	1	2			2				1	1		5	17				2	2	31	1.9		
SH106	2	4			6				1	11	2	4	106	1					137	8.3		
SH107	1				4				2	3	10	61							61	4.9		
SH108	1	1	1		2	1	1			2	4	1		43					43	3.7	2.5	
SH109	1	1				1	1				2		8	26			2	2	51	3.1		
SH110					1					3	1	8							13	0.8		
SH111										2							2	8		10	0.6	
SH112	2									2		3	8					3		15	0.9	
SH113	1		2							2	1	1	21							28	1.7	
SH114									1	2	2						1	11		16	1.0	
SH115	1	1	1			3	1						10	22	1				40		2.4	
SH116		1				5	1					3	29	1						40	2.4	
SH117	2	5	2	1	14	2			1			11	168	1	1				268	12.6		
SH118												2								2	0.1	
SH119	2					1	1						8	48						66	3.7	
SH120			1	2									14	76						90	5.8	

第5表 第Ⅱ期堅穴住居出土石器組成表(2)

第Ⅱ期土坑出土石器組成表

表第7期不明遺構出土石器組成表

第 8 表 第Ⅲ期溝出土石器組成表

第7節 石製品

この節で報告する資料は微高地の遺構から出土した、第Ⅱ期から第Ⅳ期にかけての代表的な石製品である。以下番号順に紹介する。

(第576図1)は、第1微高地北部の第Ⅱ期の堅穴住居SHⅢ01出土の小型の勾玉である。全長1.4cm、厚さ0.4cmを計る。扁平な形状を呈する。

(第576図2)は、第1微高地北部のSHⅢ08出土の勾玉で、全長3.4cm、厚さ1.2cmを計る。石材には、やや質の悪い石英を用いている。

(第576図3)は、第4微高地の南部の第Ⅲ期の土坑SKⅢ49出土の水晶製の丸瓶で精緻な作りのもので、特に表面側は非常に滑らかに研磨している。長軸3.8cm、短軸2.6cm、厚さ0.7cmを計る。このSKⅢ49からは越州窯青磁碗が出土している。

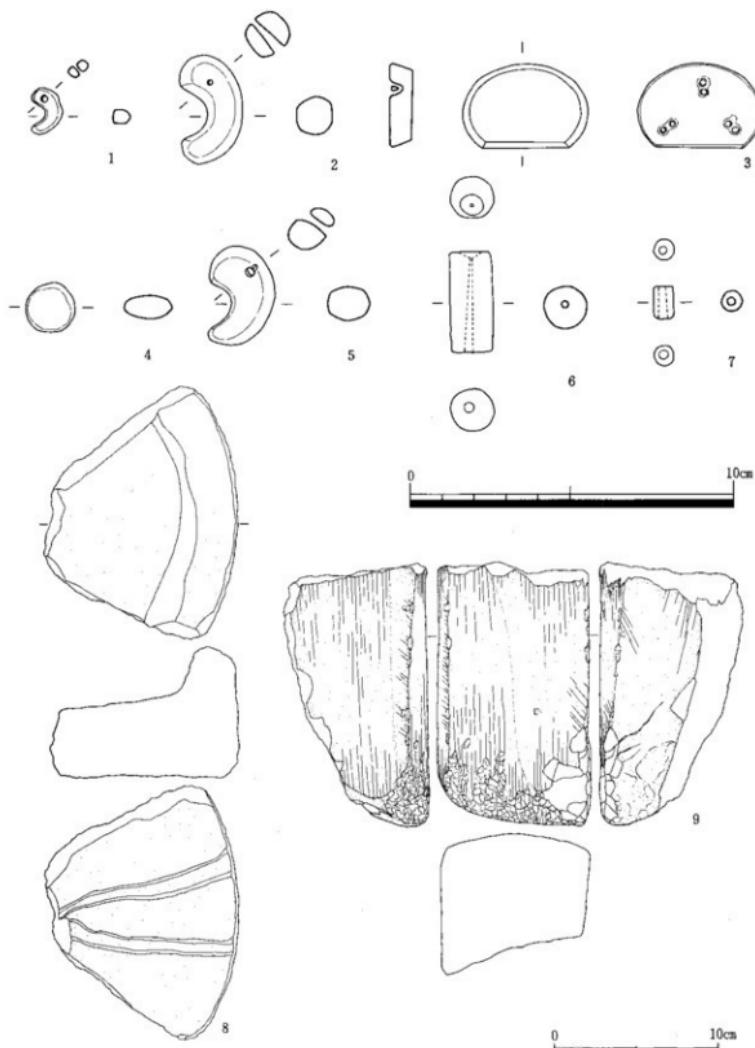
(第576図4)は、前述した水晶製丸瓶が出土したSKⅢ49に隣接した土坑から出土した水晶製の碁石状の石製品である。直径1.5cm、厚さ0.7cmを計る。

(第576図5)は、第4微高地を南北に貫くいわゆる条里と共に通する方位を持つ第Ⅲ期の溝SDⅢ177の最下層から出土した勾玉で、全長3.1cm、厚さ1.0cmを計る。

(第576図6)は、第4微高地の西縁部を走る古墳時代後期の溝SDⅢ179から出土した碧玉製の管玉である。全長3.1cm、直径1.3cmを計る。金銅製主頭把頭等とともに廃棄された状況で整地層下の溝内から出土したものである。
(藤好)

(第576図8)はSDⅣ01の配石遺構中より出土した、凝灰岩質の石臼である。約1/4残存し、下面には二条の浅い溝がある。

(第576図9)は(8)同様SDⅣ01の配石遺構中より出土した、砂岩質の砥石である。約半分残っているに過ぎないのに、比較的大形の砥石である先端部には敲打痕が認められる。
(西村)



SH II 01 1 SD III 177 5
 SH II 08 2 SD III 179 6
 SK II 49 3 · 4 D ドレンチ第13層中 7

第576図 遺構出土石製品

第8節 金属器

1. 鉄器

第Ⅱ期の鉄器（第577～579図 図版371～373）

弥生時代後期後半から古墳時代前期に該当する第Ⅱ期の鉄器は第1微高地北部の堅穴住居住居群から集中して出土した。（第577図）はSHⅡ01・02・03・05・06から出土した鉄器である。（1～4）は、SHⅡ01から出土した。（1・2）は鎌、（3・4）は断面形から鉗と考えられる。（5・6）は、SHⅢ02から出土の鎌で、（6）は茎である。（7～13）は、SHⅡ03から出土した。（7～9）は鎌、（10）は断面形から刀子であろう。（11・12）は側縁に刃縁がなく、器種不明。（14～18）は、SHⅡ05から出土した。（14～16）は鎌、（17）は鉗、（18）はやや大型の鉄片である。（19～24）は、SHⅡ06から出土した鉄器で、（19～22）は鎌。（23）はほぼ完形の鉗である。先端部に刃縁を作り出している。（第578図）は、SHⅡ07～10から出土した鉄器である。（1～15）は、SHⅡ07出土のもので、（1～12）は鎌で、（11）は無茎鎌である。（13）は鎌であろう。（16～22）は、SHⅡ08出土のものである。（16～20）は鎌で、（16）は先端に向かい広がる形状を呈する。（21）は鉗、（22）は鉗の可能性があるが刃縁が明瞭ではない。（23～25）は、SHⅡ09から出土のもので、（23）は鉗、（24）は鎌である。（26・27）は、SHⅡ10から出土したもので、（26）は鉗である。（第579図1～5）は、SHⅡ13・23から出土した鉄器である。（1～3）は、SHⅡ13出土のもので、（1）は鎌、（2）は鉗、（3）は板状鉄斧とも考えられるが先端部に刃縁が認められない。（4）は、SHⅡ18出土の鎌である。（5）は、SHⅡ23出土の鎌である。

第Ⅱ期の鉄器は第1微高地北部の堅穴住居住居群にまとまる傾向を示す。他の第Ⅱ期の住居群からの出土はない。鉄器出土の住居の形態を見ると大型の円形住居に集中する傾向が認められ、小型の方形住居からの出土はSHⅡ13に限られる。SHⅡ13は、非常に小型のもので炉跡等は確認できず、倉庫的な機能を有したものである可能性が高い。小型彷彿鏡等の銅製品もこの第1微高地北部の堅穴住居住居群からの出土であることから、この住居群は金属器を独占的に保有していた中心的な集団であると考えられる。

第Ⅲ期の鉄器（第579・580図 図版373・374）

古墳時代後期から概ね鎌倉時代までの第Ⅲ期の遺構から出土した鉄器である。（第579図6～22）は、古墳時代後期の堅穴住居から出土したものである。（6・7）は、SHⅢ01出土のもので（6）は無茎鎌、（7）は鉗である。（8）は、SHⅢ06から出土したもので、途中が欠損しているが鉗の可能性が高い。（9）は、SHⅢ08から出土した鎌である。（10・11）は、SHⅢ09出土のもので（10）は鎌、（11）は鎌の茎とも考えられるがやや大型のものである。（12・13）は、SHⅢ11出土のもので、（12）は無茎鎌、（13）は刀子で、基部は丸味を帯びる。（14～17）は、SHⅢ12出土のもので、（14）は鎌、（15）は鎌、（16）は鎌先である。（17）は四角錐状を呈する小型の鉄製品である。（18）は、SHⅢ18から中央部が細くなる形状を呈する鉗である。先端部は欠損している。（19）は、SHⅢ25から出土した鎌である。（20）は、SHⅢ52から出土した鎌先で、SHⅢ12出土のものと比較するとやや大型のものである。（21・22）は、SHⅢ101から出土した鉄器で、（22）は鉗である。（第580図1・2）は、土坑墓STⅢ17に副葬されていた刀である。（1）は、やや小型で、全長18.4cm、刃長14.6cmを計る。（2）は、全長

30.8cm, 刃長24.0cmを計る。両刀とも木質が器表に付着している。(第580図3~6)は溝出土のものである。(3)は、SDⅢ05出土の鋸先である。(4)は、SDⅢ86出土のもので、釘であろう。(5)は、SDⅢ86から出土した直径3cm前後の円盤状を呈する鉄製品である。(6)はSDⅢ136出土の小型の鉄斧である。

2. 鏡類(第580図7・8, 第581図1・2)

鏡もしくは鏡と考えられるものである。4点図化した。(第580図7)は、第1微高地の北部の第Ⅱ期の堅穴住居SHⅡ09の床面から出土した小型 製鏡である。器表には蔓と考えられる植物纖維が不着している。面径7.3cmを計り、紐部は欠損し穴が開く。欠損部周辺は歪んでおり、研磨等の修復の痕跡はまったく認められない。意図的に破壊された可能性もある。縁は幅広の平縁で、内区は外から斜行柳歛文、擬銘帶、6~7弧の連弧文となる。擬銘帶には「三」字形のものが繰り返し間隔をおいて表現されていることから、本鏡の元となった鏡は昭明鏡である可能性が高い。文様の表現は精緻ではなく、連弧文の大きさも差異がある。材質はさほど良くない。(第580図8)は、第Ⅲ期の掘立柱建物SBⅢ62の柱穴内から出土した鏡片と考えられるものである。外縁部は欠損し、雷文状の隆線による文様、直行の柳歛文が認められる。材質は良く、文様の表現も残存部で見るかぎり丁寧なものである。欠損しているため不明であるが残存面径は10.4cmを計る。類例に乏しく、鏡と断定するには躊躇するが、仮に鏡であるとすれば舶載の内行花文鏡の可能性がある。出土した掘立柱建物は埋土の土質から、平安期以降のものである可能性を調査担当は指摘している。遺構検出地には、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての包含層が広がり、第Ⅱ期の遺物の混入は考えられる。(第581図1)は、調査区の南部、第4微高地の西南部で検出した土坑墓STⅢ15から出土した菊花双鳥鏡である。面径は10.8cmを計る。背面には、菊花・鳥・萩・草の文様が纖細なレリーフで表現されている。材質は白銅質の良好なものである。(第581図2)は、予備調査で出土した。鏡片を再利用したと考えられる銅製品である。材質は良好で白銅質を呈し、無文である。復元面径は、13cmほどを計る。先端部は研磨され尖り、切断用の刻線も認められる。

3. 青銅製品(第580・581図 図版376)

(第580図3)は、第1微高地北部の第Ⅱ期の堅穴住居SHⅡ03出土の銅製品で、薄い板状を呈する。銅鐸の鱗もしくは平形銅研の一部とも考えられるが、小片のため断定できない。長軸44.5cm、短軸15.0cm、厚さ0.3cmを計る。(第581図4)は、第1微高地北部の第Ⅱ期の堅穴住居SHⅡ06出土の銅製品で、銅鐵の基部である可能性が高い。銅質はさほど良好ではない。(第581図5)は、第1微高地中央部の第1低地帯に面した第Ⅲ期の堅穴住居SHⅢ16から出土した金銅製の耳環である。直径16cmほどを計る。(第581図6)は、第2微高地のピット出土の不明銅製品である。(第581図7)は、第4微高地の西縁を走る古墳時代後期の溝SDⅢ177から出土した今銅製の主頭把頭である。金の残存状況は良好で、側面に透かしがある。完形ではなく、破損した状態で出土した。(第581図8)は、SDⅢ177に隣接して出土した金銅製の可能性が高い耳環である。整地層の下面からの出土のものである。

第Ⅱ期に属する青銅製品は、前述した小型 製鏡を含めて、第1微高地北部の堅穴住居群中からのもので、鉄製品とともに他の第Ⅱ期の住居群からは出土を見ない。第1微高地北部の堅穴住居群が、他の住居群と比較して中心的なものであることを窺わせる資料である。

また第4微高地の南端部で検出した金銅製の主頭把頭や耳環は、いずれも7世紀初の整地層の下面で

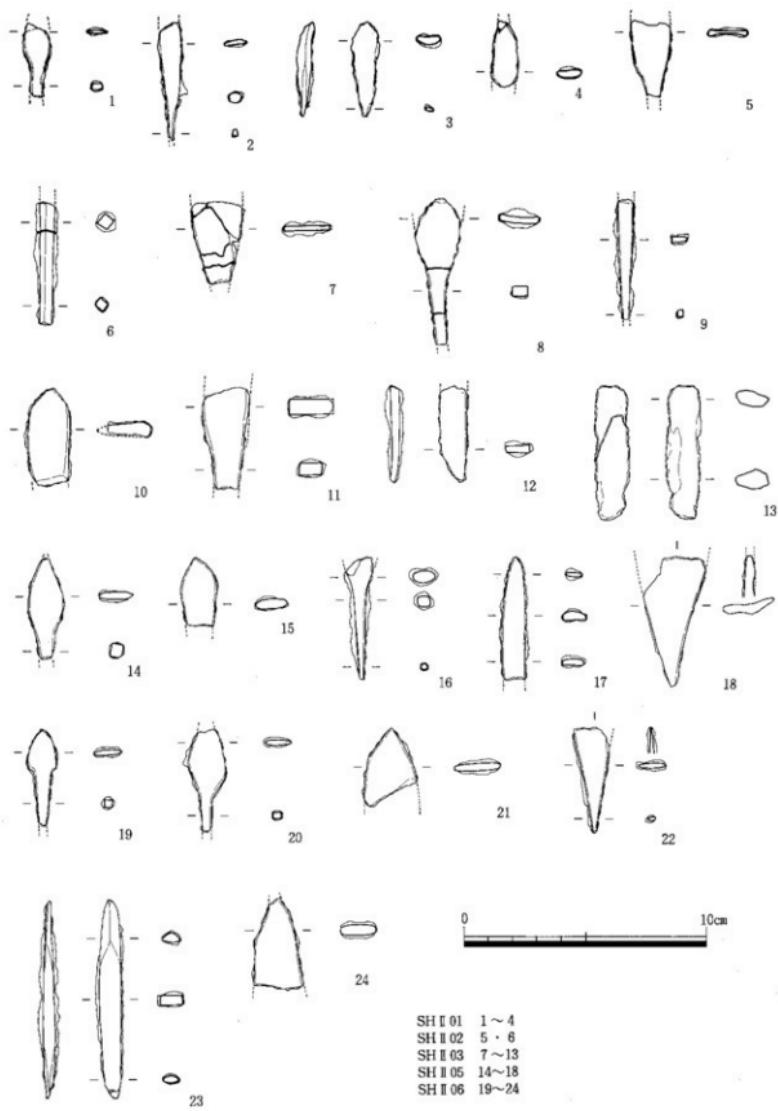
検出した溝中のものである。近接地点からは、碧玉製の管玉も出土しており、溝内からの偶然の出土とは考えにくく、整地を伴う集落の変質とともに祭りが行なわれ、それにともなう遺物である可能性が高い。こうした祭祀に関しては、第1微高地の第Ⅲ期の堅穴住居群中からも金銅製の耳冠や勾玉等が出土しており、下川津遺跡全城に及ぶものであった可能性も考えられる。しかし第1微高地周辺は削平が進んでおり、明確に地形の変更とともに整地等が行なわれたことを実証するには、データ不足であるが、第Ⅱ期の堅穴住居群が微高地の縁辺部を中心として展開し、微高地の中央部に立地するものが極めて少ないことや、微高地中央部の堅穴住居の残存状況が悪いことからすれば、少なくとも第Ⅱ期には地形の大幅な改変がなされていたとは考えにくい。第4微高地の西端部を地形に合わせ蛇行する第Ⅱ期の溝SDⅡ20の上位には、古墳時代後期のSDⅢ86が完全に一致するように走る。5世紀から6世紀中葉までの空白期の後、地形的には変化がなく、6世紀の後半代SDⅢ86が第Ⅱ期の溝をそのまま踏襲している状況を示している。このSDⅢ86中からは、長脚2段透かしの高杯等の通常は溝内に廃棄されるとは考えにくい器種が多量に検出された。溝の廃絶とともに祭りが行なわれていた可能性が考えられ、その一連のものとして南端部のSDⅢ177で青銅製品等の遺物を使用した祭祀がなされたと考えられる。SDⅢ177が廃絶後、整地がなされ、規格化された配置を有する掘立柱建物群を中心とする新たな構成の集落が下川津遺跡上に展開する。こうした集落の変質に際して旧体制下のシンボル的な遺物の廃棄がなされた。そのシンボリックな遺物が金銅製主頭把頭や耳冠および管玉であったと考えられる。第1微高地の第Ⅲ期の堅穴住居内からの金銅製耳冠や勾玉等の遺物もこうした祭祀が各堅穴住居の廃絶に関連して行なわれたものであると考えられる。

4. 古 錢（第582図 図版376）

微高地上から出土した古銭は近世以降のものを除き総数25点になる。出土古銭は、皇朝十二銭の萬年通寶1点を除き、他はすべて北宋銭である。全点図示した。(1～9)は、溝から出土した古銭である。(1・2)はSDⅢ04から出土したもので、祥符元寶と至和元寶である。(3)はSDⅢ71から出土した嘉定通寶である。(4)は、第4微高地の中央やや西よりを南北に、いわゆる条里坪界上に走るSDⅢ75の最下層から出土した延喜通寶である。(5・6)はSDⅢ144・145の合流部から出土した皇宋通寶と大觀通寶である。(7・8)は第N期の溝から出土した北宋銭である。(7)はSDⅣ08から出土した咸平元寶、(8)はSDⅣ08から出土した明道元寶である。(9)はSDⅢ143から出土した咸平元寶である。(10)はSPⅢ33から出土した天禧通寶である。(12・13・15～19)は包含層出土のもので、内訳は熙寧元寶・元豐通寶各2枚、紹聖元寶・元符通寶・祥符元寶各1枚である。(11・14)は予備調査で出土した古銭で、皇宋通寶と熙寧元寶である。

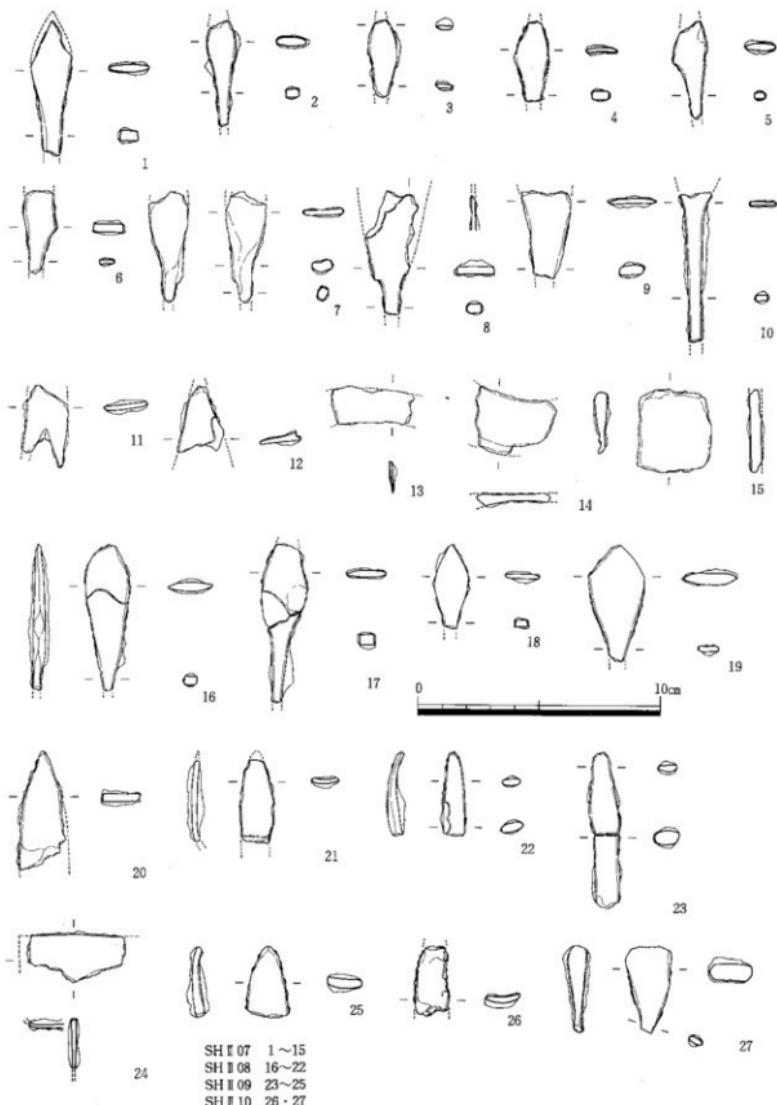
出土古銭の中で、延喜通寶は、いわゆる条里坪界線と一致する溝SDⅢ75の最下層から出土しており、実年代を推定する資料としても注目される。

(藤好)

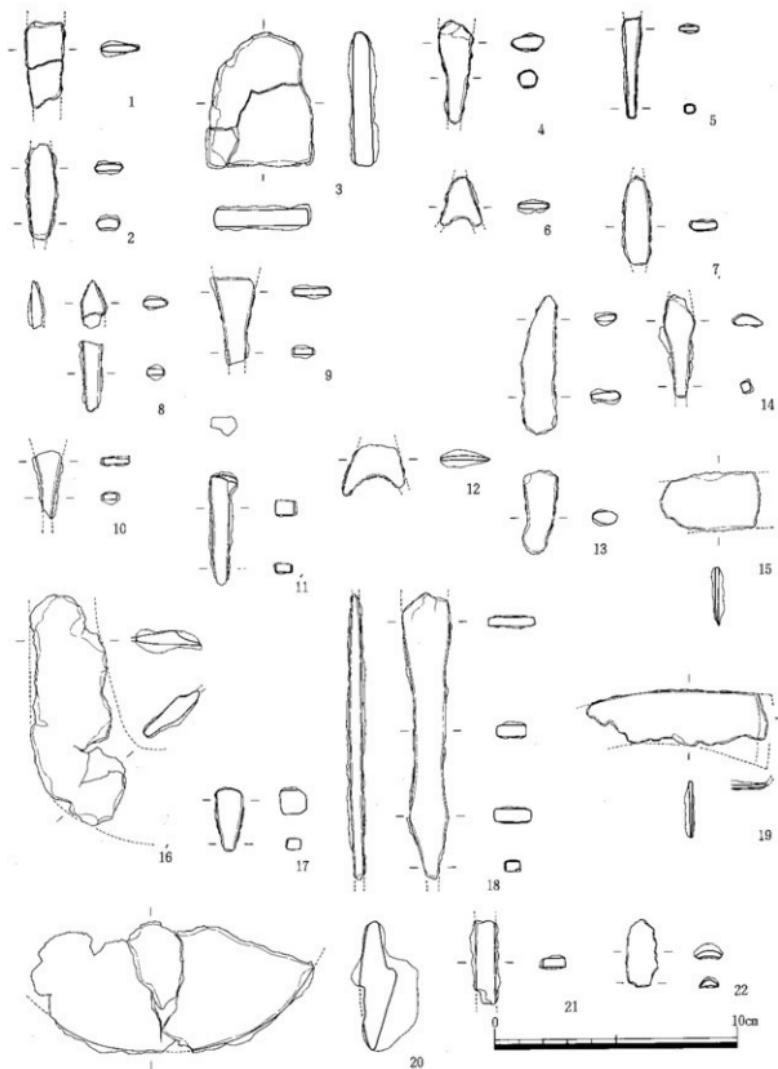


SH II 01 1 ~ 4
 SH II 02 5 ~ 6
 SH II 03 7 ~ 13
 SH II 05 14 ~ 18
 SH II 06 19 ~ 24

第577図 遺構出土鉄器(1)

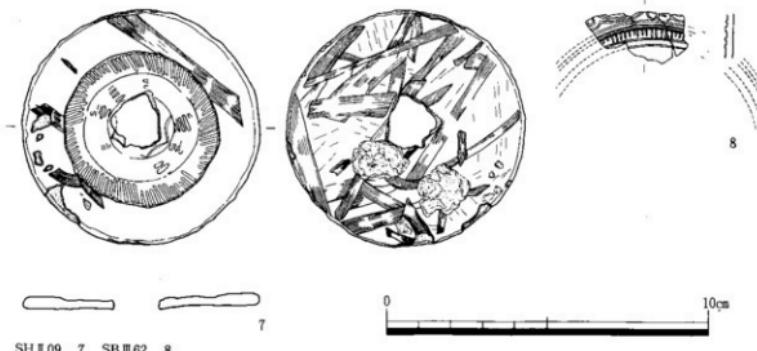
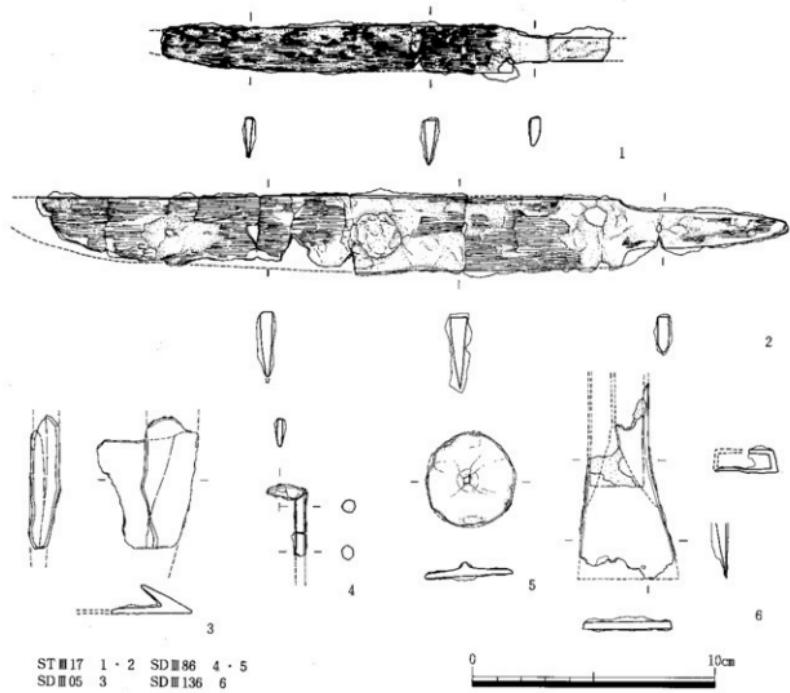


第578図 遺構出土鉄器(2)

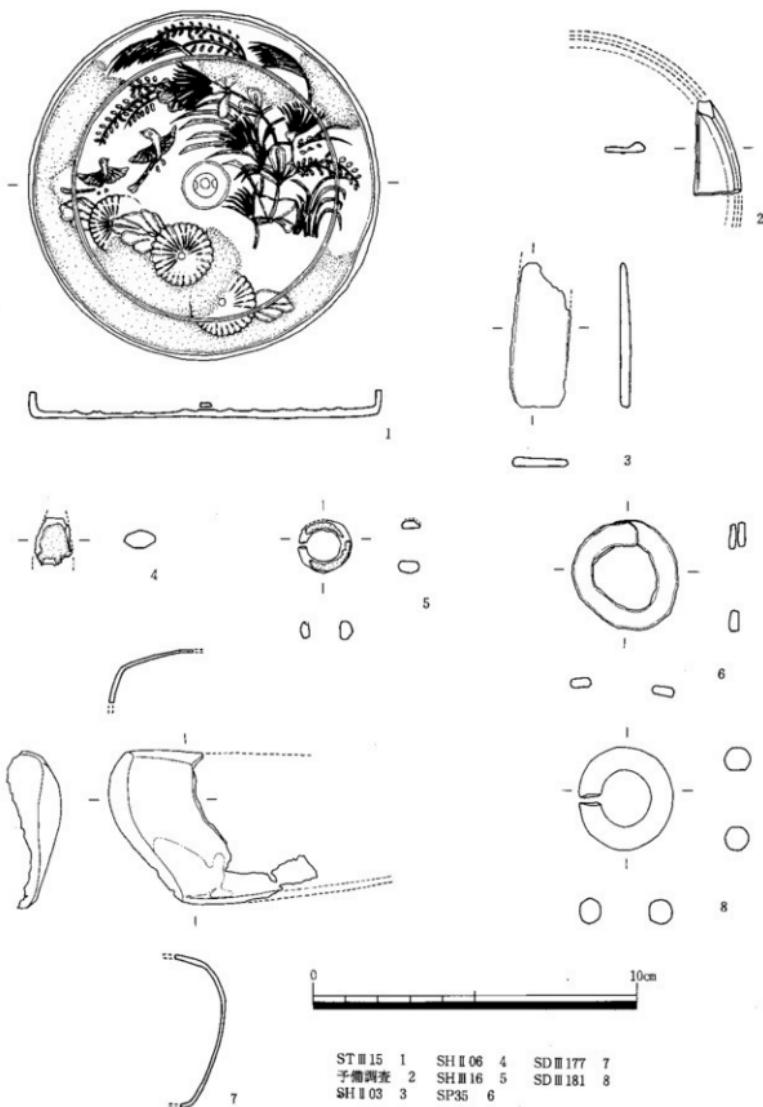


SH II 13 1~3 SH II 23 5 SH II 06 8 SH II 09 10~11 SH II 12 14~17 SH II 25 19 SB II 101 21~22
SH II 18 4 SH II 01 6~7 SH II 08 9 SH II 11 12~13 SH II 18 18 SH II 52 20

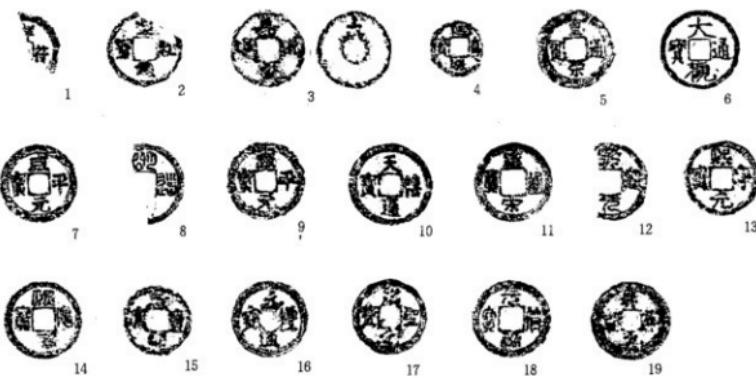
第579図 遺構出土鉄器(3)



第580圖 遺構出土鐵器(4) 1 ~ 6 , 遺構出土青銅器(1) 7 ~ 8



第581図 遺構出土青銅器(2)



SD II 04 1 · 2 SD II 75 4
G 6 15~19 SD II 71 3 SD II 06 7 SD II 143 9
予備調査 SD II 144·145 5 · 6 SD IV 08 8 予備調査 11 G 6 遺構面直上 13
H 5 SP48 10 H 21 包含層 12

第582図 遺構出土貨銭

第9節 木 器

畿高地上の遺構で、木器を伴うあるいは遺存していた例は多くない。わずかに満SDⅢ71、井戸SEⅢ04・01・05・N01に過ぎない。うちSEⅢ05では井戸枠材として曲物を使用していたが劣化が著しく図化し得なかった。ここではそれ以外の資料を掲載している。時期的にはSEⅢ01の資料が8世紀以前に遡るほかは平安時代後半以降のものばかりである。量的には確かに少ないが、底地部資料で殆ど欠落する時期の木器の一端を知ることが出来る。

SDⅢ71出土木器（第583～585図）

本満では下川津遺跡の遺構では珍しく比較的多量の木器を検出できた。ほぼ10～12世紀の幅で捉えうる資料で本遺跡では全体に乏しい古代末・中世の木器資料の大半を占める。第583・584図に掲載したのはこのうち中・西半部で検出した資料である。

(第583図1)は形状から見て錐柄であろう。側面には細かい面取り加工を施し、細身の多角柱状に仕上げている。上端小窓に向かってかすかに径を増し、中央に茎孔が確認できる。(2)も工具柄であろう。両端を欠損している、芯部に茎孔と思われる円孔を穿つ。(1)に比べ体部はやや太目であること、茎孔の径も大きいので、整柄の可能性もある。(3)は櫛。10条/cmと櫛歯の間隔は比較的密で挽き出しも深い。黒漆の塗布が確認できる。(4)は全体に劣化が著しく細部の形状を知り得ないが、ワラジ編み台支柱の可能性がある。(5・6)は挽物で共に高台付椀。高台の縁辺部の突出は少なく、形状は平高台に近い。(8)は円形曲物。底部を欠くが側板は桿皮によって一箇所で止められたままである。内面に縦方向の細かいケビキが顕著である。(9～13)は長方形曲物底板。何れも桿皮結合である。(9・11)は一部に桿皮が遺存している。(14)は曲物側板片。内面に縦方向・斜方向の細かいケビキが認められる。(第584図2)は不明品。頭部と尾部らしき突出部があるので動物形模造品かも知れない。(3)は薄板材に墨書きを描く。人物頭部の左半分が残っている。頭部には冠を戴き、長く垂れ下がった耳の表現が認められる。仏像を表現したものか。(6)は両端を主頭状に落とした薄板材。中央に小孔を穿つ。(7)は板材の両端を凹形に加工し、両端部とも小口面凹部中央と両側凸部に横から木釘を打ち込み、別材と丹念に組み合わせた事を窺わせる。樹その他の箱形品の一側板か。(4・5・8～12)は薄板材。(10)は一側縁に鋸齒状の加工がある。(第585図)掲載資料はSDⅢ71東端部で検出したものである。(1・2)の薄板材の円板は側板との結合痕が一切確認できないので、曲物底板とは考え難い。(3)は曲物側板閉じ合わせ部分の破片である。桿皮が遺存している。(4)は横櫛、円筒形の細身の体部を持つ。側面には打撃痕が顕著である。第1低地帯路2などで検出した7～8世紀の横櫛と形態的には殆ど替わり無い。(5・6)は一本造りの下駄。保存状態は極めて悪いが、(6)では辛うじて前巻が中央にあることは判る。(7・8)は挽物。(7)は漆塗りの小皿である。(9)は芯持丸太材の一端を尖らせた。極めて丹念な加工で仕上げており、杭先とは考え難い。(10)は薄板材を輪状に加工する。用途不明である。

SEⅢ04出土木器（第586図）

(第586図1)は櫛。櫛歯密度は13条/cmと極めて細かく挽き出しも深い優品である。(2～4)は井戸四隅に打ち込まれた杭材。抜き取られていたが井戸枠材を支えたものであろう。

S E III01出土木器（第587～593図）

(第587～593図)に掲載したすべては本井戸に使用された枠材である。本井戸は出土遺物が乏しいがほぼ7世紀後半で比定される。両端をそれぞれ二方向から切り欠き、直交方向の枠材と組み合わせ易くした物が多い。(第587図1～第589図3)は芯持丸太材を使用し両端で一方向ないしは二方向からそれぞれ三角形状に削り込んでいる。(第589図4～第590図4)は角材もしくは半裁丸太材を素材とする。同様に両端付近で台形状ないしは三角形状に削り込む。(第590図3・4)は一本造りの梯子段の転用品である。梯子段自体は第1低地帯流路4で検出した弥生時代後期のそれと同形態である。(第590図1)は中央に方形の枘を穿つ。恐らく建築部材の転用品であろう。(第591図1～第593図6)では板材を使用する。やはり両端部何らかの削り込みを設ける例が多い。また(第592図1・4・5)等のように井戸枠材としては意味の無い枘穴や小孔、削り込みを持つ例も多く見られる。かなり建築部材を転用しているのであろう。

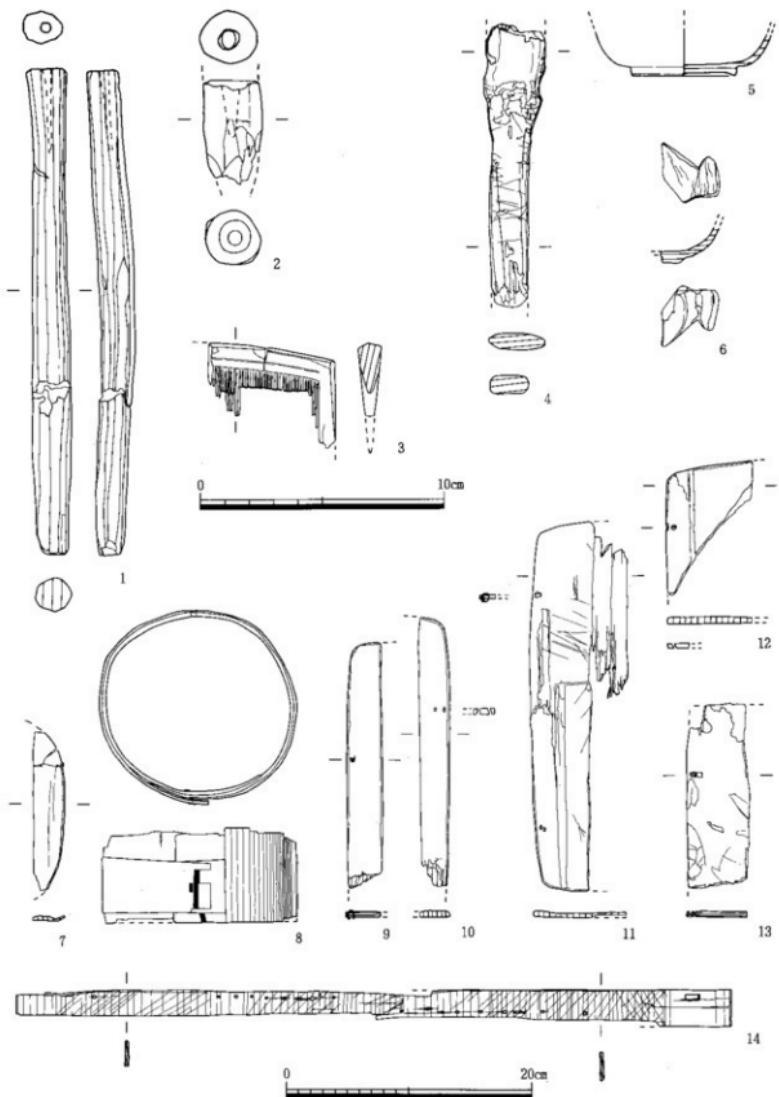
S E III05出土木器（第594図）

本井戸は出土遺物と位置関係から12世紀後半～13世紀に比定できる。(第594図1・2)の大形曲物は二段に重ねて井戸枠の下半部を形成していたものである。側板を二重に回し更に補強材を重ねる。(2)では二重に回した側板間に縦長の薄板を5箇所に差し込む。共に内面に密なケビキが認められる。特に(2)では縦方向のそれに加え、斜格子状のケビキが見られる。(3)は井戸枠内で検出した薄板材である。一端をくびれさせ、木簡状に仕上げるが墨書きはない。

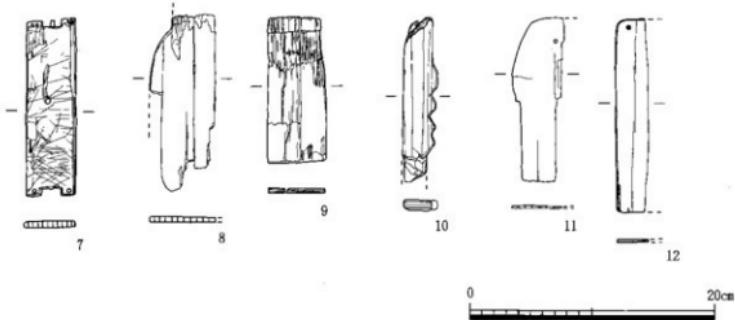
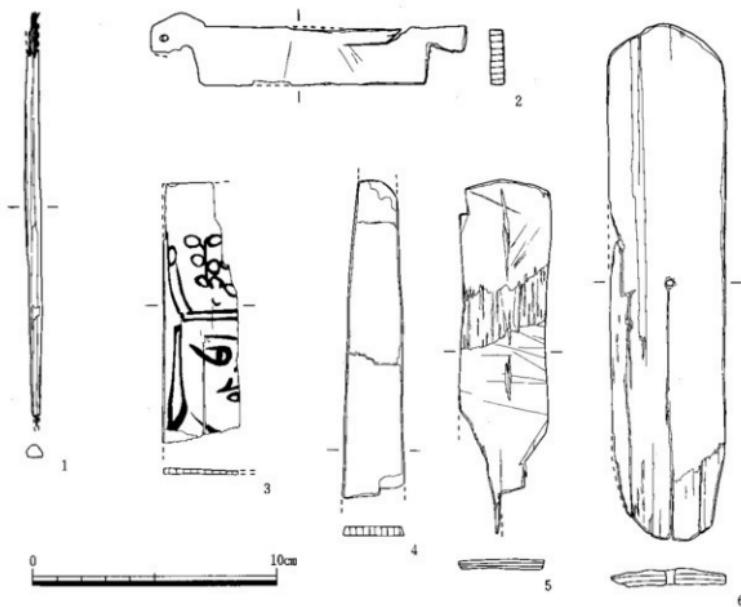
S E IV01出土木器（第595図）

本井戸は第1徹高地の室町時代後半の屋敷地に付属する井戸で16世紀後半に位置付け得る。(第595図1～5)は挽物で何れも漆塗りである。(1・3・5)は高台付椀である。(3・5)は高台をやや分厚く作る。(2)は高台付の小皿。(4)は小片のため器種不明全体にやや分厚い造りである。(7・8)は薄板材の円板。側板との結合痕が認められないで曲物底板ではなかろう。(9)は四周が破損した小片であるが、檻皮をはめ込んだ小孔部分が残っている。曲物底板片であろう。(6・10～12)は板材。(14)はやや湾曲した棒状品で両端に球形の頭部を造り出す。全体に丁寧な加工で平滑に仕上げる。(13)は小片であるが(14)同様の頭部を持つ。天秤棒であろうか。

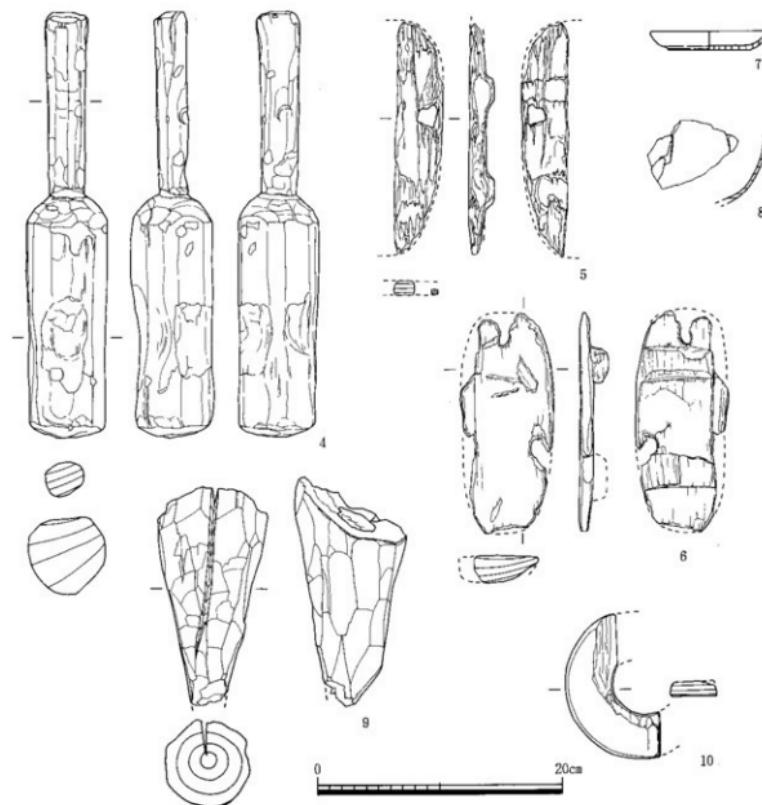
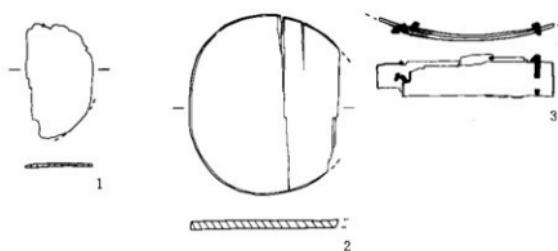
(大久保)



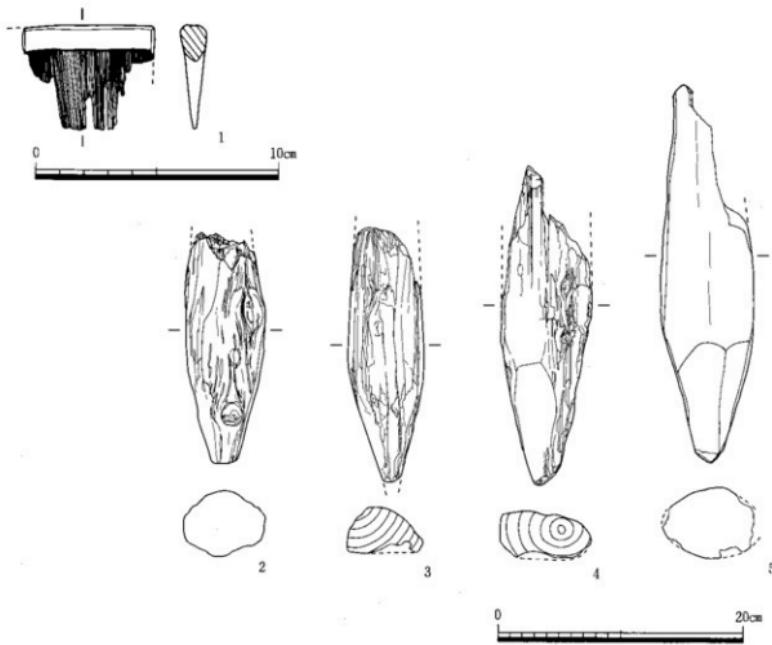
第583図 SDII 71中・西部 出土木器



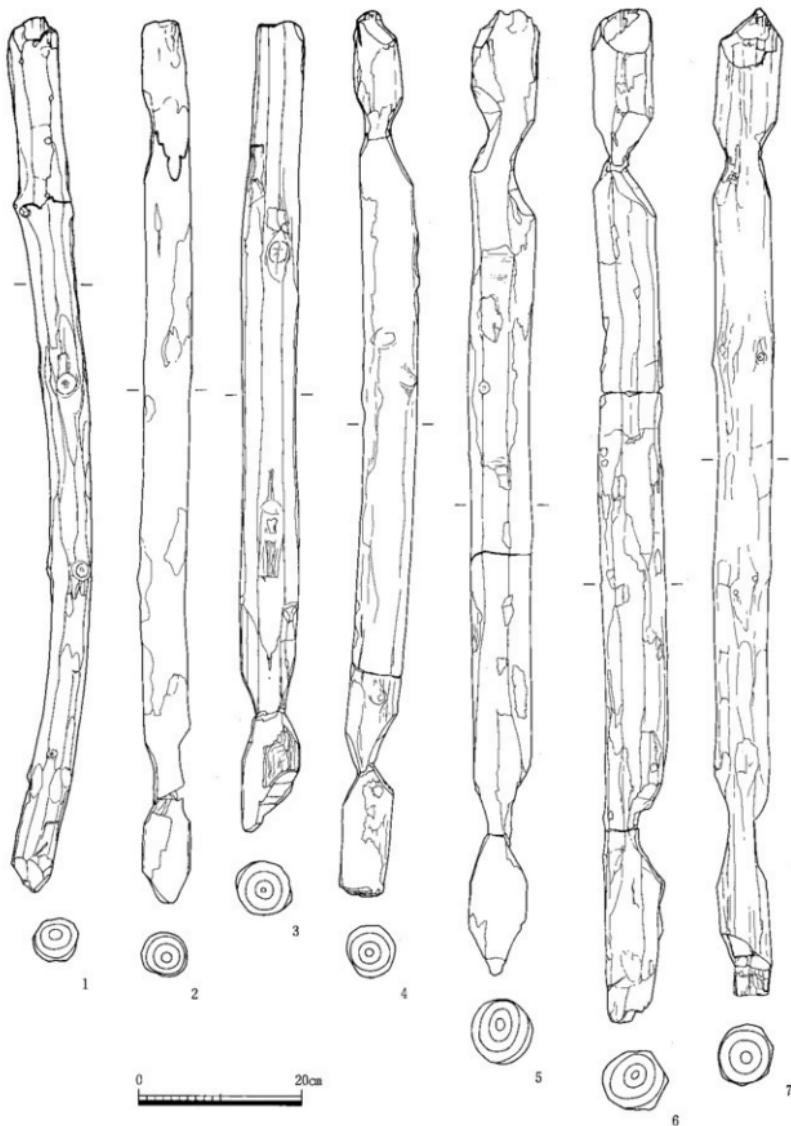
第584図 SDII 71中・西部 出土木器



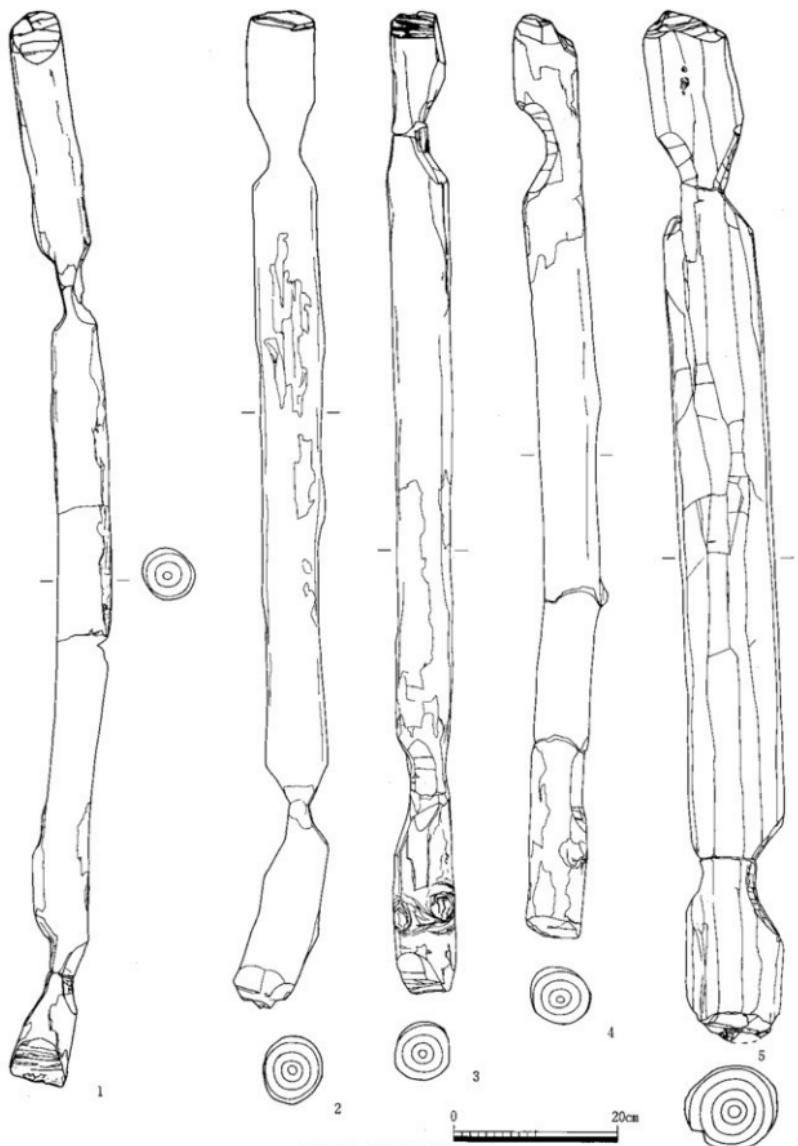
第585図 SDⅢ71東部 出土木器



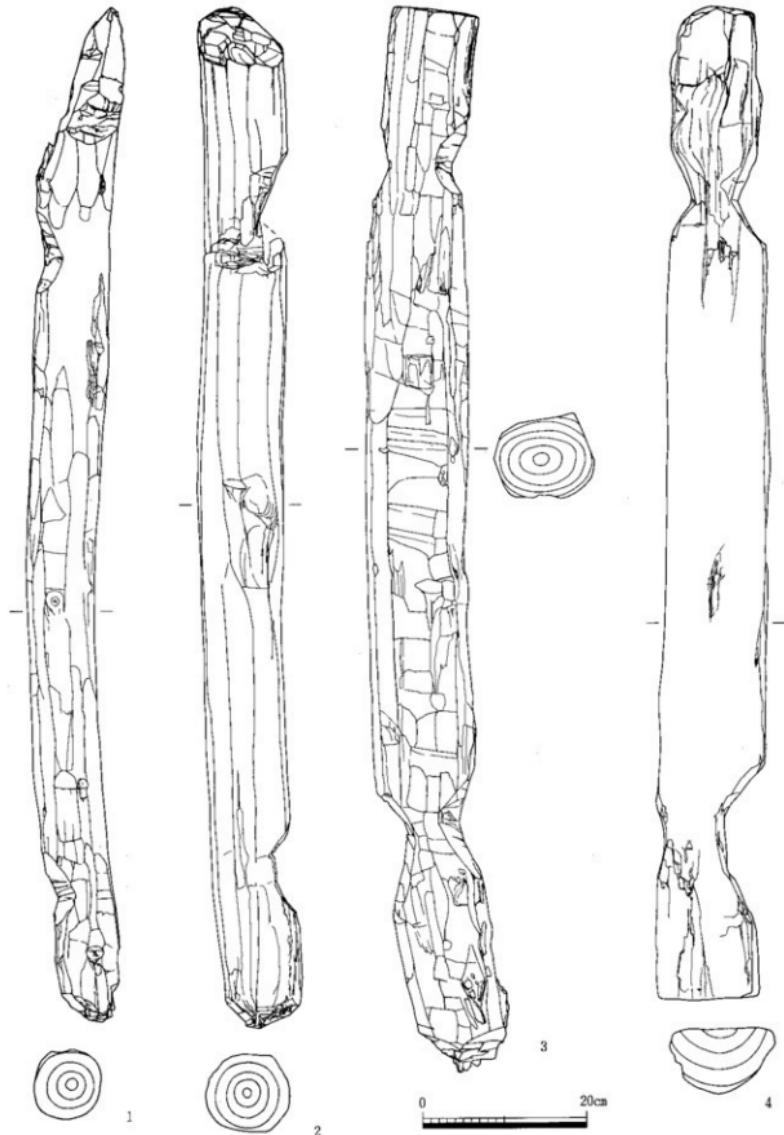
第586図 SEII-04 出土木器



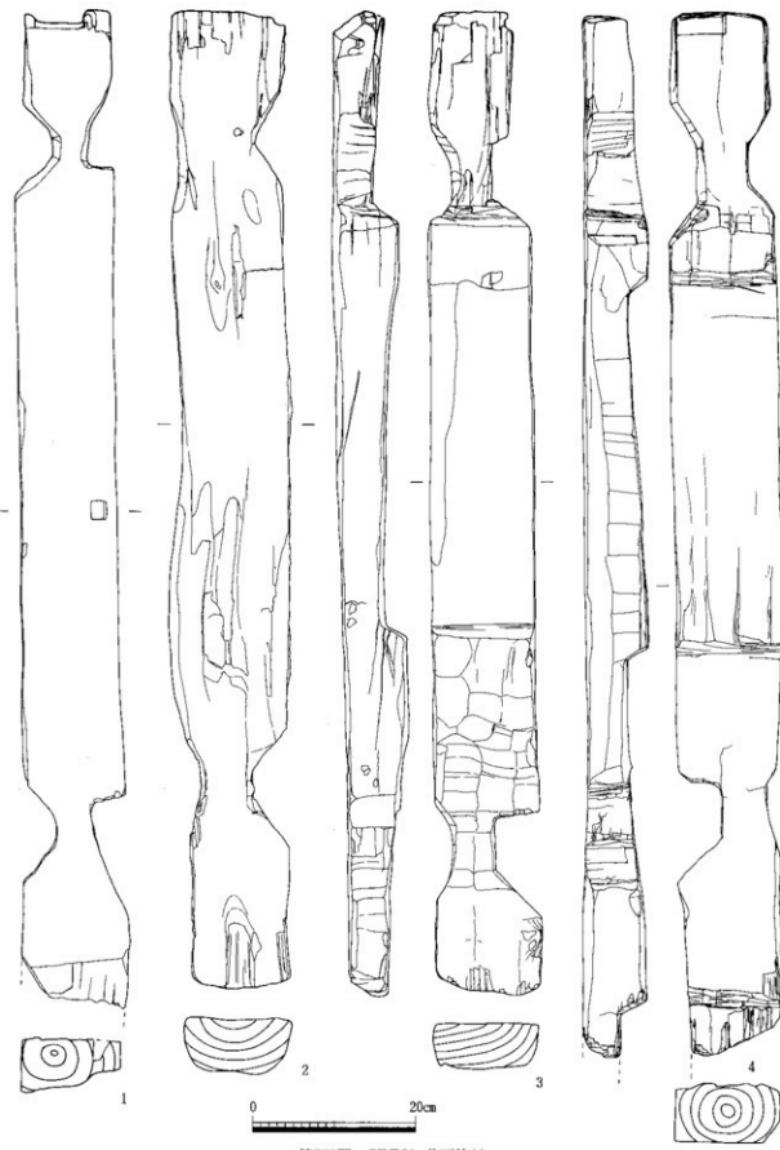
第587図 SEII-01 井戸枿材



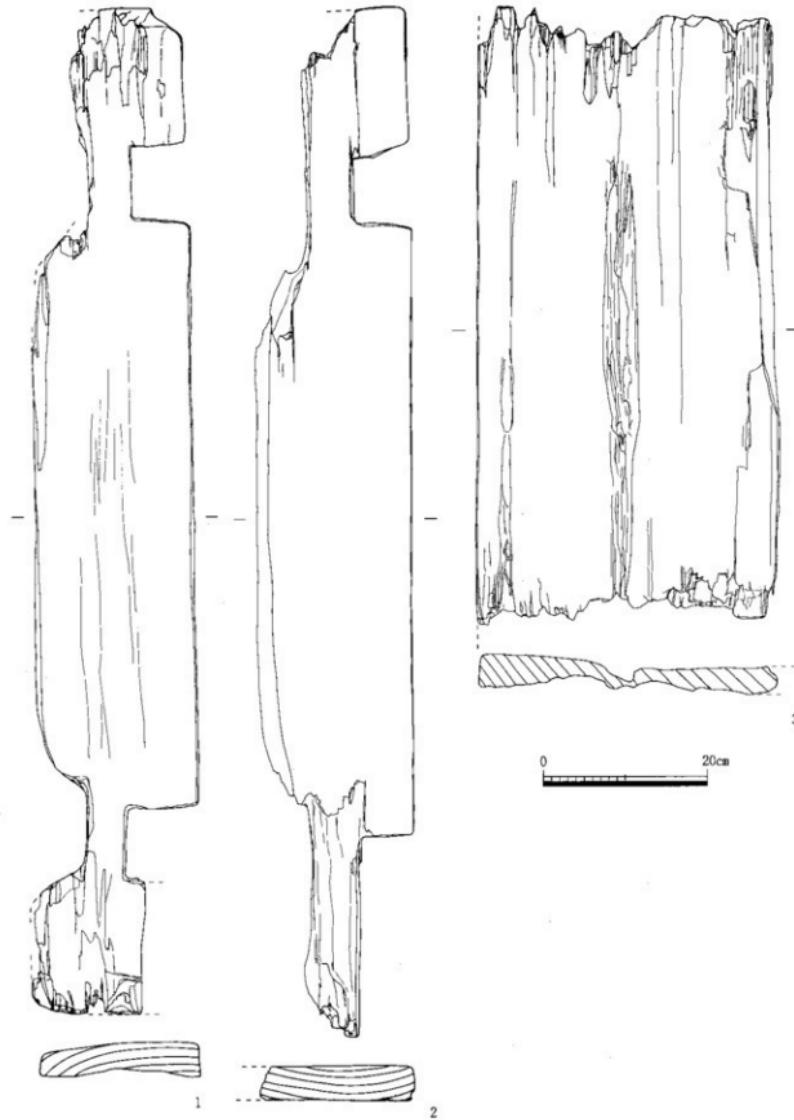
第588図 SEIII01 井戸枠材



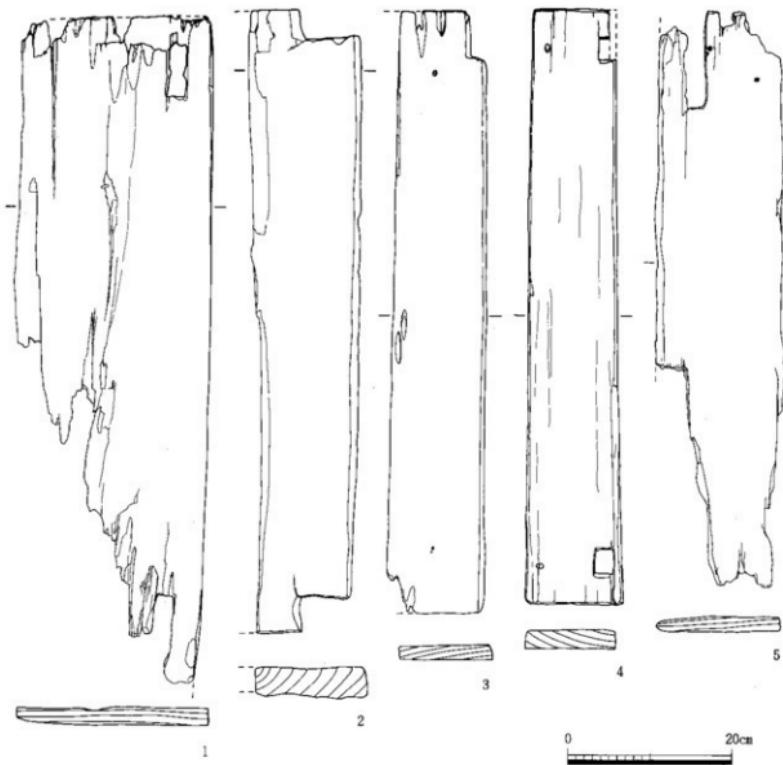
第589図 SE III 01 井戸枠材



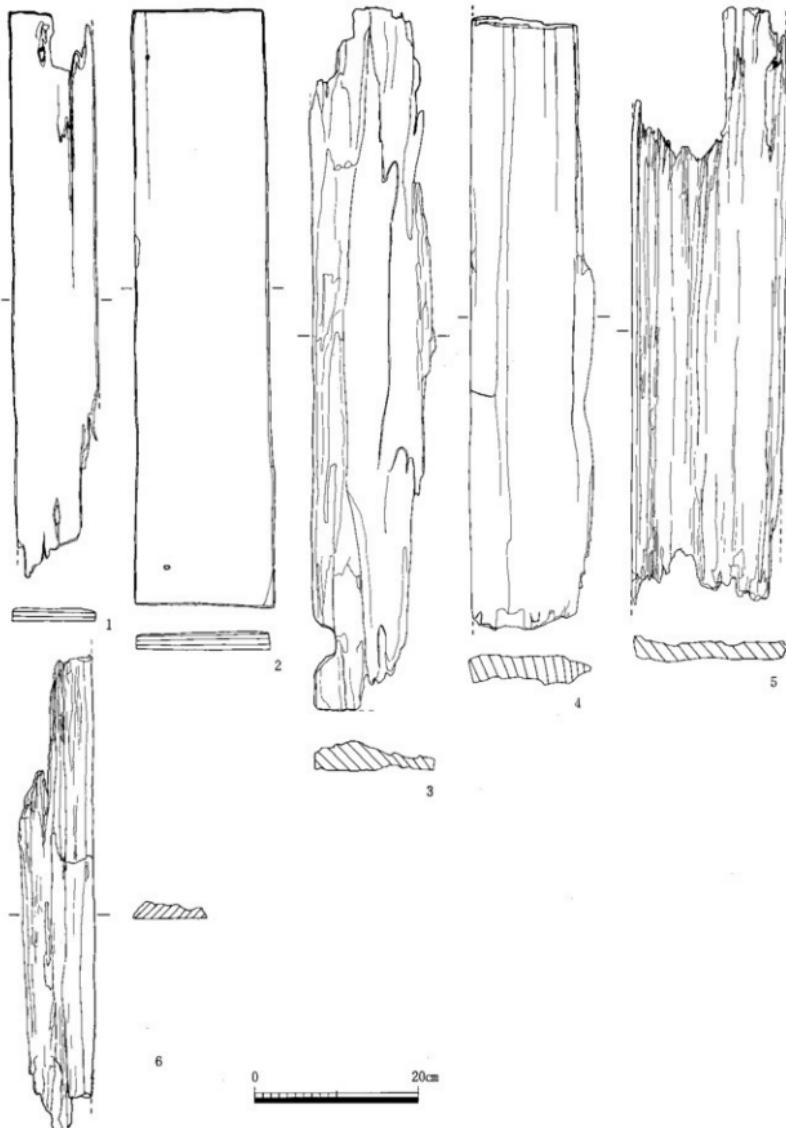
第590図 SEII-01 井戸枠材



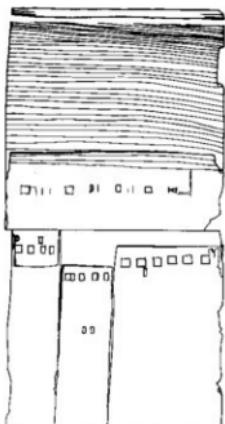
第591図 SE III 01 井戸枠材



第592図 SEIII-01 井戸枠材

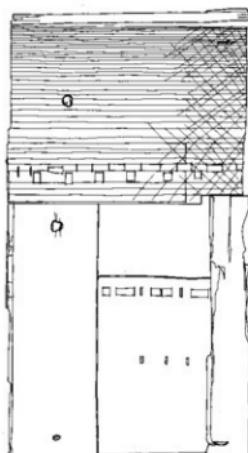


第593図 SEⅢ01 井戸枠材

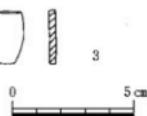
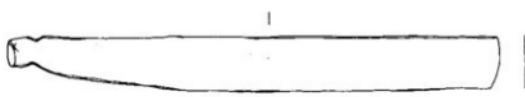


20cm
0

1

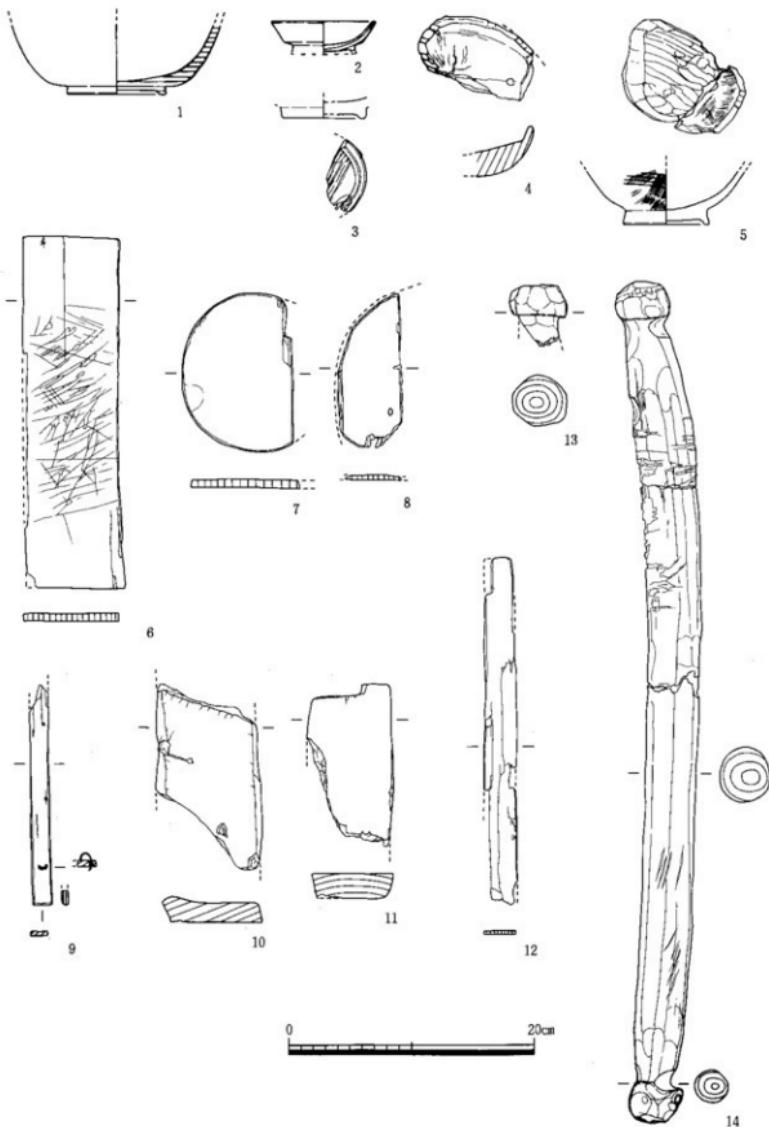


2



3

第594図 SEII05 井戸枠・出土木器



第595図 SEN01 出土木器

第1分冊 付 表

付表1 遺構観察表

付表2 木器観察表

木製品観察表

a 遺物番号の5桁数値は前3桁は挿図番号、後2桁は遺物番号を示す

例) 16201→第162図 1

b 低地部出土地点名は図中で以下の通り 短縮表示する。

第1低地帯流路1	→ 1低・流1
第1低地帯流路2	→ 1低・流2
第1低地帯流路2 (国道以南)	→ 1低・流2南
第1低地帯流路3	→ 1低・流3
第1低地帯流路5 北半部	→ 1低・流5北
第1低地帯流路5 南半部	→ 1低・流5南
第2低地帯流路1	→ 2低・流1
第2低地帯流路2	→ 2低・流2
第3低地帯流路2	→ 3低・流2
第4低地帯流路1	→ 4低・流1
第4低地帯流路2	→ 4低・流2
第4低地帯流路6	→ 4低・流6

c 備考欄に付した番号は樹種鑑定整理番号である。第6章鑑定報告を参照されたい。

なお、島地○は、島地報告に係わる整理番号を示す。

付表 1 遺構觀察表

第1期 穹穴住居觀察表

No.	測量名	地区	平面形	断面形	規模(長軸×短軸)	底板(厚さ)	柱孔(直径)	柱孔(高さ)	測量歩幅	測量面積	測量水深	測量	測量番号	備考
1 SK 1.01	G21				14.7	5.0	0.2	74.7				7	17	

第1期 土坑觀察表

No.	測量名	地区	平面形	断面形	規模(長軸×短軸)	底板(厚さ)	柱孔(直径)	柱孔(高さ)	時期	採掘番号	採掘番号	備考
1 SK 1.01	I25	不規則形	逆台形状	1.2	0.9	0.10			7-505			
2 SK 1.02	I17	不規則形	逆台形状	1.3	1.0	0.48	0.8	0.18	7-507	7-507	7-507	
3 SK 1.03	I23	不規則形	椭圓U字状	1.5	0.5	0.10			506			
4 SK 1.04	I21	不規則形	逆台形	4.3以上	1.2	0.21			506			
5 SK 1.05	I21	不規則形	V字状	2.6以上	1.2	0.10			506			
6 SK 1.06	I21	不規則形	V字状	1.8	1.5	0.10			506			
7 SK 1.07	I20	不規則形	椭圓U字状	1.0	1.2	0.23			506			
8 SK 1.08	G20	不規則形	逆台形状	1.9	1.4	1.00			506			
9 SK 1.09	F17	不規則形	椭圓U字状	1.5	0.7	0.10			9			
10 SK 1.10	G16	椭圓形	椭圓U字状	1.1	0.4	0.10			10			

第1期 不明遺構觀察表

No.	測量名	地区	平面形	断面形	規模(長軸×短軸)	底板(厚さ)	柱孔(直径)	柱孔(高さ)	時期	採掘番号	採掘番号	備考
1 SK 1.05	I22				6.4	2.0	0.1	11				
2 SK 1.06	I20-21				6.4	2.1	0.1	-0.2	11	18		
3 SK 1.08	I20				5.1	2.0	0.1		11	19		
4 SK 1.09	I20				3.2以上	2.1	0.1		11	19		
5 SK 1.10	F16	不規則形	V字状	2.3	1.0	0.7			12			

第Ⅰ期 潜窓観察表

No.	測定名	施設区分	開閉・幅(α)	開閉・深さ(ε)	測定番号	測定番号	備考
1	SD 1/02	J15-16 K16-17	1.0	0.5	13	19-20	
2	SD 1/03	K15-16	1.0	0.3	13-14	19-20	
3	SD 1/04	GK-9 1/0	0.6	0.4	15	16	

第Ⅱ期 積穴住居観察表 ※()内は推定値

No.	測定名	施設区分	主軸方位	平面形	開閉・長軸(α)	開閉・短軸(ε)	開閉・深さ(ε)	面積(m ²)	柱間穴	無遮・仰生	無遮・横	無遮・仰横	無遮・横横	無遮・横横	備考
1	SE 1/01	R28		円形	7.25±上(8.5)	5.25±上(7.8)	0.34	(54.8)	4(7)	○					30° 21 強出片
2	SE 1/02	128		円形	3.7	3.7	0.36	11.0	4	○					31° 22-23 強出片
3	SE 1/03	128		円形	6.7	6.2	0.08	36.0	4	○	○	○			32° 24-25 強出片
4	SE 1/04	127	N7° E	扇形	4.12±上(4.7)	3.6	0.18	(17.6)	2(4)	C7					33° 26
5	SE 1/05	127		不規則形	8.0	7.6	0.2	45.4	6	○	○	○			34° 27
6	SE 1/06	127		扇形	7.9	5.84±上(7.3)	0.68	(59.9)	6	○	○	○			35° 28-29 強出片
7	SE 1/07	127		円形	8.45±上(8.8)	7.38±上(8.4)	0.58	(57.2)	8	○	○				36° 28-30
8	SE 1/08	127		不規則形	8.1	6.62±上(6.9)	0.35	(41.9)	5	○	○	○			36° 31 強出片
9	SE 1/09	128	N37° E	扇形	5.8	5.11±上(5.2)	0.34	(27.8)	4	○					37° 32-36 強出片
10	SE 1/10	126		不規則形	5.1	4.35±上(4.4)	0.42	(17.7)	○						38° 33
11	SE 1/11	R25		扇形	3.25±上(4.2)	2.71±上(3.9)	0.48	(13.1)	2	○	○				39° 35
12	SE 1/12	125	N5° E	扇形	4.4	4.0	0.58	15.4	○						40° 34
13	SE 1/13	120		扇形	3.6	3.1	0.38	10.6	2						41° 35
14	SE 1/14	120	N30° E	扇形	3.9	3.6	0.56	11.9	4	○					42° 36-36
15	SE 1/15	E20	S3° E	扇形	4.2	4.1		15.2	4	○	○	○			43° 37

第Ⅱ期 穩穴住居觀察表(2) 沈()内は指定値

No.	業種	地区	主軸方位	平面形	横幅・長軸(%)	横幅・側輪(%)	横幅・深さ(%)	面積(㎡)	主軸穴	周壁・側壁	周壁・底壁	底面・側壁	底面・底壁	周壁・底壁	周壁面積	底面面積	底面・側壁	周壁面積	底面面積	備考
16 SH 1 16	G20		円形	7.46±0.3(8.0)	3.46±0.7(5)	0.05	(50.1)	○											44	38 強出付
17 SH 1 17	G20		楕丸形	6.5	6.2	0.25	35.0	4 ○	○										44	38
18 SH 1 18	F-G20		円形	5.9	5.7	0.25	23.4	6 ○	○										45	39 強出付
19 SH 1 19	G20		円形	4.7	4.4	0.14	12.4	4 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	46	40
20 SH 1 20	G20		円形	6.0	5.6	0.05	23.6	4 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	47	41
21 SH 1 21	G19		円形	4.0	3.8	0.12	12.1	5 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	47	41
22 SH 1 22	G20		円形	4.3	4.1	0.1	13.1	4 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	46	42
23 SH 1 23	G19		円形	7.6	5.2	0.2	28.2	5(6) ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	49	42~43
24 SH 1 24	G19	N°7 E	楕丸形	3.84±0.3(3)	3.70±0.3(3)	0.2	(10.0)	2 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	50	42~44
25 SH 1 25	G19		円形	6.5	6.4	0.3	32.0	6 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	51	42~45~46
26 SH 1 26	G19		円形	7.5	7.1	0.3	40.7	7 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	51	45~46
27 SH 1 27	G19	N°5 V	方型	3.05±1	1.96±1	0.25			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	52	
28 SH 1 28	E-118		円形	5.0	5.0	0	18.8			○	○	○	○	○	○	○	○	○	53	47
29 SH 1 29	E-P17		円形	9.2	8.4	0.2	57.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	54~55	55~56
30 SH 1 30	G7	N°13 V	楕丸形	4.2	3.9	0.2	14.4	4 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	56	57
31 SH 1 31	G-H17		円形	6.7	6.3	0.2	34.9	3(4) ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	57	58 強出付
32 SH 1 32	H17	N°11 S	楕丸形	4.7	4.0	0.68	14.4	4 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	57	58~100
33 SH 1 33	H16	N°8 V	楕丸形	4.6	4.0	0.22	15.9	2 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	58	100
34 SH 1 34	H15		円形	4.9	4.6	0.26	17.3	4 ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	59	101

第Ⅱ期 土坑觀察表

No.	地 区	溝渠名	平 面 形	斷 面 形	底標-長軸(a)	側標-長軸(a)	側標-深さ(n)	底標-深さ(n)	斜面	斜面番号	底面番号	備 考
1	SK401											
2	SK402	619	不整斜円形	不整V字状	2.0	1.4以上	1.10			573		石頭多處土
3	SK403											
4	SK404											
5	SK405											
6	SK406											
7	SK407	617	不整斜円形	不整V字狀	1.1	0.8	0.40					地上：圖片名617

第Ⅱ期 墓觀察表

No.	溝 溪 名	地 区	平 面 形	斷 面 形	底標-長軸(a)	側標-長軸(a)	側標-深さ(n)	底標-深さ(n)	主軸方位	底 標 法 溝 道	斜 標 号	底面番号	備 考
1	ST401	F14	円形	V字状	0.4	0.4	0.12	NTS E	盤形底	小沢開	61	102	

第Ⅱ期 不明遺構觀察表

No.	溝 溪 名	地 区	平 面 形	斷 面 形	底標-長軸(a)	側標-長軸(a)	側標-深さ(n)	底標-深さ(n)	斜面番号	底面番号	備 考
1	SK401	F17			7.3	2.1	0.1				

第Ⅱ期 潮觀察表

No.	測量名	地 区	測量・標さ(ε)	測量・標さ(ε)	測量番号	測量番号	備考
1	SD I C1	G-029-30 1-30-31	3.4	0.6	62	48	合流部の深さ 1.2m
2	SD I C2	G-28 27 ~ 29	0.4	0.1	63		
3	SD I C4	F-C21	1.0	0.4			
4	SD I C9	C19	0.3	0.3			
5	SD I C11	C18-19	0.5	0.3	64	49	
6	SD I C13	K15 ~ 17	1.0	0.2	13	19-20	
7	SD I C14	F16-17	0.4 ~ 1.3	0.2	19		
8	SD I C16	G17	0.2	0.2	56		
9	SD I C17	D15	0.5	0.2	65	102	
10	SD I C18	D13	0.5	0.1			
11	SD I C20-486	H9 ~ 11 11 ~ 3-4-8-13	1.7 ~ 4.5	0.9	67-68-69	150 ~ 152	
12	SD I C21	G7-6-98	0.4 ~ 1.2	0.2	70		
13	SD I C22	G-HE-7	0.5 ~ 1.3	0.2	71	153	
14	SD I C23	G-95	0.6	0.2	72		

第三期 豊穴住居調査表(1)※()内は推定値

No.	建物名	米区	主軸方位	平面形	実測・長軸(ε)	実測・短軸(ε)	実測・面積(ε)	面積(㎡)	主軸穴	床板穴	窓枠・縁	地盤・基礎	屋根・庇構	瓦数・台数	雨樋・落水管	雨樋・落管	床下敷材	床下敷材	床下敷材
1	森田01	129	N37° E	長方形	4.1	3.4	0.54	13.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	森田02	129	N14° W	楕丸形	5.6	5.5	0.1	30.9	3(4)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	森田03	128	N26° W	長方形	4.8±0.1(5.1)	3.9	0.19	18.8	3(4)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	森田04(木造)	128	N5°	楕丸形	3.7	3.7	0.24	15.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	森田05(木造)	128	N12° W	楕丸形	4.0±0.1(4.2)	3.6±0.1(4.0)	0.2	16.4	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	森田06	127	N80° W	五角形	4.8	2.6±0.1	0.12	13.1	1(7)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	森田06	127	N23° W	五角形	5.0	4.4	0.08	21.5	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	森田07	127	N22° W	楕丸形	6.3±0.1(7.1)	3.3±0.1(6.2)	0.32	24.1	2(4)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	森田08	128	N29° W	五角形	7.1	4.0±0.1(6.1)	0.42	24.7	2(4)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	森田09	128	N40° W	五角形	4.8±0.1(5.8)	3.5±0.1(5.1)	0.4	20.7	2(4)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	森田10	128	N26° W	楕丸形	2.0	0.7±0.1	0.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	森田11	128	N25° W	五角形	2.2	2.1	0.25	4.0	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	森田12	125	N29° W	五角形	5.0	4.9	0.42	23.5	3(4)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	森田13	125	N22° W	五角形	5.3	2.4±0.1	0.46	9.3	2(4)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	森田14	125	N37° W	五角形	5.2±0.1(6.2)	5.6	0.32	28.0	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	森田15	121	N56° W	楕丸形	2.4	2.2	0.35	3.8	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	森田16	121	N48° W	五角形(矢張)	3.5±0.1(5.8)	2.2±0.1(4.4)	0.37	12.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	森田17	120	N13° W	五角形	3.4±0.1(3.4)	2.1±0.1(3.9)	0.14	11.6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	森田18	120	N62° W	長方形	3.4	3.0	0.1	10.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	森田19	115	N59° E	長方形	3.2	2.6	0.08	8.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	森田20	115	不動形	3.7±0.1(3.7)	2.4±0.1(3.7)	0.07	11.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第三期 鑿穴住居觀察表(2) 洪()内は推定値

No.	遺 考	遺 品 名	地 区	主導文化	平面形	施設・構造(△)	施設・構造(○)	施設・構造(△)	施設・構造(○)	施設・構造(△)	施設・構造(○)	施設・構造(△)	施設・構造(○)	施設・構造(△)	施設・構造(○)	施設・構造(△)	施設・構造(○)	施設・構造(△)	施設・構造(○)
22 SH 21	F15	N3K V		5.2	5.0	0.04	24.3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	189
23 SH 22	F15	N3K V		5.0															189 (13)
24 SH 23	C12	N2C V	圓丸方形	5.0	5.0 (L:5.4)	4.8 (S:4)	0.02	(24.3)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	180 (129-123)
25 SH 24	C12	N2C V	圓丸方形	4.0	4.0 (L:4.6)	3.1 (S:4.0)	0.02	(18.4)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191 (122-123)
26 SH 25	C12	N13 V	圓丸方形	5.7	4.0 (L:5.6)	0.04	(30.8)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	182 (122-124)
27 SH 26	E13	N4C V	方形	4.5	4.4	0.2	17.5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	183 (154-155)
28 SH 27	D12	N18 V	圓丸方形	4.1	3.6 (L:4.0)	0.25	(16.2)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	184 (154-155)
29 SH 28	F10	N5 V	異方形	4.8	4.3	0.04	20.2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (156-157)
30 SH 29	F10	N15 V	圓丸方形	4.6	4.6	0.1	21.3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (157)
31 SH 30	E9																		
32 SH 31	E9	N6 V	方彌	6.8	6.4	0.05	44.2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (158)
33 SH 32	E9	N6 V	方彌	5.8	5.5	0.07	32.8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (158)
34 SH 33	E9	N6 V	方彌	5.6	3.0 (L:3.0)	0.07				0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (158)
35 SH 34	E9	N5 V	方彌	5.9	5.5	0.05	33.6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (158)
36 SH 35	E9	N17 V	方形	5.4	5.0	0.1	28.6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (158)
37 SH 36	E9	N7 V	方形	5.3	4.5 (L:5.3)	0.06	(28.3)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (158)
38 SH 37	E-59	N8 V	方形	5.2	4.3	0.02	22.7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186 (158)
39 SH 38	C9	N2C V	長方形	3.9	3.5	0.1	16.9	3 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186
40 SH 39	G9	N13 V	方形	5.5	4.8	0.1	26.4	2 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186
41 SH 40	F9	N2C V	圓丸方形	5.3	5.2	0.1	27.4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	189 (159)
42 SH 41	B9-10		不規形	5.0	3.0 (L:3.0)	0.13	(14.4)												

第三期 壓穴住居調査表(3) ※()内は推定値

No.	通名	地区	三輪方柱	平方面	床幅・長軸(n)	床幅・短軸(n)	床幅・斜軸(n)	柱柱穴	施設・壁面	施設・床面	施設・壁面	施設・床面	施設・壁面	施設・床面	備考	
43	西52	F9	不整方形	4.75±(4.8)	4.2	0.12	(18.5)								250	160
44	西43	G9	N11' W	方形	6.1	5.7	0.22	36.5	4	○					250	160
45	西54	G9	S23' W	方形	5.1	5.0	0.2	(25.5)		○					250	160
46	西46	G9	N8' W	方形	4.9	4.7	0.1	23.0	2.4	○	○				201	160-161
47	西46	E9	N6' W	楕丸方形	4.7	4.5	0.06	19.6	4	○	○				202	161
48	西47	F8	N17' W	方形	4.7	4.7	0.08	23.5	4	○	○				203	162
49	西48	F8	N14' W	長方柱	5.1	4.8	0.14	24.5		○					203	162
50	西49	B5	N20' W	長方柱	6.1	4.9	0.34	(29.0)	2.4	○	○				204	162
51	西50	F8	N43' W	方形	4.6	4.3	0.12	19.3	4	○	○				205	160-163
52	西51	F8	N35' W	長方柱	4.3	3.0	0.16	13.0	6	○	○				205	160-163
53	西52	F7	N20' W	楕丸方形	5.2	5.1	0.06	28.0	4	○					206	160-163
54	西53	E7	N17' W	長方柱	4.8	4.1	0.1	19.8	4	○	○				207	160-164 有薪50日 128年半
55	西54	F-67	N5	楕丸方形	5.1以上	5.3	0	26.0		○						
56	西55	E7	N6' W	方形	4.4	4.0	0.12	17.3	4	○	○				208	165
57	西56	36	N10' W	方形	3.7	3.8	0.1	11.9	4	○	○				209	160-240
58	西57	E12	N18' W	方形	4.31±(5.7)	3.96±(4.8)	0	(27.4)	4						210	166 有薪50日 133年半
59	西58	12	N23' W	方形	4.9	3.9	0.06	19.1	4	○	○				211	167 有薪50日 138年半
60	西59	12	N28' W	楕丸方形	3.9±(4.2)	3.8±(3.8)	0	(16.1)	4	○					212	167

第三期 据立柱植物観察表(1)※()内は推定植

No.	種類名	地 区	葉型・葉角	葉質・葉形(d)	葉幅・葉面積(cm ²)	枝葉寸法・葉面積(cm ²)	主樹方位	園林番号	備 考
1	SBE(Cl)	B30	1+1Bs	3.3	2.1	6.9	3.3	2.1	
2	SBE(22)	B30		1.7	1.83±	2.46±	1.7	1.5	N17' E N17' E
3	SBE(33)	C20	5+1(2)Ca	12.0	5.2	62.4	2.3~2.8	5.2	N13' W 63
4	SBE(24)	J-128-29	5+2Ca	11.8	4.5	53.1	2.2~2.7	2.2~2.3	N17' W 220 63
5	SBE(26)	J-128-29	4+2(3)Ba	6.9	5.0	44.5	2.0~2.4	1.7~3.3	N13' W 221 63
6	SBE(26)	J-128-29		4.7Ba	4.7	22.18±	2.0~2.7	2.2~2.5	N75' E
7	SBE(37)	C20	2+1Bs	4.2	3.2	13.4	2.0~2.2	3.2	N60' E 221
8	SBE(26)	J-128-29	2+2Ba	3.8	3.1	11.6	1.8~2.0	1.5~1.6	N60' W 222 64
9	SBE(29)	J-128-29	3+1(3)a	6.3	2.9	16.3	2.0~2.2	2.0	N75' E 222
10	SBE(10)	B-128	3+2Ba	4.2	3.5	14.7	1.1~1.8	1.6~1.9	N65' E 222
11	SBE(11)	B20	3+1Ba	6.5	3.4	22.1	2.1~2.2	3.4	N17' W 223
12	SBE(12)	C20	1+1Bs	3.9	2.5	9.8	3.9	2.6	N17' E
13	SBE(13)	B20	2(3)+3Ba	5.0	3.5	17.5	1.2~1.8	0.9~1.5	N75' E
14	SBE(14)	C27	2+2Ba	3.4	2.8	9.5	1.7	1.3~1.5	N5' E 223
15	SBE(15)	C27		2.6	0.93±	2.36±	1.2~1.4	0.9	N7' E
16	SBE(16)	C-E27	2+1Ba	2.7	2.6	7.0	1.2~1.5	2.6	N5' W
17	SBE(17)	C27	3+2Ba	4.9	3.9	19.1	1.5~1.7	1.9~2.0	N78' W 223 64
18	SBE(18)	C-26		3.4	2.9	9.63±	1.5~1.9	0.8~1.2	N65' E 224
19	SBE(19)	C25	2+1Ba	3.6	3.3	11.2	1.6~1.8	3.3	N65' W 224
20	SBE(20)	C-26	4+2Ba	8.0	4.4	35.2	1.5~2.5	1.9~2.5	N59' E 224
21	SBE(21)	C25		7.1	4.0	26.43±	1.3~2.2	2.0	N35' W 224 65

第三期 据立柱建筑物觀察表(2) 沿()内注是指定值

地 点 名 称	地 区	類型·概 况	測量·新行(n)	測量·舊測(n)	柱間干涉·新行(n)	柱間干涉·舊測(n)	主軸方位	照相番号	備 考
22 38-22	125		2.9	2.3	6.71±	1.3~1.6	2.3	872° E	
23 38-23	125	3-2ba	4.5	3.3	14.9	1.4~1.6	1.5~1.8	837° W	225
24 38-24	125		6.6	1.6±	11.92±	1.3~2.0	1.8	837° W	225
25 38-25	125	2a1/2bb	3.5	2.9	7.41±	1.7~1.8	2.0	837° W	225
26 38-26	122		6.9	1.9	16.91±	1.7~2.0	1.9	872° E	225
27 38-27	123		4.3	3.6	15.52±	2.0~2.3	3.6	872° E	
28 38-28	123		6.4	1.71±	10.91±	1.4~1.9	1.7	861° E	226
29 38-29	123	6-5ca	13.6	5.6	76.2	2.0~2.0	1.7~2.1	862° E	226
30 38-30	6-223	3-2ba	5.0	4.1	20.5	1.5~1.7	1.3~1.5	837° W	227
31 38-31	6-222	3-2ba	4.6	3.7	17.8	1.6~1.7	1.8~1.9	833° W	227
32 38-32	6-222	3-2ba	5.6	4.1	23.0	1.7~2.0	1.2~1.5	859° E	228
33 38-33	622	3-2ba	5.3	3.3	17.5	1.6~2.1	1.6~1.7	861° W	228
34 38-34	122	4-2ba	6.8	5.8	25.8	1.6~2.1	1.0	811° W	229
35 38-35	721	5a1/2ca	11.8	3.7	43.7	2.2~2.6	3.7	82° W	229
36 38-36	122	3-2ba	5.9	3.3	19.5	1.8~2.1	1.5~1.8	867° E	229
37 38-37	121	3-1ca	6.7	2.3	15.4	1.2~3.4	2.8	863° E	
38 38-38	121	3-2ba	5.9	3.9	23.0	1.6~2.3	1.8~2.1	82° E	
39 38-39	6-121-22		4.0	3.5	14.01±	1.8~2.2	3.5	867° E	
40 38-40	121	2-2ba	3.8	2.6	9.9	1.8~2.0	1.2~1.4	834° W	229
41 38-41	120-21	4(5)-2ca	12.0	4.0	48.69	2.3~4.6	1.9~2.1	85° E	233
42 38-42	120	4-2ca	8.3	3.9	32.4	2.0~2.2	1.9~2.0	86° W	231
									70-71

第三期 振立柱建筑物觀察表(3)※()内注記概定值

No.	測量名	地 区	量測方法	測量起止点(a)	量測距離(d)	相關尺寸,射角(h/a)	相關尺寸,傾斜(a)	主軸方位	測量參考點	備 考
43	SB 43	120	2vBa	3.7	2.6	10.4	1.7 ~ -0	2.6	N7° W	231
44	SB 44	119-20	3vBa	7.4	3.2	23.7	2.4 ~ -0.7	1.5 ~ -1.7	N3° W	71
45	SB 45	119-20	3vBn	5.2	3.1	16.1	1.7 ~ -1.8	1.5 ~ -1.6	N6° E	232
46	SB 46	120	4vBa	6.6	3.5	23.1	1.5 ~ -1.9	1.7 ~ -1.8	N23° E	232
47	SB 47	921	2vBn	3.3	2.6	8.6	1.5 ~ -1.8	1.3	N9° E	233
48	SB 48	621	2vBn	2.7	2.3	6.2	1.2 ~ -1.5	1.1 ~ -1.2	N12° E	233
49	SB 49	F-621	2vBn	4.1	3.4	13.9	1.8 ~ -2.3	1.7	N22° E	234
50	SB 50	621	3vBn	3.6	2.9	10.2	0.8 ~ -1.7	1.4 ~ -1.5	N82° E	234
51	SB 51	626-21	2vBn	3.2	2.1	6.7	1.5 ~ -1.7	1.0 ~ -1.1	N23° W	234
52	SB 52	626-21	2vBn	4.7	3.8	17.9	2.2 ~ -2.5	1.8 ~ -2.6	N6° E	
53	SB 53	E20	3vBn	4.7	3.4	16.0	1.5 ~ -1.6	1.3 ~ -2.1	N4° W	234
54	SB 54	6-420	2vBn	5.5	3.0	16.5	2.7 ~ -2.8	1.4 ~ -1.8	N7° E	
55	SB 55	622	3vBn	5.9	3.6	21.2	1.9 ~ -2.0	1.5 ~ -2.1	N23° W	
56	SB 56	620	3vBn	3.3	3.9	12.9±1	3.3	3.9	N30° E	
57	SB 57	119	2vBn	4.7	3.9	16.3	2.3 ~ -2.4	1.8 ~ -2.1	N83° E	
58	SB 58	F-G17	3vBa	4.6	3.0	13.8	1.4 ~ -1.6	3.0	N7° E	235
59	SB 59	F17	1vBa	4.1	3.2	13.1	4.1	3.2	N21° W	235
60	SB 60	G16-17	2vBa	3.1	2.5	7.6	1.5 ~ -1.6	2.6	N8° E	
61	SB 61	G16-17	2vBn	3.1	1.6	6.0	1.3 ~ -1.8	1.6	N13° W	
62	SB 62	G17	2vBn	4.5	3.4	15.3	1.4 ~ -1.6	3.4	N65° E	235
63	SB 63	F17	3vB	2.9	11.0±1	1.7 ~ -2.1	1.8 ~ -1.6	1.8	N35° E	

第三期 据立柱建築物監察表(4) ※()内は推定値

No.	通 番 名	地 区	鉄筋・角筋	横筋・平行筋	横筋・梁筋(a)	横筋・底筋(b)	柱脚寸法・梁脚(c)	柱脚寸法・梁脚(d)	主軸方位	支間番号	支間番号	備 考
64	SBW64	E17	1(2)~2B18	3.7	3.0	11.1	3.7	1.4~1.6	N75° E	235	104	
65	SBW65	G-E16	4~3B16	7.7	5.8	44.7	1.7~2.1	1.5~2.1	N62° E	236	105	
66	SBW66	G-E16	1(4)~3B14	6.0	5.5	33.0	6.0	1.6~2.0	N83° E	236		
67	SBW67	H16	3~2B16	4.2	3.6	14.4	1.3~1.4	1.7~1.0	N68° E	237		
68	SBW68	H16	2~1B16	3.0	2.4	7.2	1.5	2.4	N0° E	237		
69	SBW69	E16	4~2B16	5.8	4.1	23.8	1.3~1.5	2.0~2.1	N73° E	237	106	
70	SBW70	E-F16	2~2B16	4.1	3.4	13.9	1.9~2.2	1.6~1.8	N7° W	237		
71	SBW71	E16	4~2B16	6.6	4.4	37.8	2.0~2.3	2.1~2.3	N63° E	238	106	
72	SBW72	E15	2~2B16	3.9	3.5	13.7	1.9~2.0	1.7~1.8	N71° E	238	106	
73	SBW73	E15	2~2B16	3.0	2.6	7.8	1.5	1.3	N60° W			
74	SBW74	G15	2~2B16	4.2	3.4	14.3	2.1	1.6~1.8	N65° E	238		
75	SBW75	H15	2~2B16	3.4	2.7	9.2	1.5~1.9	1.3~1.4	N64° E	239	107	
76	SBW76	G15	2~2B16	3.8	3.1	11.8	1.9	1.4~1.7	N60° E	239	107	
77	SBW77	G14	2~1B16	2.7	2.1	5.7	1.3~1.4	2.1	N62° E	239	107	
78	SBW78	G14	2~2B16	2.6	2.7	7.6	1.1~1.7	1.2~1.5	N29° W	239	107	
79	SBW79	G14	2~2B16	4.3	3.3	14.2	2.0~2.3	1.6~1.7	N74° E	240	108~109	
80	SBW80	G-H14	2~2B16	3.7	3.6	13.3	1.8~1.9	1.8	N36° W	240	108~109	
81	SBW81	G-H14	2~2B16	3.1	2.6	8.1	1.5~1.6	1.2~1.4	N23° W	240	108~109	
82	SBW82	G14	2~2B16	3.4	3.3	11.2	1.7	1.5~1.6	N3° E	240	108	
83	SBW83	G14	2~2B16	3.4	3.8	12.9	1.7	1.7~2.1	N18° E	241	108~110	
84	SBW84	F15~16	2~2B16	3.7	3.2	11.6	1.8~1.9	1.6	N3° W	241	110	

第三期 植立柱連物種表(5)※()内注記定植

No.	種名	地区	細分・種別	葉形・葉序	花被形(a)	果被・果被形(a)	柱頭寸法・折合(a)	柱頭寸法・折合(a)	主軸方位	種類番号	調査番号	備考
85 SB 55	F15	3v3ba	5.0	4.0	20.0	1.5 ~ 1.8	1.2 ~ 1.4	N30°W	241	110		
86 SB 56	F15	3v2ba	4.7	3.5	16.5	1.4 ~ 1.7	1.6 ~ 1.9	N25°W	242	110-111		
87 SB 57	F15	4v3ba	6.4	4.2	26.9	1.3 ~ 2.0	1.3 ~ 1.5	N29°W	242	111		
88 SB 58	F15		3.2	3.8	12.24±1	1.6	1.8 ~ 2.3	N10°W				
89 SB 59	F-G15	1(2)~2ba	2.0	3.9	7.44±1	2.0	1.8 ~ 2.1	N25°W	241			
90 SB 60	E-F15	2v1(2)ba	4.6	3.6	17.5	2.3	3.6	N06°W		112		
91 SB 61	E15	4v3ba	6.7	4.5	30.2	1.5 ~ 1.9	1.3 ~ 1.7	N64°E	243	112		
92 SB 62	E15	3v1(2)ba	5.8	4.0	23.2	1.6 ~ 2.1	4.0	N36°W	243			
93 SB 63	E15	2v1(2)ba	3.8	3.5	13.3	1.8 ~ 2.0	3.5	N60°E	243			
94 SB 64	F14	2v1ba	5.1	3.8	19.4	2.5 ~ 2.6	3.6	N62°E	243	112		
95 SB 65	F14	2v2ba	3.9	3.5	13.7	1.9 ~ 2.0	1.7 ~ 1.8	N67°E	244	113		
96 SB 66	E-F14	4v2ba	6.4	3.4	21.8	1.4 ~ 1.9	1.7	N64°E	244	112		
97 SB 67	F-G14	2v2ba	4.1	3.5	14.4	2.0 ~ 2.1	1.7 ~ 1.8	N38°W	244	113		
98 SB 68	F-G14	3v2ba	4.0	3.3	13.2	1.9 ~ 2.1	1.5 ~ 1.8	N35°W	244	113		
99 SB 69	G13	3v1ba	8.3	3.6	20.9	2.4 ~ 3.2	3.6	N23°W	254			
100 SB 70	F13~14	2v2ba	4.9	3.9	19.1	2.4 ~ 2.5	1.9 ~ 2.0	N33°W				
101 SB 71	F13	2v1ba	3.7	2.8	10.4	1.9 ~ 1.8	2.8	N23°W	254	114		
102 SB 72	F13	3v2ba	5.9	3.5	20.7	1.5 ~ 2.7	1.5 ~ 2.0	N67°E				
103 SB 73	J13	3v1ba	6.8	3.6	24.5	2.1 ~ 2.4	3.6	N65°E	283			
104 SB 74	J13	2v2ba	4.0	3.5	14.0	1.7 ~ 2.3	1.7 ~ 1.8	N67°E	293	300		
105 SB 75	J13	2v2ba	3.7	3.7	13.7	1.7 ~ 2.0	1.7 ~ 2.0	K55°W	246	168		

第三期 指立柱建物観察表(6) ※()内は指定値

No.	通名	地名	区	規格・構造	鋼板・耐候	鋼板・耐候	鋼板・耐候	鋼板・耐候	柱間寸法・床面高(△)	柱間寸法・床面高(△)	主柱方位	鋼構造番号	備考
106	58■106		D12-13	3-28a	5.2	3.2	16.6	1.7 ~ 1.9	1.5 ~ 1.7	85° E	246		
107	58■107		D12	4-28a	5.3	3.6	19.1	0.9 ~ 1.7	1.4 ~ 2.2	82° W			
108	58■108		D12	2-28a	4.3	3.6	15.5	2.1 ~ 2.2	1.7 ~ 1.9	82° W	246		
109	58■109		H10	6.8	1.8	12.24上	1.4 ~ 2.0	1.8	81.3° W	168			
110	58■110		H10	5.3	4.0	21.26上	1.6 ~ 2.2	1.1 ~ 1.6	83° E				
111	58■111	G-E11	3-18a	6.0	3.9	23.4	1.9 ~ 2.1	3.9	86° E				
112	58■112	G11	3-28a2	5.7	3.9	22.2	1.6 ~ 2.2	1.9 ~ 2.0	86° E	247	両端(南北)に柱行の窓あり		
113	58■113	F-G11	3-28a	5.5	3.6	19.8	1.6 ~ 2.0	1.8	82° E	248	109		
114	58■114	F10-11	2-28c	4.2	4.0	16.8	2.0 ~ 2.2	2.0	86° E	248	170		
115	58■115	F11	2-28a	4.6	3.3	14.9	2.1 ~ 2.4	1.5 ~ 1.8	86° E	248	170		
116	58■116	G10	2-28c	3.6	3.1	11.8	1.9	1.5 ~ 1.6	90.1° E	247	171		
117	58■117	G10	3-28c	4.5	3.6	16.2	1.4 ~ 1.6	1.7 ~ 1.9	86° E	249	171		
118	58■118	F10	3-28a1	5.1	4.2	21.4	1.3 ~ 2.4	2.0 ~ 2.2	86° E	249	北側に柱行の窓あり		
119	58■119	E-F10	2-28a1	3.8	3.7	14.1	1.7 ~ 3.6	1.7 ~ 2.0	86° E	250	171 西端に柱行の窓あり		
120	58■120	E10	2-28a	3.5	2.6	9.1	1.1 ~ 2.2	1.2 ~ 1.4	80° W	250	172		
121	58■121	E-F10	3-28a	4.6	3.0	13.8	1.4 ~ 1.6	1.5	87.4° E	250	172		
122	58■122	E10	2-28a	3.5	2.4	8.4	1.7 ~ 1.8	1.1 ~ 1.3	86° W				
123	58■123	D-E10	3-28a	5.7	3.7	21.1	1.4 ~ 2.3	1.7 ~ 2.0	86° E	251			
124	58■124	B-G11	4-28c	8.2	3.6	13.2	2.0 ~ 3.7	1.8 ~ 2.0	86° E				
125	58■125	E10	3-28a	5.3	3.8	20.1	1.7 ~ 1.8	1.9	82° W				
126	58■126	B-E10	3-28a	4.9	4.0	19.6	1.5 ~ 1.8	2.0	86° E				

第Ⅲ期 独立柱建筑物觀察表7)※()内注准確定値

No.	通 呼 名	地 区	型番・構造	底板・板行(a)	板厚・板間(a)	板厚・板間(a)	柱脚寸法・板厚(a)	柱脚寸法・板厚(a)	主脚方位	脚固番号	備 考
127	SB ■ 27	P-10	2×2b	5.0	3.3	16.5	2.5	1.6 ~ 1.7	NSP' E		
128	SB ■ 28	E-10	3×2b	5.8	3.5	20.3	1.5 ~ 2.3	1.7 ~ 1.8	NSP' E	251	173
129	SB ■ 29	P-10	2×2a	4.3	4.2	16.1	2.0 ~ 2.3	2.0 ~ 2.2	NSP' W		
130	SB ■ 30	P-10	2×2a	4.0	3.8	15.2	1.9 ~ 2.1	1.7 ~ 2.1	NSP' W	252	173
131	SB ■ 31	P-10	3×2b	4.3	3.8	16.3	1.3 ~ 1.5	1.7 ~ 2.1	NSP' E		
132	SB ■ 32	P-10	3×2b	5.5	3.7	26.4	1.6 ~ 2.0	1.8 ~ 1.9	NSP' W	252	
133	SB ■ 33	P-10	3×2b	6.1	3.8	23.2	1.8 ~ 2.2	1.7 ~ 2.1	NSP' E	253	174
134	SB ■ 34	E-10	3×2b	5.7	3.8	21.7	1.6 ~ 2.2	1.8 ~ 2.0	NSP' E	253	174
135	SB ■ 35	E-10	2×2b	3.2	2.8	9.0	1.5 ~ 1.7	1.2 ~ 1.6	NSP' E		175
136	SB ■ 36	E-10	4×2b	5.7	3.9	22.2	1.2 ~ 1.6	1.9 ~ 2.0	NSP' E	254	175
137	SB ■ 37	E-10	3×2b	5.3	3.8	20.1	1.8 ~ 2.0	1.8 ~ 2.0	NSP' W	254	176
138	SB ■ 38	P-10	3×2b	4.2	3.0	12.6	1.3 ~ 1.4	1.4 ~ 1.6	NSP' W		176
139	SB ■ 39	P-10	3×2b	5.3	3.3	17.5	1.5 ~ 2.1	1.4 ~ 1.9	NSP' W	255	177
140	SB ■ 40	P-10	2×2a	3.7	3.4	12.6	1.7 ~ 2.0	1.6 ~ 1.8	NSP' E		
141	SB ■ 41	P-10	2×2b	3.4	2.7	9.2	1.7	1.1 ~ 1.6	NSP' W		
142	SB ■ 42	P-10	3×2b	4.5	3.9	17.6	1.1 ~ 1.7	1.9 ~ 2.0	NSP' W	255	177
143	SB ■ 43	P-10	3×2b	4.8	3.8	18.2	1.4 ~ 1.9	1.9	NSP' W	256	177
144	SB ■ 44	P-10	3×2b	6.5	4.0	26.0	2.0 ~ 2.3	1.8 ~ 2.2	NSP' W	256	
145	SB ■ 45	P-10	3×2b	3.7	3.3	12.2	1.2 ~ 1.3	1.6 ~ 1.7	NSP' W	257	
146	SB ■ 46	19	不規	4.5	不規	不規	2.1 ~ 2.4	NSP' W		178	
147	SB ■ 47	P-10	4×3b	5.2	3.2	16.6	1.1 ~ 1.4	1.0 ~ 1.2	NSP' W	257	179

第三期 振立柱建物觀察表(8)※()内は推定値

No.	測量名	地 区	標高(海抜)	測量方法(a)	測量距離(d)	柱間空隙(航行(m))	柱間空隙(航行(m))	主輪方位	測量番号	備 考
148	SHII46	C-89	3-1(2)3s	6.4	4.2	26.9	1.0 ~2.4	4.2	867 E	257
149	SHII49	G-10	2-2B	4.0	3.3	13.2	1.9 ~2.1	1.6 ~1.7	857 W	256
150	SHII50	F-09	2-2B	4.3	3.4	14.6	1.9 ~2.4	1.5 ~1.9	879 E	258
151	SHII51	F9	3-2B	4.7	3.5	16.5	1.1 ~2.9	1.4 ~2.1	879 E	258
152	SHII52	F9	3-2B	5.5	3.6	19.8	1.7 ~2.0	1.8	883 E	259
153	SHII53	G9	3-2B	6.0	3.8	22.8	1.8 ~2.3	1.9	868 E	259
154	SHII54	G9	2-2B	3.2	2.4	7.7	1.6	1.0 ~1.4	921 E	259
155	SHII55	G9	3-2B	4.1	3.3	13.5	1.2 ~1.6	1.5 ~1.8	825 E	260
156	SHII56	G9	3-2B	4.3	3.0	12.9	1.4 ~1.5	1.4 ~1.6	864 E	260
157	SHII57	G9	4-3B	5.8	4.3	24.9	1.4 ~1.5	1.2 ~1.7	863 E	
158	SHII58	C-89	2-2B	3.2	2.4	7.7	1.5 ~1.7	1.1 ~1.3	860 E	
159	SHII59	G-98	6.4	4.1以上	26.2以上	2.0 ~2.3	1.7 ~2.4	810 W		
160	SHII60	G-9	2-2B	4.0	3.0	12.0	2.0	1.6	865 E	260
161	SHII61	G-9	2-2B	3.4	3.3	11.2	1.4 ~2.0	1.6 ~1.7	867 E	261
162	SHII62	F-2B-9	3-2B	4.2	3.5	14.7	1.1 ~1.9	1.7 ~1.8	874 E	261
163	SHII63	F-69	2-7以上	3.0	3.1以上	1.2 ~1.5	1.3 ~1.7	907 E		
164	SHII64	F8-9	2-2B	3.8	3.3	12.9	1.9 ~2.0	1.6 ~1.7	851 E	261
165	SHII65	F8-9	2-2B	3.7	3.3	12.2	1.8 ~1.9	1.5 ~1.8	865 E	262
166	SHII66	F8-9	4-3B	7.6	6.2	39.5	1.6 ~2.2	1.6 ~1.8	867 E	262
167	SHII67	F9	3-2B	6.7	4.6	30.8	1.9 ~2.4	2.2 ~2.4	828 E	263
168	SHII68	F-9	4-3B	6.6	4.3	24.4	1.4 ~2.1	1.2 ~1.7	810 E	263

第三期 独立植物觀察表(9)※()内記入推定植

No.	種類名	地名	樹木高度	胸高周長(cm)	樹根周長(cm)	根群寸法(根群d)	柱頭寸法(柱頭d)	柱頭寸法(柱頭d)	主軸方位	根群番号	根群番号	備考
169	SH ■ 169	E-78-9	2-2Ba	4.3	3.2	13.8	2.0 ~ 2.3	1.1 ~ 2.1	NW-E			
170	SH ■ 170	E-78-9	2-2Ba	4.2	3.6	15.1	2.0 ~ 2.2	1.7 ~ 1.9	NW-V			
171	SH ■ 171	E9	4-2Ba	7.5	4.2	31.5	1.7 ~ 1.9	1.9 ~ 2.3	N21-V	264		
172	SH ■ 172	E9	3-2Ba	5.6	3.3	18.5	1.7 ~ 2.0	1.6 ~ 1.7	N21-V	184		
173	SH ■ 173	E8-9	3-2Ba	5.8	4.2	24.4	1.7 ~ 2.3	2.0 ~ 2.2	N11-V	264	184	
174	SH ■ 174	E8-9	3-2Ba	4.4	3.7	16.3	1.3 ~ 1.6	1.8 ~ 1.9	N23-V			
175	SH ■ 175	E8	3-2Ca	7.3	2.9	21.2	3.4 ~ 2.0	1.2 ~ 1.7	N37-E			
176	SH ■ 176	E8	4-2Bb	5.4	3.2	17.3	1.2 ~ 1.6	1.6	NG-E	265	185	
177	SH ■ 177	E8	2-1Ba	6.7	3.6	24.1	3.2 ~ 3.5	1.7 ~ 1.9	N27-V			
178	SH ■ 178	E9	2-3Cf-L		3.4	7.4f-L	2.3	1.3 ~ 2.1	N45-E			
179	SH ■ 179	D-69	2-1Ba	3.6	2.4	8.6	1.7 ~ 1.9	2.4	NG-E			
180	SH ■ 180	D-69	2-2Bb	4.7	3.6	17.9	2.0 ~ 2.7	1.7 ~ 2.1	N62-E			
181	SH ■ 181	D9	3-2Cf-L		4.1	15.8f-L	1.7 ~ 2.1	1.3 ~ 2.6	NG-E			
182	SH ■ 182	E8-9	2-1Ba	6.4	4.0	25.6	2.9 ~ 3.5	4.0	N37-E			
183	SH ■ 183	E8	2-2Ba	5.9	4.2	24.8	1.9 ~ 2.0	1.2 ~ 1.6	NTS-E	265	185	
184	SH ■ 184	E9	3-1Cf-L	5.7	2.2	12.5	1.6 ~ 2.2	2.2	NTG-E			
185	SH ■ 185	E8-9	2-1(2)Ba	6.7	3.9	26.1	2.2 ~ 2.3	3.9	NTG-E			
186	SH ■ 186	J8	2-2Ba	4.9	3.6	17.5	2.5 ~ 2.4	1.5 ~ 2.1	N28-V			
187	SH ■ 187	J8	3-2Ba	6.2	4.3	26.7	1.8 ~ 2.4	2.1 ~ 2.2	N28-V			
188	SH ■ 188	J8	2-1Ba	4.8	2.6	12.5	2.3 ~ 2.5	2.6	NG-E	266		
189	SH ■ 189	K8	3-1Ba	6.3	3.7	23.3	2.0 ~ 2.2	3.7	N27-V	266	186	

第三期 標立柱建物観察表①※()内は推定値

No.	測量名	地区	盤型・標高	網標・航行(a)	網標・航向(a)	網標寸法・規則(a)	主航方針	航深番号	備考	
196	58-100	IT	3-28n	5.4	5.0	27.0	1.6~2.0	2.3~2.7		
197	58-101	IT	4-22n	8.2	4.4	36.1	1.3~3.0	1.8~2.6	X31' W 298	
198	58-102	IT	2-13n	4.3	2.9	12.5	1.0~2.4	2.0	303' E 146	
199	58-103	IT	2-13n	3.8	3.0	11.4	1.9	3.0	N0' E	
200	58-104	IT	3-28n	6.1	5.0	30.5	2.0~2.1	2.4~2.6	N24' W	
205	58-105	IT	3-28n	6.2	3.6	22.3	2.0~2.1	1.7~1.8	N07' E 267	
196	58-106	IT	1-36-7	3-28n	5.5	3.9	21.5	1.6~2.0	1.9~2.0	N01' E
197	58-107	IT		5.5	2.34上	12.74上	1.7~2.0	2.3	N05' E	
198	58-108	IT	1-36	3-13n	5.3	3.0	15.9	1.7~1.8	3.0	N71' E 267
199	58-109	IT		4-120n	9.6	4.1	39.4	2.3~2.5	4.1	N15' W 298
200	58-110	IT-5-6	2-28n	5.0	3.5	17.5	2.3~2.7	1.6~1.9	W70' E 298	
201	58-201	IT	3-28n	5.0	3.6	18.0	1.6~1.7	1.8	N07' E 269	
202	58-202	IT		3-61上	4.6	16.0上	1.6~2.0	1.3~1.6	N11' W	
203	58-203	IT	4-36	7.2	4.6	33.1	1.3~2.5	1.5~1.7	N79' E 299	
204	58-204	IT		7.91上	5.0	29.56上	1.5~2.4	1.5~1.8	N83' E 270	
205	58-205	IT	4-28n	6.8	4.7	32.0	1.6~2.7	1.3~1.9	N75' E 270	
206	58-206	IT	3-2-3n	6.2	4.2	26.0	2.0~2.2	1.5~2.7	N77' E 271	
207	58-207	IT		2.31上	3.3	7.64上	2.3	1.1~1.2	N71' E	
208	58-208	IT		3.55上	3.2	11.24上	1.7~1.8	1.6	N69' E	
209	58-209	IT	2-28n	4.5	3.4	15.3	2.2~2.3	1.7	N31' W 271	
210	58-210	IT	4-28n	7.1	3.5	24.0	1.7~1.9	1.7~1.8	N74' E 272	

第三期 据立柱建筑物表)※()内付推定值

No.	通 路 名	地 区	断面 形状	周长+杆長(a)	横断面積(a)	柱間寸法-杆長(b)	柱間寸法-軸間(c)	主軸方位	横断面名	固断面号	考
211	58■21	86	1(2)-2fa	3.6	2.0	10.2	3.5	1.4~1.5	N79° E	271	
212	58■22	86	3-2fa	4.7	3.8	17.9	1.5~1.6	1.6~2.0	N65° E	272	
213	58■23	68	5-2fa	10.4	4.3	44.7	1.6~2.3	2.0~2.3	N67° E	273	
214	58■24	68	4-3fa	6.0	3.6	22.8	1.3~1.8	1.9	N7° E	273	190
215	58■25	F-68	3-2fa	5.7	2.8	10.0	1.7~2.1	1.8~1.5	N79° E		
216	58■26	F-78	2-2fa	6.7	4.2	28.1	3.2~3.5	2.0~2.2	N2° W		
217	58■27	F-78	3-2fa	6.6	4.1	18.9	1.5~1.6	1.7~2.4	N79° E	274	190
218	58■28	F-78	3-2fb	4.2	3.1	13.0	1.3~1.5	1.5~1.6	N21° W	274	181
219	58■29	F-78	2-2fb	4.3	3.6	16.3	2.0~2.3	1.6~2.0	N23° W		
220	58■20	F-78	2-2fa	3.9	3.9	16.2	1.9~2.0	1.9~2.0	N75° W		
221	58■21	F-77-8	4-3fa	6.8	4.9	33.3	1.3~2.0	1.2~1.9	N7° E	274	
222	58■22	67	2-2(2)fa	6.2	4.5	27.9	1.8~2.5	1.2~3.3	N37° W		
223	58■23	67	4-2fa	7.2	4.2	36.2	1.5~2.0	2.6~2.2	N27° W		
224	58■24	67	2-2fb	3.6	2.8	10.1	1.7~1.9	1.3~1.5	N31° W		
225	58■25	F-67-8	3-2fa	6.3	3.8	23.9	2.0~2.3	1.8~2.0	N27° W		
226	58■26	F-67-8	2-2fb	5.2	4.5	23.4	2.5~2.7	2.2~2.3	N6° E		
227	58■27	F-67	3-2fa	4.9	4.3	21.1	1.4~2.0	1.9~2.4	N4° E		
228	58■28	F-76	3-2fa	4.9	4.2	20.6	1.7~1.8	2.1	N13° E		
229	58■29	F-76	3-2fa	4.3	3.9	16.8	1.9~2.4	1.9~2.0	N67° W		
230	58■20	F-76	3-2fa	5.8	3.0	17.4	1.2~2.0	1.4~1.6	N5° W		
231	58■21	F7	4-2fa	6.2	3.5	21.7	1.3~1.7	1.7~1.8	N15° W		

第三期 据立柱建筑物觀察表初 次()内は指定值

地名	地区	類型・構造	断面(φ)	周長・周囲(m)	底盤・油圧(φ)	柱間寸法・幅(φ)	柱間寸法・高さ(φ)	主柱方位	座標番号	備考
222 38-222	F7	3×2φ	5.7	4.0	22.8	1.6~2.3	1.8~2.2	N6° W		
223 38-223	E7	2×2φ	3.1	3.0	9.3	1.3~1.8	1.4~1.6	N64° E	275	
224 38-224	F-67	2×2φ	4.3	3.6	16.6	2.1~2.2	1.8	N68° E	275	191
225 38-225	F-67	3×3φ	7.1	3.2	22.7	2.2~2.6	1.0~1.1	N68° E		
226 38-226	E7	2×1φ	4.2	2.6	8.4	1.8~2.4	2.0	N11° W		
227 38-227	F8	3×2φ	4.6	3.3	15.8	1.5~1.7	1.4~1.9	N9° W	275	192
228 38-228	F8	3×2φ	5.3	3.6	19.1	1.5~2.0	1.5~2.1	N11° W	276	192
229 38-229	F8	3×2φ	5.1	4.4	22.4	1.5~1.9	2.0~2.4	N3° W	276	192
240 38-240	E-F8	3×2φ	4.4	3.1	13.6	1.4~1.6	1.4~1.7	N9° W		
241 38-241	F8	3×2φ	5.7	3.5	20.0	1.8~2.0	1.7~1.8	N74° E		
242 38-242	F7-5	2×2φ	4.8	3.3	15.8	2.2~2.6	1.6~1.7	N70° E		
243 38-243	E-F7-5	2×1φ	3.6	2.0	7.2	1.6~2.0	2.0	N25° W		
244 38-244	F7	3×2φ	5.5	4.3	23.7	1.5~2.2	2.1~2.2	N68° E		
245 38-245	F7	5×2φ	7.6	3.6	29.6	1.6~1.7	1.6~2.2	N11° E	277	
246 38-246	E7	5×2φ	8.6	4.8	42.2	1.4~2.0	2.2~2.6	N22° E	277	
247 38-247	E-F7	4×2φ	6.6	5.2	34.3	1.5~1.7	1.5~1.9	N70° E	193	
248 38-248	F6-7	3×3φ	6.6	4.6	36.4	1.9~2.7	1.4~1.7	N67° E	278	192
249 38-249	E-F6	4×2φ	7.2	3.4	24.5	1.4~2.1	1.6~1.8	N74° E	278	
250 38-250	E8	2×2φ	4.0	3.3	13.2	2.0	1.6~1.7	N79° E	279	
251 38-251	E8	2×2φ	4.1	3.7	15.2	2.0~2.1	1.7~2.0	N80° E	279	
252 38-252	E8	3×2φ	5.7	3.7	21.1	1.6~2.1	1.7~2.0	N22° W	279	194

第三期 指立柱建物観察表

() 内は推定値

No.	通 番 名	地 区	類型	測定 斜傾 (a)													
253	S8 253	E8	3-2b	5.0	4.0	23.6	1.6 ~ 2.2	1.9 ~ 2.1	NS* V	279							
254	S8 254	E8	3-2b	5.3	2.5	13.3	1.7 ~ 1.8	1.2 ~ 1.3	NS* E								
255	S8 255	E7-8	2-2b	5.0	4.5	22.5	2.5	2.1 ~ 2.4	NS* E								
256	S8 256	E7-8	2-2b	4.2	4.0	16.8	1.9 ~ 2.3	2.0	NS* E								
257	S8 257	E7-8	3-2b	4.6	3.6	16.6	1.4 ~ 1.7	1.7 ~ 1.9	AL* V								
258	S8 258	E8	1-2a±	3.6	7.2±	1.9	1.7 ~ 2.1	1.7 ~ 2.1	NS* E								
259	S8 259	D-58	5-2b	7.8	4.8	27.4	1.3 ~ 1.8	2.4	NS* E	280							
260	S8 260	D-E7	4-2c	7.9	3.6	26.9	1.7 ~ 2.1	1.6 ~ 2.0	NS* E	265							
261	S8 261	D-E7	3-1±6	5.7	2.7	15.4	1.4 ~ 2.4	2.7	NS* E	261							
262	S8 262	E7	5.7	4.4	25.1	1.8 ~ 2.1	2.0 ~ 2.4	NS* V									
263	S8 263	E7	2.6±1	4.6	12.3±1	2.6	2.0 ~ 2.6	NS* E									
264	S8 264	E8-7	3-2b	5.7	3.7	21.1	1.8 ~ 2.1	1.8 ~ 1.9	NS* V	281							
265	S8 265	E8	2-2b	3.9	3.8	14.6	1.9 ~ 2.0	1.9	NS* V	281							
266	S8 266	E7	3-3b±1	3.3	10.9±1	1.6 ~ 1.7	3.3	NS* V									
267	S8 267	G7	3-2b±1	6.2	3.3	26.5	1.9 ~ 2.3	1.6 ~ 1.7	NS* E	282							
268	S8 268	G8	3-2b	3.8	3.8	14.4	1.1 ~ 1.4	1.4 ~ 2.4	NS* V	282							
269	S8 269	G8	3-2b±1	7.4	4.6	34.0	2.4 ~ 2.6	2.3	NS* E	283							
270	S8 270	G8	2-2b	3.2	3.0	9.0	1.5 ~ 1.7	1.3 ~ 1.7	NS* V	284							
271	S8 271	G8	4-2b	6.7	4.5	36.2	1.6 ~ 2.0	1.5	NS* V	284	194						
272	S8 272	G8	3-1±6	5.1	3.9	19.9	1.4 ~ 2.1	3.9	NS* V								
273	S8 273	G8	4-2b	5.5	4.6	25.3	1.2 ~ 1.7	2.0 ~ 2.6	NS* E								

第三期 樹立柱建物観察表(4) ※() 内は推定値

No.	地名	地区	柱型・構造	測量・解析(行)	実測・実測(%)	柱脚寸法(行)(%)	柱脚寸法(実)(%)	柱脚寸法(推定)(%)	柱脚寸法(実)(%)																					
274	58-274	06	2-2a	5.0	4.8	24.0	2.3~2.7	2.2~2.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	1.1~1.3	1.1~1.6	
275	58-275	05	4-2(3)bs	4.9	3.7	16.1	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3
276	58-276	05	3-2b	4.2	3.3	13.9	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6	1.2~1.6
277	58-277	15	3-2b	5.5	4.0	22.0	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6	1.4~2.6
278	58-278	15	2-2b	3.6	3.0	10.8	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0	1.6~2.0
279	58-279	8-15	4-2bs	6.7	5.0	33.5	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0
280	58-280	05	3-2a上	5.1	16.81上	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	1.6~1.7	
281	58-281	6-35	3-2c	7.6	3.7	28.1	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6	2.5~2.6
282	58-282	05	8.51上	5.6	47.61上	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	1.7~2.7	
283	58-283	05	3-2b-a2	6.4	3.6	23.0	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	1.7~2.5	
284	58-284	E-14	3-2d上	4.7	16.56上	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	1.3~2.2	
285	58-285	E-14	2-2b	4.6	3.5	16.1	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	2.0~2.6	
286	58-286	64	3-41上	3.94上	3.94上	10.95上	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
287	58-287	17	3-2b	4.3	3.1	13.3	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5	1.3~1.5
288	58-288	13-4	3-2b	4.5	3.4	15.3	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5	1.4~1.5
289	58-289	13-4	3-2b	5.5	3.7	20.4	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5	1.5~2.5
290	58-290	14	4-2c3	6.5	3.2	20.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8	1.6~1.8
291	58-291	13	5-2c3	10.2	4.7	47.9	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3	1.9~2.3
292	58-292	6-33	4-2c3	7.5	3.3	24.6	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3	1.6~2.3
293	58-293	E-12	5-2c3	12.5	3.1	38.8	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7	2.2~2.7
294	58-294	62	2-2c上	2.4	5.31上	1.0~1.2	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3	1.1~1.3

第三期 横立柱建物觀察表(1) ※ () 内は推定値

No.	測量名	地 区	主軸方向	横 道	天 軸	柱脚・柱頭(a)	柱脚・柱頭(b)	柱脚・柱頭(c)	柱脚・柱頭(d)	柱脚・柱頭(e)	柱脚・柱頭(f)	柱脚・柱頭(g)	柱脚・柱頭(h)
285	S3 ■ 265	C2		1.23上	1.0	2.35上		1.2		1.3	N35° E		
286	S3 ■ 266	E14		4.23上	2.31上	9.74上	1.1 ~1.6	1.1 ~1.2	N34° W				

第三期 横列觀察表(1) ※ () 内は推定値

No.	測量名	地 区	主軸方向	横 道	天 軸	柱脚・柱頭(a)	柱脚・柱頭(b)	柱脚・柱頭(c)	柱脚・柱頭(d)	柱脚・柱頭(e)	柱脚・柱頭(f)	柱脚・柱頭(g)	柱脚・柱頭(h)
1	S4 ■ 01	E-129	N37° E	5 間	11.8m	1.9 ~2.8	294						
2	S4 ■ 02	E-129	N37° E	3 間	6.2m	1.7 ~2.6	294						
3	S4 ■ 03	1-128	N37° W	2 間	8.7m	4.3 ~4.4							
4	S4 ■ 04	125	N37° W	4 間以上	7.9m以上	1.6 ~2.5	294						
5	S4 ■ 05	125	N37° W	4 間以上	7.4m以上	1.7 ~1.9	294						
6	S4 ■ 06	G22	N34° W	1 間	1.4m	1.4	294	67					
7	S4 ■ 07	J21	N36° W	3.43間	6.4m	1.5 ~3.3	294						
8	S4 ■ 08	120-21	N37° W	4 間	10.8m	2.3 ~3.2							
9	S4 ■ 09	120	N37° W	4 間	5.5m	1.2 ~1.5							
10	S4 ■ 10	G21	N37° W	4 間	5.3m	1.0 ~1.7	294						
11	S4 ■ 11	E16	N31° E	4 間	5.7m	1.3 ~1.6	294	106					
12	S4 ■ 12	F15-16	N37° W	4 間	6.3m	2.0 ~2.6							
13	S4 ■ 13	F15-16	N34° W	9 間	1.2m	0.8 ~1.6	295						
14	S4 ■ 14	F15-16	N35° W	3 間	6.3m	2.2 ~2.4							
15	S4 ■ 15	F15	N37° E	3 間	6.9m	1.9 ~2.0	295						
16	S4 ■ 16	F15	N37° W	5 間	11.5m	1.5 ~3.4	295						
17	S4 ■ 17	F15	N37° W	2 間	4.4m	2.2							

SD ■ 80°C-標準寸。

第三期 標別観察表(2) 極()内は推定値

No.	地名	地区	主地方位	標高	長さ	幅員(±1m)	測量番号	備考
18	5.8.18	F15	N27°W	4.7m	8.7m	1.8~2.5	265	
19	5.8.19	E15	N31°W	6.7m	9.9m	1.3~2.0	265	112
20	5.8.20	E14	N71°E	3.7m	5.5m	2.0~2.2		
21	5.8.21	E14	N22°W	2.7m	4.0m	2.0		
22	5.8.22	E14	N33°W	2.7m	4.3m	1.6~2.7		
23	5.8.23	F13+14	N30°W	3.7m	4.0m	0.9~1.2		
24	5.8.24	F13	N33°W	2.7m	3.0m	1.4~2.2		
25	5.8.25	H12	N65°E	3.7m	7.7m	2.5~2.6		
26	5.8.26	G10	N65°W	3.7m	4.3m	1.3~1.6		
27	5.8.27	E10	N45°E	2.7m	5.5m	2.7~3.1		S8 123 の測定
28	5.8.28	E9	N23°W	3.7m	5.0m	1.4~2.0	265	
29	5.8.29	F9	N15°W	5.7m	9.4m	1.3~2.7	265	
30	5.8.30	F9	N23°W	3.7m	6.4m	2.0~2.3		
31	5.8.31	F8	N65°E	4.7m	7.0m	1.6~1.9		
32	5.8.32	F8	N65°E	3.7m	3.7m	1.2~1.3		
33	5.8.33	D8	N6°W	3.7m	4.3m	1.3~1.6		
34	5.8.34	B-38	N71°E	6.7m	7.5m	0.8~1.6		
35	5.8.35	D7	N63°E	3.7m	6.0m	1.9~2.2		
36	5.8.36	B7	N24°W	3.7m	7.0m	2.1~2.7	265	
37	5.8.37	F7	N65°E	3.7m	7.5m	2.0~2.8	265	
38	5.8.38	F6	N28°W	6.7m	6.7m	1.0~1.6		

第三期 横列観察表(3) ※()内は推定値

No.	地名	地区	主軸方位	標高	高	幅	柱脚寸法(x)	斜面番号	斜面番号	備考
39	SAB29	II-5	N31°W	38.00	34.0m	0.6	~2.7			
40	SAB40	X7-8	S32°E	3.間	7.9m	2.4	~3.0			
41	SAB41	X7-8	S31°W	2.間	6.2m	2.9	~3.3		SII-190	横列寸法
42	SAB42	18	S27°W	3.間	5.3m	1.6	~2.2			
43	SAB43	17	S37°W	3.間	6.9m	2.1	~2.5			
44	SAB44	17	S23°W	3.間	7.2m	2.0	~3.0			
45	SAB45	17	S07°E	3.間	7.5m	2.2	~2.7			
46	SAB46	17	S23°W	3.間	7.1m	1.9	~2.6			
47	SAB47	17	S32°W	3.間	6.2m	2.0	~2.1			
48	SAB48	19	S05°W	3.間	5.4m	1.4	~2.0	296		
49	SAB49	15	S04°E	3.間	5.1m	1.6	~1.7			
50	SAB50	13.4	S18°W	13間	31.3m	2.3	~2.6	297	168-196	
51	SAB51	12	S07°E	4.間	8.0m	1.6	~2.2		SII-226	横列寸法

第三期 井戸観察表

No.	地名	地区	平測形	斜測形	測量-実測(x)	標高-深さ(x)	測量-深さ(x)	標高-深さ(x)	測量-深さ(x)	備考
1	SEB01	E17	楕円底方形	平行状	1.8	1.5	1.0	木組み(合角:火、板材の所折れの組み上げ)	288-299	114-115
2	SEB02	E-P9	不規則形	平行状	2.3	不明	1.4	0.5以上 石組み	300	292-303
3	SEB03	E-P9	不規則形	平行状	2.2	不明	1.0	地盤	303	292
4	SEB04	F7	不規則形	平行状	2.1	2.0	1.7	上部...板張組み、下部...地盤(302)	304	294
5	SEB05	16	不規則形	平行状	1.8	1.7	1.4以上	上部...石組み、下部...地盤(299)	302	295
6	SEB06	15	平行	平行	2.6	2.5	1.2	竹(竹を削りて)地盤にしたもの(298)	303	

第二期 土坑觀察表(1)

No.	地名	地区	平面形	断面形	深度-长轴(a)	宽度-长轴(a)	规格-深3(a)	日期	现场番号	现场番号	備 考
1 SKI 01	E28	不整椭圆形	椭圆3字次	2.1	0.6	0.16	314				
2 SKI 02	E23	不整椭圆形	不整造形状	2.8	2.4	0.63	315	72			
3 SKI 03											
4 SKI 04											
5 SKI 05	(22)	不整圆形	不整造形状	2.3	1.4	0.30	306				
6 SKI 06	E21	椭圆形	椭圆3字次	3. 以上	1.2	0.2	307				
7 SKI 08	(21)	不整圆形	椭圆3字次	1.6	1.2	0.24	306	73			
8 SKI 09											
9 SKI 10	E20	不整圆形	3次状	1.6	1.2	0.13	305	74			
10 SKI 11											
11 SKI 12											
12 SKI 13	E15	不整圆形	U字次	1.8	1.6	0.66					
13 SKI 14	E14	不整圆形	椭圆3字次	1.3	1.0	0.40	306	116			
14 SKI 15	E13	不整圆形	椭圆3字次	1.1	1.0	0.18	306				
15 SKI 16	E12	不整圆形	不整造形状	2.5	1.4	0.14	190	124			
16 SKI 17	E11	矩形?	造形形状	0.6以上	0.4以上	0.12	309				
17 SKI 18											
18 SKI 19	E11	不整凸形	不整造形状	2.0	1.8	0.14	310	206			
19 SKI 20											
20 SKI 21	E10	不整圆形	造形形状	2.2	1.9	0.29	311	206			
21 SKI 22	E10	不整圆形	造形形状	2.9	2.4	0.31	312				

第三期 土坑觀察表(2)

No	遺 葵 名	地 区	平 面 形	断 面 形	測量-長軸(x)	測量-短軸(y)	測量-深さ(z)	時期	測量番号	備 考
22	SK 23	E9	不規方形	扁圓U字狀	2.4	2.1	0.20		313	
23	SK 24	F10	不規角円形	扁圓U字狀	1.3	1.1	0.20		317	晚上-因比魯門
24	SK 25	E10	橫円形	扁圓U字狀	1.3	0.8	0.11		314	
25	SK 26	E10	不規方形	不規U字狀	1.96	1.8	0.18		315	206
26	SK 27	F9	不規角円形	1.7次	2.2	1.7	0.20			
27	SK 28	F9	不規長方形	扁圓U字狀	2.1	1.4	0.10			
28	SK 29	E9	不規角円形	不規混合形	1.4	0.9	0.54		316	208
29	SK 30									
30	SK 31	D9	不規角円形	扁圓U字狀	1.3	0.8	0.10			
31	SK 32									
32	SK 33									
33	SK 34									
34	SK 35									
35	SK 36									
36	SK 37									
37	SK 38	J7	橫円形	扁圓U字狀	0.9	0.5	0.06		317	
38	SK 39									
39	SK 40	J-17	不規角円形	差台形狀	2.0	1.3	0.40			
40	SK 41	G7-6	不規角円形	扁圓U字狀	1.6	1.4	0.10		318	測小管
41	SK 42	G7-8	不規方形	不規混合形	2.6	1.9	0.27		319	晚上-7月7日測小管
42	SK 43	G8	不規角円形	不規U字狀	2.5	1.9	0.69		320	測小管G

第Ⅲ期 土坑觀察表(3)

No.	遺 葵 名	地 区	平 面 形	断 面 形	底 高-长轴(μ)	底高-凹陷(μ)	底深(μ)	时 期	海区番号	资源番号	備 考
43	深圆44	G8	不椭圆形	Y-X'状	1.5	1.4	0.12				
44	SKE46	G9	不椭长方形	平行形状	2.1	1.5	0.32	321			泥质含砂
45	深圆45	G8	不椭长方形	平行形状	2.6	2.0	0.42	322			泥质含砂
46	SKE47	G8	不椭圆形	不椭圆形	1.0	0.9	0.13				
47	SKE48										
48	SKE49	F8	不椭圆形	六椭Y字状	1.9	1.0	0.14	323			泥质含砂
49	SKE50	F8	円形	平行形状	0.5	0.4	0.20	324			
50	SKE51	F8	不椭圆形	不椭Y字状	3.0以上	1.5以上	0.20				泥质含砂
51	SKE52	E-F8	不椭长方形	不椭台形状	2.4	2.1	0.43	325			泥片
52	SKE53										
53	SKE54	G7-3	不椭圆形	平行形状	1.8	1.3	0.12				泥质含砂
54	SKE55	G7	不椭圆形	椭U字状	1.3	0.4	0.24				
55	SKE56	E7	不椭圆形	椭U字状	1.0	0.6	0.10				
56	SKE57	E7	不椭长方形	平行形状	1.3	0.9	0.10	326			泥质含砂
57	SKE58	E7	不椭圆形	椭U字状	2.2	1.0	0.30				
58	SKE59										
59	SKE60	E7	不椭圆形	椭U字状	1.4	0.9	0.15	327	239		
60	SKE61	E7	不椭圆形	平行形状	1.3	1.0	0.24	328			
61	SKE62										
62	SKE63	15	不椭圆形	平行形状	1.6	1.6	0.34	329			泥质含砂
63	SKE64	15	不椭圆形	椭U字状	1.7	1.3	0.10				

第三期 土坑觀察表(3)

No.	測量名	地区	平面形	断面形	断面形状	厚度(英尺)	厚度(厘米)	時間	解説番号	区段番号	備考
64	ST 005	J4	不連續円形	輪狀U字狀	2.7	1.0	0.12				
65	ST 006	H1·2	不連續	輪狀逆合狀	2.1	2.0	0.43	211-330	167-210	測定: 地士官	
66	ST 007	H1	不連續	輪狀逆合狀	2.2	1.9	0.33	331	211	測定: 地士官	

第三期 豪銀家表(1)

No.	測量名	地区	平面形	断面形	断面形状	厚度(英尺)	厚度(厘米)	主軸方位	地層法線	地層番号	測定番号	備考
1	ST 01	I21	不連續円形	輪狀U字狀	1.1	0.7	0.13	N25° E	北偏東		332	74-75 北偏より直角斜1 個片
2	ST 02	E20	不連續円形	輪狀逆合狀	1.7	0.8	0.34	N6° E	伸張帶		333	76
3	ST 03	E21	不連續円形	輪狀U字狀	2.1	0.8	0.20	N17° E	伸張帶		334	
4	ST 04	E20	不連續円形	輪狀方合狀	2.0	0.9	0.40	N12° E	伸張帶		335	76
5	ST 05	E20	不連續円形	輪狀U字狀	2.0	0.6	0.07	N12° E	伸張帶		336	
6	ST 06	I20	不規	不規	2.7	不規	0.24	N13.5° E	伸張帶			
7	ST 07	I20	不連續円形	輪狀U字狀	2.0	0.8	0.26	N8° E	伸張帶		337	
8	ST 08	E20	不連續円形	輪狀方合狀	2.4	0.6	0.20	N13° E	伸張帶		338	76
9	ST 09	F14	不連續方形	輪狀U字狀	1.2	0.9	0.12	N25° E	北偏西面 石質土層		339	118-119 等(ST 010) 主体部分?
10	ST 10	F14			3.7	3.5		N23° E	東偏北面 有砂土質			
11	ST 11	G9	相平行	輪狀U字狀	1.7	0.5	0.17	N5° W	伸張帶 東偏北面 有砂土質		340	117-118 地土より互層、宋代青磁片
12	ST 12	G7	不連續円形	輪狀U字狀	1.3	0.6	0.10	N8° E	北偏東面 西面 有砂土質		341	212
13	ST 13	F07	不連續方形	輪狀逆合狀	1.7	0.6	0.09	N65° W	西偏北面 下面のみ風化		342	213
14	ST 14	G7	不連續円形	輪狀逆合狀	1.0	0.5	0.10	N23° S	北偏北面 大理石板裏		344	215 北偏より細小風化
15	ST 15	J6	不連續円形	輪狀逆合狀	0.8	0.6	0.10	N7° W	伸張		345	216 完結、小岩板

第三期 基础观察表(2)

No.	通 称 名	地 区	平 面 形	断 面 形	纵 长 度 (英 尺/公 尺)	横 长 度 (英 尺/公 尺)	主轴方位	地 表 泥 灰 色	地 表 砂 灰 色	编 号
16	ST 16	W6	不整圆形	个别	1.5	0.5	N27° E			
17	ST 17	W6	不整长方形	228×76±26	1.5	1.0	N28° S	浅灰·北端灰	346	217 北27°·东22°·各5%!
18	ST 18	W6	不整椭圆形	椭圆31字次	0.6	0.7	N15° E	深灰	347	217
19	ST 19	W6	不整椭圆形	不明	1.3	0.8	N62° W			
20	ST 20	W6	不整椭圆形	157°次	1.4	0.7	N31° S	E	348	
21	ST 21	W6	不整椭圆形	椭圆31字次	1.6	0.8	N64° W		349	218 土壤小量H、腐乳、白垩灰、青灰陶
22	ST 22	W6	椭圆59	椭圆31字次	1.0	0.4	N67° S	深灰·深灰灰带·深灰色斜立层	350	218 2

第三期 不明遗物观察表

No.	通 称 名	地 区	平 面 形	断 面 形	纵 长 度 (英 尺)	横 长 度 (英 尺)	宽 高 (英 尺)	宽 高 (公 尺)	地 表 砂 灰 色	地 表 砂 灰 色	编 号
1	ST 01	G28-30	不整円形	椭圆V字灰	4.0	3.0以上	0.6		351-352	48	
2	ST 02	E-128	不整椭圆形	椭圆V字灰	2.0	1.3	0.3		352	25	
3	ST 04	E15	漏斗	洼台形状	1.9	0.4	0.2		353	120	
4	ST 08	W6	不整椭圆形	V字次·洼台形状	4.6	1.6	1.0		354	219	
5	ST 10	13	凹形	椭圆V字灰	0.2	0.2	0.1		355		

第三期 漏斗观察表(1)

No.	通 称 名	地 区	纵 长 度 (英 尺/公 尺)	横 长 度 (英 尺/公 尺)	地 表 砂 灰 色	地 表 砂 灰 色	编 号
1	S9-20+R66	H8-11.11~3.8-13	1.7~4.5	0.9			67-68-69 156-151-152
2	S9-01	H28	0.4	0.3			352
3	S9-02	H-1-28	0.8	0.4			357 77
4	S9-03	H25~28 H22-23	1.2	0.3			358 77

第Ⅲ期 準繩表(2)

No.	准繩名	地 区	無繩率(%)	無繩、復活(%)	無繩番号	復活番号	備 考
5	S9II74	H-1261-277	16.0	1.4	369	78	
6	S9II75	G21-22 122-23	1.2	0.4	360		
7	S9II66	J-123	0.4	0.2	361		
8	S9II67	G22 122-23 J-122	1.0	0.1~0.4	362	78	
9	S9II68	122-23	0.6	0.2	363		
10	S9II69	G-123	0.7	0.2	364		
11	S9II10	H-122	0.5	0.1	365		
12	S9II11	G-123	0.5	0.1	366		
13	S9II12	G-123	1.0	0.2	366		
14	S9II13	122-23	0.5	0.2	367		
15	S9II14	G-11-J-122	0.4	0.3	368		
16	S9II15	J21-22	1.0	0.3	369	79	
17	S9II16	J20~22	0.6	0.1	369	79	
18	S9II17	J20	0.7	0.1	360		
19	S9II18	J18~20	0.7	0.2	370	80	
20	S9II19	J14 J 14~28	1.4	0.5	371		
21	S9II24	I21	0.3	0.1			
22	S9II25	I21-22 126-21	1.0	0.2	372	81	
23	S9II26	118-20	0.9	0.2		71-81	
24	S9II27	I19	0.7	0.4	373	81	
25	S9II28	I21	0.5	0.2			

第三輯 清潔隊表(3)

%	清 洗 名	地 区	班次(組)	面積(呎)	序號	次序番号
26	SB 229	F-621		1.0	0.2	374
27	SB 330	E621/21		0.5	0.1	375
28	SB 331	G-E21 E620		0.5	0.1	376
29	SB 332	F-G-H-120		0.5	0.1 ~ 0.3	377
30	SB 333	118 ~ 20		0.6	0.2	81
31	SB 336	F-C21		0.4	0.1	
32	SB 339	G-E17		0.6	0.1	378
33	SB 440	G3-14 E14-15		1.0	0.1	
34	SB 442	G3 H3-34		0.8	0.2	121
35	SB 444	F17		0.9	0.1	
36	SB 446	G5-16		0.5	0.1	379
37	SB 447	G14 ~ 16		0.7	0.1	380
38	SB 449	H15		0.4	0.1	
39	SB 451	G15		0.4 ~ 0.8	0.1	187
40	SB 452	G15		0.3	0.1	187
41	SB 454	H14-15		0.4	0.1	
42	SB 455	G-E15		0.8	0.1	
43	SB 458	G-E14 G15		0.5	0.1	
44	SB 460	G-E-114		1.6 ~ 3.7	0.4	121
45	SB 461	H4		0.6	0.1	121

第三期 滇穀家表(4)

No.	通 命 名	地 区	固相·液相(%)	固相·带状(%)	种质系号	固相带号	備 考
46	SD Ⅲ 62	B14	0.6	0.2		121	
47	SD Ⅲ 71	E-F-613 G-E-11-412	2.5 ~ 4.2	1.2	382-383	222 ~ 225	
48	SD Ⅲ 72	D-E14	1.6	0.4	382		
49	SD Ⅲ 73	D-E13	0.9	0.1			
50	SD Ⅲ 75	H-112 (H-9 H-1-6-9 ~ 10)	1.0 ~ 2.0	0.6 ~ 1.3	384	224-225 ~ 229	
51	SD Ⅲ 76	16	2.5	0.4	385		
52	SD Ⅲ 80	B13	1.2	0.4	386		
53	SD Ⅲ 82	E11-12 F12	1.1	0.5	387		
54	SD Ⅲ 83	D-E10 E11	0.6	0.2	388	220-231	
55	SD Ⅲ 84	D-E10	0.6	0.2	388	220-231	
56	SD Ⅲ 87	G-E11	0.5 ~ 2.0	0.2			
57	SD Ⅲ 89	G-H10	0.6	0.2	389		
58	SD Ⅲ 90	G10	0.6	0.2	389	232	
59	SD Ⅲ 93	F-G-388 H-19	1.0	0.4	390	223-234	
60	SD Ⅲ 94	F8	0.5	0.2			
61	SD Ⅲ 95	E7 F-68	0.9	0.2	391		
62	SD Ⅲ 96	H10	0.3	0.3			
63	SD Ⅲ 97	E-111	0.5	0.2	392	225	
64	SD Ⅲ 98	E10-11	0.6	0.2			
65	SD Ⅲ 99	I9-10	0.5	0.2			
66	SD Ⅲ 00	I9-10	0.8	0.2			

第三期 潜伏觀察表(5)

No.	通稱名	地點	距離(公尺)	距離(公尺)	時間(分钟)	風速(每秒)	備註
67	SDB102	F10-11	0.4~2.0	0.1			
68	SDB103	F10	0.3	0.1			
69	SDB104	F10	0.4	0.1			
70	SDB106	E-F-G-H10	0.3	0.1	393		
71	SDB110	E-F-99	0.5~1.0	0.1	394		
72	SDB112	F9	0.3	0.1			
73	SDB113	D-E-F-G-H6	0.4~0.9	0.1	395		
74	SDB117	F8	0.6	0.1			
75	SDB118	F8	0.8	0.1			
76	SDB121	D-F8	1.0	0.1			
77	SDB123	E7-8	0.4	0.1			
78	SDB126	D-E7-8	0.4	0.2	207	140~164	
79	SDB129	B7	0.8	0.2			
80	SDB130	D-E7	0.6	0.1			
81	SDB135	F9-E7-07	0.5	0.1	396		
82	SDB136	G7	0.5	0.1	397		
83	SDB140	H6-B-8	0.5	0.1~0.2	398		
84	SDB142	I5	0.4~1.5	0.2	399	225	
85	SDB143	C-B-15	0.5~2.0	0.4	400-414	226~237	
86	SDB144	C-B-15	0.6~1.5	0.4	403-401	226~237	
87	SDB147	F-06	0.6	0.2	403		

第三期 漢銀鑄表(6)

No.	地名	地 区	銅銀(兩)	銀價(錢)	銅錢(錢)	鑄模番号	備 考
88	50 549	76	6.7 ~2.0	0.1			
89	50 549	45~7	0.3	0.1	404		
90	50 549	1~6	0.3	0.1	406		
91	50 549	1~6	0.3	0.2	406		
92	50 549	15~8	0.65	0.2	407	228	
93	50 549	13~4	0.3 ~0.9	0.2	408	228	
94	50 549	14	0.6	0.1	409		
95	50 549	14	0.9	0.1	409		
96	50 549	64 13~4	0.6	0.1	410		
97	50 549	8~13	1.5	0.1	411		
98	50 549	63 12~3 12~4 14	0.6	0.1	412		
99	50 549	6~12~3 12~4	0.7	0.3	413	259	
100	50 549	11~3~13	0.9	0.1	409		
101	50 549	8~12	0.3	0.1	69~210	165~240	
102	50 549	81~2	0.7	0.2	211	241	
103	50 549	81~2	0.2	0.23	211		
104	50 549	3~11	0.3	0.1	69~44		
105	50 549	81	0.6	0.1	414		
106	50 549	131~32	0.7	0.1	414		
107	50 549	131	0.5	0.1			

第IV期 据立柱建筑物觀察表

No.	遺 著 名	地 区	類型-形狀	類型-形狀	測量-長軸(a)	測量-短軸(b)	相關-面積(㎡)	相關-面積(㎡)	結構-方位	標識番号	備 考
1	SBR 1	I2B-30	2+1Ca	7.3	3.0	21.9	3.4~3.9	3.0	N65° W		
2	SBR 2	G21	2+2Ba	2.2	1.0	4.2	1.1	0.6~1.1	N70° E		
3	SBR 3	H21	1.1 1.1 b	3.0	3.0	3.0	1.1	0.6~2.2	N65° W		
4	SBR 4	G21	3+2Ba	5.9	2.6	15.3	1.7~2.2	1.2~1.4	N65° E		
5	SBR 5	I19	2+1/2Ba	3.9	3.7	14.4	1.9~2.0	3.7	N73° E		
6	SBR 6	I19	4+2/3Ba	7.7	4.2	32.3	1.0~3.0	1.7~2.6	N65° E	5007	
7	SBR 7	I18~I9	2+2Ba	5.0	4.0	20.0	2.4~2.6	1.9~2.1	N65° W	5007	
8	SBR 8	I18	3+2Ba	6.1	4.2	25.6	1.9~2.1	1.9~2.3	N77° E	5008	

第IV期 牛戸觀察表(1)

No.	遺 著 名	地 区	平 面 形	所 在 方	測量-長軸(a)	測量-短軸(b)	規範-深さ(ℓ)	規範-底面積(㎡)	標 號	測量番号	基準番号	備 考
1	SBR 01	H19	不整角形	U字状	4.1	2.2	1.3	3.2	東側①			
2	SBR 02	H19	不整円形	U字状	3.8以上	3.5	1.6	1.9	石垣外	509	62-83	

第IV期 土坑觀察表(1)

No.	遺 著 名	地 区	平 面 形	所 在 方	測量-長軸(a)	測量-短軸(b)	規範-深さ(ℓ)	規範-底面積(㎡)	標 號	測量番号	基準番号	備 考
1	SBR 01	H21	不整角形	偏正字狀	2.6	1.0	0.10					
2	SBR 02									509		
3	SBR 03											
4	SBR 04	H21	不整角形	偏正字狀	2.1	1.2	0.10			510	63	
5	SBR 05	H21	不整方形	透形形状	1.8	1.7	0.20					
6	SBR 06	H21	不整長方形	透形形状	2.9	1.9	0.35			511		標上：測定点

第Ⅳ期 土坑觀察表(2)

No.	通	稱	名	地	區	平	面	形	斷	面	形	測量-長軸(a)	測量-短軸(b)	測量-厚度(c)	測量-深さ(d)	測量-斜面(e)	測量-底面(f)	測量-側面(g)	備 考
7	SIV/07		H21	不整齊凹形		不規V字狀	2.5	2.4		0.22									
8	SIV/08		H21	不整長方形		不整齊V字狀	1.6	1.2		0.20									
9	SIV/09		H21	不整齊凹形		不整齊V字狀	2.9	2.6		0.37									
10	SIV/10		I20	不整齊凹形		邊緣V字狀	1.6	1.2		0.34									
11	SIV/11		H20	不整齊凹形		V型V字狀	2.6	2.0		0.50									
12	SIV/12		H19+20	不整齊凹形		偏V字狀	4.6	1.1		0.12									
13	SIV/13																		
14	SIV/14		I19	不整齊凹形		偏AV字狀	2.2	1.2	±1.1	0.30									
15	SIV/15																		
16	SIV/16		I19	不整長方形		不整邊緣V字狀	4.6	3.5		0.39									
17	SIV/17		I21	不整齊凹形		偏AV字狀	2.1	1.2		0.19									

第Ⅳ期 不明遺構觀察表

No.	通	稱	名	地	區	平	面	形	斷	面	形	測量-長軸(a)	測量-短軸(b)	測量-厚度(c)	測量-深さ(d)	測量-斜面(e)	測量-底面(f)	測量-側面(g)	備 考
1	SIV/01		G10	不整齊凹形		不規V字狀	4.9	3.8		1.3									
2	SIV/02		H11	不整方形		邊緣V字狀	3.4	3.0		0.6									
3	SIV/03		I10	不整圓形		偏AV字狀	5.1	4.0		0.4									
4	SIV/04		E9			偏AV字狀	10.5	4.3		0.3 ~ 0.7									

第四期 潜伏期表

No.	通病名	地 区	晚收率(%)	损失率(%)	种质号	因数系数	备 考
1	SBP01	SZ119~21	2.5	0.6	SZ1-522	81-85~90	
2	SBP03	F-121	1.2~2.5	0.4		96-88	
3	SBP04	C-EB-20/21	0.4	0.1	SZ1-523		
4	SBP05	C19~21	0.7	0.3	SZ4		
5	SBP06	R19	1.2	0.3	SZ5		
6	SBP08	H18-19/18	0.5~4.0	0.5	SZ8		
7	SBP09	H19	1.8	0.5	SZ7		
8	SBP12	1-IT	2.5	0.7			

付表2 木器觀察表

器種 斧

遺物番号	出土地点	種類	計測値				備考
			台形長	台面幅	台厚	柄部長	
16201	1低・浅2	799 魔術棒状茎葉	1.4.2	2.7	(3.0)	2.8.5	1
16202	1低・浅2之	799 魔術棒状茎葉	(6.8)	3.0	1.1	(1.0.5)	1.8 478
16203	1低・浅2	799 魔術棒状茎葉	(9.8)	4.0	1.6	—	4
16204	1低・浅2	799 魔術棒状茎葉	(9.6)	2.6	1.8	(7.4)	— 3
16205	1低・浅2	799 魔術棒状茎葉	(1.4.6)	6.7	2.1	(1.8)	— 2
16206	不明	799 魔術棒状茎葉	(1.0.5)	4.3	1.7	(9.1)	2.1 756

器種 刀子柄

遺物番号	出土地点	種類	計測値				備考
			柄長	径	臺孔径	臺孔深	
16301	1低・浅2	799 矛 / 金屬	(1.3.5)	2.3	—	—	6
16302	1低・浅2	799 矛 / 金屬	1.7.2	2.4×1.6	7.6	1.6×5	7
16303	4低・浅6	799 矛 / 金屬	1.4.7	2.5×1.5	8.8	1.7×4	278

器種 鐘柄

遺物番号	出土地点	種類	計測値				備考
			柄長	径	臺孔径	臺孔深	
16304	1低・浅2	799 矛 / 金屬	1.3.5	3.2	5.4	1.0×6	8
16305	1低・浅2	799 矛 / 金屬	(5.5)	4.4×2.5	9	3×7	9

器種 のみ柄

遺物番号	出土地点	概要	計量値	備考	
		柄長	径	高さ(深)	
1636	1低・浅2	クヌメ骨片	(3.8)	2.4×2.0 4	8.5 10
1637	1低・浅2	ミクウガガ	4.7	3.1×2.6 2.8	1.1×9 11
1638	1低・浅2	ヤツヅリ骨	1.1	(3.6) —	— 12

器種 繖先

遺物番号	出土地点	概要	計量値	備考				
		長	幅	高さ(深)				
1641	1低・浅2	279 開口部直	3.5	1.5 8 8	2.4 — —	1.6 — —	4.1 — —	
1642	1低・浅2	279 開口部直	(3.5)	(9.5)	2.4	(3.3)	(2.2)	4.1 — —
1643	1低・浅2	カシ樹	3.6	(1.8)	2.5	1.8 9	1.7 9	3.6 — —
1644	1低・浅2	279 開口部直	(1.4)	(4.5)	—	—	—	3.1 — —
1645	1低・浅2	279 開口部直	(1.3)	(4.2)	2.1	—	1.0 5	1.3 — —
1651	1低・浅2	セイ	(4.3)	(4.3)	2.9	(2.2)	(2.1)	2.9 — —
1652	1低・浅2	ヒノキ	(2.9)	(7.8)	3.3	—	—	— — —

器種 繖先

遺物番号	出土地点	概要	計量値	備考			
		長	幅	高さ(深)			
1653	1低・浅3	ケヤキ	2.5	1.6 8	3.1	2.0×3.4	— — —

器種 車

遺物番号	出土場所	測量	計測値		備考	
			高	幅	厚	
1064	1低・坑3	ヤツツバ+	-	-	47	危機4

器種 鋼木体

遺物番号	出土場所	測量	計測値		備考	
			全長	幅幅	備考	
10601	1低・坑2	ヤツツバ+	780	279	227 252 42 111 36	危機4 危機5 前古・下法 後氣守法 馬頭

器種 錐形[1]

遺物番号	出土場所	測量	計測値		備考
			長	幅	
10701	1低・坑2	八寸	(3.1.8)	1.4×4.0	17
10702	1低・坑2	ナナナ	3.1.1	1.8×2.0	18
10703	1低・坑2	ニノハヌ	(1.4.5)	2.1×2.6	22
10704	1低・坑2	コラ 馬頭形	(8.8)	2.1×2.6	20
10705	1低・坑2	ナマダク	(8.5)	1.5×2.2	21
10706	1低・坑2	コラ 馬頭形	(1.1.2)	1.8×2.1	19

器種 錐柄2

遺物番号	出土地点	経緯	計測値	備考
		長 径	幅 径	
16901	1低・底2所 タヌノ子井戸	(1.50)	1.9×2.7	201
16902	1低・底2所 ゾノ尾	(1.05)	2.1×2.6	460

器種 梱箱

遺物番号	出土地	経緯	計測値	備考	
		体形状	体形状	側面長	
16904	1低・底2 タヌノ子井戸	1.98 タヌノ子井戸	5.8×7.0 (1.10)	1.8.5 (4.9)×6.9	3.4 1.6.0
16905	1低・底2 カシ類	1.14 セセ	4.4×5.2 1.04	9.3 5.0×1.4	3.4 1.6.0
16906	1低・底2 セセ	1.14	4.4×5.2	9.3	3.0
16907	1低・底2 ヒノキ	1.04	5.0×1.4	9.8	4.4
16908	1低・底2 コウヤマキ	1.25	5.3×9.5	1.1.4	3.3
16909	1低・底2 カシ類	1.85	4.5×4.8	1.8.7	3.1
16910	1低・底2 ヒノキ	2.12	6.9×1.0.1	1.0.5	3.8×2.5
17001	1低・底2 ヒノキ	9.0	5.8×7.0	1.8.5	3.4
17002	1低・底2 カシ類	3.22	1.1.2×2.8.0	2.5.5	4.3
17003	1低・底2所 ゾノ尾	2.15	5.6×7.4	1.3.9	1.4.5
17004	1低・底2所 タブツバキ	1.0.6	6.8×7.7	1.2.5	2.6×4.6

器種・堅件

遺物番号	出土地点	種類	計測値	参考	
			体形長	体幅	
17101	1低・浅2	ヒサカナ	3.41	8.6	1.55 4.03 7.9
17102	1低・浅2	イボタノ骨	3.92	8.7	(8.4) — —
				28	

器種・木綿[1]

遺物番号	出土地点	種類	計測値		参考
			全長	体幅	
17201	1低・浅2	779 風呂桶	1.41	7.2	6.2 29
17202	1低・浅2	イボタノ骨	1.32	5.8	6.2 31
17203	1低・浅2	779 風呂桶	1.32	5.4	5.3 30
17204	1低・浅2	779 風呂桶	1.53	6.6	6.6 36
17205	1低・浅2	ケヤキ	1.43	4.4	4.6 角地15
17206	1低・浅2	ナラ櫛	1.39	4.8	(4.7) 角地16
17207	1低・浅2	ナラ櫛	1.41	5.5	5.5 角地19
17208	1低・浅2	ヤマダラ	1.45	5.5	5.6 角地21
17209	1低・浅2	ケヤキ	1.68	4.9	4.7 37
17301	1低・浅2	ツバキ	1.55	6.0	6.4 角地14
17302	1低・浅2	ウカナ	1.77	6.1	6.3 32
17303	1低・浅2	カシ櫛	1.77	(6.0)	5.9 島地6
17304	1低・浅2	同定不確	1.69	7.4	6.3 44
17305	1低・浅2	ヤブツバキ	1.25	6.1	6.5 65
17306	1低・浅2	ヤマダラ	1.54	5.8	6.1 島地20

器種 木綿(2)

植物番号	出土地点	種類	計測値			備考
			全長	体形底	体形高	
17307	1低・底2	ケヤキ ココリクシ	11.4	5.2	5.3	島崎行
17308	1低・底2	ココリクシ	(1.04)	—	5.2	36
17401	1低・底2	スノキ	(0.1)	—	0.5	43
17402	1低・底2	ヤブツバキ	(7.8)	—	5.8	46
17403	1低・底2	シイ	(7.1)	—	(5.7)	45
17404	1低・底2	ココリクシ	(7.6)	—	5.9	49
17405	1低・底2	ヤブツバキ	(7.9)	—	6.3	56
17406	1低・底2	シイ	(9.2)	—	5.8	40
17407	1低・底2	サカナ	(8.0)	—	5.7	39
17408	1低・底2	ヤブツバキ	(6.6)	—	6.3	42
17409	1低・底2	ケヤキ	(6.2)	—	5.6	58
17410	1低・底2	ヤブツバキ	(7.4)	—	4.8	59
17411	1低・底2	ヤナギ	(7.5)	—	4.5	50
17412	1低・底2	ヤナギ	(6.8)	—	4.4	52
17413	1低・底2	サカナ	(7.0)	—	5.6	46
17501	1低・底2	スノキ	(7.9)	—	5.3	56
17502	1低・底2	ケヤキ	(6.6)	—	5.0	66
17503	1低・底2	ヤブツバキ	(8.9)	—	6.0	53
17504	1低・底2	ココリクシ	(8.1)	—	6.0	51
17505	1低・底2	ココリクシ	(7.4)	—	5.8	60

器種 木柾(3)

測定番号	出土地点	種類	計測値			備考
			全长	身幅径	体厚径	
17506	1低・汎2	ショジョウボ	(6.5)	—	5.2	61
17507	1低・汎2	ショジョウボ	(5.6)	—	5.0	82
17508	1低・汎2	ケヤキ	(7.5)	—	5.3	34
17509	1低・汎2	ヤブツバキ	7.0	—	7.3	54
17510	1低・汎2	ヤブツバキ	(7.5)	—	7.2	47
17511	1低・汎2	ヤカサ	(9.1)	—	(8.2)	57
17601	1低・汎2	コナガツバキ	(1.0.0)	—	8.9	54
17602	1低・汎2	コナガツバキ	1.3.9	5.1	5.0	33
17603	1低・汎2	エノキ属	(1.0.0)	—	5.8	63
17604	1低・汎2	カナ	(6.6)	—	7.1	41
17605	1低・汎2	ヒノキ	(9.3)	—	(7.1)	55
17606	2低・汎2	コナガツバキ	1.4.3	4.3	4.3	222
17607	1低・汎3	ケヤキ	1.5.5	5.6	5.9	307
17608	1低・汎3	コナガツバキ	(8.4)	—	5.3	206
17609	1低・汎3	コナガツバキ属	(6.8)	—	6.0	306
17701	1低・汎3北	ヤクシマ属	(7.5)	—	(5.6)	462
17702	1低・汎3北	ヤブツバキ	1.3.3	4.0	5.4	481
17703	1低・汎5南	エヌクシヘン	(1.3.4)	5.6	(3.6)	405
17704	1低・汎5南	エゴノキ属	1.4.0	4.7	4.4	409
17705	1低・汎5南	ヤカサ	1.6.5	5.1	5.1	404

器種 木綿(4)

遺物番号	出土地点	樹種	計測値			備考
			全長	体直径	体高さ	
17706	1低・底5周	シキシマノキ	15.1	5.2	5.4	407
17707	1低・底5周	アブツバキ	13.8	4.9	(4.9)	408
17708	1低・底5周	シキシマノキ	13.0	6.0	6.1	409
17801	1低・底5周	カナメセサ	(6.3)	—	7.5	401
17802	1低・底5周	イボタガヤマツ	1.86	(5.3)	(5.6)	405
17803	1低・底5周	コラスモア	1.60	7.9	8.1	269
17804	1低・底5周	コラスモア	(7.1)	—	6.1	402

器種 紡輪

遺物番号	出土地点	樹種	計測値			備考
			直径	高さ	底直径	
18401	1低・底2周	ヒノキ	1.04	2.1	—	底地22
18402	1低・底2周	ヒノキ	1.38	1.0	4.12	

器種 錠

遺物番号	出土地点	樹種	計測値			備考
			全地高	底地幅	底地高さ	
18601	1低・底2	シキシマ	2.55	1.79	1.04	9.8 底地33
18602	1低・底2	シキシマ	(1.68)	1.16	(5.9)	(9.1) 底地35
18603	1低・底2周	コラスモア	(2.25)	1.29	9.6	1.17 底地34
18604	1低・底5周	コラスモア	2.83	1.28	9.0	1.06 1.61 4.13

器種

遺物番号	出土地点	範例	計測値				備考
			全体幅	最大厚	軸孔直径	軸孔深	
18602	1低・浅5層 アヌサ野		4.7	2.4	6.6	6.9	4.14

器種

遺物番号	出土地点	範例	計測値				備考
			長	幅	背厚	底厚	
18701	1低・浅2	イヌノナ	1.14	4.6	1.1	9./cm	馬蹄23
18702	1低・浅2	イヌノナ	(4.4)	(2.8)	6	1.0/cm	馬蹄24
18703	1低・浅2	イヌノナ	(4.7)	(3.6)	1.1	8~9./cm	馬蹄25
18704	1低・浅2	ツヅ	8.7	3.8	6	1.0/cm	馬蹄26
18705	1低・浅5層	カヌメセキナ	(5.6)	5.1	1.3	9./cm	4.16
18706	1低・浅5層	カヌメセキナ	(6.6)	4.6	8	1.0/cm	4.15
18707	4低・浅6	イヌノナ	(7.1)	(2.8)	7	4./cm	2.8.3
18708	4低・浅6	イヌノナ	(7.8)	3.6	8	1.1/cm	2.8.0
18709	4低・浅6	イヌノナ	(4.0)	2.8	8	1.5/cm	2.8.1
18710	4低・浅6	イヌノナ	(3.9)	(2.0)	7	1.3/cm	2.7.9
18711	4低・浅6	イヌノナ	(2.1)	(2.5)	6	1.4/cm	2.8.2
18712	不明	イヌノナ	1.27	4.6	7	1.2/cm	7.5.6

器種 下狀

測定番号	出土地点	樹種	計測値			備考
			長	幅	全体厚	
18813	1低・東2	ヒノキ	272	(9.8)	3.3	2.4 鳥海23
18814	1低・東2	ヒノキ	266	1.07	2.7	1.3 4.4
18815	1低・東2	ヒノキ	239	1.08	3.1	1.3 6.5
18801	1低・東2	コウヤマキ	238	9.8	4.1	2.2 8.3
18802	1低・東2	ヒノキ	(2.28)	1.11	3.3	1.1 8.6
18803	1低・東2等	ヒノキ	259	1.52	3.0	1.8 2.05
18804	1低・東2北	ヒノキ	(2.07)	9.6	4.2	1.8 鳥海23
18805	1低・東2北	ヒノキ	(2.04)	(3.9)	(2.2)	1.1 4.84
18806	1低・東2等	ヒノキ	264	9.8	4.7	1.9 4.17

器種 挑物

測定番号	出土地点	樹種	計測値			備考
			口径	高	高台高	
18801	第4低地帶	ヒノキ	1.51	4.6	8	7.9 鳥海46
18802	第4低地帶	シイノ	—	—	1.3	8.5 鳥海47
18803	第4低地帶	ヒノキ	—	—	4.5	7.7 8.04
18804	4低・東6	ダリ	—	—	—	7.4 2.85
18805	4低・東6	コナラ	—	—	—	— 2.84
18806	4低・東6	ヒノキ	1.52	4.4	9	8.6 2.86

器種 円形剣物

遺物番号	出土地點	形體	計測値			備考
			口径	腹周	底盤厚	
1887	1低・底2	アヌノキ	3.35	4.5	1.6	高さ6.5 底盤4
1888	1低・底2	ナツメ	4.96	10.8	1.4	底盤4
1889	1低・底2	アヌノキ	(2.59)	8.65	1.4	8.7

器種 方形剣物

遺物番号	出土地點	形體	計測値			備考	
			長	幅	底盤厚		
1901	1低・底2	カジノキ	(6.07)	(1.65)	6.8	2.4	9.1
1902	1低・底2	セイヨウ	(7.45)	(1.49)	1.00	3.4	8.8
1903	1低・底2	アヌノキ	(6.95)	(1.85)	6.4	1.0	9.0
1904	1低・底2	ヒノキ	4.34	(8.7)	6.1	1.8	高さ42
1911	1低・底2	セイヨウ	(14.19)	(1.76)	6.3	3.0	8.9
1912	1低・底3	ヒノキ	1.052	1.64	6.7	2.2	3.4.6
1921	1低・底5合	ヒノキ	5.80	3.18	6.3	3.2	高さ61
1922	不明	ヒノキ	(7.08)	(2.3)	1.04	2.8	7.6.0
1923	不明	ナツメ	(5.59)	(2.34)	9.5	2.5	7.5.9

器種 円形曲物〔〕

遺物番号	出土點	断面	計測値		備考
			径	厚	
18051	1基・底2	七／十	2.04	9	1.04
18052	1基・底2	七／十	1.61	8	1.24
18053	1基・底2	七／十	1.61	1.1	9.3
18054	1基・底2	七／十	1.63	1.1	1.22
18055	1基・底2	七／十	1.61	9	1.15
18056	1基・底2	七／十	1.97	8	9.8
18057	1基・底2	七／十	1.82	8	1.10
18058	1基・底2	七／十	1.78	7	1.11
18059	1基・底2	七／十	2.47	7	1.6
18060	1基・底2	七／十	1.95	8	1.01
18061	1基・底2	七／十	1.77	1.0	1.3
18062	1基・底2	七／十	1.70	9	9.5
18063	1基・底2	七／十	1.66	7	1.07
18064	1基・底2	七／十	1.70	8	1.12
18065	1基・底2	七／十	1.96	6	9.6
18066	1基・底2	七／十	1.58	8	1.00
18067	1基・底2	七／十	3.94	1.2	1.17
18068	1基・底2	七／十	2.99	9	1.25
18069	1基・底2	七／十	2.56	7	1.21
18070	1基・底2	七／十	—	7	1.08

器種 円形曲物(2)

通番番号	出土地点	断面	計測値		備考
			径	厚	
19407	1低・第2	七／十	29.3	1.3	1.1.9
19408	1低・第2	七／十	30.2	6	1.1.8
19409	1低・第2	七／十	31.0	6	1.1.4
19410	1低・第2	七／十	26.9	6	9.9
19411	1低・第2	七／十	—	8	9.7
19501	1低・第2	七／十	27.9	7	1.2.0
19502	1低・第2	七／十	23.2	1.1	1.0.3
19503	1低・第2	七／十	23.7	8	1.0.5
19504	1低・第2	七／十	25.2	7	9.4
19505	1低・第2	七／十	30.4	8	1.0.2
19506	1低・第2	七／十	25.8	—	1.2.3
19507	1低・第2	七／十	—	—	9.2
19508	1低・第5上部	七／十	19.8	7	8.0.6
19509	1低・第5上部	七／十	—	5	8.0.7
19510	1低・第2面	七／十	16.6	5	2.0.6
19511	1低・第2面	七／十	16.4	8	2.0.7

器種 円形曲物(3)

遺物番号	出土地点	概要	計測値		備考
			径	厚	
19612	1号・洗2箱	七／十	1.62	6	21.1
19613	1号・洗2箱	七／十	1.64	7	20.6
19614	1号・洗2箱	七／十	3.14	1.0	21.0
19615	1号・洗2箱	七／十	2.51	8	20.9
19616	1号・洗2箱	七／十	1.65	7	21.2
19617	2号・洗2	七／十	1.80	4	23.1・23.2
19618	2号・洗2	七／十	1.42	1.1	8.08
19619	1号・洗3	七／十	1.77	1.1	31.3
19620	1号・洗3	七／十	1.66	5	30.6
19621	1号・洗3	七／十	—	9	31.2
19622	1号・洗3	七／十	1.68	5	31.4
19623	1号・洗3	七／十	1.70	9	30.9
19624	1号・洗3	七／十	1.6	7	31.0
19625	1号・洗3	七／十	—	8	31.1
19626	1号・洗5北	七／十	1.52	1.0	45.0
19627	1号・洗5北	七／十	3.18	1.0	46.5
19628	1号・洗5北	サワラ	—	9	45.7
19629	1号・洗5北	七／十	2.11	7	41.6
19630	1号・洗5北	七／十	1.91	9	42.0
19631	1号・洗5北	七／十	1.68	6	41.8

器種 円形曲物(4)

通称番号	出土地点	測量	計測値		備考
			径	厚	
19007	3低・窓2		1.89	8	3.64
19008	第4低地帯	七ノ子	1.58	6	8.05
19009	不明	—	1.61	1.0	7.61
19010	4低・窓6	七ノ子	—	—	2.87

器種 様円形曲物

通称番号	出土地点	測量	計測値		備考
			長径	短径	
19011	1低・窓2	七ノ子	5.71	(1.28)	1.0 1.24
19012	1低・窓3	七ノ子	1.81	(1.84)	1.2 3.15
19013	1低・窓5	七ノ子	(6.61)	(2.05)	6 4.21
19014	1低・窓3	七ノ子	(2.13)	(5.2)	7 角部9

器種 長方形曲物

通称番号	出土地点	測量	計測値		備考
			長径	短径	
19002	1低・窓5	七ノ子	4.35	(9.1)	1.0 4.22
19003	1低・窓2	七ノ子	1.90	(6.3)	4 1.25
19004	1低・窓5	七ノ子	(2.64)	(3.5)	4 4.23
19005	4低・窓6	七ノ子	2.98	(6.2)	4 2.48

器種 蓋

遺物番号	出土地点	測量	計測値		備考
			径	厚	
19906	1低・底2	七／十	1.05	7	1.26
19907	1低・底2	七／十	—	5	1.26
19909	1低・底2	七／十	9.6	5	1.27
19910	4低・底6	八/四 ²	1.46	7	2.69
19911	1低・底3	七／十	1.05	10	31.6

器種 槌

遺物番号	出土地点	測量	計測値		備考
			径	厚	
19912	4低・底6	抜筋管表面	6.5	61	29.0
19913	4低・底6	コナツ形	5.2	69	29.1

器種 踏付台

遺物番号	出土地点	測量	計測値		備考
			長	幅	
20001	1低・底2	七／十	1.88	9.6	2.8 高さ29
20002	1低・底2	七／十	8.4	10.6	8.4 1.31
20003	1低・底2	七／十	(1.84)	(1.20)	5.2 1.30
20004	1低・底3	ヶ十+	1.79	11.2	3.4 高さ29

器種 青銅[1]

遺物番号	出土場所	附標	計量値			備考
			最大幅	全長	厚	
20101	1号・復2	七ノ子	1.9	(2.32)	4.5	1.40
20102	1号・復2	七ノ子	1.7	(2.07)	2	1.46
20103	1号・復2	七ノ子	2.2	(1.96)	3	1.33
20104	1号・復2	七ノ子	2.3	(1.72)	4	1.36
20105	1号・復2	七ノ子	1.8	1.69	3	1.39
20106	1号・復2	七ノ子	2.1	(1.52)	2	1.41
20107	1号・復2	七ノ子	1.9	(1.26)	2	1.38
20108	1号・復2	七ノ子	1.9	(1.55)	5	1.35
20109	1号・復2	七ノ子	-	(2.1)	5	1.63
20110	1号・復2	七ノ子	(1.9)	(0.6)	2	1.56
20111	1号・復2	七ノ子	2.2	(5.6)	2	1.48
20112	1号・復2	七ノ子	(1.9)	(5.4)	4	1.57
20113	1号・復2	ヨウツヤ+	(2.5)	(1.05)	2	1.49
20114	1号・復2	七ノ子	2.1	(2.47)	4	1.44
20115	1号・復2	七ノ子	(2.7)	(2.48)	4	1.43
20116	1号・復2	七ノ子	(2.4)	(0.9)	2	1.51
20117	1号・復2	七ノ子	2.4	(1.92)	4	1.37
20201	1号・復2	七ノ子	1.2	(1.5)	3	1.55
20202	1号・復2	七ノ子	(1.3)	(1.53)	3	1.50
20203	1号・復2	七ノ子	1.0	(2.02)	4	1.47

器種 斧(2)

遺物番号	出土地点	形體	計画値			備考
			最大幅	全长	厚	
20204	1低・奥2	匕/4	(7)	(17.1)	3	1.5 8
20205	1低・奥2	匕/4	1.3	16.8	4	1.4 5
20206	1低・奥2	匕/4	(1.6)	(11.2)	5	1.5 2
20207	1低・奥2	匕/4	(3.3)	(6.4)	1.0	1.5 4
20208	1低・奥2	匕/4	1.8	(8.8)	3	1.3 4
20209	1低・奥2附	匕/4	(1.3)	(7.4)	2	2.1 3
20210	1低・奥2附	匕/4	(1.9)	(2.6.2)	3	2.1 4
20211	2低・奥2	匕/4	(1.7)	(7.4)	2	2.2 4
20212	2低・奥2	匕/4	(1.9)	(10.7)	2	2.3 3
20213	2低・奥2	匕/4	1.7	1.8.2	2	2.2 5
20214	2低・奥2	匕/4	2.0	(1.5.9)	2	2.3 2
20215	2低・奥2	匕/4	1.8	(1.5.0)	3	2.3 9
20216	2低・奥2	匕/4	2.0	(1.9.5)	2	2.3 0
20217	2低・奥2	匕/4	1.4	17.2	2	2.2 8
20218	2低・奥2	匕/4	1.1	17.1	4	2.3 4
20219	2低・奥2	匕/4	2.2	13.0	2	2.2 9
20201	2低・奥2	大4	(1.7)	(13.6)	4	2.3 5
20202	2低・奥2	大4	(1.2)	(10.1)	5	2.3 7
20203	2低・奥2	匕/4	(1.4)	(9.5)	1	2.2 6
20204	2低・奥2	匕/4	(1.3)	(9.8)	3	2.2 7

器皿 蒜串(3)

器物名	出土地点	规格	计数			编考
			最大径	全高	厚	
20055	2层·灰2	3.4 ²	(1.6)	(7.7)	3	2.38
20056	2层·灰2	2.7 ²	(1.7)	(7.3)	2	2.36
20057	1层·灰3	2.7 ²	(1.6)	(13.7)	4	3.17
20058	1层·灰3	2.7 ²	(1.4)	(19.4)	3	3.19
20059	1层·灰3	2.7 ²	(1.7)	(21.3)	2	3.27
20060	1层·灰3	2.7 ²	1.2	21.5	2~5	3.92
20061	1层·灰3	2.7 ²	(1.2)	26.3	3	3.25
20062	1层·灰3	2.7 ²	(1.7)	(26.3)	3	3.30
20063	1层·灰3	2.7 ²	(1.6)	(30.1)	3	3.26
20064	1层·灰3	2.7 ²	2.8	(14.2)	4	3.24
20065	1层·灰3	2.7 ²	2.2	(12.7)	4	3.22
20066	1层·灰3	2.7 ²	(1.5)	(13.7)	4	3.18
20067	1层·灰3	2.7 ²	(1.6)	(8.8)	5	3.21
20068	1层·灰3	2.7 ²	(1.4)	(6.4)	1	3.28
20069	1层·灰3	2.7 ²	(1.4)	(7.7)	2	3.20
20070	1层·灰3	2.7 ²	(2.0)	(10.0)	4	3.23

器種 茄串(4)

遺物番号	出土地点	略地	測量	計測		備考
				最大幅	全長	
20408	1低・東3	七ノ四	(1.3)	(1.08)	3	3.29
20409	1低・東3	七ノ四	(1.4)	(1.19)	3	3.31
20410	3低・東2	七ノ四	(1.7)	1.85	2	6.45
20411	3低・東2	七ノ四	1.7	(1.68)	2	6.44
20412	3低・東2	七ノ四	(1.9)	(5.5)	2	6.46
20413	1低・東5北	七ノ四	1.7	1.73	5	6.14
20414	1低・東5北	七ノ四	1.6	(1.72)	4	6.13
20415	1低・東5北	七ノ四	1.4	1.70	3	4.92
20416	1低・東5北	七ノ四	1.3	1.71	3	6.23
20417	1低・東5北	七ノ四	(1.5)	(1.58)	3	6.25
20418	1低・東5北	七ノ四	1.4	1.63	4	6.15
20419	1低・東5北	七ノ四	1.2	1.66	3	5.00
20420	1低・東5北	七ノ四	1.6	1.59	4	6.18
20421	1低・東5北	七ノ四	1.7	(1.58)	5	6.21
20422	1低・東5北	七ノ四	1.4	1.56	5	6.07
20423	1低・東5北	七ノ四	1.6	(1.60)	4	6.09
20424	1低・東5北	七ノ四	1.5	1.50	4	6.06
20425	1低・東5北	七ノ四	1.5	(1.51)	4	6.05
20426	1低・東5北	七ノ四	1.6	(1.48)	3	6.20
20427	1低・東5北	七ノ四	1.5	1.45	3	4.97

器種 斧串(5)

遺物番号	出土場所	形態	計量			備考
			最大幅	全长	厚	
20206	1低・深5孔	七／+	1.5	(1.4.5)	2	6.22
20208	1低・深5孔	七／+	1.6	1.4.7	4	4.91
20207	1低・深5孔	七／+	(1.0)	1.4.9	4	6.03
20208	1低・深5孔	七／+	(1.2)	(1.4.9)	3	4.99
20209	1低・深5孔	七／+	1.7	1.4.5	3	6.27
20210	1低・深5孔	七／+	1.5	(1.4.1)	2	6.11
20211	1低・深5孔	四7.9	1.2	1.4.2	3	4.90
20212	1低・深5孔	七／+	1.4	1.4.1	3	6.04
20213	1低・深5孔	七／+	1.8	(1.4.0)	3	6.10
20214	1低・深5孔	七／+	(1.7)	1.3.4	3	4.95
20215	1低・深5孔	七／+	1.8	(1.2.8)	4	6.08
20216	1低・深5孔	七／+	1.5	(1.2.8)	4	6.17
20217	1低・深5孔	七／+	1.7	1.2.8	4	6.01
20218	1低・深5孔	七／+	(1.4)	(1.2.6)	2	6.26
20219	1低・深5孔	七／+	2.0	1.1.8	4	4.88
20220	1低・深5孔	七／+	1.8	(1.1.8)	5	4.89
20221	1低・深5孔	七／+	1.8	(1.1.6)	2	6.12
20222	1低・深5孔	七／+	1.8	1.0.9	3	4.96
20223	1低・深5孔	七／+	1.8	(1.0.2)	2	6.02
20224	1低・深5孔	七／+	(1.2)	(1.1.2)	4	6.18

器種 豪串(6)

通称番号	出土地点	経緯	計画			備考
			最大周	全底	縄	
26525	1低・底5北	七／四	(9)	(9.8)	1	4.9.4
26526	1低・底5北	七／四	(1.9)	(8.8)	5	4.9.8
26527	1低・底5北	七／四	(2.3)	(1.5.2)	7	6.2.4
26528	1低・底5北	七／四	(2.1)	2.5.4	2	4.9.3
26529	1低・底5南	七／四	(2.2)	1.6.9	3	4.3.2
26532	1低・底5南	七／四	(2.1)	(1.5.3)	2	4.3.3
26533	1低・底5南	七／四	1.7	1.5.4	2	4.3.5
26534	1低・底5南	七／四	1.9	1.5.1	3	4.3.0
26535	1低・底5南	七／四	1.7	1.6.0	2	4.2.7
26536	1低・底5南	七／四	2.0	(1.5.2)	5	4.4.0
26537	1低・底5南	七／四	1.5	(1.5.1)	3	4.2.8
26538	1低・底5南	七／四	1.5	1.5.7	2	4.2.9
26539	1長・底5南	七／四	1.4	1.5.1	2	4.3.1
26540	1長・底5南	七／四	2.5	(1.4.2)	3	4.4.4
26541	1低・底5南	七／四	(2.1)	1.4.1	2	4.4.5
26542	1低・底5南	七／四	2.4	(1.3.7)	3	4.4.3
26543	1低・底5南	七／四	2.3	1.2.5	3	4.4.6
26544	1低・底5南	七／四	1.5	2.2.4	5	4.4.1
26545	1低・底5南	七／四	(1.4)	(2.0.8)	5	4.2.6
26546	1低・底5南	七／四	2.1	1.6.8	3	4.3.7

器種 資串[7]

遺物番号	出土地點	断層	剖面		
			最大幅	全長	厚
20617	1低・浅5層	七ノキ	1.7 (1.6.0)	4	4.3.9
20618	1低・浅5層	七ノキ	1.9 (2.9)	3	4.4.2
20619	1低・浅5層	七ノキ	1.5 (2.0)	2	4.3.8
20620	1低・浅5層	七ノキ	1.5 (2.9)	6	4.2.5
20621	1低・浅5層	七ノキ	1.5 (1.5)	6	4.3.6
20622	1低・浅5層	七ノキ	1.5 (1.4)	5	4.2.4
20623	1低・浅5層	七ノキ	1.5 (1.4)	5	4.3.4
20701	3低・浅2	七ノキ	2.4 (2.4)	2.7.6	4
20702	3低・浅2	少羽鱗	2.8 (2.5.9)	3	3.7.8
20703	3低・浅2	七ノキ	2.1 (1.6.1)	3	3.7.9
20704	3低・浅2	七ノキ	1.9 (1.4.7)	3	3.8.0
20705	3低・浅2	七ノキ	1.4 (1.4)	2	3.7.6
20706	3低・浅2	七ノキ	2.4 (1.9)	1	3.7.2
20707	3低・浅2	七ノキ	1.9 (1.9)	2	3.8.4
20708	3低・浅2	七ノキ	2.1 (2.1)	3	3.6.8
20709	3低・浅2	七ノキ	2.0 (1.6)	3	3.6.9
20710	3低・浅2	七ノキ	1.8 (1.0.2)	2	3.8.2
20711	3低・浅2	七ノキ	1.9 (1.9)	3	3.7.5
20712	3低・浅2	七ノキ	1.5 (1.2.7)	2	3.6.7
20713	3低・浅2	七ノキ	1.2 (1.2)	2	3.7.0

器種 青銅(8)

通鑑番号	出土地点	形態	計量			備考
			最大幅	全長	厚	
20714	3低・底2	匕/ノ斗	(2.1)	(9.8)	3	3.71
20715	3低・底2	匕/ノ斗	1.6	(1.3)	2	3.66
20716	3低・底2	匕/ノ斗	(3.1)	(1.5)	3	3.83
20717	3低・底2	匕/ノ斗	(2.9)	(1.7)	2	3.65
20718	3低・底2	匕/ノ斗	(1.9)	(1.7)	3	3.73
20719	3低・底2	匕/ノ斗	(2.0)	(1.8)	2	3.77
20801	不明	匕/ノ斗	1.6	(2.1)	2	3.00
20802	不明	匕/ノ斗	2.7	(1.8)	1	3.02
20803	不明	匕/ノ斗	2.0	(1.6)	3	3.01
20804	不明	匕/ノ斗	(1.7)	(6.6)	1	2.99
20805	4低・底1	匕/ノ斗	2.1	(1.5)	2	2.76
20806	4低・底2	匕/ノ斗	2.2	(1.3)	3	2.77
20807	4低・底0	匕/ノ斗	(2.0)	(8.0)	4	2.92

器種 舟形

通鑑番号	出土地點	測量	計測値				備考
			長	幅	厚	深	
20808	1號・坑2	ナガギ圓	(1.4.4)	3.7	3.0	1.67	
20809	1號・坑2	スルヅ	(1.5.7)	3.2	3.3	1.66	
20810	1號・深3	クヌギ蛇	(1.1.1)	4.1	3.7	3.34	
20811	1號・坑2	セイ圓	1.2.0	8.0	3.6	1.64	
20812	3號・坑2	スヤ	(1.2.0)	2.1	1.6	1.67	
20813	1號・坑2	ツワ	(6.0)	(5.0)	2.4	1.63	
20814	1號・坑2	ヒノキ	(1.9.4)	8.4	5.1	1.65	
20815	1號・坑2	二葉マツ	2.7.5	5.3	5.0	爲地26	
21001	1號・坑2	ヒノキ	(2.4.0)	3.6	1.7	島地5	
21022	1號・坑2 丙	ヒノキ	1.6.2	2.9	(9)	2.1.5	

器種 鳥形

通鑑番号	出土地點	測量	計測値				備考
			全長	頭部長	體部長	体部径	
21003	1號・坑3	ヒノキ	1.0.8	2.6	5	3.3.3	

器種 刀子形

遺物番号	出土地点	測量	計測値			備考
			全長	刃部長	刃部幅	
21004	1低・溝2	七ノナ	14.8	9.9	1.2	7 5 1.62
21005	1低・溝2	七ノナ	14.0	9.8	1.6	7 5 1.61
21006	1低・溝2	七ノナ	31.2	25.2	8.0	3.6 1.2 1.60

器種 黒形

遺物番号	出土地点	測量	計測値			備考
			全長	高	厚	
21101	1低・溝5枠	七ノナ	11.8	3.0	9	4.17
21102	1低・溝5枠	七ノナ	(13.8)	3.8	1.1	4.49
21103	1低・溝5枠	七ノナ	(12.8)	(2.5)	9	4.48
21104	1低・溝5枠	七ノナ	(13.3)	3.8	1.1	4.50

器種 人形(1)

遺物番号	出土地点	測量	計測値			備考
			最大幅	全長	厚	
21105	2低・溝2	ツガ属	3.0	(5.27)	0.2~0.4	2.48
21106	2低・溝2	ツガ属	3.1	5.39	3	2.47
21107	2低・溝2	ツガ属	3.0	4.63	3~7	2.67
21108	2低・溝2	セイ属	4.8	(4.01)	6~9	2.70
21109	2低・溝2	ツガ属	2.8	(2.92)	2	2.56
21110	2低・溝2	セイ属	3.2	(2.72)	5	2.49

器種 人形(2)

通鑑番号	出土地点	備考	計測値			備考
			最大幅	全長	厚	
21111	2版・虎2	ノガ属	3.0	(1.92)	3	24.0
21112	2版・虎2	セイ属	3.7	(2.02)	3	26.1
21113	2版・虎2	ノガ属	2.8	(1.14)	3	26.3
21114	2版・虎2	ノガ属	<2.0	(2.42)	4	23.9
21115	2版・虎2	セイ属	3.6	(2.89)	4	25.5
21116	2版・虎2	ノガ属	2.8	(3.15)	3	25.9
21117	2版・虎2	セイ属	<3.5	(1.34)	5	24.1
21118	2版・虎2	セイ属			27.3	
21201	2版・虎2	セイ属	5.4	7.69	7	27.1
21202	2版・虎2	セイ属	4.4	(1.51)	4	26.4
21203	2版・虎2	セイ属	3.2	(1.03)	6	26.2
21204	2版・虎2	ノガ属	2.7	(9.8)	3	25.0
21205	2版・虎2	セイ属	<1.8	(3.5)	3	26.6
21206	2版・虎2	セイ属	4.0	(2.63)	5	26.5
21207	2版・虎2	ノガ属	3.0	(2.89)	3	25.2
21208	2版・虎2	ノガ属	2.7	(3.88)	4	24.3
21209	2版・虎2	ノガ属	2.6	(1.98)	5	24.2
21210	2版・虎2	セイ属	5.3	(2.12)	7	24.5
21211	2版・虎2	セイ属	4.1	(3.81)	9	26.9
21212	2版・虎2	セイ属	4.6	(3.42)	5	24.6

器種 人形(3)

遺物番号	出土地點	絞網	計測値			備考
			最大幅	全长	厚	
21213	2低・浅2	ツガ属	2.1	(1.63)	4	2.44
21214	2低・浅2	モミ属	4.6	(3.65)	4	2.60
21215	2低・浅2	モミ属	(3.3)	(1.94)	6	2.58
21216	2低・浅2	ツガ属	(2.7)	(1.93)	5	2.66
21217	2低・浅2	ツガ属	(2.6)	(1.53)	3	2.54
21218	2低・浅2	モミ属	2.5	(1.78)	3	2.51
21219	2低・浅2	ツガ属	2.6	(3.84)	4	2.57
21220	2低・浅2	モミ属	(5.3)	(4.68)	2	2.72
21301	1低・浅3	モミ属	(2.1)	(1.6)	2	3.35
21302	1低・浅3	モミ属	(2.3)	(1.91)	3	3.97
21303	1低・浅3	モミ属	2.4	(1.11)	2	3.38
21304	1低・浅3	モミ属	(3.3)	(1.8)	4	3.36
21305	3低・浅2	モミ属	(1.8)	(7.4)	2	3.68
21306	3低・浅2	モミ属	(2.8)	(1.63)	3	3.94
21307	3低・浅2	モミ属	(2.5)	(2.4)	4	3.67
21308	3低・浅2	モミ属	(2.3)	(1.58)	2	3.91
21309	3低・浅2	モミ属	(3.1)	(1.01)	2	3.92
21310	3低・浅2	モミ属	2.4	(1.35)	1	3.66
21311	3低・浅2	モミ属	3.3	3.62	4	3.65
21312	3低・浅2	モミ属	(5.2)	(1.44)	5	3.89

器種 人形(4)

遺物番号	出土地点	形態	計測値		備考
			最大幅	全長	
21313	3低・後2	ヒノキ	(3.2)	(2.0)	7 29.5
21314	3低・後2	ヒノキ	(2.9)	(1.3)	4 39.0
21315	1低・後5前	ヒノキ	1.9	(1.2)	4 45.1
21401	3低・後2	ヒノキ	2.9	(2.1)	2 50.3
21402	不明	ヒノキ	2.0	2.9	3 30.4
21403	不明	ヒノキ	(2.7)	(1.0)	2 30.3

器種 陽物形

遺物番号	出土地点	形態	計測値		備考
			全長	上部幅	
21404	1低・後2	コナラ	1.71	3.7	3.9 16.8

器種 独楽

遺物番号	出土地点	形態	計測値		備考
			径	長	
21405	1低・後2	カエデ	3.3	5.3	1.32

器種 琴柱

通物番号	出土地点	経緯	計測値			備考
			幅	高	厚	
21406	1低・東2	コウヤマツ	3.7	2.1	.8	鳥居1
21407	1低・東2	ヒノキ	3.0	2.0	.9	鳥居2

器種 大形鈴状品(1)

通物番号	出土地点	経緯	計測値			備考
			全長	径	先端長	
22701	1低・東2	ミタカ・23	(8.06)	2.2	4.1	5.2.3
22702	1低・東2	イヌイサ	5.6.1	3.0	7.2	5.2.7
22703	1低・東2	ヒノキ	4.8.7	1.9	9.2	5.2.8
22704	1低・東2	アガガシ・五段	4.7.8	2.6	9.6	5.2.5
22705	1低・東2	コナラ	4.0.8	2.2	3.7	5.2.4
22706	不明	ヒノキ	7.1.5	1.8	4.0	7.6.7
22707	1低・東5北	ケヤキ	3.7.7	2.0	7.0	5.2.3
22708	1低・東5南	ヒノキ	3.7.7	2.3	4.7	4.6.3
22801	1低・東2	ヒノキ	(3.9.2)	6	2.8	5.3.0

器種 大形筒状品(2)

通番号	出土地点	断面	直径			備考
			全長	径	圓形度	
22602	1低・浅2	靴孔村	(15.8)	4.8	9.5	5.2.6
22603	1低・浅5.2	七ノ曳	(17.4)	2.9	4.7	6.3.8
22604	1低・浅2	靴孔村	(24.8)	1.3	1.8	5.3.1
22605	1低・浅2	七ノ曳	(21.5)	1.2	(4.8)	5.2.9
22606	1低・浅5.2	七ノ曳	2.6.4	2.1	1.0.3	4.6.4
22607	六朝	ウツギ	(27.6)	1.6	3.8	7.6.8

器種 組み合わせ筒状品

通番号	出土地点	断面	直径			備考
			全長	径	圓形度	
22601	1低・浅2		22.8	2.1		5.3.4
22602	1低・浅2		23.2	3.6		5.3.2
22603	1低・浅2		(17.6)	2.8		5.3.3
22604	1低・浅5.2		(22.6)	6.0		4.6.5
22605	1低・浅5.2		2.8.0	2.8		4.6.6

器種 棒状品(1)

通番号	出土地点	断面	直径			備考
			全長	径	圓形度	
22606	1低・浅3	七ノ曳	(4.3.3)	2.5		3.4.9
22607	1低・浅3	アカガハ山周	(4.0.5)	3.5		3.5.0

器種 條狀品(2)

遺物番号	出土地点	測量	計測値		備考
			全長	径	
22008	1低・東5所	アカガハ形埴輪	5.2.5	4.3	4.6.9
23001	1低・東2	セバノ半輪	(5.1.3)	3.1	5.3.5
23002	1低・東2	七／四	(3.4.4)	2.4	5.3.6
23003	1低・東2	八四二四	2.6.6	2.7	5
23004	1低・東5所	七／四	6.1.8	2.2	4.6.6
23005	1低・東2	ウツギ	(3.4.7)	8	5.4.1
23006	1低・東2	七／四	(3.1.3)	1.1	5.3.9
23007	1低・東2	七／四	(3.0.6)	1.0	5.4.3
23008	1低・東2	七／四	(1.0.6)	1.3	5.4.2
23009	1低・東2	七／四	(1.3.1)	1.4	5.4.7
23010	1低・東2	七／四	(1.9.8)	1.2	5.4.6
23011	1低・東2	七／四	(1.9.4)	1.1	5.4.8
23012	1低・東2	七／四	(1.9.5)	1.1	5.4.5
23013	2低・東2	七／四	(1.6.5)	9	6.4.9
23014	1低・東・北	七／四	(1.7.6)	(5)	6.3.5
23015	1低・東5北	七／四	(1.8.3)	1.6	6.3.6
23016	1低・東5所	七／四	(2.9.4)	1.5	4.6.7
23017	4低・東6	六半	(2.7.5)	1.0	2.9.4
23018	1低・東2		2.4.0	2.4×1.3	5.5.2
23019	1低・東2		(1.4.6)	1.5×8	5.5.0

器種 棒状品(3)

測定番号	出土場所	縄理	計測値		備考
			全長	径	
23105	1号・坑2		(1.47)	2.6×1.3	5.51
23106	1号・坑2	七ノ字	(1.97)	7	5.44
23107	1号・坑2	七ノ字	(2.34)	7	5.37
23108	1号・坑2	七ノ字	(3.74)	6	5.38
23109	不明	七ノ字	(3.63)	7	7.70
23110	1号・坑2	七ノ字	(4.94)	15	5.40
23111	1号・坑2	七ノ字	4.90	10	5.49
23112	不明	七ノ字	(6.64)	7	7.69

器種 柱材(1)

測定番号	出土場所	縄理	計測値		備考
			長径	短径	
21501	1号・坑2	カヌギ根 サガナキ	8.3	(5.9)	(1.46)
21502	1号・坑2	サガナキ	7.3	5.8	1.55
21503	1号・坑2	セミ根	4.3	4.1	8.2
21504	1号・坑2	サガナキ	5.6	5.1	2.22
21505	1号・坑2	コケツ根 カガシ根	6.6	3.6	2.03
21506	1号・坑2	コウヤマキ	3.8	3.5	1.99
21507	1号・坑2	ムクニ根	9.5	7.4	5.51
21508	1号・坑2	マツ尾根 ササ根	1.63	1.43	3.80

器種 杖材(2)

遺物番号	出土地点	経路	計測値			備考
			先端	始端	全长	
21509	1低・底2	マツ尾根横谷東側	15.0	1.0	3.5	177
21510	1低・底2	シ4	16.5	8.6	2.8	174
21511	1低・底2所	マツ尾根横谷東側	6.5	0.1	(4.4)	216
21512	1低・底3	コナラ尾根アカガシ山腹	4.6	3.7	(6.0)	39
21601	3低・底2	コナラ尾根アメ甘松	11.4	9.6	2.4	648
21602	1低・底5芯	コナラ尾根アメ甘松	(6.3)	(6.8)	(1.45)	628
21603	1低・底5北	コナラ尾根アメ甘松	(11.6)	(8.7)	(2.06)	629
21604	1低・底5南	カヤ	6.3	5.0	1.6	454
21605	1低・底5所	モミ属	6.1	(4.3)	(1.82)	452
21606	1低・底5所	ヒノキ	9.4	4.5	(3.7)	453
21607	1低・底5所	モミ	13.4	11.9	(2.74)	455

器種 (ぼぞ付き杖材)1)

遺物番号	出土地点	経路	計測値			備考
			径	全长	径-先端	
21701	1低・底2	コナラ尾根アメ甘松	8.4	7.9	2.5	178
21702	1低・底2	コナラ尾根アメ甘松	6.0	2.0	(5.53)	179
21703	1低・底3	ヒノキ	5.4	2.3	(3.15)	340
21704	1低・底5所	ヒノキ	17.2	8.1	(1.02)	456
21705	1低・底5所	クマノミタケ類	—	—	(4.3)	457

器種 (ぼぞ付き柱材)(2)

遺物番号	出土場所	構造	計測値	備考
		底	全長	柱足下部
21706	1低・東2面	コナラ属・カガシ属	9.4 6.5 (5.8)	—
21707	不明	ヒノキ	6.8 6.5 6.9	2.1 4.5 7.2

器種 不明

遺物番号	出土場所	構造	計測値	備考	
		底	幅	周	
22004	1低・東2	ヒノキ	21.6	27.2	14.5 原縁2枚付2本木骨版次に繋げ 木結合、板面上面に木打込み 高さ約48

器種 組み合せ部材(1)

遺物番号	出土場所	構造	計測値	備考	
		底	幅	厚	
22101	1低・東2	ヒノキ	37.3	2.3	2.0
22102	1低・東2	ヒノキ	30.5	5.6	2.5
22103	1低・東2	ヒノキ	34.5	3.6	2.2
22104	1低・東2	ヒノキ	38.8	3.9	2.2

器具組合せ部材(2)

機器番号	出土地点	断面	計測値				備考
			長	幅	厚		
22105	1枚・底2	七／十 八／四	15.7	3.8	3.5		162
22106	1枚・底2	八／四	11.7	6.3	1.8		187
22107	1枚・底2	コナラ風コナラ脚	19.1	6.0	4.9		186
22108	1枚・底2	八／四	18.4	4.6	2.6		158
22109	1枚・底2	七／十 八／四	(48.9)	3.0	1.0		165
22110	1枚・底2	七／十 八／四	17.1	7.8	7		169
22111	1枚・底2	七／十 八／四	39.8	(12.2)	1.4		A-2627
22201	1枚・底2脚	七／十 八／四	35.6	8.6	2.0		217
22202	1枚・底3	七／十 八／四	22.5	9.1	1.5		345
22203	1枚・底5脚	七／十 八／四	31.5	3.3	2.7		461
22204	1枚・底5脚	七／十 八／四	(35.9)	2.7	1.8		475
22205	3枚・底2	七／十 八／四	(19.6)	5.5	1.1		395
22206	3枚・底2	八／四	(19.6)	3.6	8		396
22207	7脚	アカマツ	21.0	2.9			764
22208	不明	モブノ+	73.1	3.6	3.7		765

器具梯子

機器番号	出土地点	断面	計測値				備考
			長	幅	厚		
21001	1枚・底3北	コナラ風コナラ脚	11.03	1.20	7.3		643

器種 板材[1]

遺物番号	出土地点	種類	長	幅	厚	参考
21822	1低・底2	七(箇)	(368)	13.9	4.6	589
21823	1低・底2	八八ノテ	(398)	8.2	2.7	590
21824	1低・底2	八八ノテ	(366)	16.5	2.4	592
21825	1低・底2	六四	41.2	25.1	6.9	181
21826	1低・底3	七ノテ	71.5	26.7	2.9	342
21828	1低・底3	七ノテ	79.7	16.3	3.5	344
21824	1低・底3	七(箇)	64.8	21.6	5.8	343
21826	1低・底3	七ノテ	55.1	22.0	3.8	341
22001	1低・底5之	七ノテ	(937)	15.7	3.0	630
22002	1低・底5箇	二ノ半箇	49.1	20.1	(7.4)	490
22003	不明	七ノテ	63.2	(16.8)	2.8	763
22001	1低・底2	七(箇)	26.3	8.0	1.2	180
22002	1低・底2	二ノ半箇	15.1	17.1	4.6	195
22003	1低・底2	七(箇)	14.8	15.2	5.0	197
22004	1低・底2	七ノテ	9.1	16.2	3.4	194
22005	1低・底2	七ノテ	16.5	21.3	2.4	198
22006	1低・底2	七ノテ	16.6	14.9	2.7	199
22007	1低・底2	七ノテ	(11.2)	(8.1)	3.2	191
22008	1低・底2	七ノテ	12.3	9.8	2.3	193
22009	1低・底2	二ノ半箇	(11.5)	7.5	3.4	192

器種 板材(2)

遺物番号	出土地点	種類	計測値			備考
			長	幅	厚	
Z2310	1低・底2	七／十	1.2	5.4		196
Z2311	1低・底2角	コウジ類	1.24	9.3	3.8	218
Z2312	1低・底5角	セイ類	1.22	(8.8)	2.7	462
Z2313	1低・底5角	七／十	(2.45)	7.2	2.5	459
Z2401	2低・底1	ヤマグリ	(1.68)	1.24	2.0	274
Z2402	2低・底1	ヤマグリ	(2.49)	1.22	1.6	275

器種 壁板

遺物番号	出土地点	種類	計測値			備考
			長	幅	厚	
Z2403	1低・底2	七／十	(3.69)	(1.8)	1.1	501
Z2404	1低・底2	七／十	1.96	(7)	7	209
Z2405	1低・底2	七／十	(2.10)	4.1	3	502
Z2406	1低・底3	七／十	1.68	2.5	6	347

器種 木札狀(1)

通鑑番号	出土地點	種類	計測値			備考
			長	幅	厚	
22501	1枚・束2	七ノ手	(3.51)	3.5	8	526
22502	1枚・束2	七ノ手	(2.27)	2.6	4	503
22503	1枚・束2	△ノ手	(1.02)	2.2	8	506
22504	1枚・束3	七ノ手	(0.91)	3.2	3	546
22505	1枚・束2	七ノ手	3.19	4.9		508
22506	1枚・束2	七ノ手	3.69	4.7	8	511
22507	1枚・束2	七ノ手	5.00	4.5	1.1	510
22508	1枚・束2	七ノ手	(3.9)	(2.2)	1.0	527
22509	1枚・束2	七ノ手	(1.67)	2.7	6	504
22510	4枚・束6	七ノ手	2.64	3.2	1.0	293
22511	六束	ヲガマ	2.02	2.9	2	706
22512	1枚・束2	七ノ手				529

器種 木札状(2)

遺物番号	出土地点	概要	計測値			備考
			長	幅	厚	
22601	1低・底2	八角	(3.51)	3.5	0	517
22602	1低・底2	七／四	(2.27)	2.5	4	515
22603	1低・底2	七／四	(1.02)	2.2	8	516
22604	1低・底2	六角	(9.1)	3.2	3	516
22605	1低・底2	七／四	4.75	3.0	1.5	516
22606	1低・底5枚	七／四	(4.21)	3.1	8	414
22607	1低・底2	七ワラ	2.05	4.3	1.3	512
22608	1低・底2	七／四	(3.9)	(2.2)	1.0	514
22609	1低・底2	七／四	(1.67)	2.7	6	513
22610	1低・底2	ケナリ	2.64	3.2	1.0	521
22611	1低・底2	コナラ属ノカガシ形板	2.02	2.9	2	516
22612	1低・底2	七／四	(2.33)	6.3	6	522
22613	1低・底2	七／四	2.24	1.06	1.5	519
		コナラ属ノカガシ形板				520

器種 有頭擣(2)

遺物番号	出土地点	形態	計測値			備考
			全长	頭部径	体側径	
23310	1低・浅2	セイ威	(97)	3.9	2.6	561
23311	1低・浅3	クロマツ	(144)	4.8	4.5	351
23312	4低・浅6	ムクノキ	(120)	3.4	2.9	297
23313	1低・浅2	ヒノキ	(111)	1.6	1.7	579
23314	1低・浅2	ヒガキ	(135)	1.6	1.5	568
23315	1低・浅2	タガミシキミツバチ	(114)	(25)	1.4	569
23316	1低・浅1	トベタ	(130)	(12)	1.7	568

器種 尖頭擣(1)

遺物番号	出土地点	形態	計測値			備考
			全长	頭部径	体側径	
23401	1低・浅2周	ヤブツバメ	5.9	5.6	—	219
23402	1低・浅5之	ヒノキ	7.0	3.5×2.2	—	639
23403	1低・浅2	ヒノキ	3.2	3.3	—	574
23404	1低・浅2	ヒノキ	3.1	2.0	—	579
23405	1低・浅2	ムク	2.6	2.1	—	578
23406	1低・浅2	ヒノキ	2.3	2.4	1.9×1.0	576
23407	1低・浅2	ヒノキ	1.3	0.6	—	571
23408	1低・浅2	ヒノキ	0.4	—	1.2	573
23409	1低・浅2	ヒノキ	0.7	—	1.4×7	577

器種 有刃棒

遺物番号	出土地点	樹種	計測値			備考
			全长	最大径	孔径	
ZSD01	1低・洪2	279楓(山櫻)	(281)	2.9	21×18	554
ZSD02	1低・洪2	ケヤキ	(243)	4.0	35×22	555
ZSD03	1低・洪2	279楓(山櫻)葉	(96)	55×35	21×13	557
ZSD04	1低・洪2	ヒノキ	(133)	13×8	2	553
ZSD05	1低・洪2	クロマツ	(156)	2.5	6	556
ZSD06	1低・洪5北	セガキ	(65)	1.9	7	657
ZSD07	4低・洪6	279楓(山櫻)葉	(111)	60×47		296

器種 有頭棒(1)

遺物番号	出土地点	樹種	計測値			備考
			全长	最大径	孔径	
ZSD01	1低・洪2	セガキ	(258)	4.3	4.1	567
ZSD02	1低・洪2	279楓(山櫻)	(245)	4.8	3.8	565
ZSD03	1低・洪2	ヒノキ	(168)	(168)	2.8	559
ZSD04	1低・洪2	279楓(山櫻)葉	(123)	3.7	3.6	558
ZSD05	1低・洪2	セガキ	(70)	3.4	2.4	560
ZSD06	1低・洪2	セガキ	(151)	50×54	3.7	564
ZSD07	1低・洪2	ヤブツバキ	(46)	5.8	4.1	565
ZSD08	1低・洪2	ハイノキ	(57)	4.9	3.1	562
ZSD09	1低・洪2	ヒノキ	(98)	4.3	2.3	563

器種 尖頭棒(2)

遺物番号	出土地點	形體	計測値		備考
			全長	徑	
23502	1低・深2	七ノ子	9.5	1.0	572
23503	1低・横2	七ノ子	1.6 1	1.7	575
23504	1低・深2削	七ノ子	(287)	1.8	221
23505	1低・深2削	ナフリノ子	1.2 6	2.6	220
23506	1低・奥北	七ノ子	(400)	2.1	638
23507	1低・深5削	ナヌガ子	2.8 3	1.6	470
23508	1低・深5削	七ノ子	1.7 1	1.3	471
23509	不明	七ノ子	2.3 8	1.5	771

器種 用途不明(1)

遺物番号	出土地點	形體	計測値		備考
			全長	徑	
23601	1低・横2	ナフリノ子	8.2		562
23602	1低・横2	ナカ子	8.6		588
23603	1低・横2	ナリ	6.2		584
23604	1低・横2	二ノ子	9.6		581
23605	1低・横2	ナカ子	8.7		580
23606	1低・横2	七ノ子	9.8		587
23607	1低・横2	ナフリノ子	1.9 3		585

器種 用途不明[2]

編號番号	出土地点	種類	計測値			備考
			全長	徑	厚	
2868	1低・高2	七ノ頭	167			馬柄4
2869	1低・高2	七ノ牛	362	27		586
2860	1低・高2	コウナヘ	269	20		馬柄4
2861	1低・高2	277頭278	218			588
2862	1低・高2	277頭278	250			581
2863	1低・高2	クロマツ	201			馬柄4
2871	1低・高3	七ノ牛	200			馬柄5
2872	1低・高5北	277頭278	1317			631
2873	1低・高5北	七ノ牛	256			641
2874	1低・高5北	七ノ牛	165			馬柄5
2875	1低・高5北	七ノ牛	176			642
2876	1低・高5所	七ノ牛	118			472
2877	1低・高5所	七ノ牛	179			476
2878	1低・高5所	七ノ牛	255			473
2879	4低・高6	七ノ頭	318			288
2870	不明	七ノ牛	186			772
2871	789	七ノ牛	163			773
2862	1低・高3	八ツノ牛頭	458	77		810

器種 自在鉤形

遺物番号	出土地点	測量	計測値			備考
			幅	高	長	
ZB01	1低・東2	二面ツツ	3.03	1.98	3.9	
						高850

器種 指矢

遺物番号	出土地点	測量	計測値			備考
			測定値	測定長	測定員	
ZB03	1低・東5横	ツツ指矢骨質直頭	1.6 × 1.1	2.93	8.51	
						477

器種 工具柄

遺物番号	出土地点	測量	計測値			備考
			斜長	紙長	高さ幅長	高さ厚
SD01	SD Ⅲ 71中西端	ナミ頭	1.98	1.6	4	3.7
SD02	SD Ⅲ 71中西端	ツツ指矢骨質直頭	(42)	3.4	7	6 (2.2)
						650

器種 柄

遺物番号	出土地点	測量	計測値			備考
			長	幅	高	
SD03	SD Ⅲ 71中西端	イヌノナ	(32)	(30)	9	1.0
						高827

器種 用途不明

遺物番号	出土地点	測量	計測値			備考
			枝根高	幅	厚	
SD04	SD Ⅲ 71中西端	ナミ頭	(22)	(40)	15	63

器種 接物

遺物番号	出土地点	種類	計測値			備考
			高さ	幅	底面厚	
54826	SD 871中西面	トゲノフ	7	8.6	7	654
54826	SD 871中西面	タケナ	6	—	1.0	653

器種 円形曲物

遺物番号	出土地点	種類	計測値			備考
			径	厚	底面厚	
54827	SD 871中西面	七／牛	—	3	—	655
54828	SD 871中西面	七／牛	—	—	—	656
54829	SD 871中西面	七／牛	—	—	—	656

器種 長方形曲物

遺物番号	出土地点	種類	計測値			備考
			長径	短径	底面厚	
54830	SD 871中西面	七／牛	201	29	5	657
54830	SD 871中西面	七／牛	221	26	5	660
54831	SD 871中西面	七／牛	203	79	4	646
54832	SD 871中西面	七／牛	110	70	6	659
54833	SD 871中西面	七／牛	182	52	6	658

器種 蓋

遺物番号	出土地点	断面	計測値	備考
58601	SD 71裏部	U / 4		354

器種 円形曲物

遺物番号	出土地点	断面	計測値		備考
			径	厚	
58602	SD 71裏部	U / 4	146	7	同一個体 557
58603	SD 71裏部	—	—	— (範囲 35)	

器種 横棒

遺物番号	出土地点	断面	計測値			備考
			体形長	体形厚	柄長	
58604	SD 71裏部	777横棒形直	177	64	173	35 362

器種 下鉢

遺物番号	出土地点	断面	計測値			備考
			長	幅	全体厚	
58605	SD 71裏部	丸	(191)	(37)	21	14 354
58606	SD 71裏部	センダク	(180)	76	24	11 353

器種 换物

遺物番号	出土地点	種類	計測値				備考
			口径	体形高	高台面	底形高	
58607	SD 871東部	トナカイ	97	14	—	4	365
58608	SD 871東部	トナカイ	—	—	—	4	366

器種 尖頭棒状品

遺物番号	出土地点	種類	計測値				備考
			全長	幅	厚	外径	
58610	SD 871東部	トナカイ	178	68	—	369	

器種 用途不明

遺物番号	出土地点	種類	計測値				備考
			長	幅	厚	外径	
58611	SD 871中部	七／牛	(100)	7	5	662	
58612	SD 871中部	七／牛	130	30	5	663	馬形小

器種 磁書き板

遺物番号	出土地点	側面	計測値			備考
			長	幅	厚	
58433	SDⅢ71中西面	七／今	(107)	(32)	3	667

器種 板状品

遺物番号	出土地点	側面	計測値			備考
			長	幅	厚	
58434	SDⅢ71中西面	七／今	(131)	(26)	4	668
58435	SDⅢ71中西面	ヨリナマキ	(146)	37	4	673
58436	SDⅢ71中西面	七／今	212	46	7	669

器種 板状品

遺物番号	出土地点	側面	計測値			備考
			長	幅	厚	
58437	SDⅢ71中西面	七／今	147	41	5	664
58438	SDⅢ71中西面	七／今	146	53	5	666
58439	SDⅢ71中西面	七／今	121	48	4	665
58440	SDⅢ71中西面	ヨリナマキ	135	27	10	671
58441	SDⅢ71中西面	七／今	134	(42)	2	672
58442	SDⅢ71中西面	ヨリナマキ	158	(27)	3	673

器種 棒

通称番号	出土地点	測量	計測値				備考
			長	幅	厚	横角直径/cm	
SE001	SSM 04	ノ八ノナ	(360)	42	11	12	馬228

器種 杖

通称番号	出土地点	測量	計測値				備考
			長	幅	厚	横角直径	
SE002	SE 04	レノナ	(186)	61	693	井戸柄杖	
SE003	SE 04	レノナ	(206)	65	696	"	
SE004	SE 04	レノナ	(261)	53	696	"	
SE005	SE 04	レノナ	(306)	64	694	"	

器種 井戸柄杖(1)

通称番号	出土地点	測量	計測値				備考
			長	幅 (E)	厚	横角直径	
SE010	SE 01	アカマツ	(186)	52			692
SE012	SE 01	シブノナ	(196)	54			690
SE013	SE 01	コトロ	(192)	71			775
SE014	SE 01	シブノナ	(190)	64			778
SE015	SE 01	シブノナ	185	74			779
SE016	SE 01	コトロ	(246)	71			774
SE017	SE 01	アカマツ	(1212)	75			763
SE018	SE 01	シブノナ	1315	64			802

器種 井戸特材②

測定番号	出土地點	層位	計測値				備考
			長	幅(径)	厚		
58602	SEⅢ 0 1	ア・施設構造物面	12.27	63			782
58603	SEⅢ 0 1	カツノヤ	11.83	67			780
58604	SEⅢ 0 1	カツノヤ	11.38	74			801
58605	SEⅢ 0 1	ヤツクバチ	(12.83)	112			777
58601	SEⅢ 0 1	アカツツ	(12.47)	84			781
58602	SEⅢ 0 1	ヤツクバチ	12.54	104			776
58603	SEⅢ 0 1	ヤツクバチ	(13.17)	124			790
58604	SEⅢ 0 1	カヤ	12.23	131			699
58601	SEⅢ 0 1	アカツツ	(12.85)	121	67		785
58603	SEⅢ 0 1	ヤツクバチ	12.00	149	57		698
58603	SEⅢ 0 1	カツノヤ	(12.10)	127	65		783
58604	SEⅢ 0 1	カツノヤ	(12.82)	132	64		790
58601	SEⅢ 0 1	ヒノキ	12.37	198	42		784
58602	SEⅢ 0 1	ヒノキ	12.54	(130)	42		785
58603	SEⅢ 0 1	ヒノキ	(762)	354	35		697
58601	SEⅢ 0 1	ヒノキ	(821)	(240)	2		797
58602	SEⅢ 0 1	ナラ	(770)	(139)	3		787
58603	SEⅢ 0 1	ヒノキ	747	118	1		789
58604	SEⅢ 0 1	ヒノキ	737	117	2		796
58605	SEⅢ 0 1	ヒノキ	(710)	(160)	1		790

器種 并戸幹材(3)

通称番号	出土地点	樹種	計測値				備考
			長	幅(径)	厚		
56001	SEII 0 1	七ノキ	(722)	125	1		794
56002	SEII 0 1	七ノキ	742	169	2		795
56003	SEII 0 1	七ノキ	(660)	(150)	3		796
56004	SEII 0 1	七ノキ	(787)	(152)	3		797
56005	SEII 0 1	七ノキ	(739)	(184)	3		798
56006	SEII 0 1	七ノキ	(545)	(96)	2		799

器種 円形曲物

通称番号	出土地点	樹種	計測値				備考
			径	高	厚		
56001	SEII 0 5	八千	538	269	10	井筒	689
56002	SEII 0 5	八千	543	303	22	"	690

器種 木札状

通称番号	出土地点	樹種	計測値				備考
			長	幅	厚		
56003	SEII 0 5	七ノキ	202	22	3		691

器種 换物

遺物番号	出土場所	断縫	計測値				備考
			口幅	体幅	高台高	高台厚	
58661	SEW 01	—	—	—	7	60	8 馬蹄形
58662	SEW 01	中ノ子	65	20	7	52	5 676
58663	SEW 01	29	—	—	8	70	— 677
58664	SEW 01	丸子	—	—	—	—	— 678
58665	SEW 01	271(裏切)	—	31	13	70	10 679

器種 板状品

遺物番号	出土場所	断縫	計測値				備考
			長軸	短轴	厚		
58666	SEW 01	3,4'	269	(79)	7		880

器種 板状品

遺物番号	出土場所	断縫	計測値				備考
			幅	厚			
58667	SEW 01	3,4'	13	8			681
58668	SEW 01	七ノ子	—	—			682
58669	SEW 01	七ノ子	—	—			683

器種 板状品

遺物番号	出土場所	樹種	計測値		
			長	幅	厚
59610	SEW 0 1	ヤツリノキ ヤマモロコシ	(182)	87	20
59611	SEW 0 1	アオダモ	(134)	71	20
59612	SEW 0 1	ヒノキ	(286)	27	3

器種 有頭骨状品

遺物番号	出土場所	樹種	計測値		
			長	幅	厚
59613	SEW 0 1	アブロウ	(31)	45	

器種 有頭骨状品

遺物番号	出土場所	樹種	計測値		
			長	幅	厚
59614	SEW 0 1	アブロウ	692	45	45

器種 わらじ縛み台

遺物番号	出土場所	樹種	計測値				
			台座部	台脚部	柱部		
17901	1階・奥2	ヤクシノキ ヤマモロコシ	1 6 1	1 4 6	1 6 3	4 3	2 5
17902	1階・奥2	ヤマモロコシ	1 6 8	1 6 8	(2 6 5)	7 9	2 8
18001	1階・奥5前	ヤマモロコシ	1 4 3	1 5 3	(1 6 6)	(4 5)	3 4

器種 編號

遺物番号	出土地点	断面	計測値	備考
		全長	幅	
17905	1低・深2	π/4	(501) 54	11
17906	1低・深2前	279mm ²	551	57
17906	不規	π/4	(760) 51	17
				757

器種 系參件木

遺物番号	出土地点	断面	計測値	備考
		全長	幅	候木附屬
18301	1低・深2	π/4	(393) 27	18.9
18302	1低・深2	π/4	(453) 32	22.2
18303	1低・深2	π/4	36.5	27
18303	1低・深2	π/4	24.2	21
18302	1低・深2	π/4	24.4	14
18303	1低・深2	π/4	(157) 14	9.1
18304	1低・深2	π/4	23.4	2.0
				11.5
18305	1低・深2	π/4	(179) 20	—
18306	1低・深3之	π/4	17.9	1.8
18307	1低・深5前	π/4		411

器種 糸毛楕木

通称番号	出土地点	経緯	計測値			備考
			全长	最大幅	最大厚	
18304	1低・深2	ヒノキ				神木(1304上断片) 75

器種 スティック状頭部

通称番号	出土地点	経緯	計測値			備考
			全长	厚	柄部長	
18022	1低・深2	ヒノキ		44		67
18033	1低・深2	ヒノキ	(145)	26		70
18044	1低・深2	ヒノキ		43	(194.)	最高38
18055	1低・深2削	ヒノキ		35		203
18101	1低・深2	ヒノキ	650	112	37	650
18102	1低・深2	ヒノキ			(173.)	33
18103	1低・深2	ヒノキ			(163.)	32
18104	1低・深2削	ヒノキ			(206.)	24
18105	1低・深2削	ヒノキ			(164.)	21
						429

器種 ハンドル

通称番号	出土地点	経緯	計測値			備考
			全长	先端部径	中央部径	
18106	1低・深2	ヒノキ	903	43~37	47	113 33 最高6

発掘調査の記録



調査の開始（測量作業）



同上（基準杭の設定）



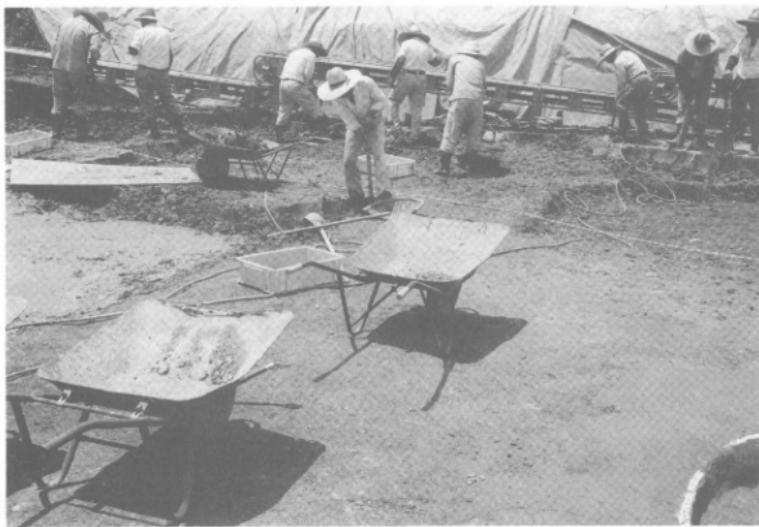
表土除去（重機による掘り下げ）



同上（同上）



包含層調査



同上



遺構群の調査（密集する掘立柱建物群）



同上（同上）



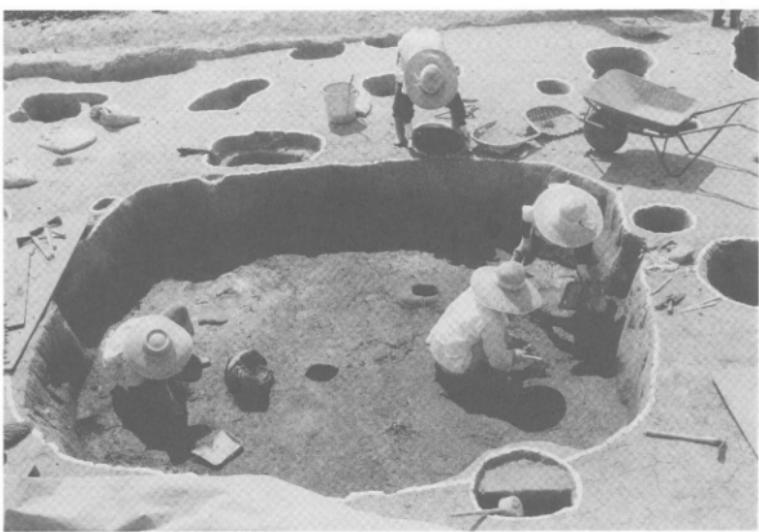
遺構群の調査（竪穴住居址群）



同上（溝群）



遺構の調査（堅穴住址埋土の掘り下げ）



同上（堅穴住居址 床面の検出）



実測（遺構配置図の作成）



同上（遺物出土状況図の作成）



遺構の取上げ（堅穴住居址カマド部分の取上げ）



同上（焼失住居址 炭化材の取上げ）



現地説明会風景



同上



現地説明会風景



同上



現地説明会風景



同上



埋め戻し風景（遺構面の保全）



同上（同上）

瀬戸大橋建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告VII

下川津遺跡

-第1分冊-

1990・3

編集 (財)香川県埋蔵文化財調査センター
発行 香川県教育委員会
(財)香川県埋蔵文化財調査センター
本州四国連絡橋公園
印刷 株式会社 美巧社

瀬戸大橋建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告VII

下川津遺跡

- 第1分冊 -

1990・3

編集 (財)香川県埋蔵文化財調査センター
発行 香川県教育委員会
(財)香川県埋蔵文化財調査センター
本州四国連絡橋公団
印刷 株式会社 美巧社